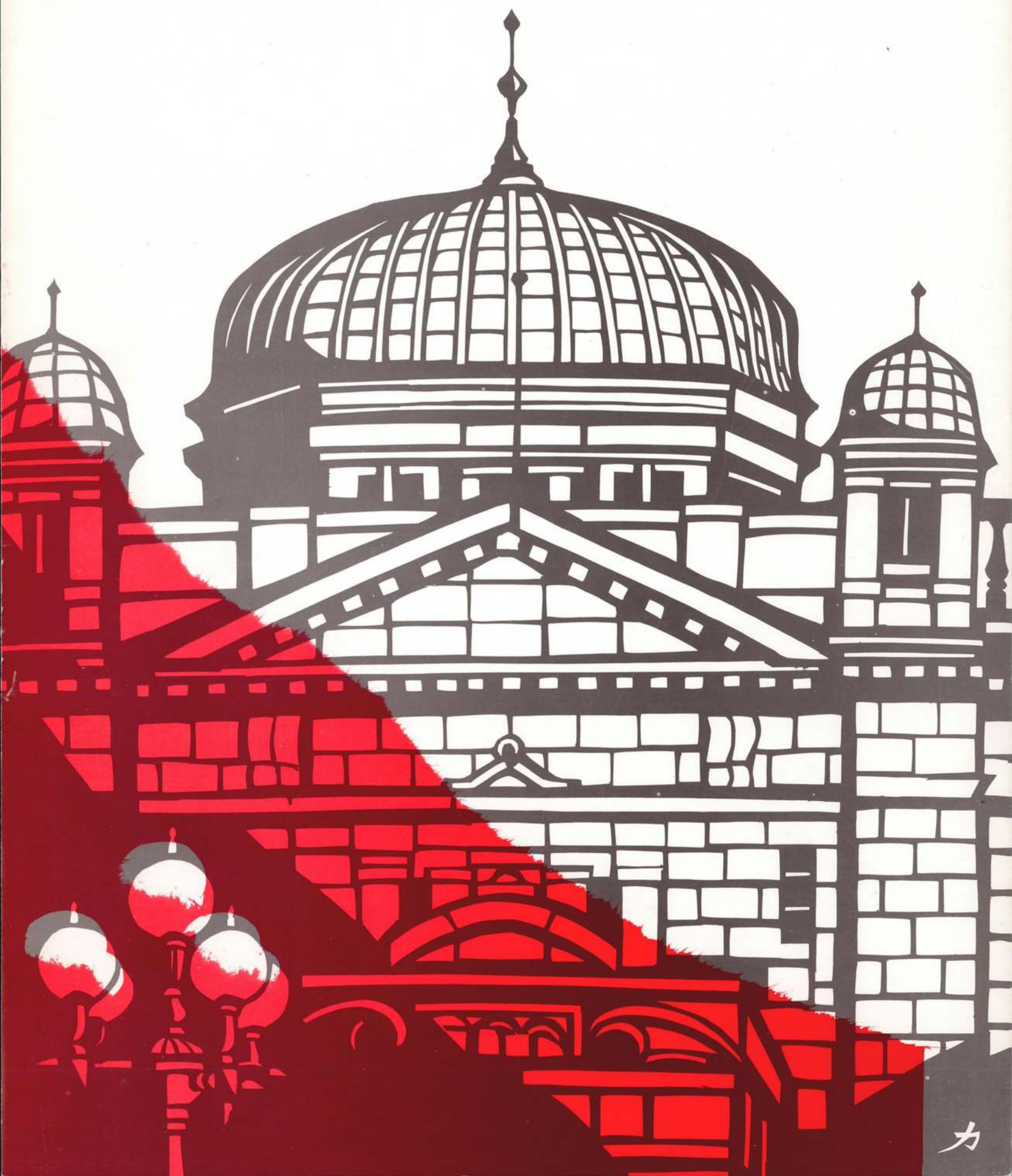
# 建築と社会

社団法人　日本建築協会
昭和49年 1 月25日発行
毎月 1 回25日発行
昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

1974
第55輯第 1 号
1

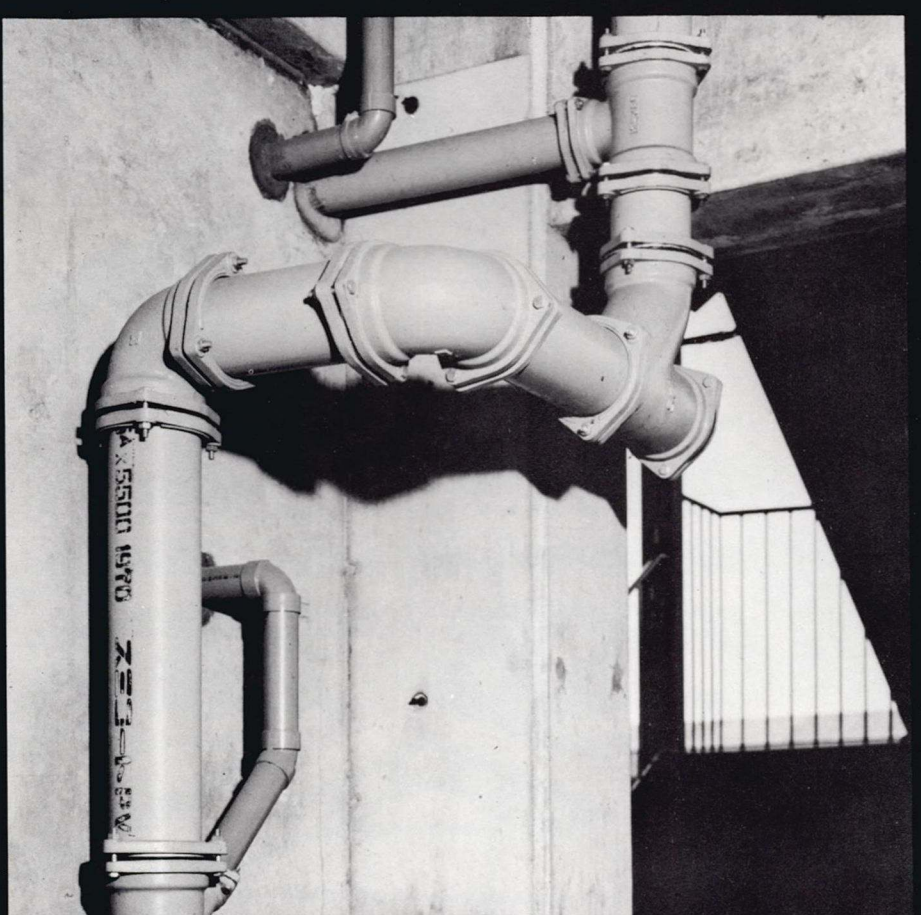
特集：歴史的環境保全



力

“鉄をつくり未来をつくる”住友金属

# どんな悪条件にも ビクともしないスミコートPVS おかげさまで好評です。



発売以来好評のスミコートＰＶＳ各地で着々と敷設されております。JIS規格の鋼管に塩化ビニールゾルを塗装、だから内外面からの浸食に絶対おかされず、どんな強い圧力や衝撃にもビクともしません。スミコートＰＶＳは、鋼管の利点（頑丈さ）と塩ビゾルの利点（さびない）が、たくみにいかされている一石二鳥のパイプです。もちろん加工性・施工性もすぐれており、経済性も充分に考慮し、低廉価につとめました。需要が増大している都市汚水用の配管、水道用の配管にぜひご利用ください。

●カタログをご請求ください。

住友の塩化ビニールゾル被覆鋼管

# スミコートPVS


住友金属

住友金属工業株式会社

大　阪＝大阪市東区北浜５－１５（新住友ビル）　電（203）２２０１

東　京＝東京都千代田区丸の内１－３－２（新住友ビル）　電（282）６１１１

営業所＝福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・宇都宮・仙台・札幌

# 謹賀新年
# 1974

## '74年を迎えて

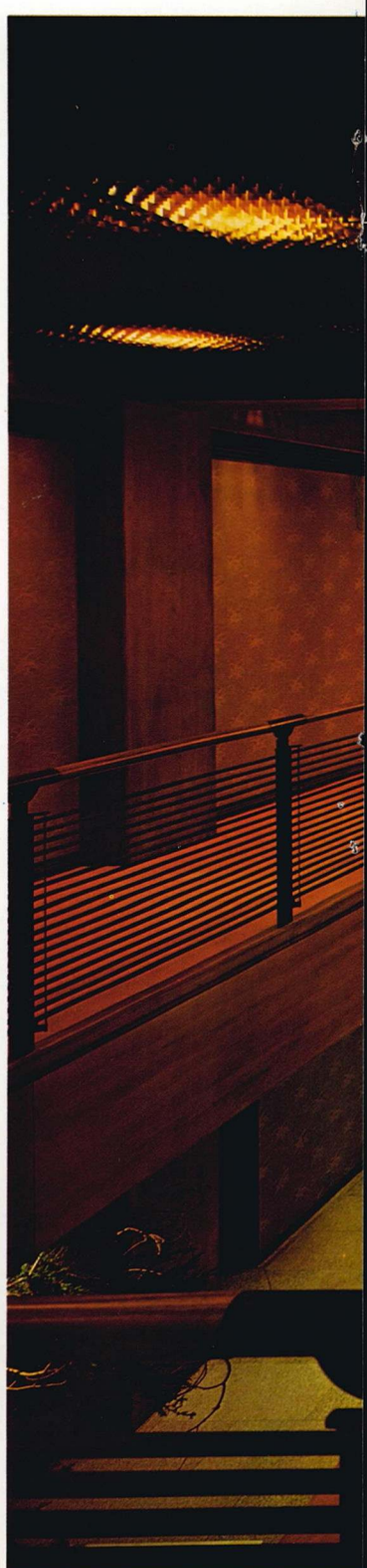
(社)日本建築協会会長　塚本猛次

明けましておめでとうございます。
昨年はインフレと円のフロートで明けましたが、今年はインフレと石油危機という嵐のなかで新年を迎えたわけで、たとえ石油危機が、多少緩和の方向へ転じるにしても、49年度の実質経済成長率は、かなり低いものになることが予想され、一方引続き物価は上昇をつづける恐れも多分にありますので、本年は産業面、生活面においても、かなり、きびしい時代に入ってゆくものと思われます。
さて、高度経済成長の結果、産業構造は巨大化し、建築は高層化し、船舶も大型化する一方、化学工場のあるものは、爆発事故をひき起こし、ために製品は減少して、インフレを促進し、また公害は各地に発生し、国民の食生活まで脅かされるに至りましたが、時あたかも、石油危機の旋風は、全世界を掩うに至り、生活の簡素化や、節約が叫ばれ、戦時中を想わせる時代となってきました。
石油危機の結果として、建設に大きなブレーキが、かかることが、予想され、一方、日照権問題や、都市環境問題についての住民パワーに対しても、明解は出されていない状態であります。しかし、これらの諸問題はいずれも、さけて通るわけにはゆきません。この時にこそ、わが日本建築協会においても、建築や都市計画にたいする、諸問題を解決するために、情報の収集や、コミュニケーションの濃厚化によって、協会の体質を改善して、社会の要望に応じてゆきたいと思います。
昨年はかような意味では協会の体質的改善はその充分な目的を達成したとはいえませんが、本年は新たなる現状を認識して目標達成に邁進してゆきたいと思いますので、一層のご協力をお願いするものであります。
たとえ、経済成長率がダウンしようと、生活が多少、不自由になろうと、日本は今や、経済成長の調整期に入ったわけですから、この調整期にわれわれ建築界としては、いかなる方向に進むべきかを常に考慮しながら、前途に横たわる、諸問題の解決に努力してゆきたいものです。
常に明るく、正しく、身を持して、お互いに助け合ってこの一年を乗り切ってゆこうではありませんか。

# 生田神社会館

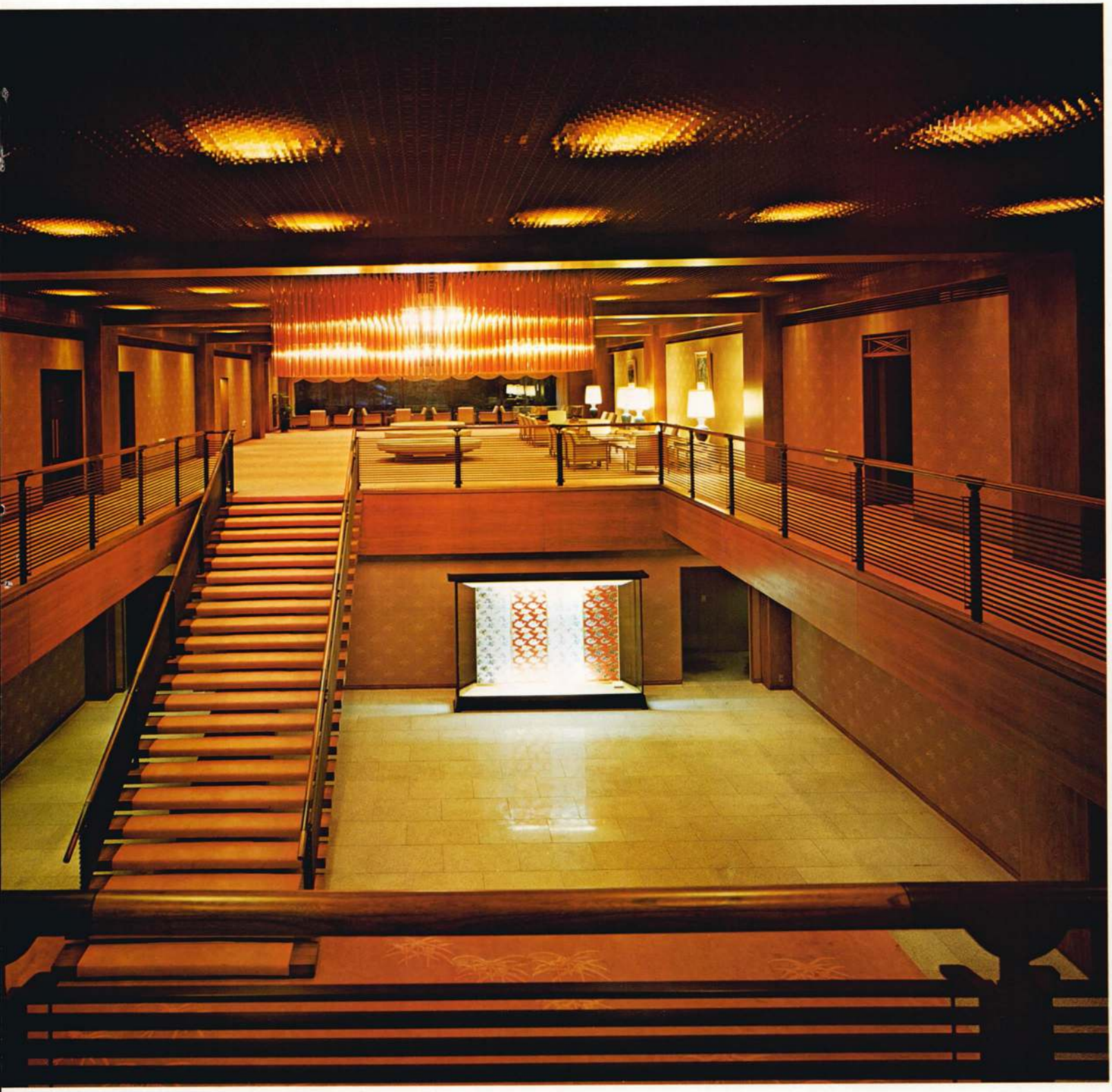
設計施工　竹中工務店





所 在 地：神戸市生田区下山手通1丁目10
建築面積：1,124.88m²
延 面 積：4,536.34m²
構造規模：RC　B1、4F　P1
工　　期：1972.8～1973.9

撮影　村井　修



# 和倉都ホテル

設　　計：坂倉建築研究所大阪事務所
所 在 地：七尾市和倉町埋立地
建築面積：3,817m²
延 面 積：6,584m²
構造規模：ホテル棟 RC 4F、P1
　　ボーリング場 RC 平家建
　　従業員宿舎 木造 2F
　　プール25m 8コース、スライダー、幼児用
工　　期：1972.9～1973.6

施工　銭高組





# 神戸文化ホール

設　　計：神戸市住宅局営繕部 東畑建築事務所
所 在 地：神戸市生田区楠町４丁目
建築面積：　6,409.98m²
延 面 積：18,603.53m²
構造規模：RC(一部S)　B２、６F
工　　期：1972.1～1973.9

施工　鹿島建設



# 兵庫駅前市街地住宅

設　　計：日本住宅公団大阪支所、神戸計画局
　　東畑建築事務所
所 在 地：神戸市兵庫区羽坂通３－４
建築面積：5,434.22m²
延 面 積：住宅部分　23,986.39m²
　　施設部分　14,464.76m²
構造規模：SRC及びRC Ｂ１、20F、Ｐ２
工　　期：1971.4～1973.11

施工　鹿島建設



# 大阪合同庁舎第3号館

設　　計：建設省近畿地方建設局営繕部
所 在 地：大阪市東区大手前之町
建築面積：2,036.5m²
延 面 積：40,617m²
構造規模：(地上部分)純鉄骨造耐火被覆15F
　　(地下部分)SRC　3F　P3
工　　期：1970.8～1973.8

施工　銭高組



# 兵庫医科大学第二次

設　　計：西林建築設計事務所
所 在 地：西宮市武庫川町３－１
建築面積：３,８５７.４０m²
延 面 積：４３,０５７.４０m²
構造規模：B１、１３F(B１～１F：SRC ２F～１３F：S)
工　　期：１９７１.８～１９７３.８

施工　鹿島建設



# 高倉台市街地住宅B地区

設　　計：市浦都市開発建築コンサルタント
所 在 地：神戸市須磨区西須磨１－７
建築面積：　627m²
延 面 積：7,224m²
構造規模：SRC　14F
工　　期：1972.3～1973.8

施工　青木建設



# 近鉄上本町
# ターミナルビルディング

設　　計：村野、森建築事務所
所 在 地：大阪市天王寺区上本町６丁目１
延 面 積：39,362m²
構造規模：SRC　B４、12F　P４
工　　期：1971.2～1973.9

施工　大林組　大日本土木



# 全国勤労青少年会館

設　　計：日建設計
所 在 地：東京都中野４丁目２－48
延 面 積：50,983m²
構造規模：SRC　B２、21F
工　　期：1970.9～1973.1

施工　大林組　フジタ工業　佐藤工業



# 大和銀行桃山台体育館

所 在 地：吹田市桃山台５丁目４の３
建築面積：1,201.06 m²
延 面 積：2,717.103m²
構造規模：RC(一部S)　２F
工　　期：1972.12～1973.7

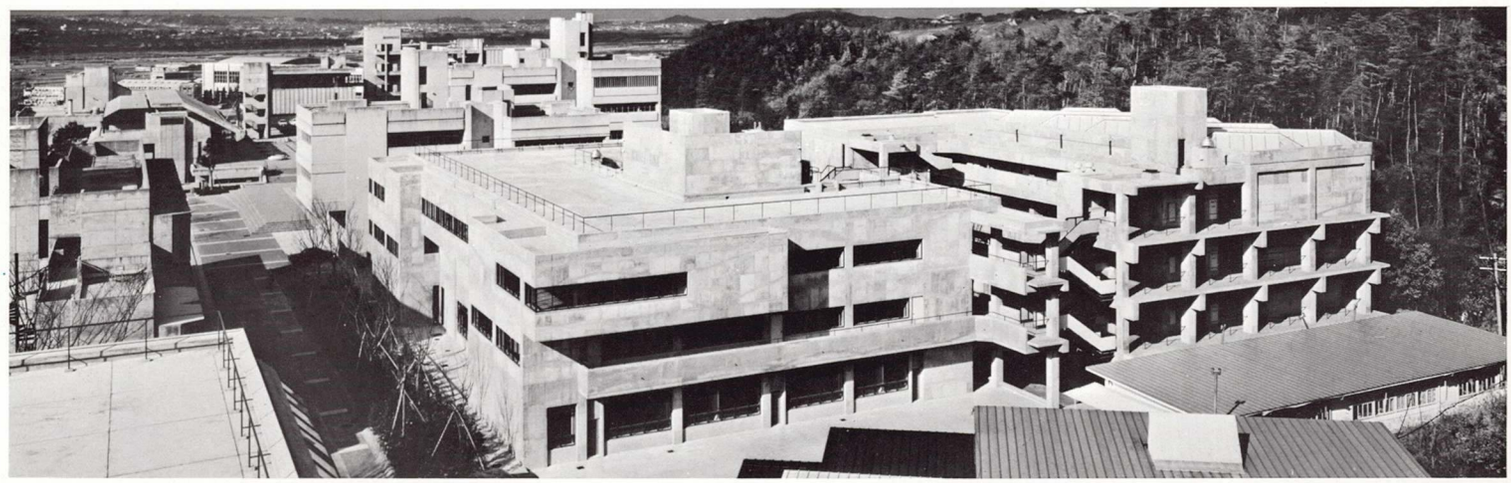
設計施工　大成建設

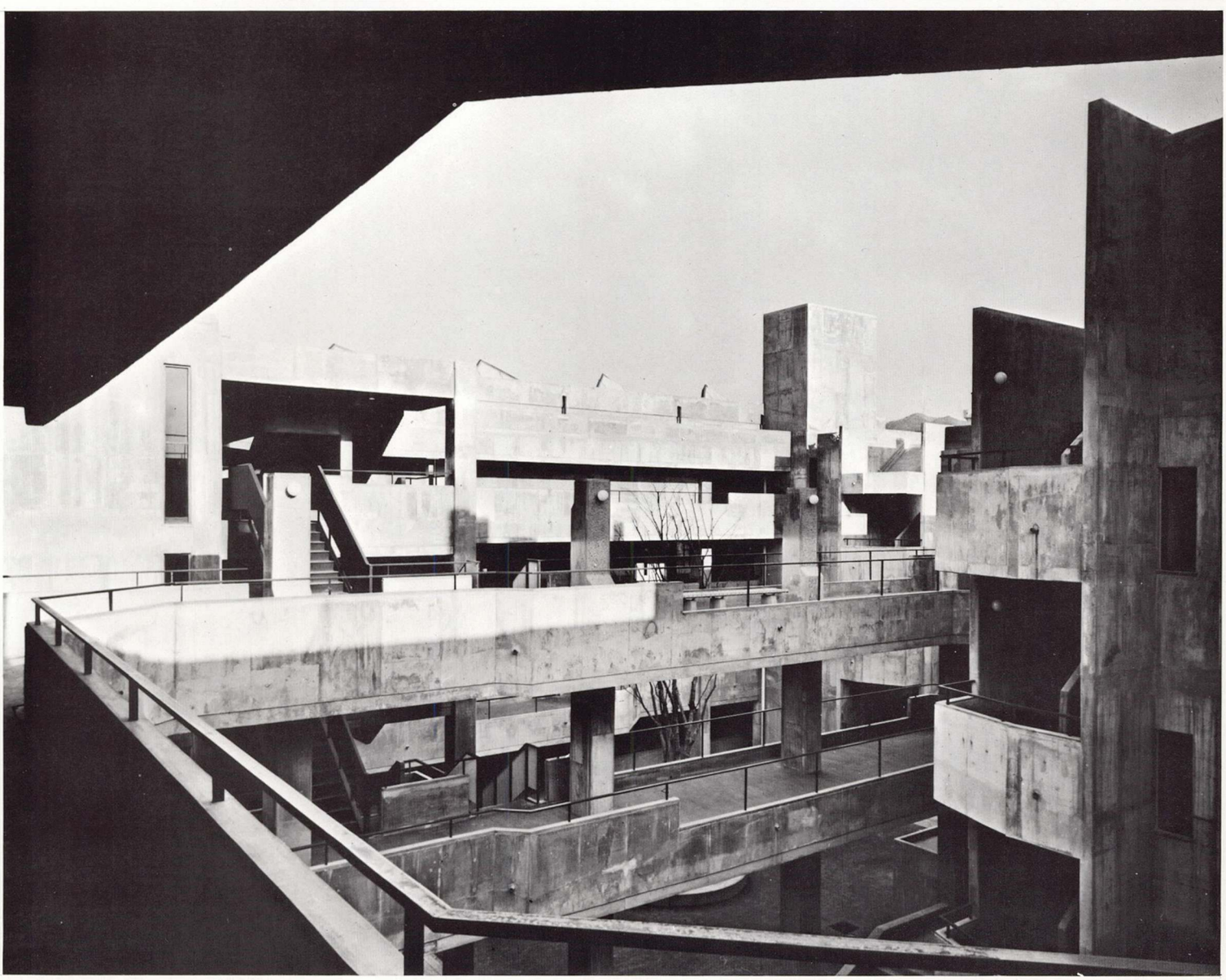


# 大阪芸術大学第7期

設　　計：第一工房
所 在 地：大阪府南河内郡河南町東山
建築面積：2,412.13m²
延 面 積：7,584.2m²
構造規模：ＲＣ 一部Ｓ
工　　期：1973.4～1973.11

施工　大成建設





# 伏見稲荷大社
# 九条御旅所奉安殿

設　　計：横河建築設計事務所
所 在 地：京都市南区西九条池の内町98
建築面積：519.36m$^2$
延 面 積：353.85m$^2$
構造規模：躯体RC　屋根S　ポリカッパーぶき平家建
工　　期：1972.11～1973.3

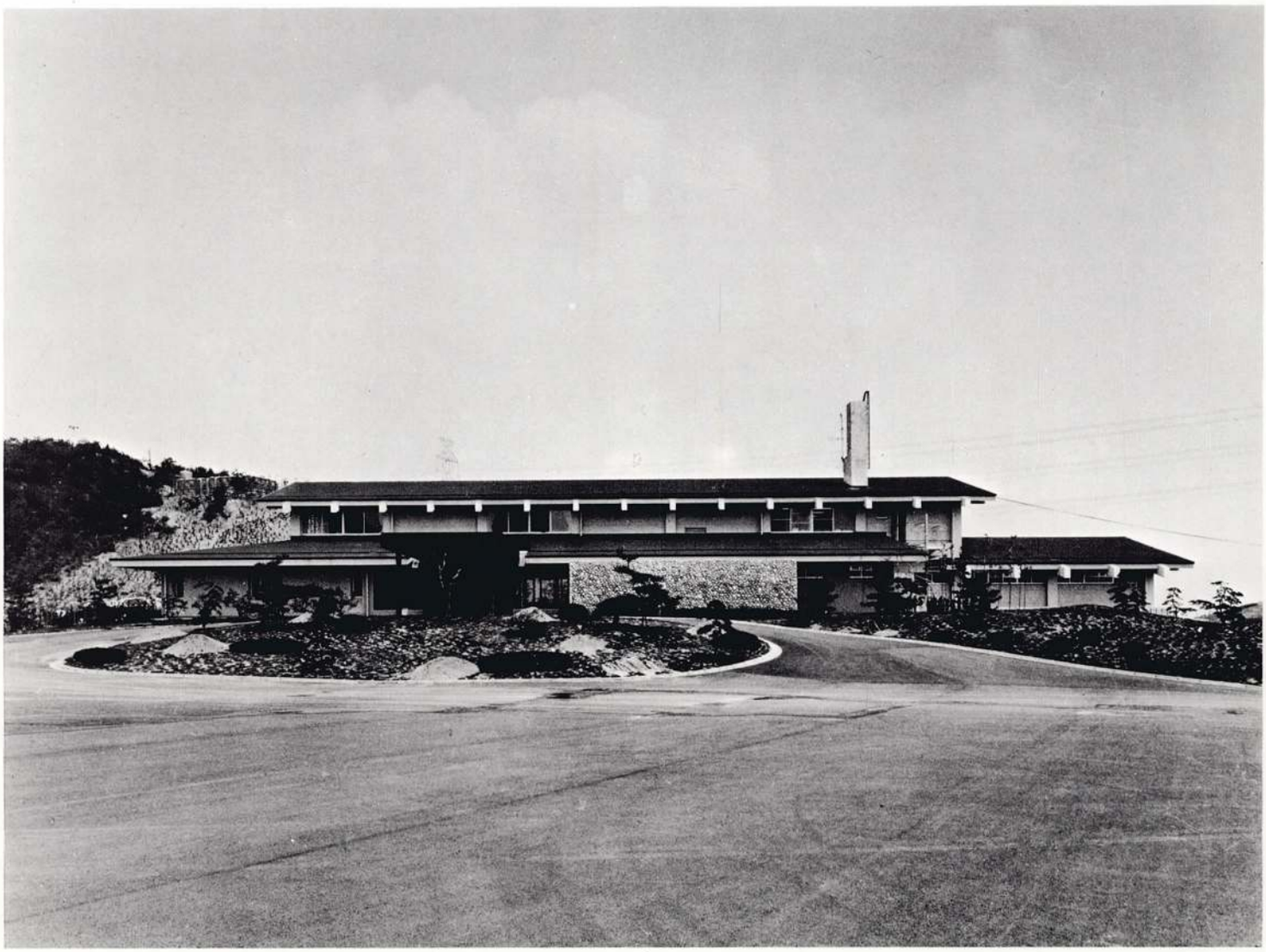
施工　西松建設



# 交野カントリークラブハウス

所 在 地：交野市倉治
建築面積：1,178.793m²
延 面 積：1,667.26m²
構造規模：RC　B1、2F
工　　期：1972.4～1973.3

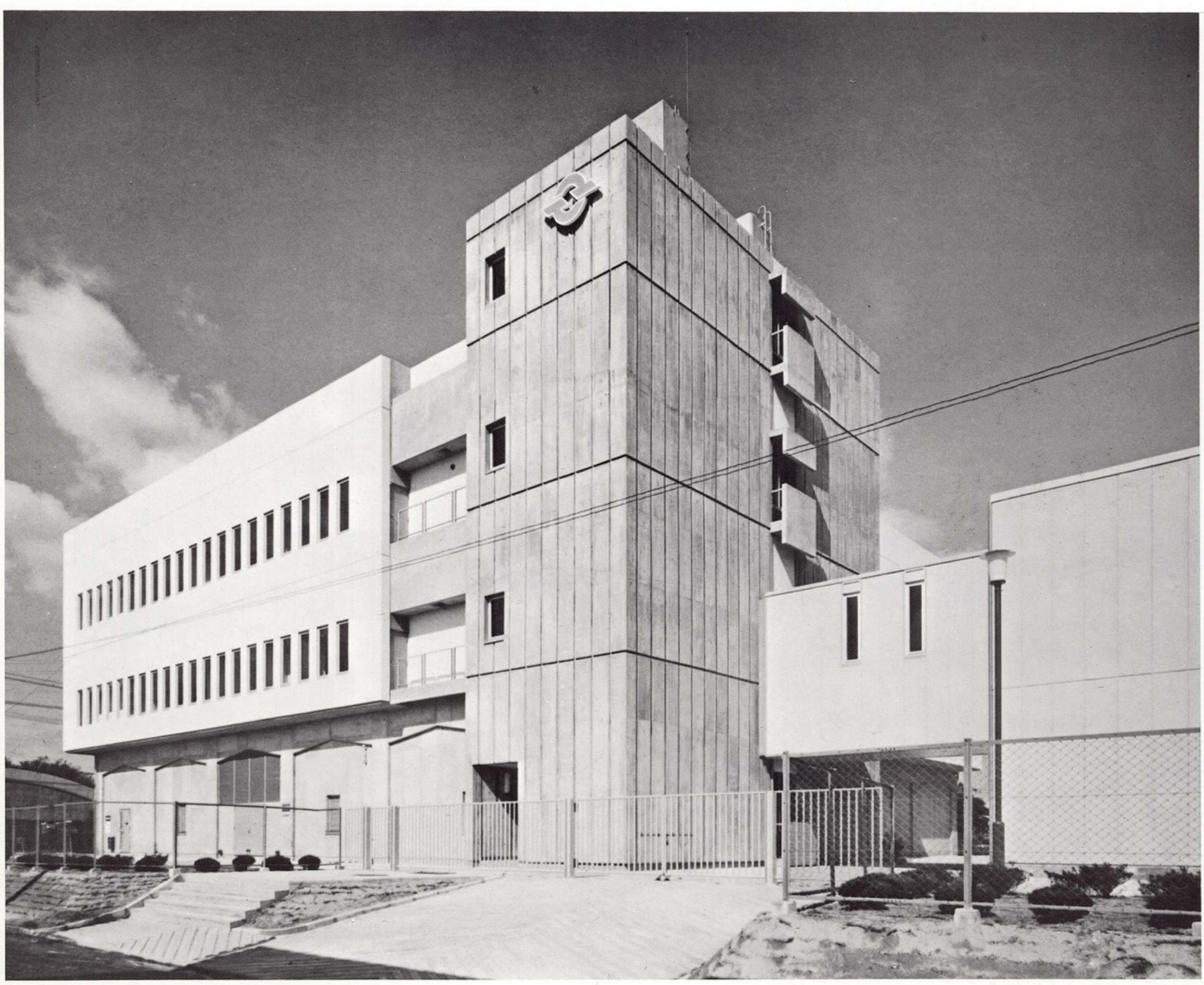
設計施工　西松建設



# 第二明石電話局

設　　計：近畿電気通信局第一建築部
所 在 地：兵庫県明石市大道町１丁目２７－56
建築面積：2,508m²
延 面 積：6,312m²
構造規模：局舎　SRC　３F　P１、事舎　S２F
工　　期：1972.4～1973.9

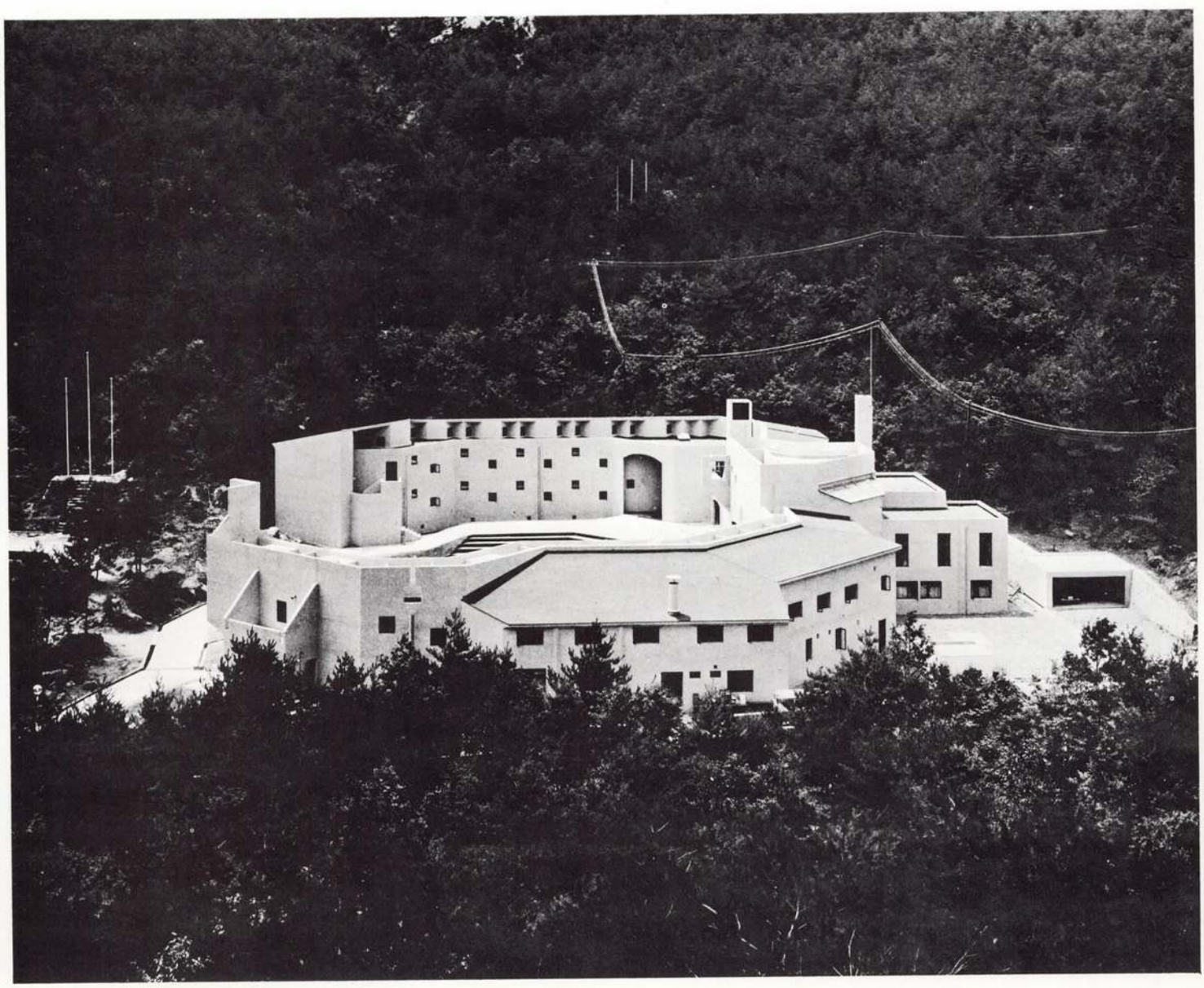
施工　間　組



# 豊中市立青少年野外活動センター
# 少年自然の家

設　　計：坂倉建築研究所
所 在 地：大阪府豊能郡能勢町宿野
建築面積：1,332m²
延 面 積：2,171m²
構造規模：RC　2F　P1、RC　B1、2F　2棟
工　　期：1972.9～1973.7

施工　間　組



# 東本願寺東山浄苑

設　　計：和興建築事務所
所 在 地：京都市東山区山科上花山旭山町８番地1,2,3
建築面積：5,826.02m²
延 面 積：12,842.02m²
構造規模：RC B1，２F（廟堂、管理棟）
　　SRC B1，１F（常楽堂）
工　　期：1972.4～1973.6

施工　熊谷組



# 大甲賀カントリークラブハウス

所 在 地：滋賀県甲賀郡甲賀町油日
建築面積：1,806.89m²
延 面 積：3,343.14m²
構造規模：RC　B1、2F
工　　期：1972.12～1973.9

設計施工　鴻池組



# 淡路信用金庫本店

所 在 地：兵庫県洲本市宇山町３丁目29の3
建築面積：1,328.556m²
延 面 積：6,004.712m²
構造規模：SRC　B1、8F　P3
工　　期：1972.4～1973.6

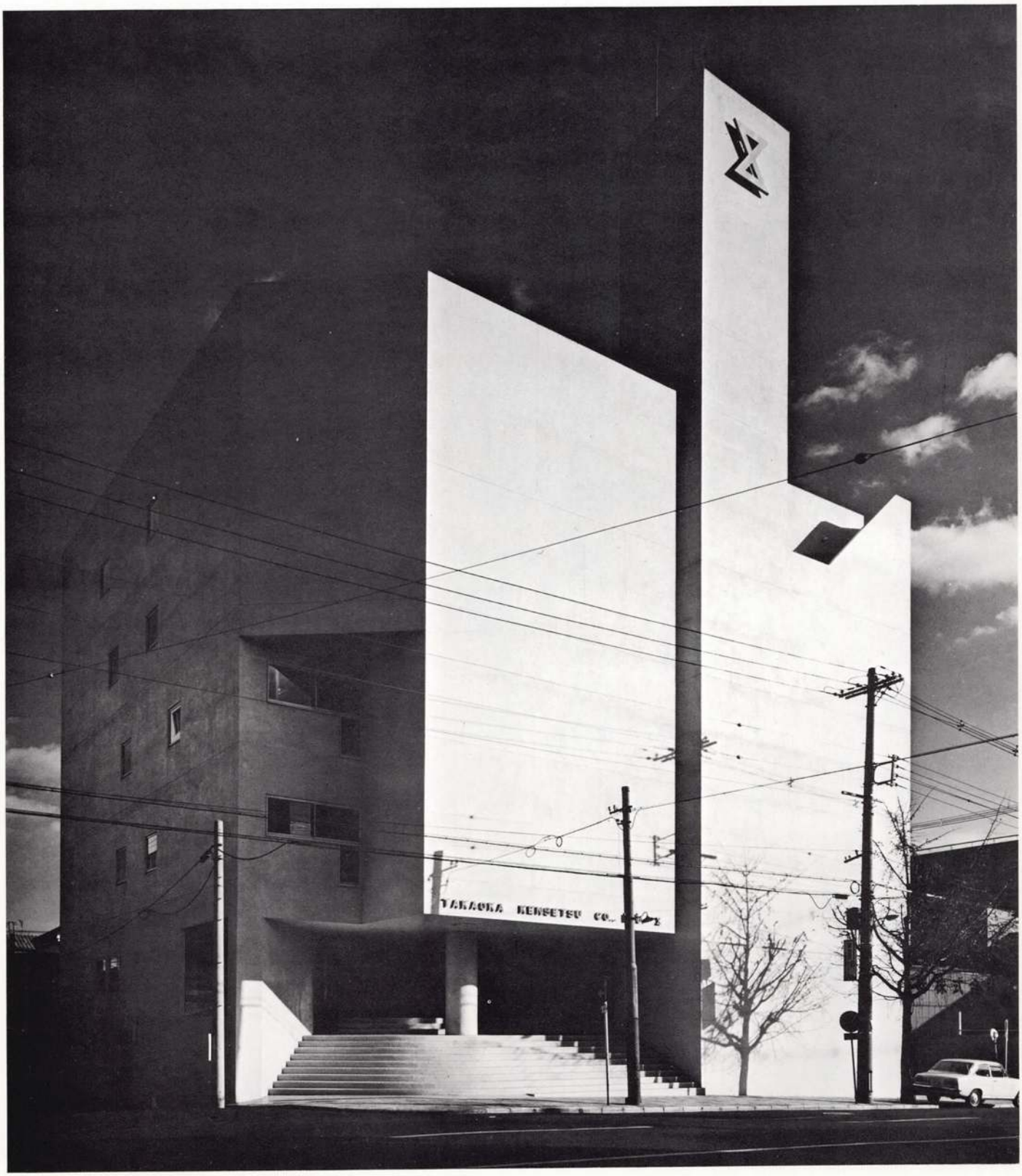
設計施工　清水建設



# 高岡建設本社ビル

所 在 地：大阪市西区南堀江通３－75
建築面積：　513.85m²
延 面 積：2,468.8 m²
構造規模：RC　６Ｆ
工　　期：1972.4～1973.4

設計施工　高岡建設



# 住友生命瓦町ビル

設　　計：日建設計
所 在 地：大阪市東区瓦町５丁目37番地
建築面積：　1,125.45m²
延 面 積：10,898m²
構造規模：SRC　B１、９F
工　　期：1972.1～1973.7

施工　戸田建設



# 三郎丸マンション

設　　計：田頭建築設計事務所
所 在 地：北九州市小倉区三郎丸１丁目22－２
建築面積：399.91m²
延 面 積：3649.27m²
構造規模：SRC　11F　P2
工　　期：1972.9～1973.6

施工　松村組



# オリエンタルモーター
# 豊四季事業所第2事務棟

設　　計：TAS建築事務所
所 在 地：千葉県柏市篠籠田1400
建築面積：1,000.84m²
延 面 積：3,100.56m²
構造規模：RC　4F　P1
工　　期：1972.2～1972.10

施工　不二建設



# リッチライフ有馬

施　　工：竹中工務店
所 在 地：神戸市兵庫区有馬町字滝畑1701
建築面積：1,605.72m²
延 面 積：7,513.35m²
構造規模：RC　B1、6F　P2
工　　期：1972.9～1973.9

設計　泉沢建築設計事務所



# 北堀江4－33ビル

施　　工：佐伯建設工業
所 在 地：大阪市西区北堀江通４丁目33
建築面積：　362.88m²
延 面 積：2,433.456m²
構造規模：RC　一部SRC
工　　期：1972.5～1973.3

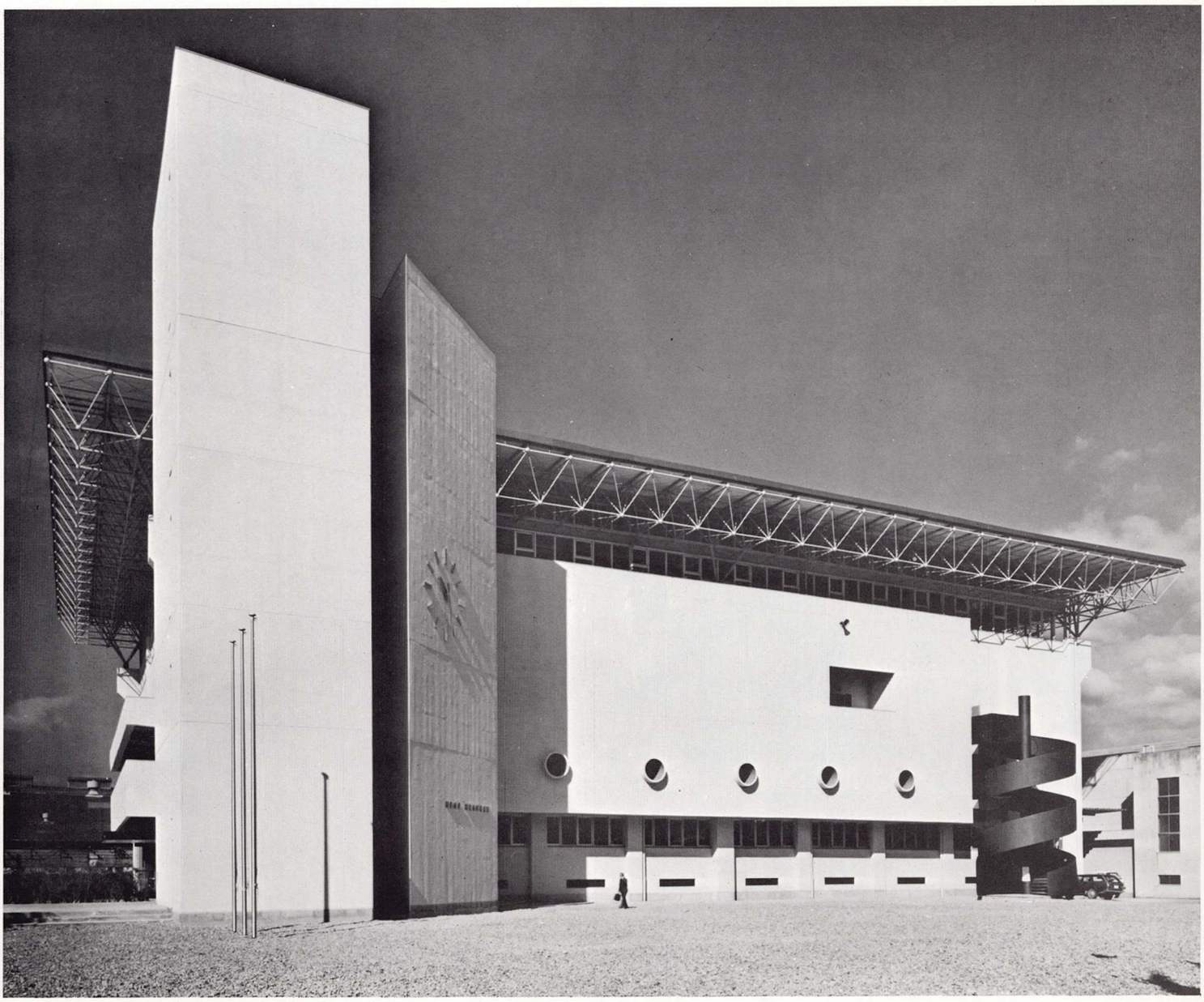
設計　田賀建築設計事務所



# 相生市立相生市民体育館

施　　工：フジタ工業
所 在 地：相生市旭町１丁目19番
建築面積：2,574m²
延 面 積：4,505m²
構造規模：RC　３F
工　　期：1973.1～1973.10

設計　昭和設計



# 大阪府南河内
# 府民センタービル

設　　計：大阪府建築部営繕工事課
施　　工：飛島建設、海原建設共同企業体
所 在 地：富田林市寿町２丁目６－１
建築面積：2,776.73m²
延 面 積：7,954.31m²
構造規模：RC一部S　B１、４F
工　　期：1971.10～1972.12

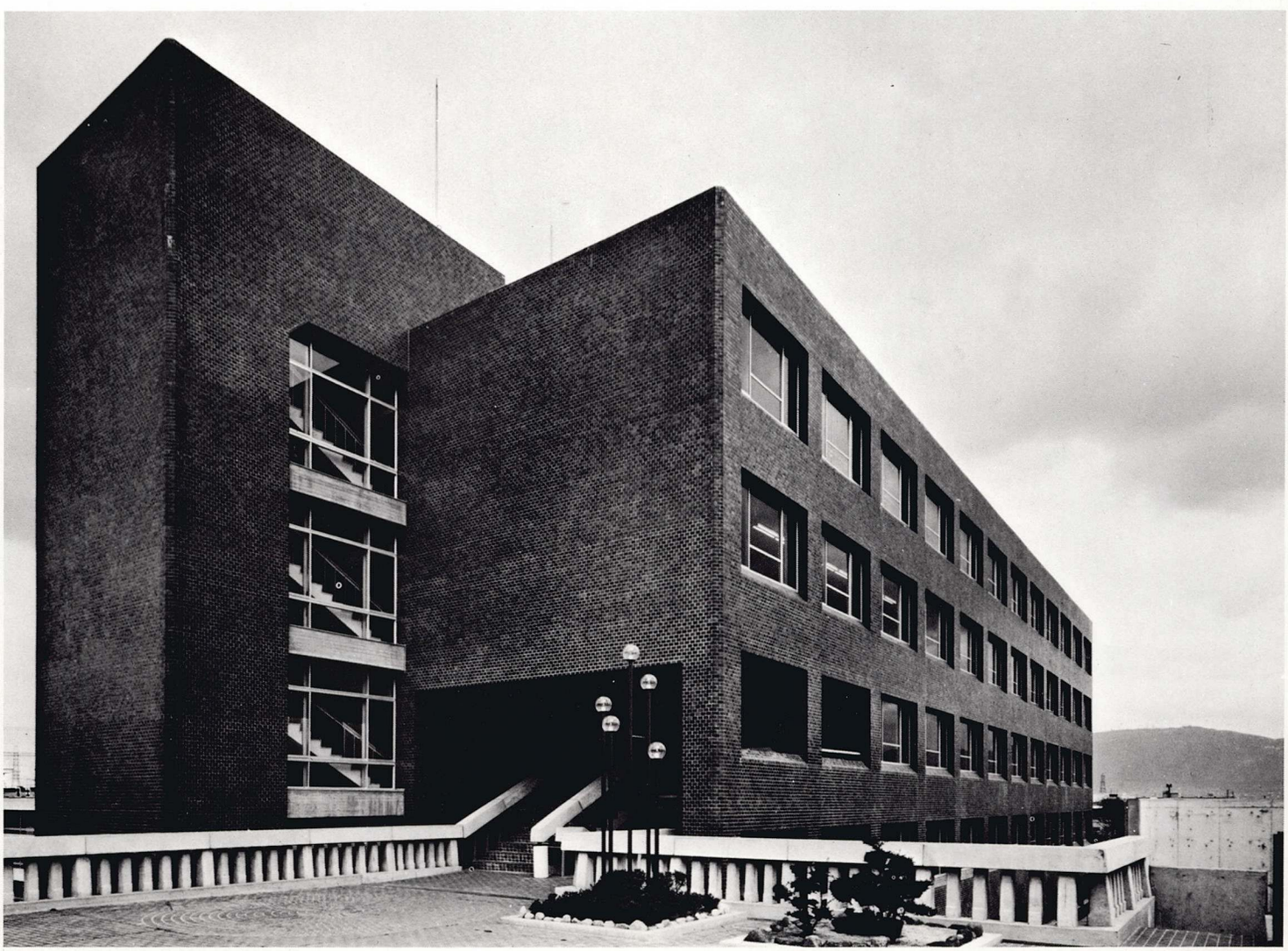
設計　大建設計



# 大阪商業大学新本館

施　　工：村本建設
所 在 地：東大阪市御厨327番地
建築面積：1,418.6m²
延 面 積：7,557.1m²
構造規模：RC　B2、5F
工　　期：1971.11～1973.3

設計　竹内建築事務所



# 徳島県立中央病院

設計　東畑建築事務所

設　　計：徳島県土木部建築課
　　東畑建築事務所
施　　工：西松建設
所 在 地：徳島市蔵本町１丁目
建築面積：　4,131m²
延 面 積：21,345m²
構造規模：SRC　B１、12F
工　　期：1971.1～1973.7



# 椿神社儀式殿

施　　工：有光組
所 在 地：愛媛県松山市居相町
建築面積：1,270.65m²
延 面 積：2,657.66m²
構造規模：SRC　3F
工　　期：1972.7～1973.2

設計　根津建築事務所



# 住友生命札幌ビル

施　　工：竹中工務店
所 在 地：札幌市中央区北５条西５丁目
建築面積：　3,268.96m²
延 面 積：36,369.71m²
構造規模：SRC　Ｂ３、23F　Ｐ１
工　　期：1970.10～1973.5

設計　日建設計



# 神戸信用金庫本店

施　　工：竹中工務店
所 在 地：神戸市生田区浪花町61番地
建築面積：　710.90m²
延 面 積：5,928.16m²
構造規模：B1、7F
工　　期：1972.10～1973.11

設計　安井建築設計事務所







# 世界のいいもの好きからマークされる 三菱バーリントン カーペット。

アメリカ、ヨーロッパを中心に、たくさんの国々で選ばれ、愛用されているバーリントン カーペット。日本では三菱バーリントン カーペットの名前で親しまれています。名実ともに世界の一流品です。〈ナイロン66〉を素材にした、ずば抜けた持ちのよさ、それに加えて10スタイル、104色という品数の豊富さは、他ではちよっと見当らない贅沢なカーペットです。お目の高いお客さまにも安心しておすすめください。あとあとまで喜ばれ、お店の信用を末永く継なぎます。

●ナイロン66を素材に、別註コントラクト用として製造してありますので維持費が割安となってきます。

●サイズは間取りにあわせて、自由にカットできますから、ムダがでず、経済的です。

Mitsubishi-Burlington
三菱 バーリントン

お問い合わせは……

**三菱バーリントン株式会社**

東京事務所　東京都港区六本木3丁目12番地　大昌ビル　〒106
電話・東京03(403)7641～5番

大阪事務所　大阪市北区中之島2丁目22番地　新朝日ビル　〒530
電話・大阪06(202)4091～5番

工　場　岐阜県養老郡養老町室原　〒503-13
電話・養老05843(2)3318・3319番

# 日本建築協会常設委員会・本年の抱負

## 編集委員会本年の抱負

編集委員長　彦谷邦一

本年こそ、社会情勢の急激な変化、とくに物価の高騰という現実の状況のなかで〝建築と社会〟誌のあり方にも根本的にメスを入れなければならない事態がくるものと思われる。いささかの減頁や広告費の増収を計るというようなことだけでは、とても解決し得ないと思われ、一方協会の財政の健全化を計るためにも真剣にそのあり方を会員の皆さんと、ともに考えたい。多年にわたって培われた編集方針を、私はむしろ大切に守っていきたいと思う一人ですが、現実はきわめて厳しく、かえって、これが契機となって叡智をしぼり、小粒ながらピリッとした雑誌に変るか、まさに私どもに与えられた本年度の課題であると思う。建築協会の本来の性格からいって、各層各年代の人々のコンセンサスの場として、とくに若い世代の人々がどしどし発言される場として、雑誌がよみがえること希っている。

## 住宅委員会本年の抱負

住宅委員長　小西　岬

第10回よろづ相談住宅展が、例年通り昨年７月５日より10日まで、阪神百貨店において開催され、予期の成果を挙げた。10回は一つの節であり、本年第11回を開く前に、過去の展覧会を振り返り、世間一般の人は何を求めているか、協会の行事として、会員やさらには社会に役立っているか、また会場を無償で提供されている阪神百貨店に、プラスになっているか等を、検討すべきである。一昨年来、委員会においてこの問題を取上げて討議し、本年度は新しい事業の企画小委員会を設け、小委員会委員を中心に委員全員で十分協議を重ね、つぎの結論を得た。

展覧会の相談は最近マンション問題が増えているので、今年の展覧会は、マンション関係をテーマとする方向で、今後細部を検討し、あわせてＰＲの方法も改善する。

## 建築データシート委員会本年の抱負

建築データシート委員長　井上　滉

建築データシートが発刊されましてすでに665シートとなりました。これも、会員諸兄のご支援と掲載会社のご協力の賜と、厚くお礼申し上げます。初期発刊のものの中には製品が変更中止になったものが多く、シートとしての役に立たないものがあり、これらの追跡調査が充分できなくて会員の皆様方へご迷惑をおかけしており申し訳けなく思っています。新規シートよりもこのような変更・中止になったシートの調査をして改訂シートを一日でも早く皆様方のお手許へ届けるべく努力致しております。今年も一層充実したいと委員一同頑張りたく思いますので、温い皆様方のご理解とご支援をお願い致します。

## 事業委員会本年の抱負

事業委員長　北垣智造

昨年は、委員各位のご努力と会員の皆様のご協力により、バラエティに富んだ行事を成功させることができたことをお礼申し上げます。生活基盤の充実の社会的要請により、建築事業の活発化の側面として、建築関係者は、常により高い研鑽と思案を要請されています。私達は、そのためのふさわしい場を提供し、さらに会員相互のコミュニケーションを一段と深めることができるよう、会員の皆様の期待をくみあげて、きめ細かい企画をたててまいりたいと考えております。また建築が、一般社会と深い関りのあるものとして、一般社会への啓蒙にもより努めなければなりません。

事業委員会の各行事が、〝建築を通じて社会に貢献する〟という協会の意義に適った活動となるよう念願しております。よろしくご指導のほどお願い致します。

## 出版委員会本年の抱負

出版委員長　小林　清

昭和47年２月に刊行いたしました「建築基礎工法と実例」は、教育委員会はじめ会員各位のご協力により昨年６月頃ほとんど売りつくすことのできましたことを厚くお礼申し上げます。引続き会員各位のお役にたつ図書出版について委員会で検討いたしておりますが、目下、神戸大学工学博士山田稔先生に「鉄筋コンクリート構造物の耐震安全性（実例を網羅して）」のご執筆をご依頼いたしておりますので、本年中に出版の運びといたしたいと考えております。

## 建材委員会本年の抱負

建材委員長　山田幸一

堀内先生の後をうけ、昨年４月から山田が委員長に就任。元木・牧田両氏に副委員長をお願いしている。本委員会は従来から官公庁・建築事務所・建設業および大学・研究所など幅広い範囲の委員を網羅し、その時々に最も注目をあびている材料、あるいは緊急に解決を要するような問題点を含んでいる材料を採り上げ、そのメーカーあるいは施工者を招いて討論を重ね、必要に応じ工場・現場などの見学を行っている。また会員から協会に対し材料に関する質問が寄せられると、委員会で担当者を定め、それに対する解答をすることになっている。

本年も以上の方針を踏襲していきたいが、委員会の活動成果をできるだけ多くの会員に知って貰う意味で、本誌「技術の頁」などを通じての報告を遅滞なく行うように留意し、また広く情報を集めるために関連委員会との交流を図り、共同の見学会なども企画したいと思っている。

## 教育委員会の抱負

教育委員長　谷口尚武

昭和48年における教育委員会の活動は低調の一語につきるものであったと恥かしく思っている。いいわけがましいが、協会の財政危機感が新しい企画にとりくむ勇気を失わせたことが低調の一因でもあった。今年も当協会の財務状況が目ざましく改善されることは期待できないが、だからといっていつまでも低調をつづけているわけにはゆかない。恒例となっている行事については、内容をもう一度、見直し、参加者に、より一層の満足を与えるものとし、来年度の参加者激増につながるようにしたい。また、とくに若い会員が求めているものに焦点をあわせた新企画を、少なくとも一つは実行したいものと思っている。

以上が教育委員会のまことにささやかな本年の抱負である。

## 法規委員会の抱負

法規委員長　市川　宏

昨年末をもって新用途地域制も足並を揃え、改正基準法も一応軌道にのったかにみえたが、一方で日照問題等、住民紛争の多発とともに、法規はますます複雑化するものと思われる。従来とも法規の複雑化に比例して、造る側も、時には規制する側も法に追われあるいは法を追っかけるのに夢中になって、かんじんの法の精神の理解に欠ける憾みがあったことは否定できない。ましてや法の性格の変りつつある今、法によってしばられる、しばるという考え方は切り替える必要があろう。

この観点から法規委員会としてもこの際何らかの方向転換をなすべき時期にきていることを痛感し、今後は官庁、業界の接点にたつパイプ役として、一方通行でなく双方のお役にたてる委員会としての機能を果すよう努力していきたい。会員の皆様のご協力をお願いします。

## ◀日本電々公社湊川市外電話局新築工事の見学会

**共催　日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部**

最近急激に膨脹する都市の経済圏と、生活圏の拡大に対応するために、日本電信電話公社が長期の展望に立って企画し、近く竣工されることになった湊川市外電話局は、神戸でのタンデム局として、最新の技術を結集した装備を完成し、市民へのよりよいサービスを開始するのは昭和51年の予定と聞いております。

この工事の特徴としては、コア外壁のタイルを打込工法で実施しているということで、会員諸氏には大いにご参考になるものと、ご施工中の大林組殿のご斡旋により、建築3団体の共催で、この建物の竣工直後に見学会を催すことにいたしました。多数ご参加をお待ちいたします。

**日　　時**　昭和49年 1 月19日(土)集合14.00→解散16.00

**集合場所**　神戸市兵庫区大開通3－1
湊川市外電話局正面玄関付近・目標会旗（ただし、阪神、阪急電車「新開地」駅：高速神戸の次：下車一番西寄りの地下道から地上へ。真すぐ西へ300ｍの所の浜側。）

**定　　員**　100名（本会割当40名）

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがき1枚に1名限りとし、氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月12日(土)までに事業課へ。ただし定員を超過した時は抽せんにて決定し、ご通知いたします。
共催の場合は重複のお申込はご遠慮願います。

工事概要
所在地　神戸市兵庫区大開通3－1
建築主　日本電信電話公社
設計　同上
施工　株式会社　大林組
構造　ＳＲＣ造、地上９Ｆ、地下２Ｆ、塔屋２Ｆ
建築面積　1,509.61㎡
延面積　16,925.63㎡
高さ　軒高45.00ｍ　最高部 53.60ｍ
掘さく深さ　16.28ｍ
基礎　ベタ基礎
外部仕上げ　人工軽量骨材ＰＣ版にタイル打込み
コアー部外壁は躯体にタイル打込み
地下工法　地下連続壁を構築して、地下壁体の一部とし、地下工事中の土止め壁ともした。
工期　昭和46年11月26日→昭和49年１月10日

**●興味をもっていただきたい点**（大林組湊川工事事務所長より）

コア外壁のタイルを打込工法で実施いたしました。

この建物の外装は45×95の磁器質タイル張ですが、その中、ＰＣ版が4,500㎡、コアー部打込みが3,000㎡あります。ＰＣ版への打込はもう常識になっておりますが、躯体への打込みは試用の域を出ないのが現状です。

日本電々公社では、非常な勇気をもって躯体への打込みを採用され、種々研究の結果上記 3,000㎡を打込工法一発目地で実施しました。直ちに一発目地とは飛躍しすぎかとも思いましたが、敢えて実行いたしました。

一発目地と化粧目地との得失は多々あるかもしれませんが、見学の上ご批判願えれば幸いです。

## ◀日本不動産銀行大阪支店（不銀ビル）新築工事の見学会

大阪のメインストリート御堂筋の心斉橋に、外装キャストアルミで各階東西にバルコニーを設け、余裕ある空間を有する高層ビルが近く誕生いたします。この不銀ビルは銀行の営業並びに事務室として使用され、近代設備の粋を集めておられ、また一部貸事務所の施設があります。

今回は三菱地所殿、鹿島建設殿のご厚意とご斡旋で見学いたします。多数ご参加下さい。

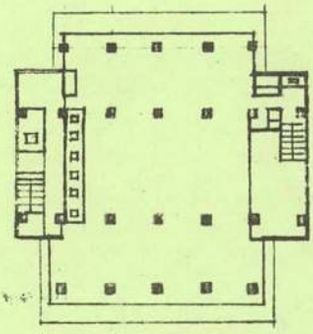
**日　　時**　昭和49年 1 月26 日(土)集合14.00→解散16.00

**集合場所**　地下鉄御堂筋線「心斉橋」駅下車、南西出入口より北へすぐ。不銀ビル正面玄関付近・目標会旗

**定　　員**　40名

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがき１枚に１名限りとし、氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上１月21日(月)までに事業課へ

工事概要
所在地　大阪市南区鰻谷西之町６
建築主　株式会社不銀ビル、日本不動産銀行株式会社
設計監理　三菱地所株式会社
施工　鹿島建設株式会社
敷地面積　2,293.867㎡
建築画積　2,080.930㎡
延面積　26,145.440㎡
規模　地下３Ｆ、地上16Ｆ
構造　地下３Ｆ　ＲＣ造、地下２Ｆ→２Ｆ　ＳＲＣ造
３Ｆ～16Ｆ　Ｓ造
高さ　軒高　ＳＧＬ＋65.160ｍ　最高部高　ＳＧＬ＋71.770ｍ
外装　キャストアルミ
工期　昭和47年４月１日→昭和49年１月31日
主要施設　銀行営業室、銀行事務室、貸事務室
駐車場（地下３Ｆ→地下１Ｆ）75台



## ◀灘の清酒「白鶴」の酒蔵を見る会

灘五郷の一つである御影郷に生まれた清酒ハクツルは遠く寛保3年(1743年)から代々嘉納家の当主により、苦心を重ねて醸造され、引きつがれてきた銘酒です。

本年は白鶴酒造株式会社殿のご厚意と竹中工務店神戸営業所殿のご斡旋により、古い伝統と最新の設備から品質を誇る清酒「白鶴」の工場を見学することにいたしました。恒例の酒蔵見学に多数ご参加下さい。

**日　　時**　昭和49年 1 月29日(火)集合13.30→解散16.00

**集合場所**　阪神電車、神戸線「御影」駅、改札口付近・目標会旗
(ただし集合場所までの交通費は各自負担のこと)

**見学場所**　神戸市東灘区住吉南町4丁目5－5
白鶴酒造株式会社（ＴＥＬ078－841－4101）

**見学時間**　14.00→16.00
映画観賞後、2号工場・3号工場その他を見学

**定　　員**　50名

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りで、「白鶴酒造」の見学会と明記し、氏名・勤務先名及所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月21日(月)までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し、ご通知いたします。

### 第8回若い会員の集い・伝統工芸をみる会(第3回)
## ◀「吉野の紙すきと史跡を見る会」

吉野地方の国栖(くず)郷に昔ながらの和紙をすく家々があります。美しい吉野川のほとり、山深い里に定着した人々は、素朴な紙すきのわざを伝え、日本の伝統工芸をこんな田舎にも、脈々として守っているのです。

この地の風土は、付近に在る宮滝の遺跡を含め、かずかずの歌が万葉集に詠まれ、義経と静御前のロマンが語られ、文豪谷崎の「吉野葛」の舞台を生みだしたのです。

一方、花で代表される吉野山は南北朝時代の史跡に恵まれ鎌倉期を中心とした古い木造建築が点在しております。

今回は〝日本の伝統工芸をみる会〟のシリーズの一つとして一泊での見学会を企画いたしました。若い方はもちろん、年配の会員諸氏の多数ご参加をお待ちします。

**日　　時**　昭和49年 2 月 9 日(土)・10日(日)……1泊2日

**集合場所**　奈良県吉野町・吉野山・吉野山荘（宿舎）

**集合時間**　午後4時～5時（ＴＥＬ07463－2－3053.5051）

**定　　員**　40名

**会　　費**　4,000円(宿泊料・昼食代・帰路バスほか別に補助あり)
(ただし吉野山荘までの交通費は各自負担のこと)

「参考」● 9日(土)午後は自由行動にいたしますので、集合時間までに宿舎へお集り下さい。

● 電　　車　近畿日本鉄道・阿倍野橋発「吉野行」特急乗車毎時丁度、1時間毎に発車しております。
所要1時間10分（料金特急券共片道 470円）

● ロープウエイ　吉野駅——(5分)——吉野山（特急時間に接続・料金片道80円）

**行　　程**

9日(土)　17.00→吉野山荘集合→受付、入浴(入浴時間16.00～21.00)
18.00→20.00・夕食懇親会・ミーティング……1泊

10日(日)　9.00→吉野山荘出発
9.00→11.00……自由行動・徒歩にて吉野山史跡見学
(蔵王堂・吉水神社・如意輪寺など……)
11.00→12.30昼食、休憩・辰巳屋
12.30　出発（貸切バス）→13.10　国栖着
13.30→15.00　国栖の紙すき見学
15.00出発　途中宮滝遺跡などを見学したあと→
18.30　大阪・アベノ橋着・解散

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがき1枚に1名限りとし、「吉野の紙すき見学」と明記の上、氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月26日(土)までに事業課へ。ただし貸切バスの都合上定員を超過した時は抽せんにて決定し、お知らせします。

● この企画にあたり、野村建設工業㈱殿に多大のご厚意とご援助をいただきました。

● 国栖の紙すきは、以前は大へん盛んでしたが、現在では19軒の家々が従事しているにすぎません。表装紙を初めとして、各種の草木の汁で染めた和紙には、味わいのある色調が見られます。紙をすいている家は農家といった感じで多人数の見学には適しませんが、わかれて数軒を見学することになります。

9日夜の宿舎におけるミーティングには吉野地方の民俗、歴史にくわしい講師をお招きし、懇談を兼ねた楽しいひとときを過ごす予定にしております。

## ◀会員の受章

このたび下記会員諸氏は、秋の叙勲ならびに国家褒章を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

**秋の叙勲**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 勲三等瑞宝章 | 地引 | 友次氏 | 元文部省大阪工事事務所長 |
| 勲四等旭日小綬章 | 井上 | 淨夫氏 | ㈱井上淨夫商店社長 |
| 〃　〃 | 松村 | 雄二氏 | ㈱松村組社長 |
| 〃　瑞宝章 | 神谷 | 新一氏 | コクヨ㈱取締役 |
| 勲五等双光旭日章 | 飯塚 | 源吉氏 | ㈱壽工務店取締役 |

**国家褒章**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 黄綬褒章 | 浅海 | 正雄氏 | 浅海電気㈱社長 |
| 〃 | 伊藤 | 一郎氏 | ㈱明和工務店社長 |
| 〃 | 高須洪一郎氏 | | ㈱朝日工業社社長 |
| 藍綬褒章 | 井上 | 利行氏 | ㈱淀川製鋼所社長 |
| 〃 | 水野 | 金市氏 | 中部工業大学教授 |
| 〃 | 坂東 | 依彦氏 | 関西ペイント㈱社長 |

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 安部　章

松下電器産業株式会社　特機営業本部
〒571 大阪府門真市門真１００６　電話06(908)1121

## 安部恒夫

安部建設株式会社　取締役社長
〒558 大阪市住吉区西住之江町3丁目23番地　電話06(678)3212代
〒558 自宅・大阪市住吉区西住之江町3丁目23番地　電話06(671)7774

## 阿部貞市

株式会社大気社　常務取締役技術本部長
〒530 北区中之島２－２２ 新朝日ビル　電話06(203)3721
〒660 自宅・尼崎市椎堂法師丸81－５　電話06(491)0829

## 阿部暢

東洋土建株式会社　取締役社長
〒546 大阪市東住吉区田辺東ノ町６丁目33　電話06(692)1331～5
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺本町３丁目188　電話06(629)0780

## 会長 青島憲輔
## 代表取締役 青島邦夫

株式会社青島設計室
〒450 本社事務所・名古屋市中村区米屋町２埼玉ビル
電話052(582)7171大代
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋茅場町2丁目6　千歳ビル
電話03（666)5021代

## 青盛繁男

青盛建材株式会社　取締役社長
〒733 広島市舟入幸町19－10　電話0822(92)3200
〒734 自宅・広島市翠町１５０７の１０　電話0822(51)6730

## 青柳不折

株式会社　岡本組　取締役社長
〒542 本　社・大阪市南区鰹防町25番地
電話06(252)8101代
〒557 大阪支店・大阪市西成区玉出西１丁目７番10号
電話06(651)7775代
〒151 東京支店・東京都渋谷区富ヶ谷１丁目35番22号
電話03(460)9621代

## 青山正義

株式会社二葉建築設計事務所
有限会社青山建築積算事務所　取締役所長
〒550 大阪市西区江戸堀1-128(江南ビル)　電話 設計06(443)0598 積算06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市右京区大原野上里勝山町14-6　電話075(331)8082

## 赤崎尚信

株式会社　赤崎建築事務所　代表取締役
〒550 大阪市西区立売堀北通1の90 第三富士ビル
電話06(541)7625代
〒659 自宅・芦屋市三条町47番30　電話0797(31)8781

## 赤松修

株式会社赤松菅野建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区梅ヶ枝町123瑞穂ビル　電話06(364)5651代
〒560 自宅・豊中市千里園２丁目２～33　電話06(852)4622

## 浅井貞治

株式会社双星社竹腰建築事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区豊宮町3番2住生豊崎ビル　電話06(373)2281
〒659 自宅・芦屋市東山町213 ローズハイツ芦屋406号　電話0797(31)2339

## 浅野真澄

株式会社　浅野建築設計事務所　代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町９－27　電話06(768)0201
〒572 自宅・寝屋川市成田西町４番21号　電話0720(31)1750

## 浅沼猪之吉

株式会社　浅沼組　取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町８番地の１　電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市学園南1丁目7番15号　電話0742(45)0681

## 浅沼誠夫

株式会社　浅沼組　常務取締役
〒543 大阪市天王寺区東高津町８番地の１　電話06(768)5222
〒630-02 自宅・生駒市東松ケ丘7番30号　電話07437(3)4805

## 浅海正雄

浅海電気株式会社　取締役社長
大阪市北区老松町１丁目22　電話06(362)8701～8

## 東輝夫

株式会社　三国タイル店　代表取締役
〒565 吹田市津雲台７丁目20番地　電話06(832)1101代
〒565 自宅・吹田市藤白台2丁目28－14号　電話06(872)3256

## 東秀保

株式会社　東建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区天神橋筋３丁目67　マチスビル
電話06(358)5598
〒572 自宅・大阪府寝屋川市成田町15－25
電話0720(31)3986

## 姉川正男

東光電気工事株式会社　大阪支社　取締役支社長
〒540 大阪市東区高麗橋5丁目28番地　電話06(202)0325
〒565 自宅・吹田市藤白台４の30の12　電話06(872)3214

## 網野栄

株式会社　研文社　代表取締役
〒530 大阪市北区堂山町66　電話06(361)0351代

## 安藤俊雄

安藤俊雄建築設計事務所　所長
〒540 大阪市東区常盤町2の30高木産業ビル　電話06(942)4602～3
〒560 自宅・豊中市上野西２丁目16－29　電話06(856)0619

## 井川忠三郎

株式会社　間組大阪支店　取締役副支店長
〒541 大阪市東区瓦町５－２０－１　電話06(201)2751
〒664 自宅・伊丹市鈴原１－５－１　電話0727(73)0575

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 井崎梁次

株式会社 井崎工務店 代表取締役
〒640 和歌山市北河岸４丁目１番地 電話0734(24)5195代
〒640 自宅・和歌山市玉藻丁２丁目５番地
電話0734(22)0382

## 井上博

株式会社 井上博設計事務所 代表取締役
〒107 東京都港区南青山２－11－15 電話03(401)7177代
〒154 自宅・東京都世田谷区弦巻3－6－18 電話03(420)1001

## 五十嵐昇

(資)三共建築設計事務所 所長
名古屋市中区下前津町１２６ 電話052(321)9591代
自宅・名古屋市中区下前津町126 電話052(321)3654

## 井手正雄

社団法人 日本建築協会京都支部 支部長
〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
電話075(211)2857

## 井上福藏

株式会社 井上組 代表取締役
〒534 大阪市都島区網島町６番25号
電話06(352)4031～4・06(351)1530
〒577 自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号 電話0729(81)2526

## 生島道春

日積工務株式会社 代表取締役
〒542 大阪市南区大宝寺町東之丁20番地 宇野ビル内 電話06 (251) 3195
〒460 名古屋支所・名古屋市中区錦２丁目９－25 豊島第２ビル３階
電話052 (221) 7561代
〒810 福岡支所・福岡市中央区天神３丁目３－14 梅居ビル
電話092(77)6877代

## 井上秋次

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町40番地 電話06(771)2825～7
〒659 自宅・芦屋市川西町４番23号 電話0797 (22) 5930

## 井上達明

株式会社 井上達明建築事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区鶴野町51番地 安田ビル 電話06(372)2821 代
〒555 自宅・大阪市西淀川区竹島３丁目７の４
電話06(473)1069

## 生田重政

日本建設株式会社 取締役社長
〒541 大阪市東区安土町４丁目５番地 電話06(261)7591～6
〒659 自宅・芦屋市朝日ヶ丘２２番１１号 電話0797 (23) 0657

## 井上淨夫

株式会社 井上淨夫商店 代表取締役
〒550 大阪市西区江戸堀１の１０１ 電話06(441)8531
〒663 自宅・西宮市甲子園三番町９の５ 電話0789(41)4661

## 代表取締役 伊東正也
## 取締役 竹原永一郎

株式会社 伊東建築設計事務所
〒556 大阪市浪速区幸町通2丁目6番地 清光ビル 電話06(562)4343

## 池田昭

株式会社 池田宮彦設計事務所 代表取締役
〒542 大阪市南区瓦屋町三番丁68 オートセンタービル３階
電話06(761)0360
〒591 自宅・堺市東上ノ芝町２丁321 電話0722(52)7753

## 井上正一

名古屋建築設計事務所 所長
〒453 名古屋市中村区椿町4の28 国鉄会館内 電話052(452)1271大代
052(451)2025直通
〒464 自宅・名古屋市千種区下方町４の30 電話052(711)９４００

## 伊藤喜三郎

株式会社伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長
〒102 東京都千代田区紀尾井町3番地 文芸春秋ビル 電話03(263)1481代～7
〒141 東京都品川区東五反田3-16-55 電話03(441)5437

## 諫早信夫

フドウ建研株式会社 社長
〒104 東京都中央区銀座４－２－２ 弥生ビル
電話03(561)3581
〒157 東京都世田谷区南烏山２－18－４
電話03(300)3705

## 井上滉

株式会社 大建設計 理事・技師長
〒550 大阪市西区京町堀２－75 電話06(441)9351
〒557 自宅・奈良市あやめ池南４丁目11番28号
電話0742(43)5632

## 伊藤三郎

大栄電気株式会社大阪支店 専務取締役支店長
〒550 大阪市西区京町堀２の３５ 電話06(443)0631
〒560 自宅・豊中市北桜塚３－８－７ 電話06(854)7747

## 石井茹

東洋基礎工業株式会社大阪営業所 取締役営業所長
〒550 大阪市西区京町堀1丁目156 中谷ビル
電話06(441)6678～9
〒565 自宅・大阪府豊中市新千里北町3丁目1番地
新千里北町第三団地C40の204 電話06(872)3050

## 井上久雄

株式会社 井上久雄建築設計事務所 代表取締役所長
〒550 大阪市西区京町堀１－38千島ビル 電話 企画部06(443)7386
設計部06(443)7338
〒565 自宅・吹田市青山台３丁目20番７号 電話06(831)3256

## 飯田精次郎

共同設計株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区富田町９ 電話06(364)5836
〒150 東京事務所・東京都渋谷区渋谷1丁目10番地1号 電話03(407)0912
03(409)1837
〒560 自宅・豊中市本町２丁目２－２４ 電話06 (852) 5775

## 石上利吉

株式会社 不二建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区江戸堀北通1-19オカダビル 電話06(441)2232～3
〒662 自宅・西宮市枝川町６ 22－202 電話0798(48)9070

# 謹賀新年

昭和４９年元旦

(50音順)

## 石川 寛三
## 石川 宏

石川建築事務所

〒543 大阪市天王寺区茶臼山１１１ 電話06(779)9491～2
〒665 自宅・兵庫県宝塚市雲雀丘山手1丁目5番1号 電話0727(59)2963

## 磯道 秀夫

太平建設株式会社 代表取締役

〒790 愛媛県松山市味酒町2丁目13番地17 電話0899(21)2023
〒790 自宅・松山市味酒町２丁目13―16 電話0899(21)2023

## 今井 正隆

有限会社三和建築事務所 代表取締役

〒536 大阪市城東区古市北通5丁目40(川端ビル) 電話06(939)9903代
〒573 自宅・大阪府枚方市香里ケ丘1丁目22 電話0720(54)4630

## 石川 清

日星企業株式会社 取締役建築部長 兼技師長

〒530 大阪市北区万才町４７番地 電話06(312)4631
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺東之町1ノ56 電話06(717)2915

## 板井正彦

西松建設㈱大阪建築支店 取締役支店長

〒540 大阪市東区釣鐘町２丁目４１番地 電話06(942)1131
〒661 自宅・尼崎市東園田町3-78-2 東園荘 電話06(491)9635

## 今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江通２丁目47番地 電話06(541)3051～3
〒550 自宅・大阪市西区北堀江通2丁目47番地 電話06(541)３０５４

## 石川良興

日本冷熱工産株式会社 取締役社長

〒564 吹田市豊津町４０番３８号 電話06(387)2000
〒560 自宅・豊中市蛍ケ池東町4丁目7番12号 電話06(841)0032

## 板垣精治郎

株式会社 板垣建築事務所 代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区日本橋筋４丁目３の29番地 電話06(633)7535
〒558 自宅・大阪市住吉区北島町６ 電話06(685)0858

## 今西壽雄

株式会社 今西組 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区上本町７丁目２番地の１ 上六ビル
電話 06(772)1251
〒592 自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4番1号 電話0722(61)1179

## 石田綽男

株式会社 石田建築研究所 代表取締役

〒108 東京都港区高輪４丁目２番６号
電話03(443)9321～3
〒155 自宅・東京都世田谷区代沢4-31-6 電話03(422)4452

## 一坪古寿

三井プレコン株式会社 大阪支店 取締役支店長

〒541 大阪市東区博労町２の41 中博ビル406号 電話06(271)7936
〒594 自宅・大阪府和泉市観音寺町312-5 電話0725(43)1128

## 今村 騰
## 立石行男

中央電気工業株式会社 取締役会長 取締役社長

〒530 大阪市北区梅ヶ枝町５６ 電話06(312)8881
〒545 自宅・大阪市阿倍野区万代１－２－16 電話06(621)8805
〒664 自宅・伊丹市西野字下の池入江４番69号 電話0727(81)6263

## 石原季夫

株式会社石原建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区宗是町１ 大ビル916 電話06(443)1225～6
〒650 自宅・神戸市生田区中山手通6－38 電話078(341)2073

## 一宮能和

日泉化学工業株式会社 専務取締役

〒550 大阪市西区土佐堀通り１丁目27の２ タケウチビル
電話06(443)2261
〒657 自宅・神戸市灘区篠原南町２ノ23 電話078(871)3479

## 今元康彦

近畿電気工事株式会社 取締役副会長

〒530 大阪市北区南扇町11番地 電話 06(312)1281
〒560 自宅・豊中市北桜塚4丁目5番5号 電話 06(852)5887

## 泉治郎一

株式会社 熊谷組大阪支店 専務取締役 大阪支店長

〒534 大阪市都島区片町２丁目10番５号 電話06(352)1151

## 市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長

〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～5
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

## 岩井金三郎

株式会社 大亜建設社長

〒460 名古屋市中区栄４～１～１ 中日ビル
電話052(262)7531

## 泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区真砂町48-1 オオシマビル
電話06(364)9071

## 指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所
株式会社 緑地デザイン技術士事務所
株式会社 設備デザイン設備士事務所
代表取締役

〒542 大阪市東区南本町4-47 イトウビル 電話06(252)1011～4
〒100 東京都千代田区永田町2-14-3 赤坂東急ビル
電話03(580)1011～4
〒604 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル
電話075(221)1101～4
〒606 自宅・京都市左京区下鴨北野々神町8の5 電話075(781)6573

## 岩﨑甚太郎

〒666 自宅・兵庫県川西市花屋敷1丁目32の11
電話0727(59)9317

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 岩佐直則

株式会社 岩佐建築設計事務所　代表取締役

〒663 自宅・西宮市上甲子園２－11－23　電話0798(57)5753
〒660 本社・尼崎市西本町7丁目268番地　電話06(411)3094
〒160 東京事務所・東京都新宿区四谷4丁目23　電話03(351)3256

## 岩崎茂雄

恒和化学工業株式会社　取締役会長

〒561 大阪府豊中市豊南町南６丁目３番13号　電話06(332)5721
〒659 自宅・芦屋市三條町８６番地　電話0797(22)2746

## 岩崎徹

株式会社 岩崎建築設計事務所　代表取締役

〒630 本　社・奈良市法蓮立花町1046　電話0742(22)2217
〒630 奈良事務所・奈良市大森町57の３　農協会館内
電話0742(22)2283代
〒631 自宅・奈良市学園北１丁目５－11　電話0742(45)1513

## 岩崎久雄

高千穂電機株式会社　取締役社長

〒534 大阪市都島区中野町４丁目８番10号
電話06(358)1171代
〒565 自宅・豊中市新千里南町３丁目34－７
電話06(831)5118

## 岩崎弘

株式会社 教育施設研究所大阪事務所　常務取締役所長

〒550 大阪市西区立売堀北通２の27　電話 06(531)0913
大信ビル２階３階　06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町１０４６　電話0742(22)2217

## 岩崎善雄

恒和化学工業株式会社　取締役社長

〒143 東京都大田区大森北５丁目８番11号
電話03(763)0211

## 岩本義心

野村建設工業株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話06(202)4791代

## 上田良治

株式会社上田建築事務所　代表取締役

〒572 大阪府寝屋川市本町17の18　電話0720(21)2483
電話0720(21)0320

## 上西圭治

株式会社大気社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区中之島2-22 新朝日ビル5階　電話06(203)3721大代
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14　電話0797(22)5949

## 上蓑義一

共立建設株式会社大阪支店　取締役支店長

〒540 大阪市東区谷町５丁目30番地　新野村ビル内
電話06(761)0112代
〒614 自宅・京都府綴喜郡八幡町橋本栗ヶ谷26－142

## 植野寿雄

株式会社　寿建築積算事務所　所長

〒542 大阪市南区塩町通2丁目28高津ビル　電話06(261)2720
〒588 自宅・堺市大美野５－９　電話0722(37)1162

## 牛場栄一郎

株式会社　牛場建築設計事務所　代表取締役

〒557 大阪市西成区天下茶屋３丁目21番13号　電話06(661)3636代
〒557 自宅・大阪市西成区天下茶屋３丁目21番13号　電話06(661)3636

## 内輪勝

株式会社 創構造建築事務所　代表取締役

〒733 広島市十日市町１丁目２－２０　電話0822(91)4495
〒730 自宅・広島市中山２９９の６　電話0822(89)1658

## 浦野三男

株式会社　浦野設計事務所　取締役社長

〒452 名古屋・名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の５
電話052(502)1991代
〒113 東京・東京都文京区本郷１－27－８ 本郷ハウス 電話03(811)9128・9585
〒452 自宅・名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の５

## 浦辺鎮太郎

株式会社　浦辺建築事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区梅田8番地 新阪急ビル　電話06〈341〉1727〈341〉1680〈341〉7349
〒662 自宅・西宮市甲東園１丁目７の８　電話0798(51)0389

## 江川好巳

株式会社　山下寿郎設計事務所大阪支社　支社長

〒550 大阪市西区北堀江御池通１丁目30 モーリグランドビル
電話06(538)2451代
〒659 自宅・芦屋市三條町２８８　電話0797(22)9269

## 榎栄

株式会社　東峰美建

〒574 大阪府大東市赤井１丁目３の23　電話0720(72)1850代

## 榎敏男

日東工業株式会社　常務取締役

〒542 大阪市南区三津寺町20番地　電話06(213)0091

## 遠藤剛生

㈱遠藤剛生建築設計事務所　所長

〒541 大阪市東区伏見町２丁目22　青山ビル　電話06(201)0280
〒562 自宅・箕面市半町３丁目13の31　電話0727(22)2064

## 小河吉之助

株式会社　小河建築設計事務所 代表取締役所長

〒542 本社・大阪市南区瓦屋町４番丁８ 電話06(763)2301
〒106 支社・東京都港区六本木５－18－３
六本木ベニービル７階　電話03(583)9501代
分室・和歌山・箕面新船場
〒573 自宅・枚方市香里ヶ丘12丁目22－37 電話0720(54)0690

## 尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長

〒530 大阪市北区富田町16　電話06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15の４　電話0720(41)3427

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 大井弘治郎
株式会社　大井建築設計事務所　代表取締役
〒550　大阪市西区京町堀１丁目76　福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562　自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11　電話 0727 (21) 4113

## 大林芳郎
株式会社　大林組　取締役社長
〒540　大阪市東区京橋３丁目37番地　電話 06(943)1131
〒658　自宅・神戸市東灘区御影町御影字上ノ山1682番地の１
電話078 (851) 2501

## 岡本全男
筧組建設株式会社　取締役社長
〒543　大阪市天王寺区東高津町14－５　電話06(768)1515代
〒557 自宅・大阪市西成区玉出東１丁目６番15号　電話06(661)3317

## 大熊芳郎
日本熱学工業㈱　取締役副社長
〒541　大阪市東区瓦町5－37－1　住友生命瓦町ビル　電話06(201)1751
〒560　自宅・豊中市上野坂１－13－19　電話06(852)9666

## 大平國夫
大末建設株式会社　専務取締役
〒542　大阪市南区大和町１　電話06(213)0555
〒580　自宅・松原市柴垣１－25－26　電話0723(31)2260

## 岡本行善
株式会社　昭和設計　取締役社長
〒550　大阪市西区西長堀北通1丁目８番地 四ツ橋ビル　電話06(532)3421代
〒659　自宅・芦屋市岩園町35－７　電話0797(31)3201

## 大倉三郎
西日本工業大学学長
〒606　自宅・京都市左京区下鴨北園町33　電話075(781)0636

## 大森久司
近畿電気工事株式会社　取締役会長
〒530　大阪市北区南扇町１１番地　電話 06(312)1281
〒630　自宅・奈良市今辻子町１２　電話0742(22)2390

## 岡山竹雄
株式会社岡山建築事務所一級建築士事務所　代表取締役
〒612　京都市伏見区深草平田町18　電話075(641)0536
〒612　自宅・京都市伏見区深草平田町18　電話075(641)0536

## 取締役社長 大澤幸平
## 取締役副社長 大澤博
大幸建設株式会社
〒550　大阪市西区西長堀北通1丁目5番地　電話06(538)0881代
〒560　自宅・豊中市玉井町1丁目8番18号　電話06 (852)3237
〒560　電話06 (855)5338

## 大山昭典
セメダイン株式会社大阪支店　支店長
〒542　大阪市南区大宝寺町東之丁４１　電話06(251)3555代
〒631　自宅・奈良市右京４－29－16　電話0742(71)0164

## 奥田政雄
奥田設計室建築事務所　所長
〒570　守口市桜町１６番地　電話06(992)5808
〒576　自宅・交野市大字私部３０７９　電話0720(91)1556

## 大下繁樹
日成建設株式会社　取締役社長
〒730　広島市白島北町13番18号　電話0822(21)1863

## 岡崎俊彦
関東電気工事株式会社関西支社　支社長
〒541　大阪市東区南久宝寺町3丁目41番地　電話06(253)0291
〒560　自宅・豊中市曽根東町3-2-1　ベルビュー曽根9－904
電話06(862)3517

## 奥野晴弘
株式会社　和光建築設計事務所　代表取締役
〒556　大阪市浪速区新川３丁目６３０　電話06(633)0141～3

## 大下順三郎
## 大下順良
## 熊澤六郎
平和建設株式会社
〒536　大阪市城東区関目町１丁目40　電話06(939)4741代

## 岡澤勇
岡澤建築設計事務所　所長
〒530　大阪市北区梅ケ枝町146　梅ケ枝ビル２階
電話06(362)6082代
〒567　自宅・大阪府茨木市大字清水433　電話0726(43)5230・8953

## 尾原庸夫
株式会社 松田平田坂本設計事務所　大阪出張所所長
〒530　大阪市北区堂島上３－10　電話06(344)7821
〒338　自宅・埼玉県与野市大字上落合540－１－１－103
電話0488(52)7544

## 大鳥居満也
株式会社 大鳥居工業所　取締役社長
〒615　京都市右京区西院西田町30番地　電話075(313)2191代
〒615　自宅・京都市右京区川島有栖川町１の２　電話075(381)3647

## 岡橋作太郎
株式会社　日建設計相談役

## 海上静一
株式会社　海上静一建築事務所　代表取締役
〒541　大阪市東区博労町２丁目41番地　中博ビル
電話06(271)1149・(261)4428～9
〒591　自宅・大阪府堺市日置荘西町13番地２　電話 0722 (85) 2120

# 謹賀新年　昭和49年元旦　(50音順)

## 加藤　渉

株式会社 カトー設計事務所 代表取締役会長
〒156 東京都世田谷区大原2－23－15　電話03(323)3411

## 加納秀雄

戸田建設株式会社　常務取締役大阪支店長
〒541 大阪市東区本町3－27－1　電話06(252)6311
〒564 自宅・吹田市千里山東2－25－14　電話06(388)0244

## 鍛治延男

株式会社 桂建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区樋の上町3番地　電話06(364)0446
〒546 自宅・大阪市東住吉区矢田矢田部町中通1-5 長居東住宅4-14 電話06(692)0865

## 梶本秀尾

八千代電設工業株式会社　取締役社長
〒540 大阪市東区森之宮東之町392　電話06(941)6531代
〒588 自宅・堺市大美野107の4　電話0722(37)2548

## 数井利美

株式会社 西村建築事務所　取締役社長
〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1番地　旭ビル 電話078(521)0205・0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13　電話078(741)5862

## 金野祐吉

東海興業株式会社大阪支店　常務取締役支店長
〒530 大阪市北区豊宮町3番2住生豊崎ビル　電話06(373)1181

## 金光五郎

万年スレート株式会社　取締役社長
〒557 大阪市西成区千本南2丁目14番20号　電話06(661)8181

## 鎌谷秀男

学校法人 修成建設専門学校　校　長
〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目　電話06(474)1644

## 神谷新一

〒657 神戸市灘区五毛通3－2－21　電話078(861)0596

## 亀井晃治

一級建築士事務所
株式会社　A・R・I建築事務所　代表取締役社長
〒542 大阪市南区谷町7丁目12の1　新谷町第3ビル 電話06(768)1405代～8
〒631 自宅・奈良市中町1丁目479　電話0742(43)1226

## 亀川清

日産建設株式会社九州支店　支店長
〒810 福岡市中央区今泉1丁目7番10号　電話092(74)3366

## 柄谷吉太郎

株式会社　柄谷工務店　取締役社長
〒660 尼崎市玄番南之町4番地　電話06(411)1451

## 川口喜代枝

株式会社　篠田川口建築事務所　所長
名古屋市東区富士塚町3丁目2番地　電話052(962)7581代
〒464 自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7番地　電話052(751)2613

## 川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店　代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町2丁目98番地　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10　電話0727(61)8598

## 川崎軍一

近畿電気工事株式会社　広島支社　取締役支社長
〒730 広島市稲荷町4番1号　住友生命広島ビル 電話0822(62)1471
〒734 広島市宇品御幸2丁目2番2号　電話0822(51)7535

## 川崎敬三

株式会社　近　畿　建　設　取締役社長
〒550 大阪市西区靭本町4丁目103　電話06(532)0081代
〒55b 自宅・大阪市浪速区新川2丁目666　電話06(632)7369

## 川瀬啓一郎

扶桑管工業株式会社　代表取締役
〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157
〒616 自宅・京都市右京区秦安井車道町21　電話075(811)1509

## 川谷勇

川谷建築設計事務所　自営
〒606 京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代
〒606 自宅・京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代

## 川延誠治郎

神鋼建材工業株式会社　取締役社長
〒660 尼崎市西向島町77番地　電話06(411)1301代

## 川村宏

株式会社　汎建製作所　代表取締役
〒554 大阪市此花区酉島町3丁目15番地　電話06(462)4661
〒699-11 自宅・大和郡山市冠山町2－55　電話07435(2)5995

## 河裾和夫

螢光産業株式会社　代表取締役
〒531 大阪市大淀区本庄川崎町2丁目18番地4　電話06(371)5146

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 河原義夫

新日本空調株式会社　大阪支店　支店長
〒530 大阪市北区堂島浜通り１－25－１　電話06(344)6031
〒659 自宅・芦屋市岩園町２３番３４号　電話0797(31)5492

## 吉弥公生

株式会社 吉弥建築事務所　代表取締役
〒604 京都市中京区二条通河原町東入樋之口町463 西村ビル4F
電話075(211)6779・(221)6750
〒606 自宅・京都市左京区北白川山田町36－5　電話075(791)3733

## 栗山和三

株式会社シエル石油 大阪発売所 部長
〒532 大阪市東淀川区西中島町2-76 電話06(303)7131
〒663 自宅・西宮市枝川町1-144-304　電話0798(48)9428

## 神崎吾明

株式会社 神崎組 取締役社長
〒670 姫路市北條口８６の３　電話0792(23)2021代
〒670 自宅・姫路市北條口６２　電話0792 (23) 0210

## 清田文永

株式会社 梓設計　代表取締役
〒141 東京都品川区西五反田2-27-3　三井生命五反田ビル
電話03(492)3591大代
〒164 自宅・東京都中野区中野５－37－23　電話03(387)1539

## 黒川巳喜

株式会社 黒川建築事務所　代表取締役
〒466 名古屋市昭和区鶴舞町2-10-5　電話052(882)0281代
〒497 自宅・愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字鹿島119 電話05679(5)2255

## 城戸武男

株式会社 城戸武男建築事務所　代表取締役所長
〒460 名古屋市中区栄１－22－27　電話052(231)5451代
〒460 自宅・名古屋市中区栄1-22-27　電話　052(201)4061

## 工藤建夫
## 工藤哲夫

工藤雅三建築事務所
〒554 大阪市此花区四貫島大通２丁目12　電話06(461)0043
06(461)4198・06(461)4393・06(461)9293
〒554 自宅・大阪市此花区嬉ケ崎１－53　電話06(463)5208

## 黒谷俊一

株式会社 団地サービス大阪支店　支店長
〒536 大阪市城東区森之宮1丁目5番101号　電話06(969)1001

## 木下國男

内外パーキング施設株式会社　代表取締役
〒550 大阪市西区京町通１丁目32番地　電話06(441)0477代
〒560 自宅・豊中市北桜塚３丁目９番15号　電話06(853)0892

## 久保弘士

株式会社 久保商店　代表取締役
〒530 大阪市北区真砂町５　電話06(364)0206代
〒665 自宅・宝塚市武庫山２丁目３の６　電話0797(72)6167

## 桑田正造

桑田硝子株式会社　取締役社長
〒650 神戸市生田区多聞通4丁目９－８　電話078(371)1861代
〒653 自宅・神戸市長田区五位ノ池町３-１-１　電話078(621)3807

## 岸本貞文

生活美術研究所・岸本貞文建築事務所 所長
〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-21-4 電話03(719)1771
〒150 自宅・東京都渋谷区恵比寿南2-21-4　電話03(713)5137

## 草浦治

清水建設株式会社九州支店　取締役支店長
〒810 福岡市中央区赤坂１丁目１番29号　電話092(77)9151
自宅・福岡市西区西新６丁目７－４　電話092(82)2383

## 小泉昇

株式会社 新建技術研究所 代表取締役
〒550 大阪市西区江戸堀1丁目52番地 堀田ビル 電話06(441)1366
〒564 自宅・摂津市正雀本町２－12－29　電話06(381)5559

## 北川惇

株式会社 日本A・W・E・コンサルタント　代表取締役
〒553 大阪市福島区上福島中２丁目90 大伸ビル　電話06(458)6078

## 熊澤六朗

平和建設株式会社　常務取締役
〒536 大阪市城東区関目町１丁目40番地
電話06(939)4741代～5
〒564 自宅・吹田市内本町3丁目23番8号　電話06(381)0451

## 小泉善重

株式会社　栄和設計事務所　取締役社長
〒553 大阪市福島区堂島浜通４丁目14　電話06(452)1651
〒583 自宅・大阪府羽曳野市高鷲７丁目３番11号　電話0729(55)4416

## 北村年史

株式会社 日本プランニングボード 代表取締役
〒530 大阪市北区岩井町１丁目12番地　NACビル　電話06(353)5521代
〒591 自宅・堺市新金岡町2丁4番8－304　電話0722(51)4515

## 栗林一馬

栗林建築士事務所
〒641 和歌山市和歌浦東１丁目７の６　電話0734(44)3623

## 小坂忠勝

株式会社　東海設計　代表取締役
〒460 名古屋市中区栄3-7-1　電話052(261)2651～4
〒467 自宅・名古屋市瑞穂区岳見町4-20-2 電話052(831)4459

# 謹賀新年

昭和４９年元旦

（50音順）

## 小崎　修

株式会社　ミラノ工務店　取締役会長

〒604 京都市中京区夷川通河原町東入鉾田町310
電話075(231)0177

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地　電話075(781)0676

## 小林四郎

太陽工藤工事株式会社　社長

〒553 大阪市福島区上福島北２丁目１番地
電話06(452)1151代

## 後藤光一

株式会社 大阪設計事務所　代表取締役所長

〒540 大阪市東区玉堀町575 栄芳ビル　電話06(768)0252代

〒563 自宅・池田市旭丘２丁目11番24号　電話0727(51)4374

## 小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所　取締役社長

〒541 大阪市東区南本町４丁目41番地(イヨビル６階)
電話06(252)8088代表

〒101 東京事務所・東京都千代田区岩本町２丁目９番地藤野ビル
電話03(861)9538

〒662 自宅・西宮市五月ヶ丘６番35号　電話0798(33)5120

## 小林清一郎

大同鋼板株式会社　取締役社長

〒660 尼崎市杭瀬字午新田２２番地　電話06(488)1181

## 小向正雄

株式会社 小向商会　代表取締役

〒640 和歌山市小松原通３の１　電話0734(24)6141

〒640 自宅・和歌山市大泉寺丁６　電話0734(22)7771

## 小杉茂治

シャープ設備機器株式会社　常務取締役

〒545 大阪市東住吉区加美福井戸町3-68　電話 06(791)7221

〒583 自宅・大阪府羽曳野市野々上5丁目6の7　電話0729(54)4488

## 小林得志

株式会社 小林得志建築事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区堂島北町２０番地　電話06（341）5658

〒662 分室・西宮市丸橋町６の１６　電話 0798（66）2394

## 高武主計

コータケ建築設計事務所　所長

〒550 大阪市西区江戸堀５丁目155(新山越ビル)
電話06(448)0178・2408

〒550 自宅・大阪市西区北堀江御池通り６丁目21
北堀江コーポ706号　電話06(531)2812

## 小中村繁次郎

富士建設機工株式会社　代表取締役

〒601 京都市南区東九条河西町27番地　電話075(691)0791-2
電話075(691)8224

## 小松英二

東海興業株式会社大阪支店 大阪駐在専務取締役

〒530 大阪市北区豊宮町３番２　住生豊崎ビル　電話06(373)1181

## 河内義就

有限会社　河内義就設計事務所　代表取締役

〒730 広島市上幟町２番37号　電話0822(28)2271

〒730 自宅・広島市上幟町２番37号　電話0822(21)4808

## 小西岬

株式会社　田中小西建築事務所　取締役社長

〒550 大阪市西区阿波座南通２の60　電話 06(532)4051

〒546 自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4　電話 06(701)0297

## 小守義人

相互建設産業株式会社設計部　代表取締役

〒599-02 大阪府泉南郡阪南町和泉鳥取1133－１　電話0724(72)1528

〒599-02 自宅・泉南郡東鳥取町山中1133-1　電話0724(72)1528

## 鴻池藤一

株式会社 鴻池組　取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町４丁目27番地　電話 06(252)3100大代

〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86　電話075(461)1526

## 小林清

株式会社　新住宅社　代表取締役

〒530 大阪市北区常安町１７番地　電話06(444)4677

〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号　電話06(651)1594

## 小山武

住友建設株式会社大阪支店　常務取締役 支店長

〒541 大阪市東区北浜５丁目２２　電話06(220)8712

〒664 自宅・伊丹市鈴原町４丁目23－１　電話0727(81)2853

## 近藤喜久二

株式会社 桂建築設計事務所　代表取締役 社長

〒162 東京都新宿区市谷田町３丁目８番地　新杵ビル３階
電話03(269)6411

## 小林三甫朗

小林住宅販売株式会社 社長一級建築士

〒541 大阪市東区南久宝寺町５－18　電話06(251)8371

## 児島義矩

株式会社　巴商会　大阪支店　取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区堂島上２－38　電話06(344)1441代

〒665 宝塚市雲雀ケ丘1-9-8 メゾン花屋敷203号

## 佐々木米太郎

公成建設株式会社　建築部長

〒600 京都市下京区五条通西洞院西入　電話075(341)0501代

# 謹賀新年　昭和49年元旦　(50音順)

## 佐治誠次

株式会社佐治建築事務所　代表取締役
〒550 大阪市西区立売堀南通1-24 丸栄ビル南館　電話06(541)5831
〒662 自宅・西宮市苦楽園一番町1－36　電話0798(36)2516

## 雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所　代表取締役
〒543 大阪市天王寺区東平野町5丁目9番地吉盛ビル
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11－16　電話0720(54)0004

## 品川二三男

株式会社 品川建築事務所　代表取締役所長
〒910 福井市田原1丁目1番20号　電話0776(22)6683
〒910 自宅・福井市経田町70－2　電話0776(23)3552

## 佐藤音松

株式会社　今西組　取締役会長
〒543 大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1　上六ビル内
電話06(772)1251
〒659 自宅・芦屋市六麓荘町12番32号　電話0797(22)2226

## 阪口重一

阪口建設株式会社　取締役社長
〒540 大阪市東区京橋3の68 北浜ビル2号館
電話06(941)8441～5
〒565 自宅・吹田市高野台3－7－4　電話068(71)2523

## 渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社　取締役社長
〒542 大阪市南区鍛冶屋町52　電話06(211)7333
〒581 自宅・八尾市二俣252の7　電話0729(22)8644

## 佐藤次夫

株式会社　佐藤武夫設計事務所　代表取締役
〒105 東京都港区新橋4丁目6番15号　DKB新橋ビル6階
電話03(436)3511代
〒156 自宅・東京都世田谷区赤堤1-16-13　電話03(420)5810

## 坂本鹿名夫

坂本鹿名夫建築研究所　代表取締役
〒107 東京都港区北青山2丁目4～12　電話03(401)0193～4
〒107 自宅・東京都港区北青山2丁目4～12　電話03(401)0193～4

## 島田孝治

株式会社 片山鉄工所　代表取締役社長
〒551 大阪市大正区南恩加島町1番地　電話06(552)1231大代
〒545 自宅・大阪市阿倍野区昭和町3-5-7　電話06(622)1561

## 佐野正一

株式会社　安井建築設計事務所　取締役社長
〒540 大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(22)1569

## 代表取締役 塩路惣吉
## 代表取締役 塩路寅雄

株式会社塩路建築事務所
〒542 大阪市南区塩町通り3の14　芦池ビル　電話06(251)8577
06(271)2495
06(251)3231

## 島村佐次郎

島村建築事務所
〒640 和歌山市四番丁4　電話0734(22)3338・4335
〒640 自宅・和歌山市四番丁4　電話0734(22)3338・4335

## 佐野春吉

森井電業株式会社大阪支店　専務取締役
〒530 大阪市北区常安町16番地　電話06(443)8381代
〒661 自宅・兵庫県尼崎市東園田町3－85－11番　電話06(491)9402

## 四方靖郎

四方設計工務株式会社
1級建築士事務所　代表取締役社長
〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32－2
電話075(641)6091・6092　6324
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

## 島村忠男

西日本建設業保証株式会社　取締役社長
〒540 大阪市東区上町5番地　電話06(762)5701代

## 斎藤博

株式会社　三晃空調　取締役社長
〒530 大阪市北区富田町16　電話06(363)1371
〒562 自宅・箕面市百楽荘3－4－3　電話0727(21)2341

## 清水愛明

株式会社 清水工業所　代表取締役
〒531 大阪市大淀区南浜町3－14　電話06(372)2851代
〒662 自宅・兵庫県西宮市南郷町3－12　電話0798(22)1184

## 島村忠雄

日本建鐵株式会社大阪支店　支店長
〒530 大阪市北区梅田町47　新阪神ビル9階
電話06(341)4331

## 雑賀孝夫

株式会社 雑賀建築設計事務所　代表取締役
〒640 和歌山市西汀丁1番地　電話0734(31)1371代～5
〒640 自宅・和歌山市小松原通り5丁目1番地　電話0734(23)5888

## 清水和彌

株式会社 清水和彌設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区万才町43 浪速ビル　電話06(312)7278代・4616
〒560 自宅・豊中市中桜塚4－3－10　電話06(852)7056

## 白井周二

清水建設株式会社　代表取締役副社長(大阪駐在)
〒550 大阪市西区土佐堀通2丁目2番地
電話06(443)5431大代表

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事
〒541 大阪市東区両替町１丁目13番地 電話06(942)1461
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中１の68 電話06(671)3792

## 杉村正三郎

阪急電気工事株式会社 取締役社長
〒532 大阪市東淀川区十三西之町３丁目34番地 電話06(302)0231代
〒665 自宅・宝塚市栄町３丁目９番20号 電話0797(86)3623

## 仙田四郎

株式会社 カンダン 取締役社長
〒558 大阪市住吉区万代東６丁目３番地
電話06(672)1281大代

## 城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長
〒530 大阪市北区高垣町１番地 電話06(372)7151代

## 隅田正美

第一工業株式会社 大阪支店 常務取締役支店長
〒530 大阪市北区富田町３０番地 電話06(364)6661

## 相臺淳吉

日新工業株式会社 専務取締役
〒120 東京都足立区千住東2丁目21番28号 電話03(882)2424
〒271 自宅・松戸市北松戸３の７の３ 電話0473(62)9314

## 進藤汎海

株式会社 企画設計社 代表取締役
〒556 大阪市浪速区日本橋東４－１６ 電話06(641)8862
〒591 自宅・堺市新金岡町2丁4番1－307 電話0722(51)0094

## 関守

株式会社 関建築設計事務所 代表取締役
〒541 大阪市東区北浜４丁目48番地の３ 電話06(201)4710
〒662 自宅・西宮市屋敷町４番10号 電話0798(34)2327

## 園田従博

株式会社 川本製作所 大阪営業所 所長
(ポンプ専門メーカー)
〒533 大阪市東淀川区瑞光通5丁目7の2 電話06(328)0877代

## 須賀孝

須賀工業株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区土佐堀通１丁目14 電話06(441)5171
〒662 自宅・西宮市雲井町６番14号 電話0798(33)0269

## 瀬戸本典治

三建設備工業株式会社大阪支店 取締役支店長
〒530 大阪市北区紅梅町65番地 電話06(352)1131代
〒665 自宅・宝塚市御殿山２丁目19の１ 電話0797(86)1437

## 田賀勉

株式会社 田賀建築設計事務所 取締役社長
〒550 大阪市西区北堀江通４丁目33番地
電話06(531)7193代
〒586 自宅・河内長野市千代田台町13－13 電話07215(3)0455

## 須賀好富

株式会社 近畿建築構造研究所 所長
〒543 大阪市天王寺区椎寺町76 天王ビル 電話06(779)9316
06(771)3216
〒577 自宅・東大阪市下小阪１７２－２ 電話06(789)8114

## 関家英幸

関家建築設計事務所 代表者
〒532 大阪市東淀川区西中島町２丁目27番地 電話06(304)1514
コーワマンション202号
〒533 自宅・大阪市東淀川区西淡路2丁目249番地 電話06(322)4122

## 田口信夫

株式会社 恵美須建設 代表取締役
〒606 京都市左京区浄土寺馬場町151 電話075(761)1151
〒606 自宅・京都市左京区鹿ヶ谷法然院町７ 電話075(771)3543

## 支所長 菅良春
## 副支所長 近藤貢

日本住宅パネル工業協同組合 大阪支所
〒530 大阪市北区富田町46番地
第二富田町ビル 電話06(313)3321

## 関谷芳郎

株式会社関西建築設計事務所 代表取締役
〒451 名古屋市西区那古野町１－45 大起ビル３F
電話052(571)3551
〒510 自宅・三重県四日市市南浜田町８－31 電話0593(53)0550

## 田中政二

大島應用化学工業株式会社 取締役社長
東大阪市新庄１１４番地 電話06(745)5121代
06(745)6736～8
自宅・大阪市城東区野江東ノ町4-99 電話06(931)3506

## 菅谷健児

大阪電気暖房株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀１－６０ 電話06(441)8231

## 錢高輝之

株式会社 錢高組 取締役社長
〒550-91 大阪市西区阿波座上通3丁目2番地 電話06(531)6431大代

## 田中照雄

株式会社 タナカ風呂 代表取締役
〒556 大阪市浪速区元町１丁目７４７電話06(649)3726代

# 謹賀新年　昭和49年元旦　(50音順)

## 田中　弘
淡陶株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区阿波座中通1の9 電話06(532)5301
〒659 自宅・芦屋市楠町1番8－106号 電話0797(22)7686

## 竹腰健造
株式会社 双星社竹腰建築事務所
〒530 大阪市北区豊宮町3番2 住生豊崎ビル 電話06(373)2281
〒662 自宅・西宮市松園町7番22号 電話0798(34)2650

## 知見義夫
株式会社 斎藤省三商店大阪支店 相談役
〒550 大阪市西区土佐堀通1丁目1番地 大同ビル6階
電話06(443)3361代

## 田渕誠也
株式会社 田渕建築設計事務所 代表取締役
〒640 和歌山市下町19番地 電話0734(31)0261～2
〒640 自宅・和歌山市下町19番地 電話0734(31)0261～2

## 橘春重
橘建築事務所 所長
〒577 大阪府東大阪市御厨16 電話06(781)0937
〒632-02 自宅・奈良県生駒市新旭ケ丘11番34号
電話07437(3)2401

## 地頭政人
小俣シャッター工業株式会社大阪支店 取締役支店担当
〒530 大阪市北区此花町2丁目51 第5新興ビル 電話06(353)7377代
〒661 自宅・尼崎市東富松字長溝331－25 電話06(421)5228

## 高須洪一郎
株式会社 朝日工業社 代表取締役社長
〒105 東京都港区浜松町1丁目25番7号 電話03(434)6171
〒162 自宅・東京都新宿区弁天町87番地 電話03(268)7766

## 橘泰治
東邦パーライト株式会社 取締役社長
〒540 大阪市東区森之宮西の町594 電話06(941)9243～7
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号 電話0722(91)2267

## 千原大五郎
株式会社 大建設計 代表取締役副社長
〒105 東京本社・東京都港区新橋1-10-7 大和銀行新橋ビル
電話03(572)4595代
〒550 大阪本社・大阪市西区京町堀2－75
電話06(441)9351代
〒251 自宅・神奈川県藤沢市鵠沼松が岡1－15－25
電話0466(23)3124

## 高田伊三郎
昭和アルミニウム株式会社 取締役社長
〒590 堺市海山町6丁2224番地 電話0722(33)1181

## 立田清
有限会社 柳々堂 (建築専門書店)
〒550 大阪市西区京町堀2－49 電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル 電話06(251)8233

## 津村健児
オリエンタルメタル製造株式会社 代表取締役社長
〒660 尼崎市昭和南通り3丁目26番地 電話06(412)5131

## 高野徳男
山陽電気工事株式会社大阪支社 常務取締役 支社長
〒531 大阪市大淀区本庄中通4丁目10 電話06(372)1664代

## 立石行男
中央電気工業株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区梅ケ枝町56番地 電話06(312)8881大代

## 塚本猛次
株式会社 日建設計
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06(203)2361

## 高橋慶夫
株式会社 大建設計 取締役社長
〒550 大阪市西区京町堀2丁目75 電話06(441)9351
〒533 自宅・大阪市東淀川区相川中通2丁目2-4 電話06(328)0935

## 谷川丈夫
株式会社西原衛生工業所大阪店 専務取締役
〒531 大阪市大淀区中津南通4丁目11番地 電話06(458)3531代

## 辻本豊
辻本豊設計事務所 所長
〒640 和歌山市東長町中ノ丁12－3 電話0734(24)6346代
〒640 自宅・和歌山市東長町中ノ丁12－3 電話0734(24)6346代

## 瀧邦一
栗本建設株式会社 技術顧問
〒550 大阪市西区北堀江1 栗本ビル 電話06(541)8713
〒561 自宅・豊中市曽根西町4－8－28 電話06(852)3384

## 谷口尚武
株式会社 大林組 専務取締役
〒540 大阪市東区京橋3丁目37番地 電話06(943)1131

## 土屋英夫
土屋建築設計事務所 所長
〒598 泉佐野市湊4－5－22 電話0724(62)2231
〒598 自宅・泉佐野市湊4－5－22 電話0724(63)5925

# 謹賀新年　昭和49年元旦　(50音順)

## 堤　兼雄

㈱大林組　本店建築本部工務部長
〒540 大阪市東区京橋3丁目37番地　電話06(943)1131
〒567 自宅・茨木市南春日丘5－8－22　電話0726(23)0379

## 東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　代表取締役
〒541 大阪市東区伏見町5－19　電話 06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉町繩手下1680　電話 078(851)5043

## 内藤一真

株式会社竹内建築事務所　代表取締役
〒542 大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1　日亜ビル　電話06(211)2706代
自宅・大阪市阿倍野区王子町4丁目1番8の303号
電話06(623)7385

## 恒成一訓

合名会社　つねなりすたじお　代表者
〒541 大阪市東区北浜3丁目40　電話06(231)0141
〒560 自宅・豊中市玉井町2－8－20　電話06(841)2659

## 栂野正春

株式会社　栂野建築事務所　代表取締役社長
〒640 和歌山市五番丁4番地　電話0734(22)2826

## 内藤正克

株式会社　内藤建築設計事務所　代表取締役所長
〒675-13 兵庫県小野市上本町240小野ビル　電話 07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話 07946(2)4668

## 手塚尚義

大垣セメント工業株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区金屋町1の1　電話06(353)4101
〒567 自宅・茨木市西駅前町4番地1012　電話0726(23)3833

## 時岡保雄

株式会社　三和地質　代表取締役
〒550 大阪市西靱本町4丁目35番地　電話06(443)7606代・4157

## 中井惣一郎
代表取締役社長

## 中井康勝
代表取締役副社長

株式会社　中井總組
〒660 尼崎市常光寺元町1－3　電話06(481)5461代
〒661 自宅・尼崎市東園田町9－17　電話06(491)1386

## 寺田徳重

大成建設株式会社　取締役
〒541 大阪市東区本町4丁目27　電話06(262)1131
〒562 自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4－39
電話0727(21)4641

## 時山龍太郎

時山設計事務所　所長
〒530 大阪市北区曽根崎上2丁目21番地 美都ビル　電話06(361)6248
〒532 自宅・大阪市東淀川区三国本町2の127　電話06(393)9557

## 中川匠

中川匠建築設計事務所　所長
〒530 大阪市北区浪花町38　新興ビル　電話 06(371)3651
〒665 自宅・宝塚市米谷石田18　電話0797(86)2391

## 富吉正治
## 白川一博

株式会社　富吉白川建築事務所　代表取締役
〒552 大阪市港区弁天町2丁目1番8－14　電話06(571)3025代
〒636-02 富吉）奈良県北葛城郡河合町星和台1－6－12
〒563　白川）大阪府池田市伏尾台1丁目13－5

## 寺西芳一

株式会社 寺西建築設計事務所　代表取締役
〒658 神戸市東灘区本庄町2丁目13番24号　電話078(451)2456
電話078(411)0139
〒658 自宅・神戸市東灘区本庄町2丁目13番24号　電話078(451)2457

## 中川真佐吉

アポロ印刷株式会社　代表取締役
〒540 大阪市東区北新町2丁目7　電話06(942)2951～5

## 傅馬正明

ムツ三産業株式会社　代表取締役
三協アルミニウム工業株式会社代理店
〒550 大阪市西区靱本町2丁目47番地　第二青野ビル
電話06(441)0378大代

## 富田光男

丸善冷熱工業株式会社　代表取締役
〒556 大阪市浪速区河原町2丁目1470番地 丸善ビル
電話06(631)1431代
〒573 自宅・大阪府枚方市三栗1丁目13ノ5　電話0720(56)4451

## 中川道夫

日研工業株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区大工町50 千代田第一ビル　電話06(353)7272
〒569 自宅・高槻市日吉台2－11－3　電話0726(82)5923

## 東郷武

大和ハウス工業株式会社　取締役
〒550 大阪市西区阿波座中通1丁目40番地　電話06(532)6351
〒665 自宅・兵庫県宝塚市雲雀丘山手2丁目17番13号
電話0727(59)1242

## 友田俊夫

友田工業株式会社　取締役社長
〒534 大阪市都島区都島中通3丁目3番6号
電話06(921)0331代

## 中澤誠一郎

株式会社　中澤建築事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区富田町38 高橋ビル北5号館
電話06(363)3881
〒570 自宅・守口市滝井元町3の27　電話06(991)1848

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 中野　順次郎

株式会社 創研設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区曽根崎上４－20　大阪駅前第一ビル
電話06(345)1300～３
〒561 自宅・豊中市曽根崎西町3丁目9番11号　電話06(852)4145

## 永田　鼎三

大阪電気暖房株式会社　相談役

〒550 大阪市西区江戸堀１の６０　電話06(441)8231
〒560 自宅・豊中市上野東３の２の１０　電話06(855)3710

## 能勢　善樹

株式会社　能勢建築構造研究所 代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町２丁目107　新興産ビル
電話06(538)0378～9

## 中原　茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区靱本町３丁目90番地　岡崎橋ビル
電話 06 (445) 0039

## 西嶋　徳太郎

株式会社　大建設計　取締役副社長

〒550 大阪市西区京町堀２－75 電話06(441)9351代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘３丁目11番地35号
電話0727(21)2432

## 長谷川　幸雄

株式会社 新日本設備計画　代表取締役社長

〒530 大阪市北区金屋町２丁目３１　電話06(353)4061

## 中原　英雄

株式会社　創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町17　日生不動産扇町ビル９階
電話06(312)3587代
〒659 自宅・芦屋市打出小槌町１　センチュリー405

## 西田　義郎

株式会社　西田工務店　取締役社長

〒596 大阪府岸和田市上野町西26番33号　電話0724(23)2881
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町503の1　電話0724(22)8048

## 羽渕　幹夫

㈱ベニス・スタヂオ建築設計事務所　代表取締役

〒542 大阪市南区北桃谷町33の１　第３松屋ビル11Ｆ
電話06(763)3441代
〒631 自宅・奈良市鳥見町２丁目２の５　電話0742(44)2131

## 中村　正一

中村タイル株式会社　社　長

〒550 大阪市西区南堀江通1丁目11番地　電話06(538)7101代
〒590 自宅・堺市若松台３丁目17番９号　電話0722(91)5592

## 西村　虎一

株式会社 ナイガイ(旧内外写真)　代表取締役社長

〒530 大阪市北区堂島北町 16　電話06(345)9055
〒143 自宅・東京都太田区南馬込２丁目30－14
電話03(771)1408

## 萩　正勝

株式会社 萩建築設計事務所　代表取締役

〒153 東京都目黒区青葉台２－20－14　電話03(719)1734代

## 理事長 中村　文夫
## 所長 坂　静雄

財団法人　日本建築総合試験所

〒565 本　所・大阪府吹田市藤白台５の125　電話 06(872)0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西通２の35　電話 06(351)7217

## 根津　耕一郎

株式会社根津建築事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区梅ケ枝町81　大阪弁護士ビル
電話06(364)8301代
〒665 自宅・宝塚市川面６丁目19番10号　電話0797(86)6226

## 橋本　久清

吉野石膏株式会社 大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区堂島浜通１－25 新大ビル
電話06(344)6691

## 中村　豊

株式会社　日邦建築企画設計　代表取締役

〒530 大阪市北区梅ケ枝町114　関西ビル　電話06(362)1767・9697
〒600 自宅・京都市下京区七条通東堀川西入八百屋町12
電話075(371)2755

## 野中　駒市

野中建産株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区靱本町２－２９　電話06(441)6631

## 畠中　繁

株式会社翼建築設計事務所　代表取締役

〒550 本　社
〒550 大阪事務所　大阪市西区靱１丁目130番地　布亀ビル
電話06(441)2288
〒600 京都事務所・京都市下京区五条通室町東入大黒町196番地　木村ビル
電話075(351)4366・(361)8622
〒616 自宅・京都市右京区花園木辻南町12－20　電話075(462)2495

## 永井　賢城

株式会社　久米建築事務所　取締役社長

〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26　電話0466(36)7706

## 能勢　次郎

株式会社 能勢建築設計事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区江戸堀５丁目118番地　和光ビル７階
電話06(443)6451代

## 浜口　幹三郎

株式会社　淺沼組　専務取締役

〒543 大阪市天王寺区東高津町8の1　電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町3336－7　電話0742(44)3237

# 謹賀新年

昭和４９年元旦

（50音順）

## 林　唯夫

株式会社 昭和設計　代表取締役専務
〒550 大阪市西区西長堀北通1丁目8番地　四ッ橋ビル
電話06(532)3421

## 平城　勧

株式会社 朝日工業社大阪支社　取締役支社長
〒532 大阪市東淀川区加島町357番地　電話06(302)2271～9

## 福田　朝生

株式会社 双星社竹腰建築事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区豊宮町3番2住生豊崎ビル　電話06(373)2281
〒677 自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号　電話0798(48)0989

## 原　正太郎

アスニュー工業株式会社　取締役社長
〒532 大阪市東淀川区西中島町1丁目125番地
電話06(301)9081～4

## 平田　作太郎

株式会社　平田タイル　社長
〒550 大阪市西区阿波座中1の5　電話06(532)1234代
〒600 自宅・京都市下京区綾小路通大宮東　電話075(801)1806

## 福田　好雄

ダイケンサッシ株式会社　取締役社長
〒590 堺市松屋町一丁6番地　電話0722(38)1141

## 原　精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役
〒532 大阪市東淀川区十三西之町4丁目3番地　電話06(302)1551代
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(22)1504

## 平田　定男

株式会社平田建築構造研究所　代表取締役
〒530 大阪市北区堂島上3-11　白雲ビル　電話06(341)4137
〒560 自宅・豊中市上野坂1－2－2　電話06(853)3890

## 福中　定三郎

社団法人　日本建築協会　常務理事
〒541 大阪市東区北浜3の37　電話06(231)9648
〒573 自宅・枚方市香里園町26の68　電話0720(31)0549

## 原田　重信

原田セメント化工株式会社
大統商事株式会社
泉州生コンクリート工業株式会社　代表取締役
大統ハウス工業株式会社
播州コンクリート工業株式会社

〒554 本社・大阪市此花区朝日橋通2-13　電話06(462)1212代
電話06(462)1471代・電話06(462)1421代
電話06(463)0401代・電話06(461)1248代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41の8　電話06(421)4518代

追補

## 忠岡　亨

三精輸送機株式会社　代表取締役社長
〒564 大阪府吹田市江坂町1丁目13番18号　電話06(385)5621大代

## 福永　薫

株式会社 福永建築設計事務所　代表取締役
〒542 大阪市南区順慶町通4の61　電話06(251)3102
〒542 自宅・大阪市南区順慶町通4の61　電話06(251)5189

## 伴　一郎

株式会社 西原衛生工業所大阪店　取締役社長
〒531 大阪市大淀区中津南通4－11　電話06(458)3531代
〒563 自宅・池田市石橋3－11－14　電話0727(61)8652

## 広谷　大二郎

日本メディカル・エンジニアリング株式会社　代表取締役
〒541 大阪市東区備後町2丁目45番地　高橋ビル南8号館10階
電話06(203)0381～8
〒658 自宅・神戸市東灘区御影町西平野宮谷山　電話078(811)6127

## 福西　佐嗣

福西鋳物株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区西道頓堀通6の8　電話06(541)3806代
電話06(541)2924代

## 日名　命雄

建築コンサルタント事務所 関西所長
〒541 大阪市東区安土町2の12 トヤマビル
電話06(271)4103
〒560 自宅・豊中市旭ケ丘9番64の1　電話06(856)0200

## 広谷　嘉秋

合資会社中建築設計事務所　代表社員
〒460 名古屋市中区西瓦町19広瀬ビル　電話052(262)4411
〒464 自宅・名古屋市千種区月ケ丘2丁目2-83
電話052(711)8010

## 福村　久

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　常勤相談役 大阪支所駐在 西日本地区担当
〒530 大阪市北区富田町46番地 第二富田町ビル
電話06(313)3321

## 彦谷　邦一

彦谷建築設計事務所 所長
〒541 大阪市東区横堀1-23 寺柚ビル　電話06(231)2810・7634
〒616 自宅・京都市右京区竜安寺玉津芝町18　電話075(462)2547

## 深江　實

大装株式会社　社長
〒550 大阪市西区西長堀北通4－14　電話06(532)0171

## 福賴圭藏

株式会社 新興建材工業所　取締役社長
〒550 大阪市西区南堀江通6の39　電話06(541)5757代

# 謹賀新年

昭和４９年元旦

（50音順）

**藤井　章**

株式会社　藤井工業所　取締役社長

〒520　大津市本宮２の２の９　電話0775(23)0119代

〒606　自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町２３　電話075(781)5333

**藤村清一**

株式会社　日新建築設計事務所　代表取締役

〒530　大阪市北区壺屋町１丁目66番地　電話06(352)6161代

〒631　自宅・奈良市登美ケ丘５丁目５－５　電話0742(44)0201

**代表取締役会長　本田史郎**

**代表取締役社長　鈴木利定**

本田工業株式会社

〒530　大阪市北区芝田町65番地の１　梅田商工中金ビル内　電話06（372)0372

〒607　本田）京都市東山区山科御陵平林町２　電話075(581)2217

〒534　鈴木）大阪市都島区東野田町1-9-18　コーポセブン303号　電話06（353)2460

**藤岡正一**

藤岡設計事務所　所長

〒759-41　長門市仙崎　漁協ビル20号室　電話08372(６)1580

〒759-44　自宅・山口県大津郡日置村古市　電話08373(7)101

〒730　広島別宅・広島市段原山崎町15－７　電話0822(81)2840

**代表取締役　藤本一男**

**社員一同**

株式会社　都市・建築設計工房

〒542　大阪市南区安堂寺橋通３－40　第二芦池ビル８階　電話06(252)8757代

**真鍋恒憲**

日新ビルダーズ株式会社　代表取締役

〒542　大阪市南区久左衛門町６０　電話06(211)6843代

〒545　自宅・大阪市阿倍野区松虫通１－10－９　電話06(661)3991

**藤木鐵三**

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540　大阪市東区両替町１の１３　電話06(942)1461代

**藤本庄之助**

株式会社　工盛社

〒536　大阪市城東区鴫野西５丁目18－９

〒536　自宅・城東区鴫野西５丁目16－43

**前野慶太郎**

株式会社　あめりか屋　取締役社長

〒530　大阪市北区常安町１７　電話06(444)1501

〒659　自宅・芦屋市翠ケ丘町４番１８号　電話0797(22)2005

**藤田邦昭**

株式会社　都市問題経営研究所　所長

〒530　大阪市北区太融寺町98－５　阪急東ビル　電話06(312)3918

〒658　自宅・神戸市東灘区岡本８丁目10-1　岡本ハウス605　電話078(411)3989

**船橋明**

高砂熱学工業株式会社　大阪支店　常務取締役大阪支店長

〒530　大阪市北区芝田町55　北阪急ビル　電話06(372)2511

**増岡重昂**

株式会社　増岡組　取締役社長

〒737　呉市中通１丁目３－３１　電話0823(21)1441

**藤田初藏**

三機工業株式会社大阪支店　支店長

〒541　大阪市東区北浜２－２２　電話06(202)3071

〒560　自宅・豊中市曽根西町２－８－19　電話06(852)4801

**古屋才兵衛**

日新工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒533　大阪市東淀川区瑞光通４丁目30番地の２　電話06(329)7737代

〒533　自宅・大阪市東淀川区瑞光通4-30-2　電話06(328)3343

**松浦潤一郎**

株式会社　松浦構造設計事務所　代表取締役

〒657　神戸市灘区八幡町４丁目９－27　六甲ビル　電話078(861)3304・(881)3302

〒658　自宅・神戸市東灘区魚崎西町３丁目５番20号　電話078(851)6458

**藤縄郁三**

近鉄住宅建設株式会社　取締役社長

〒542　大阪市南区谷町９丁目１番地　電話06(763)2581

**取締役会長　星廣文**

**代表取締役　星利安**

株式会社　星建築設計事務所

〒537　大阪市東成区東中本１丁目15番25号　地下鉄緑橋東　緑ビル　電話06（972）９２６５

〒571　自宅・門真市城垣町７－６　電話0720（81）１３１８

〒571　自宅・門真市城垣町12－16　電話0720（81）０６６７

**松岡晃一郎**

アイエム換気工業株式会社　代表取締役

〒556　大阪市浪速区芦原町１１８３　電話06(561)3901

〒590　自宅・堺市車之町東2丁2番9号　電話0722(38)2582

**藤原稔恭**

㈱藤原工務店　取締役社長

〒562　箕面市箕面３－１－６０　電話0727(21)7268

〒562　自宅・箕面市箕面４－15－40　電話0727(21)2774

**堀元也**

神戸材料株式会社　取締役社長

〒651　神戸市葺合区熊内町２丁目８８番地　電話078(231)1421代

〒653　自宅・神戸市長田区花山町1丁目79　電話078(691)8350

**松田昌平**

**松田順吉**

株式会社　松田設計事務所

〒812　福岡市博多区綱場町２番１号明治屋ビル　電話092(271)7441代

〒150　東京出張所・東京都渋谷区神宮前５丁目２の18　電話03(400)3854

〒810　自宅・福岡市中央区今泉1丁目16－5　電話092(741)2497

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　(50音順)

## 松田昌久

株式会社　都市設計　所長
〒541 大阪市東区高麗橋３の７　電話06(231)6617
〒665 自宅・宝塚市青葉台１丁目２－９　電話0797(72)2362

## 三上富三

株式会社 汎美建築設計事務所　代表取締役
〒604 本社・京都市中京区御池通堺町西入御所八幡町225
電話075(241)1006
〒604 設計室・京都市中京区御池通御幸町西入　京都府旅館会館ビル２階
電話075(231)4638・6472
〒541 大阪事務所・大阪市東区横堀２　横二ビル
電話06(231)0804・(228)0101
自宅・電話075(222)0006

## 宮崎辰敬

宮崎辰五郎建築事務所　所長
〒466 名古屋市昭和区折戸町５丁目１３　電話052(751)3096
〒466 自宅・名古屋市昭和区折戸町５丁目１３　電話052(751)3096

## 松村志津男

㈱松村志津男建築事務所　代表取締役
〒541 大阪市東区平野町３丁目28　電話06(228)0585
〒665 自宅・宝塚市寿楽荘15ノ36　電話0797(72)7375

## 三木清経

エスエム工業株式会社　取締役社長
〒558 大阪市住吉区東加賀屋町1丁目73　電話06(685)1661代
〒558 自宅・大阪市住吉区東加賀屋町１丁目73

## 宮武伊三郎

大阪建設業協会　常務理事
〒540 大阪市東区京橋３丁目７０　電話06(941)3651

## 松村雄二

株式会社　松村組　代表取締役社長
〒530 大阪市北区空心町１の７０　電話06(353)1131

## 三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所　代表取締役所長
〒606 京都市左京区下鴨上川原町69　(市電植物園電停前)
電話075(711)2161
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95の45
電話075(601)3962

## 宮後健

株式会社　宮後建築事務所　代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上汐町6丁目35番地　電話06(772)0165代
〒543 自宅・大阪市天王寺区上汐町６丁目３５番地　電話06(772)0167

## 松本六郎

松本金物株式会社　取締役社長
〒543-91 大阪市天王寺区上綿屋町6　電話06(779)1581大代
〒580 自宅・松原市北新町２丁目３の７　電話0723(31)0158

## 水野喜一郎

水野建設株式会社　取締役社長
〒600 本社・京都市下京区西七条市部町77番地　電話075(312)0431代
〒530 支店・大阪市北区鶴野町72番地　電話06(372)7761代

## 村石秋吉

浪速合板株式会社　取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町3丁目2番地の1　電話06(561)2201代
〒659 自宅・芦屋市岩園町10番16の401号
電話0797(31)2643

## 丸田操

株式会社 マルタ建築事務所　代表取締役
〒101 東京都千代田区神田須田町１－24 西場ビル
電話03(254)1956
〒336 自宅・埼玉県浦和市岸町７丁目10番10号
電話0488(22)9405

## 南長吉

齋久工業株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区常安町１１番地　電話06(443)5041～8
〒661 自宅・尼崎市塚口町６－20－７　電話06(421)5136

## 村上二郎

サンエス石膏株式会社　社　長
〒530 大阪市北区堂島北町20　藤田ビル　電話06(344)6526
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

## 丸山信

株式会社　丸山建築事務所　代表取締役
〒107 東京都港区北青山３丁目５番25号　電話03(401)2287・6703
〒901-22 出張所・沖縄県宜野湾市大山1003　電話09889(7)2974・4077

## 南沢甚八

株式会社　バンデックス 関　西 取締役関西
・ジャパン 営業所 営業所所長
〒530 大阪市北区伊勢町１９－２　高橋ビル北２号館
電話06(312)5765～7

## 村田隆次

安藤建設株式会社 大阪支店　取締役大阪支店長
〒553 大阪市福島区上福島北通１丁目17番地の１
電話06(453)2190

## 萬喜清三郎

バンポー工業株式会社　代表取締役
〒558 大阪市住吉区墨江中６丁目37　電話06(691)1081代
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中6丁目37　電話06(693)5731

## 宮飼克二

社団法人　日本建築協会兵庫支部　支部長
〒650 神戸市生田区下山手通５丁目23　兵庫建設会館内
電話078(351)2800
〒673 自宅・明石市人丸町２の４７　電話078(911)2298

## 村田よ志子

明研化学工業株式会社　代表取締役
〒673 明石市藤江中谷町８８８番地　電話078(913)3456代
〒655 自宅・神戸市垂水区塩屋町西の田164
電話078(751)4186

# 謹賀新年　昭和49年元旦　(50音順)

## 村野藤吾

有限会社　村野・森建築事務所　代表取締役

〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2−3−8　電話06(624)0926

〒665 自宅・宝塚市清荒神2丁目18−27　電話0797(86)2559

## 安井忠生

株式会社　安井建築設計室　代表取締役

〒550 大阪市西区靱1丁目130番地　電話06(448)2765〜6

## 山下密男

合同特許建材工業株式会社　代表取締役

〒546 大阪市東住吉区駒川町3の54　電話06(702)7814代

〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺東之町3の193　電話06(621)9086

## 室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長

〒650 神戸市生田区北長狭通4丁目1　英和ビル　電話078(331)0881

〒650 自宅・神戸市生田区山本通4丁目108の37　電話078(221)5050

## 安田誠一

安田株式会社　会長

〒542 大阪市南区末吉橋通1丁目17　電話06(251)7091代

## 山田恒治

株式会社山田工務店　取締役社長

〒651 神戸市葺合区八雲通1丁目1番6号　電話078(221)1013代　電話078(231)5601代

〒652 神戸市兵庫区山田町大池29　電話078(581)2055

## 森三郎

日刊建設通信関西支社　常務取締役支社長

〒550 大阪市西区京町堀1の68　電話06(444)4451代

## 藪本弦三

株式会社　笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13−15　電話0775(23)2314

〒520-21 自宅・大津市瀬田南大萱町2087-4　電話0775(45)3966

常務取締関西駐在

## 山田豊

常務取締役支店長

## 高木政夫

大日本土木株式会社　大阪支店

## 森忠一

㈲村野・森建築事務所

〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2−3−8　電話06(624)0926

〒665 自宅・宝塚市武庫山1−10−8　電話0797(72)4461

## 山内栄一

近庄化学株式会社　代表取締役

〒604 京都市中京区四条大宮西入る壬生川通角　電話075(821)2111代

〒600 自宅・京都市下京区黒門通高辻上る今大黒町206　電話075(801)6828

## 山中茂一

栄興建築株式会社　取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津浜通2−66　電話06(371)5056〜7　電話06(372)2026〜8

〒546 自宅・大阪市東住吉区西鷹合町3丁目1番地　電話06(691)8771

## 森馬健次

宏電工業株式会社　代表取締役

〒542 大阪市南区安堂寺橋通1−7　電話06(261)2095代

〒591 自宅・堺市北条町2丁437−7　電話0722(78)1277

## 山家啓助

株式会社RIA建築綜合研究所大阪支店　支店長

〒530 大阪市北区太融寺町33大阪合同ビル　電話06(312)9154〜5

## 山根正次郎

株式会社　日建設計　取締役会長

## 矢沢治八

株式会社　矢沢建築測量設計事務所

〒560 豊中市北桜塚2丁目3番11号　電話06(849)1717代

〒560 自宅・豊中市北桜塚2丁目3番11号

## 山口吾郎

不二建設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区阿波座上通4丁目8番地　電話06(541)5534代

〒665 自宅・宝塚市雲雀丘1丁目13番25号　電話0727(59)2018

## 山本憲三

株式会社　ヤマト電気商会　専務取締役

〒530 大阪市北区西堀川町15　電話06(364)3056

〒524 自宅・滋賀県守山市今宿町　電話07758(2)2665

## 矢作貞司

株式会社　やはぎ屋工務店　代表取締役

〒543 本店・大阪市天王寺区逢阪上之町18−10　電話06(771)0555

〒543 自宅・大阪市天王寺区逢阪上之町18−10　電話06(771)0678

## 山崎敏明

辰巳興業株式会社　取締役社長

〒650 神戸市生田区栄町2丁目21　電話078(321)0655代

〒662 自宅・西宮市五月ケ丘5の7　電話0798(26)2763

## 山本末男

大末建設株式会社　取締役社長

〒542 大阪市南区大和町1番地　電話06(213)0555

# 謹賀新年　昭和４９年元旦　（50音順）

## 山本武雄

㈱山本建材社　代表取締役
〒550 大阪市四ツ橋筋四ツ橋　電話06(541)1861～7
〒662 自宅・西宮市甲陽園本庄町６の25　電話0798(36)6443

## 山本哲夫

昭和鉄工株式会社　取締役社長
〒812 福岡市東区箱崎４１２１　電話092 (651) 2931
〒810 自宅・福岡市中央区薬院２丁目11番４号
電話092 (741) 5095

## 山本徳三

株式会社山本工務店　代表取締役
〒546 大阪市東住吉区田辺西ノ町2の81の3　電話06(628)7871代表
〒546 自宅・大阪市東住吉区山坂町1の10　電話06(622)1871

## 山本博三

朝陽電気株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区中之島３の３朝日ビル内 電話06(385)1361代
〒565 自宅・吹田市藤白台４丁目23番８号 電話06(872)9087

## 湯浅武夫

湯浅建築設計事務所　所長
〒541 大阪市東区南久太郎町３丁目32　電話06(245)0701～2
〒590 堺事務所・堺市浅香山町３丁10の3　電話0722(32)8714

## 吉岡源治郎

高砂熱学工業株式会社大阪支店　取締役大阪支店次長
〒530 大阪市北区芝田町55番地　北阪急ビル　電話06(372)2511

## 吉田廣助

株式会社ナニワ　代表取締役
〒543 本社・大阪市天王寺区鳥ケ辻町61　電話06(771)9123
〒544 営業所・大阪市生野区巽西2-7-24　電話06(757)1101
〒662 自宅・西宮市樋ノ池町１４の１４　電話0798(33)0845

## 吉田信武

株式会社　吉田建築事務所　取締役社長
〒550 大阪市西区北堀江上通３丁目２２番地
電話06(538)2991代
〒574 自宅・大東市住道１丁目７－５ 電話0720(72)0409

## 吉村純一

株式会社ユニアート建築設計事務所 代表取締役
〒537 大阪市東成区東小橋2丁目５番38号　電話06(976)8014

## 吉村清三

関西電力株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区中之島３丁目５番地　電話06(441)8821

## 米田良男

株式会社米田工務店　代表取締役社長
〒543 大阪市天王寺区逢阪上ノ町7番地　電話06(771)7771
〒543 自宅・大阪市天王寺区逢阪上ノ町7番地
電話06(771)0155

## 和田眞一

株式会社東　和　組　代表取締役
〒530 大阪市北区梅ケ枝町１７５　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町３番８　電話0797(22)3282

## 和田精一

株式会社藤木工務店　倉敷高松駐在常務取締役
〒710 倉敷市鶴形１丁目10の32　電話0864(22)3330代
〒710 自宅・倉敷市美和２丁目10の10　電話0864(22)1394

## 若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社　社　長
〒564 摂津市東別府３丁目７番８号　電話06(349)9193代
〒605 自宅・京都市東山区清水２丁目２３２番地　電話075(561)6283

## 若山繁

近畿電気工事株式会社　専務取締役
〒530 大阪市北区南扇町11　電話06(312)1281
〒661 自宅・兵庫県尼崎市武庫之荘２丁目25番11号　電話06(421)1381

## 鷲尾健三

明石工業高等専門学校長
〒674 明石市魚住町西岡　電話07894(7)1151

## 渡辺勇

ハザマ興業株式会社　取締役
〒107 東京都港区南青山２－24－15　青山タワービル
電話03(403)8191代
〒465 自宅・名古屋市千種区神丘町2－48－3　電話052(701)4203

## 渡辺忠

東洋シャッター株式会社　代表取締役会長
〒540 大阪市東区両替町１－12 日生ビル
電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘３丁目21番８号　電話06(856)0988

## 渡辺正雄

㈱大都リッチランド　社　長
〒530 大阪市北区南扇町５－１　電話06(313)2921

## 渡辺紋左衛門

渡辺建築設計事務所　所長
〒510 四日市市中部１１－９　電話0593(53)5505代
〒512 自宅・四日市市東富田町１３－８　電話0593(65)2523

## 渡部圭吾

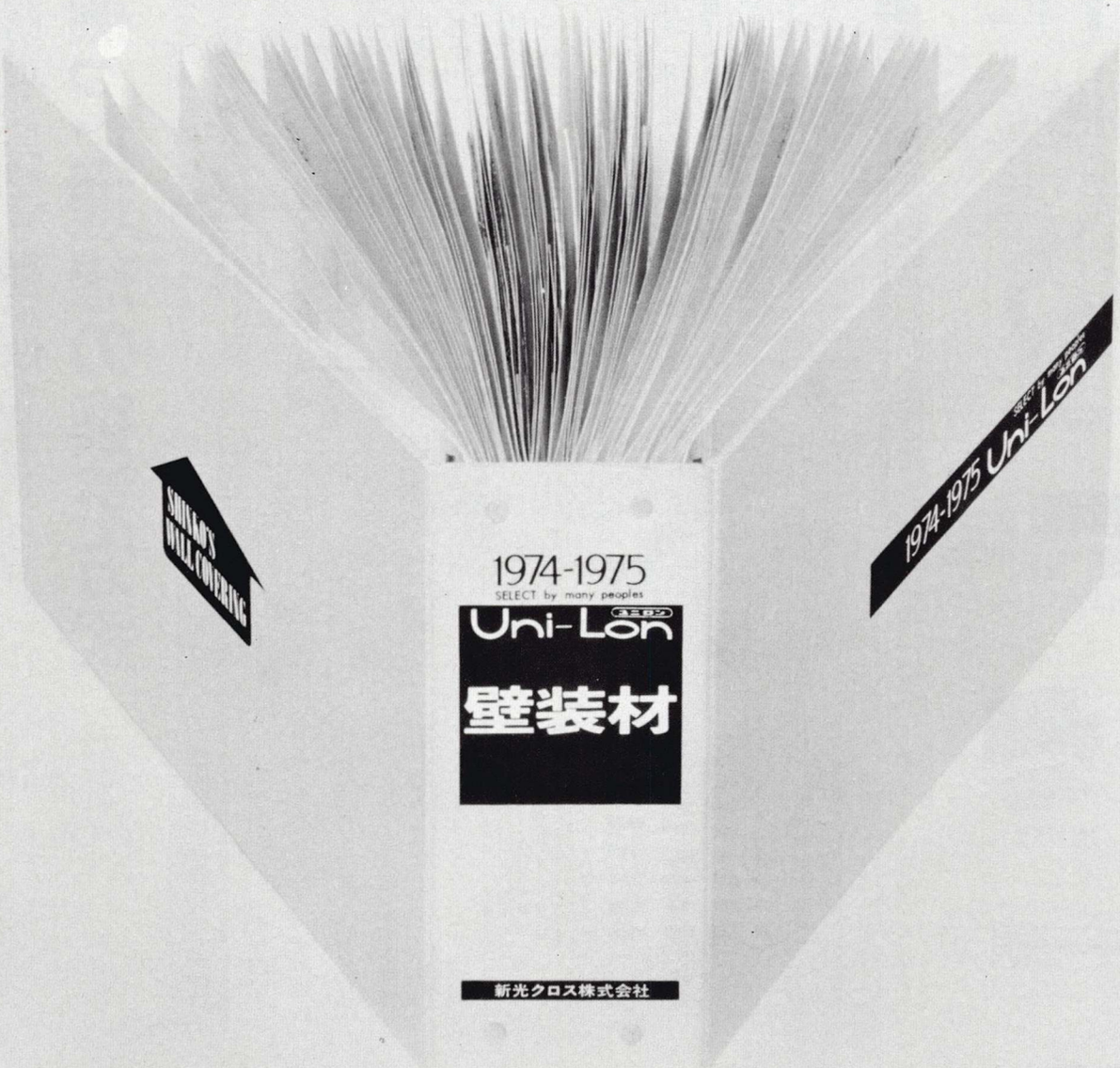
株式会社　渡部建築設計事務所
〒540 大阪市東区京橋３－68　北浜ビルディング２号館
電話06(941)8441代
〒562 自宅・大阪府箕面市桜井１丁目５番５号　電話0727(21)2209

# ＊新しいサンプル帳が
# 出来上りました　きっと
# ご満足いただけると思います
# どうぞご請求くださいませ

SHINKOS WALL COVERING

ユニシリーズ壁装材

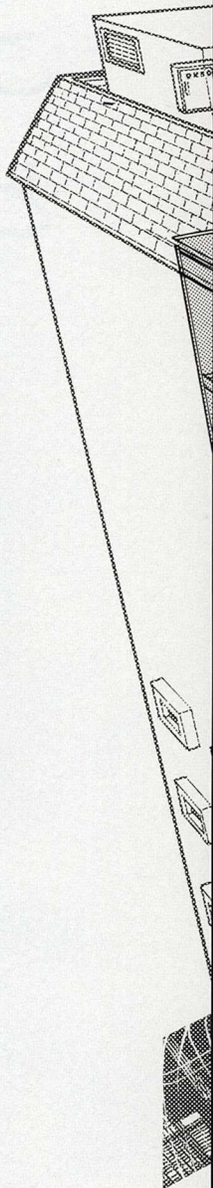
ユニテックス・ユニウォール・ユニロン




## 《新光クロス株式会社》

本　社　大阪市西区北堀江御池通り３～18　TEL　06(538)7321㈹ 〒550
東京店　東京都中央区日本橋人形町３～４　TEL　03(661)0271㈹ 〒103
広島店　広島市光町１丁目14～13　TEL　0822(63) 3505 〒730

National



## 逆流防止・低騒音・経済性

# 3拍子揃った理想の換気方式

ナショナルが、わが国で初めて開発した風量自動制御式屋上集合排気システムは、独創の制御盤が、各戸に取り付けたダンパーの開閉をキャッチ。換気風量を強・中・弱・停止の4段階に自動制御する、画期的な換気方式です。

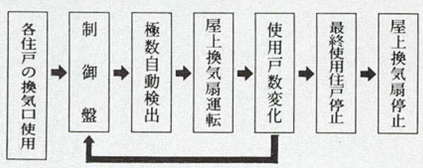
●**逆流防止**…屋上換気扇は風圧形。不快な臭気や煙の逆流もなく、強風下でも十分換気できます。

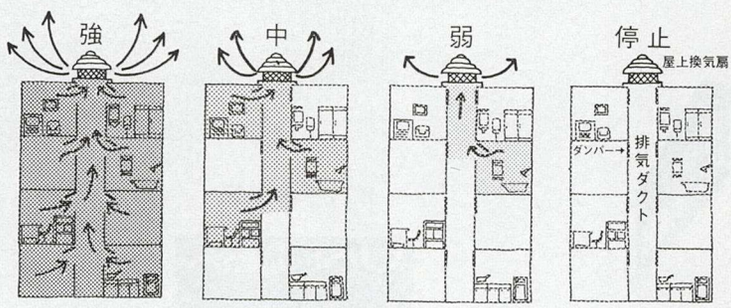
●**夜間騒音が低い**…吸込口の開放個数に応じて、風量を自動切り換え、使用率の低い夜間の騒音が極めて低くなります。

●**維持費が経済的**…使用戸数に応じて、屋上換気扇の回転数が変えられるので、運転維持費が安くつきます。

### 風量自動制御式〈屋上集合排気システム〉の運転系路

換気用ダンパーが開くと、制御盤を通して電子信号が屋上換気扇に伝わり運転を開始。ダンパーの開放個数に従って、風量が強・中・弱と自動的に切換わり、最後の住戸の使用停止とともに自動的に停止します。




### 兵庫県住宅供給公社にもご採用

この画期的なナショナルの屋上集合排気システムは、すでに兵庫県住宅供給公社の山打出住宅でご採用いただき、威力を発揮。関係先の注目を集めています。



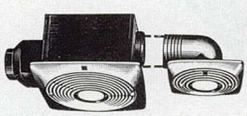
### 中高層ビル・マンションで活躍するナショナルの換気・送風システム機器

集合排気システム





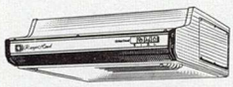

設備用小型送風機（シロッコファン）
小形、軽量、多彩な適応力が自慢



親子（2室換気用）換気扇
2室を同時排気できるダクト用。



天井埋込用換気扇
使用範囲の広いダクト用。



レンジフード　ダクト式は集合排気システムにも組込めます。

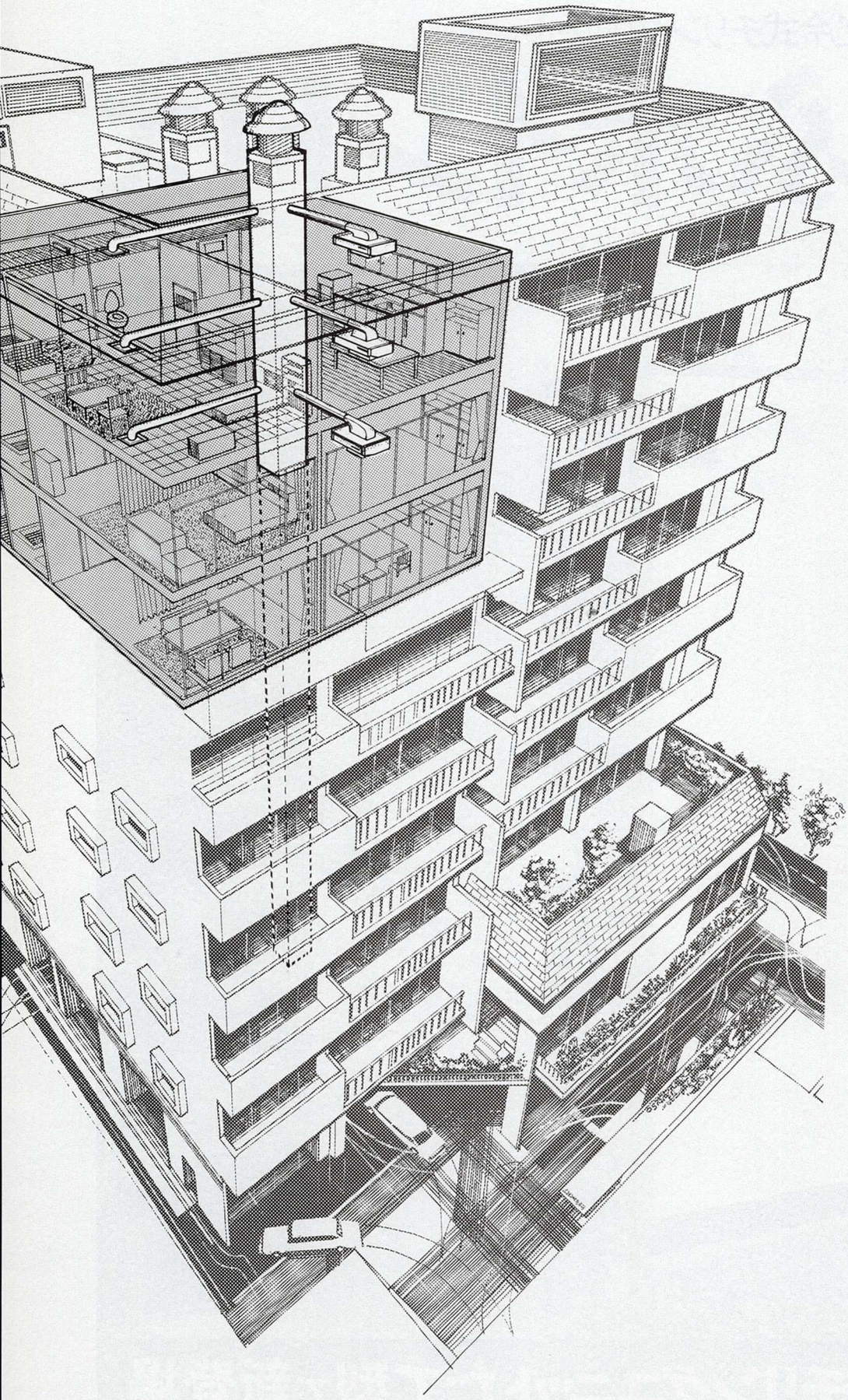
ナショナル
松下電器
松下精工

# ナショナル換気・送風システム

■資料を進呈…(〒486)春日井市鷹来町丸の内4811　松下精工・換気送風設備部 ㊞0568(81)1151 ■お問合せは、松下電器・特機、または住宅設備機器営業所へ 札幌(241)9271 青森(22)1211 仙台(25)8111 宇都宮(33)3235 大宮(65)1521 千葉(43)2985 東京(453)3111 立川(24)6701 横浜(681)3941 横浜(641)1261 新潟(46)2111 金沢(61)2151 松本(26)2515 静岡(45)1241 名古屋(951)6211 京都(231)8851 大阪(346)5151 大阪(909)1201 神戸(391)7821 広島(43)7711 広島(48)1195 岡山(25)1311 高松(21)1121 高松(51)3333 北九州(531)5221 福岡(271)1131 福岡(431)1101

換気風量が4段階に自動制御できる

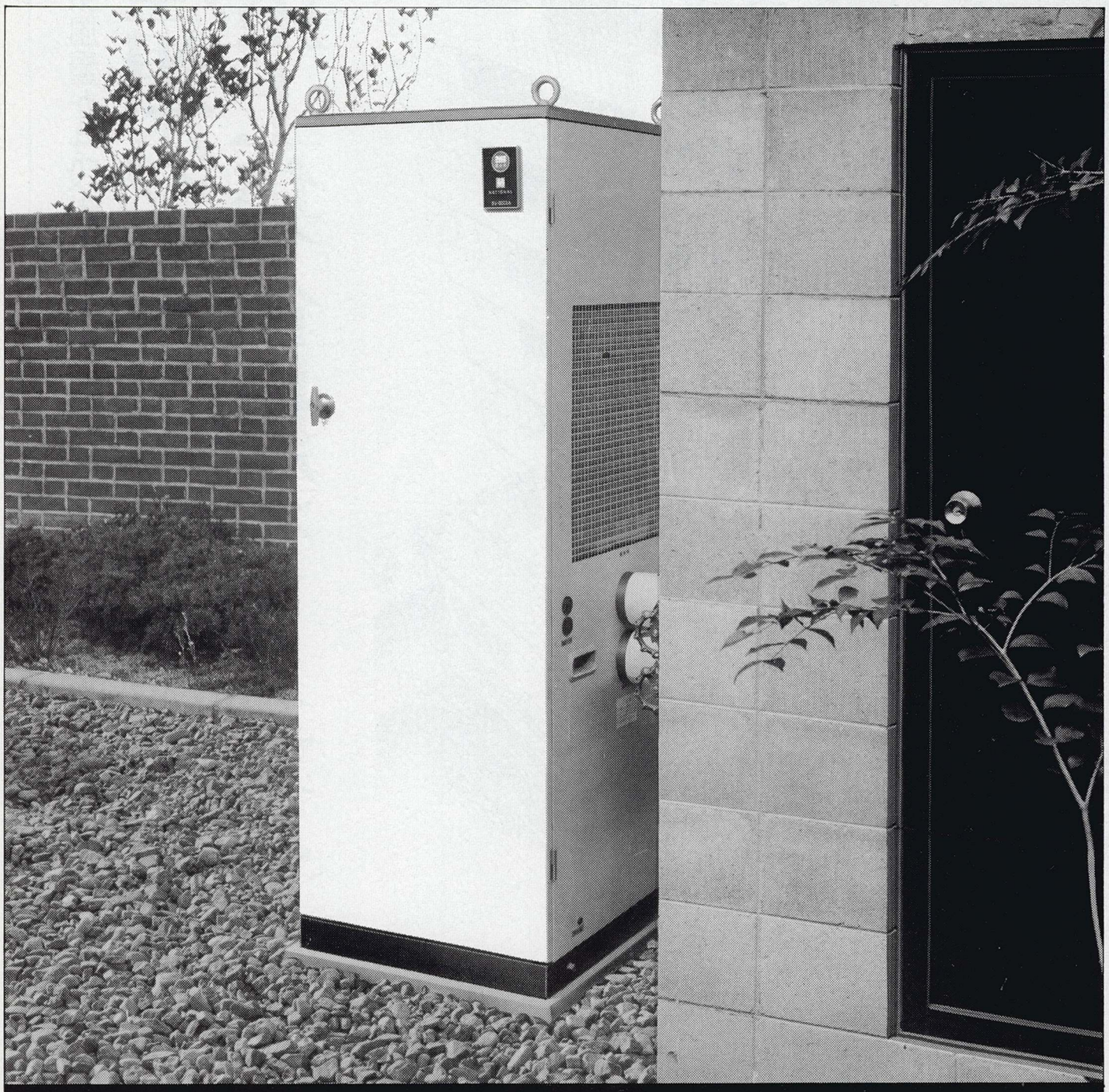
# 理想の中高層ビル用〈屋上集合排気システム〉



National

これからの空冷式チリングユニット

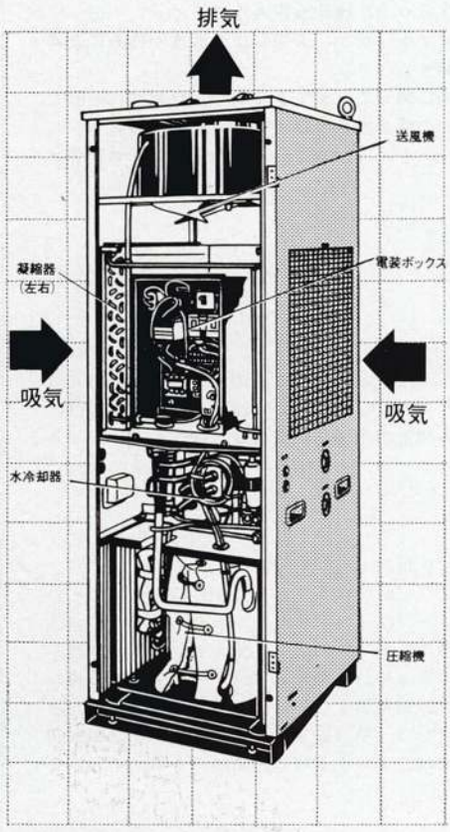
# 選ぶポイントは



## 静かな空冷式チリングユニットたて型で新登場

# 「音」と「スペース」

セントラル冷暖房の冷水源、空冷式チリングユニットは屋外に露天設置します。
それだけに、近所迷惑な音のしないこと、スペースをあまり取らないこと——
選ぶときは、この2つがポイントになります。

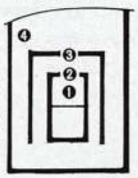



●冷却能力:6,250/7,150 kcal/h
**BV-03CSA**〈三相200V〉
外形寸法:高さ1,693×幅580×奥行601ミリ

## 1m離れて、わずか45dB(50Hz) 静かになったそのワケは…

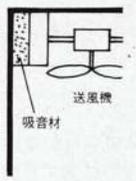
### ①念には念の4重吸音構造です

圧縮機を消音マフラーでカバー。その上をグラスウールと特殊ゴムで包み、ウレタン貼りのボックスで密閉しました。さらに、本体の内側にもウレタンを貼る念のいれよう。圧縮機の吐出音が外に洩れるのを防止します。




### ②ケーシングを延長。ファンをすっぽりおおいました

ファンをおおったケーシングの内側に吸音材を入れました(図)。また、ファンの極数を上げて回転数を落とし、同じ能力を保ちながら静音化をはかりました。ファンの音はほとんど聞こえません。




### ③排気口を側面から上面へ

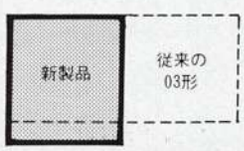
ケーシングを延長したこととあいまって、運転音の拡散を防止します。

## 音が静かだから 置き場所を選びません

住宅や商店が密集したところでも、そして、庭先やテラス、屋上でも、ご近所への気がねなしに、設置いただけます。

## 底面積が25%も減少(当社比) 設置場所は思いのまま

スリムなタテ形。冷蔵庫なみのスペースさえあれば、十分。
設備設計もしやすく、経済的なチリングユニットです。



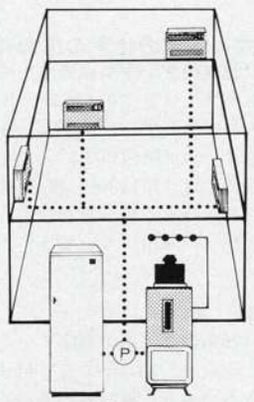

## 至れり尽せりのアイデア設計です

●操作回路は100V。リモコンと接続すれば、屋内からどなたでも簡単に操作できます。
●のちのちの保守点検・サービスは、前開きドアを開くだけの容易さ。
●両側面に持ち上げ取手を新設。据付作業がしやすくなりました。

## システム研究

### BV-03CSAを使ったシステム
### 4室冷暖房・4か所給湯

このプランは、4室を冷暖房し、4か所に給湯する設計です。
BV−03CSAは、同時冷房する時は3室まで。同時使用率の低い一般住宅や商店などに適したチリングユニットです。




**■主な使用機器**
熱源……オートホットOW−306G
冷源……空冷式チリングユニット
BV−03CSA
放熱機…ファンコイルユニット
BV−06FTC×4台

# ナショナル空冷式チリングユニット

ナショナル 松下電器 松下空調

●製品のお問合せは…(〒541)大阪市東区安土町2丁目30 大阪国際ビル内 松下空調工業株式会社 宣伝係まで TEL(06)262-3121

日本建築協会法規委員会

# 法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

76

## 建築基準法施行令の一部改正について（その2）

昭和48年12月号では、"2以上の直通階段を設ける場合"までを紹介しましたので、ひきつづき今回も、建築基準法施行令の一部を改正する新旧対照条文を紹介します。（大阪市建築指導部審査課　井原　篤）

### 建築基準法施行令の一部を改正する政令新旧対照条文

| 改正 | 現行 |
|---|---|
| （避難階段及び特別避難階段の構造）<br>**第123条**　屋内に設ける避難階段は、次の各号に定める構造としなければならない。<br>1）〜5）　略<br>6）階段に通ずる出入口には、常時閉鎖式防火戸である甲種防火戸若しくは乙種防火戸又はその他の甲種防火戸若しくは乙種防火戸で第112条第14項第1号、第2号及び第4号に定める構造のものを設けること。この場合において、直接手で開くことができ、かつ、自動的に閉鎖する戸又は戸の部分は、避難の方向に開くことができるものとすること。<br>7）略<br>2．略<br>3．特別避難階段は、次の各号に定める構造としなければならない。<br>1）〜8）　略<br>9）屋内からバルコニー又は附室に通ずる出入口には第1項第6号の甲種防火戸を、バルコニー又は附室から階段室に通ずる出入口には同号の戸を設けること。<br>10）11）　略 | （避難階段及び特別避難階段の構造）<br>**第123条**　屋内に設ける避難階段は、次の各号に定める構造としなければならない。<br>1）〜5）　略<br>6）階段に通ずる出入口には、次のイ及びロに定める構造の甲種防火戸又は鉄製網入ガラス入りの乙種防火戸を設けること。<br>イ　随時閉鎖することができ、かつ、火災により温度が急激に上昇した場合に自動的に閉鎖すること。<br>ロ　直接手で避難の方向に開くことができ、かつ、自動的に閉鎖する部分を有し、その部分の幅、高さ及び下端の床面からの高さが、それぞれ、75センチメートル以上、1.8メートル以上及び15センチメートル以下であること。<br>7）略<br>2．略<br>3．特別避難階段は、次の各号に定める構造としなければならない。<br>1）〜8）　略<br>9）屋内からバルコニー又は附室に通ずる出入口には第1項第6号の甲種防火戸を、バルコニー又は附室から階段室に通ずる出入口には同号イ及びロに定める構造の甲種防火戸又は乙種防火戸を設けること。<br>10）11）　略 |
| （共同住宅の住戸の床面積の算定等）<br>**第123条の2**　主要構造部を耐火構造とした共同住宅の住戸でその階数が2又は3であり、かつ出入口が1の階のみにあるものの当該出入口のある階以外の階は、その居室の各部分から避難階又は地上に通ずる直通階段の1に至る歩行距離が40メートル以下である場合においては、第119条、第121条第1項第4号（同条第2項の規定により読み替える場合を含む。）、第122条第1項及び前条第3項第11号の規定の適用については、当該出入口のある階にあるものとみなす。 | （共同住宅の住戸の床面積の算定等）<br>**第123条の2**　主要構造部を耐火構造とした共同住宅の住戸でその階数が2又は3であり、かつ出入口が1の階のみにあるものの当該出入口のある階以外の階は、その居室の各部分から避難階又は地上に通ずる直通階段の1に至る歩行距離が40メートル以下である場合においては、第119条、第121条第1項第3号（同条第2項の規定により読み替える場合を含む。）、第122条第1項及び前条第3項第11号の規定の適用については、当該出入口のある階にあるものとみなす。 |
| （設　置）<br>**第126条の2**（第1項略）<br>2．建築物が開口部のない耐火構造の床若しくは壁又は常時閉鎖式防火戸である甲種防火戸若しくは乙種防火戸若しくはその他の甲種防火戸若しくは乙種防火戸で第112条第14項第1号及び第4号に定める構造のもので区画されている場合においては、その区画された部分は、この節の規定の適用については、それぞれ別の建築物とみなす。 | （設　置）<br>**第126条の2**（第1項略）<br>2．建築物が開口部のない耐火構造の床若しくは壁又は煙感知器と連動して自動的に閉鎖する構造の甲種防火戸若しくは乙種防火戸で区画されている場合においては、その区画された部分は、この節の規定の適用については、それぞれ別の建築物とみなす。 |
| （地下街）<br>**第128条の3**（第1項略）<br>2．地下街の各構えが当該地下街の他の各構えに接する場合においては、当該各構えと当該他の各構えとを耐火構造の床若しくは壁又は常時閉鎖式防火戸である甲種防火戸若しくはその他の甲種防火戸で第112条第14項第1号、第2号及び第4号に定める構造のもので区画しなければならない。 | （地下街）<br>**第128条の3**（第1項略）<br>2．地下街の各構えが当該地下街の他の各構えに接する場合においては、当該各構えと当該他の各構えとを耐火構造の床若しくは壁又は第112条第14項各号に定める構造の甲種防火戸で区画しなければならない。 |

| 改正 | 現行 |
| --- | --- |
| 3. 地下街の各構えは、地下道と耐火構造の床若しくは壁又は常時閉鎖式防火戸である甲種防火戸若しくはその他の甲種防火戸で第112条第14項第1号、第2号及び第4号に定める構造のもので区画しなければならない。 | 3. 地下街の各構えは、地下道と耐火構造の床若しくは壁又は第112条第14項各号に定める構造の甲種防火戸で区画しなければならない。 |
| 3.<br>〜<br>6. 略 | 3.<br>〜<br>6. 略 |
| **（特殊建築物等の内装）**<br>**第129条** 前条第1項第1号に掲げる特殊建築物は、当該各用途に供する居室（法別表第1(い)欄(2)項に掲げる用途に供する特殊建築物が耐火建築物である場合にあっては、当該用途に供する特殊建築物の部分で床面積の合計百平方メートル以内ごとに耐火構造の床若しくは壁又は甲種防火戸若しくは乙種防火戸で区画されている部分の居室を除く。）の壁（床面からの高さが1.2メートル以下の部分を除く。第4項において同じ。）及び天井（天井のない場合においては、屋根。以下この条において同じ。）の室内に面する部分（回り縁、窓台その他これらに類する部分を除く。以下この条において同じ。）の仕上げを不燃材料、準不燃材料又は難燃材料（**3階以上の階に居室を有する建築物の当該各用途に供する居室の天井の室内に面する部分にあっては、不燃材料又は準不燃材料**）で、当該各用途に供する居室から地上に通ずる主たる廊下、階段その他の通路の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料又は準不燃材料でしなければならない。 | （特殊建築物等の内装）<br>**第129条** 前条第1項第1号に掲げる特殊建築物は、当該各用途に供する居室（法別表第1(い)欄(2)項に掲げる用途に供する特殊建築物が耐火建築物である場合にあっては、当該用途に供する特殊建築物の部分で床面積の合計百平方メートル以内ごとに耐火構造の床若しくは壁又は甲種防火戸若しくは乙種防火戸で区画されている部分の居室を除く。）の壁（床面からの高さが1.2メートル以下の部分を除く。第4項において同じ。）及び天井（天井のない場合においては、屋根。以下この条において同じ。）の室内に面する部分（回り縁、窓台その他これらに類する部分を除く。以下この条において同じ。）の仕上げを不燃材料、準不燃材料又は難燃材料で、当該各用途に供する居室から地上に通ずる主たる廊下、階段その他の通路の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料又は準不燃材料でしなければならない。 |
| 2.<br>〜<br>7. 略 | 2.<br>〜<br>7. 略 |
| **（非常用の昇降機の設置を要しない建築物）**<br>**第129条の13の2** 法第34条第2項の規定により政令で定める建築物は、次の各号の1に該当するものとする。 | （非常用の昇降機の設置を要しない建築物）<br>**第129条の13の2** 法第34条第2項の規定により政令で定める建築物は、次の各号の1に該当するものとする。 |
| 1）<br>2） 略 | 1）<br>2） 略 |
| 3）高さ31メートルをこえる部分の階数が4以下の主要構造部を耐火構造とした建築物で、当該部分が床面積の合計百平方メートル以内ごとに耐火構造の床若しくは壁又は**常時閉鎖式防火戸である甲種防火戸若しくはその他の甲種防火戸で第112条第14項第1号及び第3号に定める構造のもの**（廊下に面する窓で開口面積が1平方メートル以内のものに設けられる鉄製網入ガラス入りの戸を含む。）で区画されているもの。 | 3）高さ31メートルをこえる部分の階数が4以下の主要構造部を耐火構造とした建築物で、当該部分が床面積の合計 100平方メートル以内ごとに耐火構造の床若しくは壁又は**第123条第1項第6号イに規定する構造の甲種防火戸**（廊下に面する窓で開口面積が1平方メートル以内のものに設けられる鉄製網入ガラス入りの戸を含む。）で区画されているもの。 |
| 4）略 | 4）略 |
| **（敷地内の空地及び敷地面積の規模）**<br>**第136条**（第1項略） | （敷地内の空地及び敷地面積の規模）<br>**第136条**（第1項略） |
| 2. 法第52条第3項第3号、法第55条第1項第3号及び法第56条第3項の規定により政令で定める規模は、次の表の(い)欄に掲げる区分に応じて、同表(ろ)欄に掲げる数値とする。ただし、特定行政庁は、街区の形状、宅地の規模その他土地の状況により同欄に掲げる数値によることが不適当であると認める場合においては、規則で、同表(は)欄に掲げる数値の範囲内で、その規模を別に定めることができる。 | 2. 同上 |

| (い) | (ろ) | (は) |
| --- | --- | --- |
| 地域又は区域 | 敷地面積の規模（単位平方メートル） | 規則で定めることができる敷地面積の規模（単位平方メートル） |
| (1)第1種住居専用地域 | 3,000 | 1,500以上 3,000未満 |
| (2)<br>〜<br>(4) 略 | | |

| (い) | (ろ) | (は) |
| --- | --- | --- |
| 地域又は区域 | 敷地面積の規模（単位平方メートル） | 規則で定めることができる敷地面積の規模（単位平方メートル） |
| (1)第1種住居専用地域 | 5,000 | 2,500以上 5,000未満 |
| (2)<br>〜<br>(4) 略 | | |

# 形影相同



影の曲直は、形の曲直によってきまるが如く、
住む人の心根をそのまま映し出すインテリア、
そこに、トータルインテリア≪松山≫の創造
のしがいが……




家具の——
松山
大阪堀江／心斎橋／東京




■本店／大阪四ッ橋筋立花通り角
☎大阪（06）531－6451（代表）

# 読者の頁

## 妙心寺系の茶室

佐治建築事務所　上谷重男

昨夜来の雨があがったというのに、京都の空はあたかも冬空のような様相を呈し、木枯しを思わす北風が肌に寒さを感じさせられる一日であった。妙心寺、この名は私の記憶の底に全くといってよい程、ないものであった。京都の古い雰囲気を残した町並に囲まれたこの広大な敷地の中に色々の別院が肩を並べるように点在する。その点在のしかたが、ちょうど京の町並が街路の両側にスケール調整をして建っているように。この妙心寺派といわれる建物部もそれらの町並と同じように私には思われた。禅宗の中では他の流派と比較して早くから数量経済的にすぐれた手腕を見せていたと言われ、南禅寺等に比較して（茶）というものが僧の修行にとって適当でないということから（茶室）というものが（数）の比較の上で少ないといわれている。

### —天球院殿にて—

唐風の玄関の扉が重く開かれ、その門をくぐると、晩秋の風に翻えった小さな木立の葉音とともに。私は禅宗のあの竜安寺に見られる石造の砂を敷きつめた庭を想定していた。しかし、目の前に展開されたのはあまりにも緑多い小さな庭、そして（室中）（礼の間）（檜那の間）は全て狩野山雪の筆による金碧の濃彩の花鳥動物で埋められ華やかな空間を創りだしている。庭といい従来の水墨画で創られるべき壁画といい。私は首をかしげながら茶室「蓬庵」に通じる暗い板張の廊下をくぐりぬける。晩秋の木立が紅葉し、一枚一枚今日の強風によって落ちていく。そして、もうせんを敷きつめた部屋で（茶）をすすり、ガラス越しに赤い舞を見ながら天球院の住職の蘊蓄ある話に耳をかたむけた。現代の観光化した寺院、そしてそれによって「人の心」を考えないで行動している観光客、観光客が入ってゆくことによってどれほどその周辺の人が迷惑を受けているかなど、少し漫談風な解説がつづけられる。こうして考えてみるとこの住職その人が「ディスカバー、ジャパン」なのかもしれない。そのようなことを考え、岡田先生の話を聞きながら、三帖敷の蓬庵に入って行った。低い天井、上からの明り取りの窓からうすい光が投げ込まれる。小さな「にじり口」。人がやっと身も心も最小にして入ることのできる広さ、このような狭い空間の中で最高の拡がりを人間の中に求める。

### —桂春院—

禅宗の庭そのものを感じさせられる。竹で低くつくられた垣根を見ながら入ってゆく。禅の心は「低く低く」なのかななどと。受付を過ぎると「清浄の庭」という名の庭が目に入ってきた。これは現代建築空間の中にとり入れられた（中庭）と（吹抜）の両者をとり入れたもの。人の心を大きく天高く飛ばすことを意図としたのか。

（**思惟の庭**）うっそうと木立が茂っている。この中へ人が入ってゆく。身を小さくして（人間）と（自然）との一体化がこの庭では生まれてくるかもしれない。その中から人びとが思索への道をゆっくりと人生を考える方向へ人びとを導くことを意図として。

（**佗の庭**）狭い土地の中へ可能な限りの「心」を置く。茶室が狭いスペースの中で最高のゼイタクであるように。私には作者の作意というものがこの庭に強く感じられる。少し皮膚感覚的に馴み得ない。不自然さを心の中から取り除くことができなかった。

（**藤村庸軒好みと言われる茶室の既白庵**）非常に額縁の見付が小さい。七寸程度。そして天球院の茶室に比較して天井高の高低差を意識的に多くしつけている。床前が長片天井、点前畳が網代の落天井、にじり口の上は竹種の掛込天井という風に変化をつけている。前室といってよいのかどうか解らないが七帖の間でフスマ越しに若い女性が庸軒流の茶道の点前を披露していた。茶道が（型）にとらわれるとかとらわれないとかよく論議されているが、それ以前の問題としてある（型）のなかで、「茶」というものを味わうということも大切なことであろう。そしてその（型）の向こうに惑いは（型）のなかから何かをつかみだすことを楽しみにしながら。

### —退蔵院—

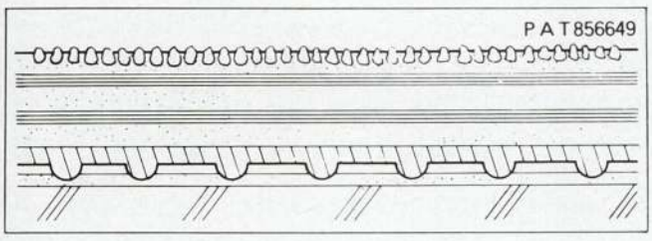
この院は現在改築中のため、狩野元信の築庭の枯山水庭園も山水画の始祖といわれている如拙の作の「瓢鮎図」を見ることができなかったのは残念。現代の造園家の作になるのであろう。「余香苑」「陽の庭」「陰の庭」が大きくのびのびと作られている。石組の間を水が流れ落ちる。こうして見ていると日本の庭園は見られるという行為に耐えることができなければ名庭園になり得ないのではないかということがふと頭の中をよぎった。庭園というものは見るものであって入って肌と肌とをすり合わすものではないのであろうか。案内パンフレットのなかに「禅宗とは人間がその存在の源底より叫び起す魂の郷愁として「絶対なるもの、永遠なるもの」に全人格を投げだし、そこに新しい自己を発見し、人生の意義に目覚めること」という風に定義している。私達が現在設計し、創ってきた都市が一向に良くならないで何となく無機質的に人間を排除してゆく空間に変ってきている今、もう一度（建築）とは、（空間）とは、（人間）とは、を考えるに良い機会であった。

（うえたに　しげお）



フクレ防止宣言!!

防水の難問を解決した
特許ストライプ工法 **ピロウエルド**




1.露出防水のフクレを完全に防止します。
2.下地挙動を緩和し、優れた耐亀裂性を発揮します。
3.従来の絶縁工法にない接着力で、風による剥離を防止します。

日本アスファルト防水工業協同組合
●東京都足立区千住東2丁目21番28号　ＴＥＬ東京(882)2424(代表)
●大阪市東淀川区瑞光通り４丁目30の２　ＴＥＬ大阪(329)7737(代表)

マルエス S 日新
日新工業株式会社
本社営業所●東京都足立区千住東2丁目21番28号　ＴＥＬ東京(882)2424(代表)
大阪支店●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　ＴＥＬ大阪(329)7737～7740
出張所●名古屋(741)4257～8●広島(21)1010・1061●福岡(74)3461～3
●札幌(51)5659・6885●山形(23)0437～9　工場●東京●埼玉●山形

# 年頭の辞

安田株式会社会長
**安田誠一**

新年おめでとうございます。

**忙中閑あり。**

楽しく働き、楽しく遊ぶ、をモットーとして、六十年の金物行脚を続けてまいりました。働くことは人間の本分です。しかし、遊びにも意義があります。適度の遊びは休養であり、慰安であり、気分の転換であり、明日への備えでもあります。また、交友にも役立ちます。人生の楽しい一環でもあります。それも忙中の閑なればこそです。

2、30年も前の話ですが、当時、岡谷鋼機㈱東京支店長の道家精市氏は、岡谷きっての手腕家でした。氏が定年退職の時、『今までは多忙で遊びも思うようにできなかったが、今度はゆっくり遊んで余生を送ります。』といわれました。私もそのお言葉をもっともだと聞いていました。ところがその後、半年もたつかたたないのに『金物卸業を開業した』との知らせに驚いた私はどうしたことかと伺いますと、『遊びというものは忙しい中に閑をもとめてこそ楽しいのであって、今日は芝居だ、明日は映画だ、と日割表まで作って遊ばねばならんとなると実に苦しい。遊びに行っても少しも楽しくない。そんなもの三ヵ月と遊べたものでない。隠居仕事に開業することにした。』としみじみと語られました。これは実に味うべき話だと思いました。

近頃、休み、休み、休みと、休みだけが楽しいかのような錯覚に陥りがちになりますが、そんなに休みがふえたら遊ぶのに困るのではないでしょうか。それとは裏腹に休みが多くなれば生産は減ります。物質は不足します。さらに物価高になります。生活費も高くなります。遊ぶのに金もいります。当然、人件費は高くなります。勤労者は勤労者で、いくら昇給されても、金、金、金の入用でそれこそインフレの回わり燈籠です。悪循環になります。働く喜びを会得して楽しく働き、正しい循環にいたしたいと思います。

私たちは子供の頃『人間は働きに生れてきたのだよ』と教えられました。これは人間として生をうけた喜びを神に感謝して、人間の本分である働くことによって報恩せよという教えです。『怠けてはお天とう様に申分けない』とも教えられました。これは太陽の恵に、天地自然の恵に感謝して、働きによって報恩せねば申訳けないという日本古来の教えです。先人の偉さが知らされています。日本人は感謝の念に厚く、道性心の高い心第一の民族です。働く意欲の旺盛な民族です。この貴い精神の存続する限り、日本は永遠に栄えます。

1．日本民族の美性を生かす
1．働く喜びを会得して、楽しく働く
1．忙中閑ありで楽しく遊ぶ

**休日改造論**

近ごろ、だんだん週五日制に追込まれているようですが、現在の祝祭日をそのままで週五日制を全国的に実施されては大変だと思います。祝祭日が重ったら月曜も休むのでは、日本の産業マヒは火を見るより明らかです。三日も休みが続いたら交通のマヒは大変です。電話も通信も幅そうして仕事になりません。生産もガタ落ちです。

後進国から、近年ようやく頭をもたげた日本です。だんな（旦那）気取りは早すぎはしませんか。日本は資源の無い国です。働かねば生きて行けぬ国です。戦後の急激な発展で『日本人は働き過ぎだ』とか、『動物的に働く』とか毒舌を聞きますが、外国人は日本の国情をよく知らないで言うことで、日本人が気にするほどの悪意はないと思いますが、そのまま受けとってよいのでしょうか、受けとりかたで『魔』の言葉にもなります。ゆめゆめ惑わされてはなりません。日本人は日本人として毅然として生き抜きましょう。働きすぎだと言われて遊ぶ方に走っては神に申訳けない。それよりも日本の実情を世界に披れきして好ましい、日本人に好かれる日本人になりたいと思います。もちろん、政府の外交の力にもよらねばなりませんが、先進国であろうと、後進国であろうと、皆、人間です。同じ人間です。真心は通じます。好かれる日本人として、世界の共存共栄に貢献いたしたいと思います。外国人でもドイツ人にスイス人は勤勉そのものです。アメリカ人も勤務時間は実によく働きます。この点はとても日本人のおよぶところではありません。これは昔からの話ですが、48年10月幣社社長安田嘉雄が古河電工の関係でアメリカ業界視察旅行に行き、10月27日帰朝いたしました。その土産話に工員の勤務ぶりはもちろん事務員の執務ぶりも実に真剣そのもので、文字通りわき目も振らず、一生懸命の勤務振りに驚嘆したといっていました。この点はぜひ頭に置いて考えていただきたい。

週五日制は建設業のごとき特種な事業では大問題ではないかと思います。とくに日本列島改造、新幹線計画、本四連絡三橋、等々々山積しています。勤労者も、その事業をよく理解して善処されんことを望みます。

中小企業にはマダマダ時期尚早です。日本の産業は中小企業により成立っているのです。大企業たりとも下請工場はほとんど中小企業です。その中小企業が成立つか、どうかというほどの大問題です。

製造業では休めば休んだだけ生産が減ります。商業でも理は同じです。中小企業としては困った問題ですが、どうしても週五日制に追込まれる時は正月三ヶ日は別として、祝祭日は土日に編入する、記念日等は国旗をかかげて祝意を表し、休まない祝日とする、週五日は計画を立てて合理的に働くことによって能率の低下をおぎないたいと思います。

この休日改造こそ、ぜひ、実行してもらいたいと提唱いたします。

1．忙中閑あり
1．休日改造論

年頭の辞といたします。

昭和49年元旦

（やすだ　せいいち）

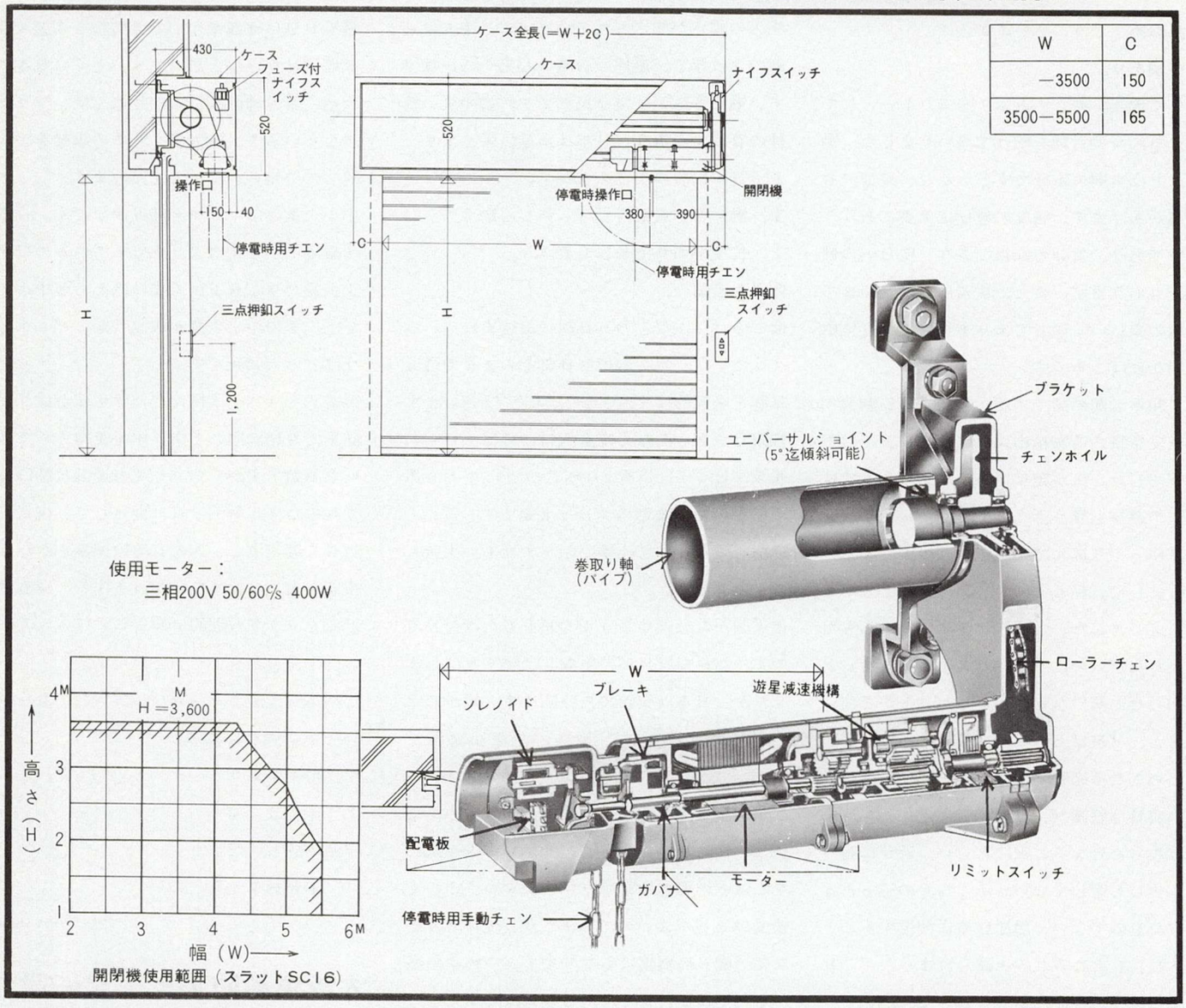
# 大阪建築防災センター設立

デパートや旅館、劇場など多数の人々が出入する特殊建築物の防災チェックをきびしくし、検査体制を充実する目的で、官民合同の第三セクターともいうべき「財団法人 大阪建築防災センター」の設立発起人会が、去る1973年12月3日、日本綿業倶楽部でおこなわれ、この1月1日からスタートすることになった。

大阪府、大阪市や、大阪府建築士会、日本建築協会ら、29団体が参加し、設立資金 2,670万円である。理事長は小河吉之助氏。

「市街地および建築物等の防災対策に関する指導啓発、調査研究ならびに建築防災に関する専門技術者の指導・育成・定期調査（検査）業務等を積極的に推進して、建築物の安全性を確保し、もって国民生活の安全保持に寄与せんとするものである。」と設立趣意書にうたっている。

# 日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!




| W | C |
|---|---|
| —3500 | 150 |
| 3500—5500 | 165 |

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W




開閉機使用範囲（スラットSC16）

# L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　ガバナー機構　手動機構
実用新案　巻取り軸との連結機構　およびL型機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

## ●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。


株式会社 日本シャッター製作所

本　　社　枚方市大字招提　大阪府中小企業団地内　電話(0720)(57)4535～6
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361)7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

# 建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

## 「なにをよりどころにつくるか」—日本建築家協会第4回大会

日本建築家協会第4回大会は「なにをよりどころにつくるか」を統一テーマとして、去る1973年11月7日～9日の3日間にわたって、東京のホテル・パシフィックで開催された。参加者は会員186名、所員89名、計275名。

第1日目は、第1分科会として「つくるもの——建築家の利己性と利他性」について、第2分科会として「つくられるもの——建築家と環境権」について、第3分科会として「つくらせるもの——建築家と組織社会」について、それぞれ2名ずつのパネリストより問題提起があった。夜は宴会。

第2日目は、分科会討議があったあと、現在大きな問題となっている「職能法制定推進本部よりの報告」をきき、全体会議が行われた。最後に、大会決議として、「建築並びに、建築家みずからを『つくる』ことの原点に立ち戻って考え」、「つくる側の論理、つくらせる側の論理に加えて、つくられる側の論理」が建築に組み入まれなければならないと強調され、また大都市過密による災害の防止策、さらに、環境破壊の恐れのある建築に対する拒否の姿勢をもつこと、職能法の確立も以上の反省と自己規制の上に立ってはじめて社会の容認をうけうるものであることが、強調された。

第3日目は、見学会、ゴルフ大会の行事が行われ、盛会のうちに第4回大会の幕をとじた。




## 住民とともにまちづくり構想を——新建第3回大会

「住民とともにまちづくり構想を！」を大会スローガンとする新建築家技術者集団(新建)の第3回大会が、去る1973年11月3日～4日の2日間にわたって名古屋で開催された。新建の全国各地の支部より選出された代議員らを含めた、100名以上参加のもとに、第1日目は、18支部のうち14支部参加した支部より、それぞれの各地域での活動——部会活動・班活動など、住みよい環境をめざす新建綱領にめざした地道な活動が報告された。日照問題、歴史的遺産保全の問題も含めて、住民運動とともにとりくんだ例や、班での組織活動、若い建築技術者の技術要求にねざした部会活動など示唆にとんだ今後の新建の発展への基礎が報告された。第1日目の夜は、恒例のとおり「新建まつり」が催され、パーティ形式で各地支部ののど自慢や歓談の交流をくり広げた。

第2日目は、大会報告、財政報告その他で、代議員より白熱した意見がだされたなかで、大会報告などが採択され、新しい全国幹事30数名も選出された。また、三つの特別決議、(1.ベトナム建築家の来日要請、2.京都府知事選　3.中之島保全問題)がなされ、大会が終った。

この新建第3回大会は、ひとことでいえば、住みよい環境をめざして、住民運動と科学者運動と、そして、建築家・技術者の技術者運動との三者の連帯・結合が、萌芽ではあるが、その端初を開いたということである。1972年の第2回大会で「科学的な民主的国土開発をめざして」。「点検・構想・実践」の運動を提起したが、今回は、それをふまえて、「住民とともにまちづくり構想を」をつよく打出したことが、特徴としていよう。




## 日中建築技術交流会設立総会

「日本と中国との建築に関する学術・技術・芸術の交流をはかるとともに両国建築界の友好推進に寄与すること」を目的とする、日中建築技術交流会の設立総会が、去る1973年11月30日、東京・丸ノ内の、日本工業倶楽部で開催された。

会長に、小林政一氏、副会長に市浦健、吉阪隆正、種田治、南幸治、東畑謙三の各氏を選んだ。中国側の窓口は決まってないが、今のところ大使館を通じて行う予定で、日本側の窓口は、日本建築学会内に事務局をおく同交流会があたる模様である。正会員(会費年3,000円)・賛助会員(会費1口年額50,000円)の加入を呼びかけている。

## 中之島を考える公開討論集会

「中之島をまもる会」主催で去る1973年12月3日中央公会堂において、「中之島の将来像」について、約200名の市民が参加して公開討論集会がもたれた。「中之島の伝統を未来にどう生かすか」について、中瀬寿一氏(歴史学)が、つづいて、「市民本位の市役所を構想する」と題して、三村浩史氏(都市計画)が問題提起を行い、大久保昌一氏、林野全孝氏、住田昌二氏らが助言者として意見をのべた。ここで、都心の空間を守り、憩いの場としての文化機能を生かし、群としての歴史的建造物の遺産を産業考古館などにして保全する構想や、新しくつくる総合市庁舎は阪大跡地にする構想案などを含む「中之島の将来像」が提起され、一般の関心を呼んだ。



# すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

# シポレックス

SIPOREX




**軽量**

比重0.5

コンクリート¼の重量

**断熱**

コンクリートの10倍の断熱性

**耐火**

法定耐火材料

ロイヤルホテル
設計　吉田五十八研究室
　　㈱竹中工務店
施工　㈱竹中工務店
使用別位　マジキリ

**◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。**

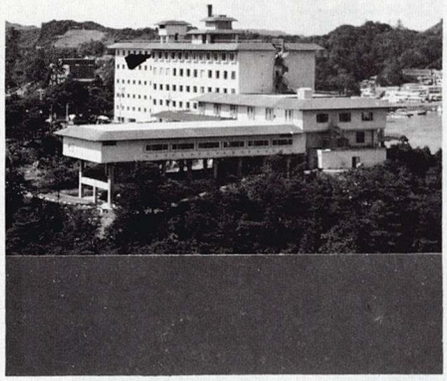
1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

**シポレックス株式会社**

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６(平沼ビル)
電話　東京　(256)代表３４５１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90(第三富士ビル)
電話　大阪　(538)代表０５２１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２(大商ビル)
電話　名古屋　(581)代表７４２１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。

凡例：a.所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延面積　e．構造規模　f．工期



## 946. 鳥羽シーサイドホテル(増築工事)

設計：株式会社富家建築事務所
施工：大日本土木株式会社大阪支店
a．鳥羽市安楽島町字安久志
c．1,422.52㎡
d．3,772.79㎡
e．SRC、B2／5F
f．昭和47年12月～昭和48年8月



## 947. 南海電鉄和歌山市駅ビル

設計：㈱竹中工務店
施工：㈱竹中工務店
a．和歌山市東蔵前町3－6
b．41,677㎡
c．14,417㎡
d．17,456㎡
e．SRC&S、B1、F7、P1
f．昭和47年1月～昭和48年5月



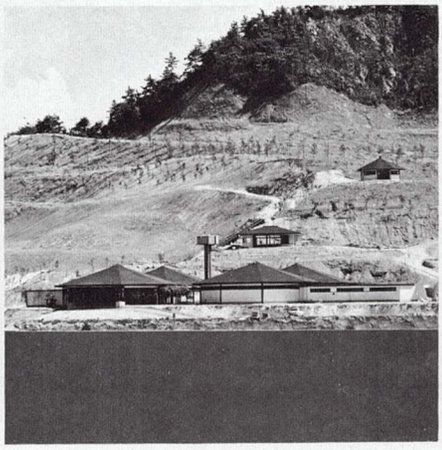
## 948. 大和郡山市立社会教育総合施設

設計：㈱桝谷建築設計事務所
施工：㈱淺沼組
a．大和郡山市郡山523
b．6,300㎡
c．3,102.6㎡
d．6,351.9㎡
e．S及RC造、地上3階、2棟
f．昭和47年7月～昭和48年6月



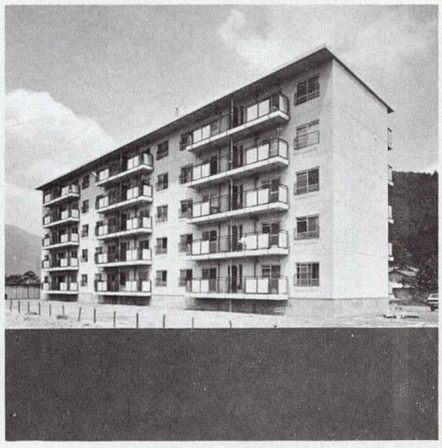
## 949. ショーズビル

設計：㈱竹中工務店
施工：㈱竹中工務店
a．大阪市西区江戸堀北通2－2
b．454.66㎡
c．335.55㎡
d．2,033.27㎡
e．RC、F7、P2
f．昭和47年9月～昭和48年5月



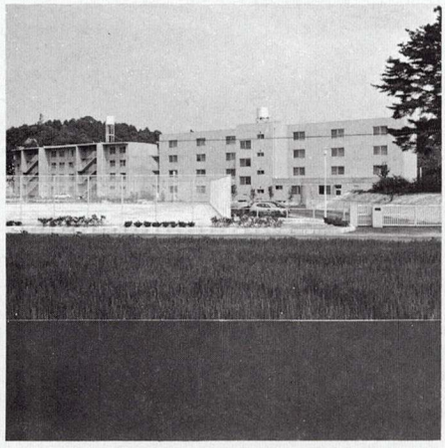
## 950. ロイヤル多田カントリークラブハウス

設計：㈱井上久雄建築設計事務所
施工：大和ハウス工業株式会社
a．兵庫県宝塚市切畑字長尾山19番地14
b．890,000㎡
c．1,968.94㎡
d．1,887.26㎡
e．S造一部RC造、1F、B1
f．昭和47年10月～昭和48年7月



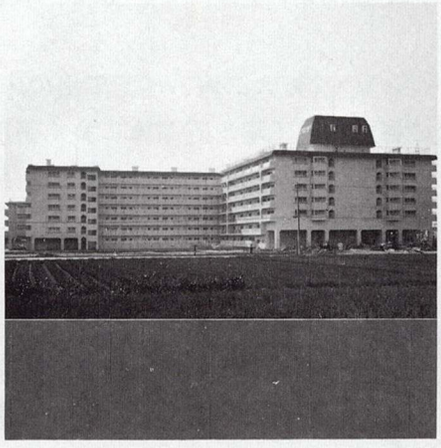
## 951. フランスベッド㈱兵庫工場寮

設計：安藤建設㈱大阪支店
施工：安藤建設㈱大阪支店
a．兵庫県永上郡山南町
c．405㎡
d．2,354㎡
e．SPH-A-$9_2$、40戸、5階建
f．昭和47年10月～昭和48年4月



## 952. 関西電力㈱南郷独身寮

設計：新日本技術コンサルタント
施工：安藤建設㈱大阪支店
a．大津市南郷町赤川53－1
c．394.94㎡
d．1,237.56㎡
e．RC造、4F、1棟
f．昭和47年12月～昭和48年5月



## 953. 安宅産業ルネ門戸

設計：㈱長谷川工務店大阪支社
施工：㈱長谷川工務店大阪支社
a．兵庫県西宮市門戸荘
b．5,027.810㎡
c．2,582.065㎡
d．17,259.299㎡
e．RC、7F
f．昭和47年12月～昭和48年10月



## 954. 三井甲東園パークマンション

設計：㈱長谷川工務店大阪支社
施工：㈱長谷川工務店大阪支社
a．兵庫県西宮市甲東園3丁目
b．1,390.463㎡
c．806.582㎡
d．7,160.157㎡
e．SRC、8F、B1F
f．昭和47年4月～昭和48年3月

# フリントコート®

## マスチックフローリング

### 耐久性のすぐれた防湿床材




飯田町紙基地センター
設計監理：国鉄東京建築工事局　施工：清水建設・熊谷組・鉄建建設共同企業体
使用場所：床　仕様番号：F－9Ⓡ

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　復元性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート施工販売部

大　阪　〒532 大阪市東淀川区西中島2丁目76 ☎(06) 303－7131
東　京　〒104 東京都中央区宝町2丁目4番地(第2ぬり彦ビル3階) ☎(03) 562－4646
名古屋　〒461 名古屋市東区東門前町3の47(日本橋ビル4階) ☎(052)931－8537
広　島　〒730 広島市東白島町15番6号(西林ビル3階) ☎(0822)21－1224
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴1－1－5(舞鶴ビル3階) ☎(092) 77－1961

# 建築の眼

## □日照指数

のどかな正月を迎えて、平和のありがたさをしみじみとおもう。中東戦争の余波で燃料の節約がいわれだしてから、火にあたるより陽にあたれを励行している。

昨年は日照問題に明け暮れた。東京都では住民の間に日当たり条令案の署名運動がおこり、都の日照専門委員会のシビルミニマム基準案にも強い批判が行われた。

今年は建築基準法の改正が日程に上っているが、単なる日影時間の規制のみで実効があるとは予想できない。

日照時間帯や窓面の受熱効果などを考慮に入れた日照指数についての自説の提案も、とおり一遍の学会の発表ではナシのつぶてであった。しかし、地元とりわけ兵庫県では日照セミナーを開いてもらって、かなりのご理解がいただけたのは嬉しい。この指数はもともと団地のレイアウトを決めるときに、各戸に充分な日照を確保できるよう住棟のオリエンテーションの検討に役立てばと考えたものであるが、現在の戸数主義のきびしい条件の下では建築家の良心的な裁量にわずかな期待をつないでいる状態である。また、心ならずもある日照判決にかかわりはあったが、「日照紛争への新しい武器」という見出しで紹介されたA紙の報道は、私にとっては誠に心外であった。 (Se)

## □公務員技術者

官公庁の技術者の役割りは時代とともに大きく変ってきた。明治・大正時代の官庁リード型から現在では、量的にも内容的にも民間の大きな協力を得なければならないように移行している。

このような流れは公務員技術者にとって一抹の淋しさを禁じ得ないが、視点を変えると民間の健全な成長は建築界にとってはかえって喜ばしいことと思っている。

しかし、公共建築の施主である市民にとって重要なことは民間か官庁かではなく、どうすれば良い建築が生まれるか、であろう。

官公庁の営繕組織は民主的に選ばれた市民代表の建築に対する考えを正しく伝えるための最良の制度として、機能しているはずである。

ところが、市民の公共建築に対する合意をどこに求めるかはまだむつかしいが、住民の信託を受けた公務員技術者としては正しい見通しに立って、自信を持って建築することが大切だと思っている。 (O)

## □まちづくりと生活

祇園はじまって以来といわれた住民運動——祇園新橋元吉町の景観保全運動もさきごろ、さしあたっての問題であったビル建築は施主が設計変更に応じて「守る会」と合意書を交わして落着した。つぎは「特別修景保全地区指定」であるが、これも市当局が前向きで検討を始めた。

8月の暑い日よばれて「何故、まちなみを保全しなければならないか」をはなしにいって逆にいろいろ教えられた。「地価が下がるのではないか」「特定の人の利用するところではないか」と疑問をだしてみたら、「まったく認識不足だ」とやっつけられた。このごろではお茶屋は昼間から忙しい。会議利用もあるが、芸妓さんが家庭の主婦のサークルにおどりやうたを教える場所になっている。

昔から祇園町では朝早くから掃除をし、座敷に花を生けてキチンと準備をするという生活規範がある。それが昼間からの需要にも応じられる基礎になっている。

建物の造作のすみずみにゆきわたった知恵もさることながら、まちづくりを主にやっているものにとっては生活のシステム、町の住みわけ方、使い方に支えられて伝統的空間が現代に生きている実際にふれて感動した。ベンガラ格子は決して保守主義の象徴ではなく、時代に生きる生活の象徴のようにみえた。それが創意にあふれたのびのびした住民運動を支えたのではなかろうか。 (M)

## □新年に想う

「今年はどんな年だろうか」毎年のように年末年始の現業部門の休みの間考え込むわけであるが、いつものことながらうやむやの間に「本年の渦中」に巻き込まれてゆく。

年末になるとジャーナリストが年間10大記事を取上げて一年を振返っているが、昨年ほど建築企業面でも、悩まされ続けた年はあるまい。原料不足からくる材料の入手難に始まり、資材の暴騰、労務者不足、労賃の高騰、と追打ちをかけられ、秋には金融引締め、原油の輸入制限、運賃値上げ、米価の大幅値上げ、と春夏の難題が何一つ未解決の上に秋の難問をなげかけられたまま年を越え新年を迎えた。

工事の実施工程も予算も社会状勢、国際状勢の旬日にしての激しい変りようには対処しようもない現状で、この実情を起業者や施主に認識と理解にこれ努めた昨年でもあった。

昨年の持ち越しの課題の上に、さらに新しい問題が次々押し寄せてくるだろう本年は「さて…」と思案している間に松の内も過ぎ、「本日の解決」に忙殺されている私であることに気がつく。 (Shi)


関原猛夫
関西大学教授工学部建築環境研究室

大海一雄
神戸市住宅局住宅部建設課長

三輪泰司
地域計画・建築研究所長

塩脇昭司
錢高組建築部長


1月号より6月号まで上記4氏で担当



建築用仕上げ材料

# マルチタイル

マルチタイルとは　つやのよい多彩模様の立体感豊かな高級意匠壁をつくりだす建築用仕上げ材料ずす
塗膜が厚く　耐候性・耐水性にすぐれ　変褪色がなく　光沢保持性がよいので　建築外壁の防水加工に適しております
また　打ち放しコンクリートやモルタルなどの無機質材料に直接施工ができるので　左官工事が省略でき
長期間美観を保持します
デザインも　高原・筑紫・近江・箱根・吉野と以前に比較し斬新なものになりました

※詳しいカタログを差し上げますので　当社宣伝建社係へおハガキでお申し込みください

関西ペイント

〒541 大阪市東区伏見町5-27　☎06(203)5531

KENTIKU TO SYAKAI

# 建築と社会 ©

第55集（1917年創刊）

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

歴史的環境保全

1974 1

CONTENTS

*SPECIAL FEATURES ON THE CONSERVATION OF HISTORIC ENVIRONMENT*

会　告　日本電々公社湊川市外電話局新築工事の見学会。日本不動産銀行大阪支店（不銀ビル）新築工事の見学会。灘の清酒「白鶴」の酒蔵を見る会。第8回若い会員の集い・「吉野の紙すきと史跡を見る会」・会員の受章。……37

年頭のことば　'74年を迎えて／塚本猛次……1

本年の抱負　日本建築協会常設委員会／各委員長……36

昭和48年度中に竣工した新建築……2

法令コーナー76.　建築基準法施行令の一部改正について（その2）／井原篤……62

読者の頁　妙心寺系の茶室／上谷重男。年頭の辞／安田誠一。大阪建築防災センター設立。……65

建築と社会ニュース　「なにをよりどころにつくるか」。（日本建築家協会第4回大会）住民とともにまちづくり構想を（新建第3回大会）。日中建築技術交流会設立総会。中之島を考える公開討論集会。……69

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（№946～954）……71

建築の眼　日照指数／関原猛夫。公務員技術者／大海一雄。まちづくりと生活／三輪泰司。新年に想う／塩脇昭司。……73

海外写真　北ヨーロッパの街づくり1　ストックホルムの旧市街…金井　弘次……77

コンクール　第19回工高生デザインコンクール入選作品　設計課題「自然公園の中に建つ休憩所」……78

特集＝歴史的環境保全

第1部　都市環境保全と開発総論――都市環境保全講演記録

(1)　史的環境保全の問題点……鳥田　家弘……82

(2)　中之島の建物の歴史的意義――人を通して物を見る……滝沢　真弓……84

(3)　都市における保存と開発……中沢誠一郎……87

第2部　歴史的環境保全事例――中之島保全の現況と問題点

(4)　中之島の環境破壊の経緯と中之島の位置づけ……大久保昌一……90

(5)　中之島保全の市民運動……高田　昇……95

第3部　資料

(6)　中之島東部の歴史的環境問題について－知名人へのアンケート……99

(7)　都市と景観－神戸の景観に関する100人アンケート報告書から……105

(8)　歴史的環境の類型と保全のあり方－三重県・和歌山県・大阪府・滋賀県・奈良県……107

(9)　歴史的環境保全運動リスト……111

(10)　集落町並保存対象地区……112

技術の頁134.　設備部門　水の利用実態とその合理化について……宮井　宏……114

日本建築総合試験所だより17　新年のごあいさつ／坂　静雄……117

若い会員の集いレポート　当尾の秋をたずねる／赤木圀文……118

建築クラブ　中国の印象－訪中神戸経済使節団の一員として……下川　常雄……120

月報　日本建築協会月間の動き（昭和48年11月分）……121

編集人　松井昭光
印刷　昭和49年1月20日
発行　昭和49年1月25日
発行人　福中定三郎
発行所　㈳日本建築協会　大阪市東区北浜3－37　電大阪231－9648　振替口座大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　㈱研文社　大阪市北区堂山町66　電大阪361－0351
売価　1部　400円・送料共

昭和48年度編集委員会（順不同）

編集委員長　山田幸一　渡辺忠　彦谷邦一

編集理事　井上滉　五十嵐定義　尾亀清四郎　北垣智造　小西岬　白井周二　菅谷健児　高野考二郎　谷口尚武　窪田祐　大橋一雄　三品哲夫　小泉豊平　西村良平

事業委員より　日下正基　浜田学昭　辻文三

編集委員　海道清信　大野義照　石田繁夫　小川克彦　上田信也　谷淳之介　大蔵勝彦　八木俊樹　西野孝　石田友美　生田隆史　宮坂一也　青木信介　口羽竜二　江藤暢英　川本勝　佐伯晃　松林功　池田敏夫　村田光平　竹山清明　増淵昌利　加藤照男　河目浩吉　上野登統　浅見元

■次号特集予告
明日の建築はどうなるか。

ARCHITECTURE AND SOCIETY VOL.55 1974



※ギリシャ神話でプロメテウスは〈予見する者〉ともいわれ、天上の火を人間にあたえました。

《現代のプロメテウス》

# 近電工はあすを具現します

**総合設備産業のパイオニア――――**

〈近電工〉は新しい時代の展開とともに成長をつづけます。電気工事はもとより計装・空調・土木工事まで、その総合力を広範な分野で発揮し、国際的レベルの技術・技能をほこる精鋭企業として、70年代のエネルギーを先導します。

電気・計装・空調・土木

## 近畿電氣工事株式會社

取締役社長 岡本繁一




# 海外写真

## 北ヨーロッパの街づくり 1

### ストックホルムの旧市街

写真と文　金井弘次

ストックホルムは北欧の工業都市として、人口 140万人を擁する一大コミューンを形成している。この街の都市計画は、古く17世紀の前半から着手され、今日まで着実に進められた計画的な街づくりは有名である。その発祥は13世紀頃といわれ、現在の中心街から僅か南のサルッショーン湖とメラーレン湖にはさまれた小さな島、ガムラスタンである。バロック風の壮麗な王宮の裏に、ぎっしりと並ぶ古い建物の間を縫う狭い石畳のゆるやかな坂道は、当時の面影をそのまま伝えているといわれる。写真の建物はおよそ17世紀のものであるが、民芸品や骨董品の店のうえに今も人々の生活がちゃんとある、静かな庶民的な街である。オールドタウンと呼ばれて市民の心のふるさととなっている。石畳の片隅に陣笠をつけ、直径1ｍくらいの衛兵小屋を裏向きにしたような円筒状の公衆便所も、このオールドタウンにふさわしい古びた置物である。





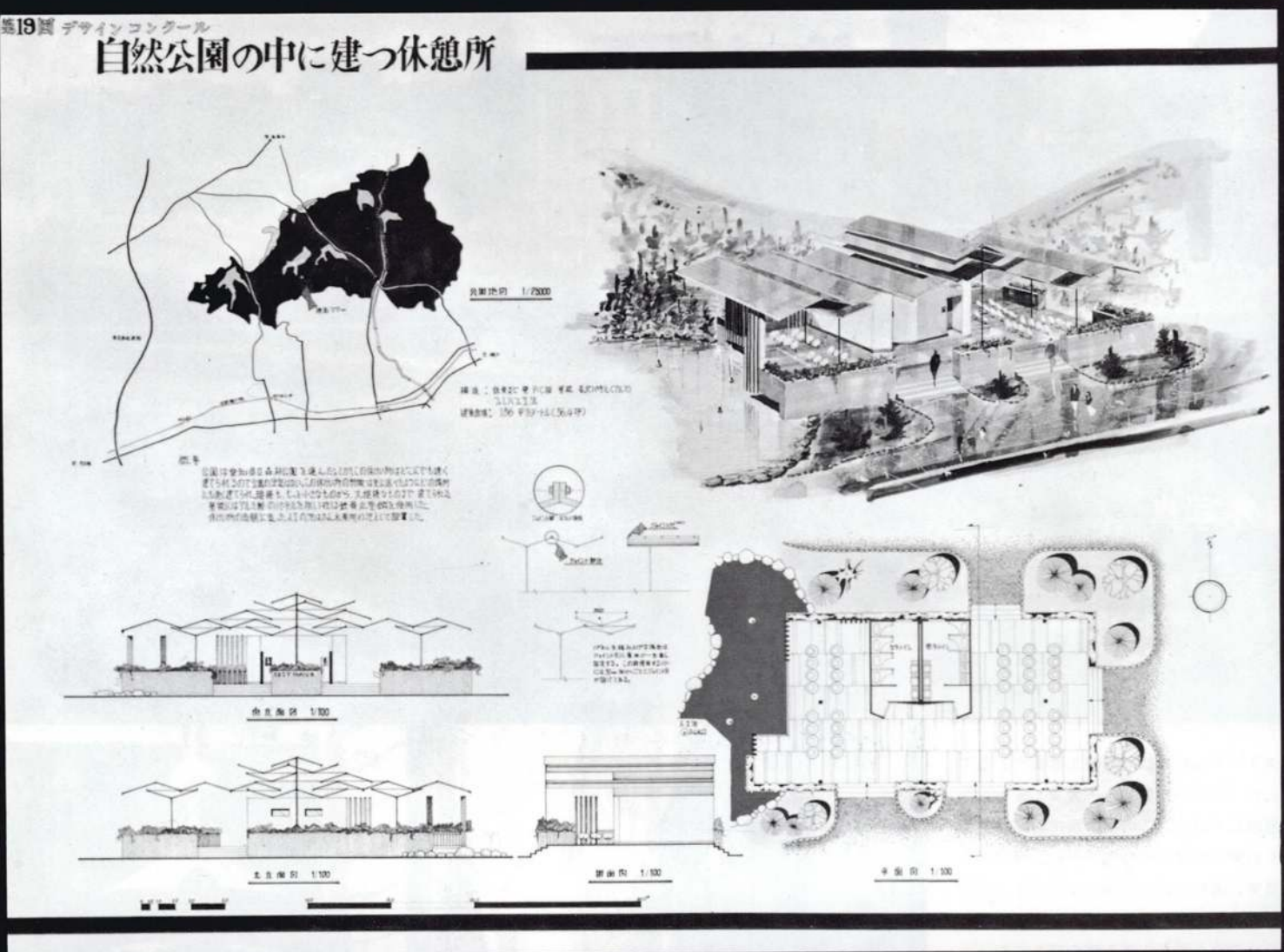
# 第19回工高生デザインコンクール入選作品

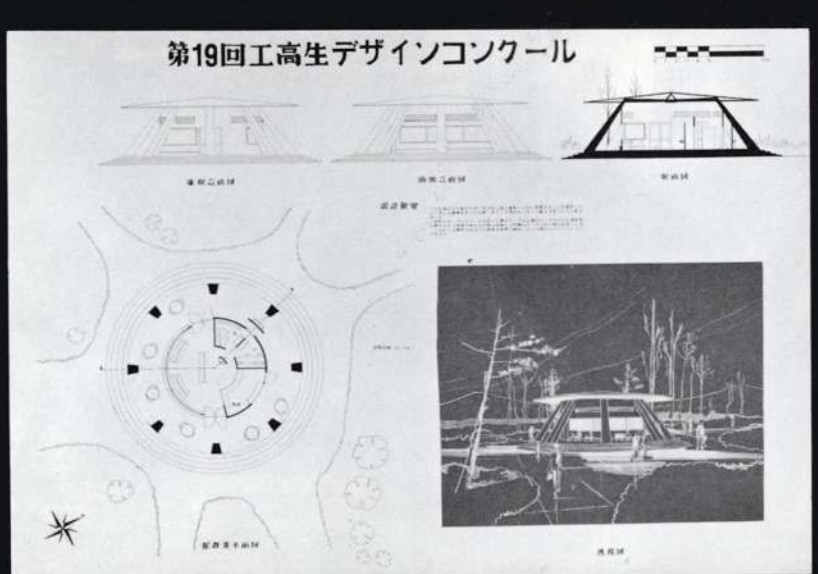
設計課題：自然公園の中に建つ休憩所
主　　催：日本建築協会

応募点数74点（応募校９）のうち、予備選考、第１次から第４次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品１点を決定した。なお、今回に限り、特に努力賞を１点設けた。

（審査会は、昭和48年10月24日に開催）

審査委員長／徳永正三・審査員／池亀鴨雄・池田有隣・江川好巳・紙野桂人・久保田進也・栗原嘉一郎・坂内幾男・下河内勇・徳岡昌克・前田萬亀雄・松田至弘・薬袋公明（50音順）




## △最優秀作品　佐藤元治

（名古屋市立・工芸高校・３年）

美しい自然の中で、解放感のある楽しいものを考え、デザイン面でもすっきりしていてくどくならないようにまとめてみました。規模としては、短期間にどうにでも建てられるような、経済性の高いものであることを基本としたが、構造的には、今少し考えてみるべきだと思います。

## ◁入選作品　赤沢　均

（新潟県立・高田工業高校・２年）

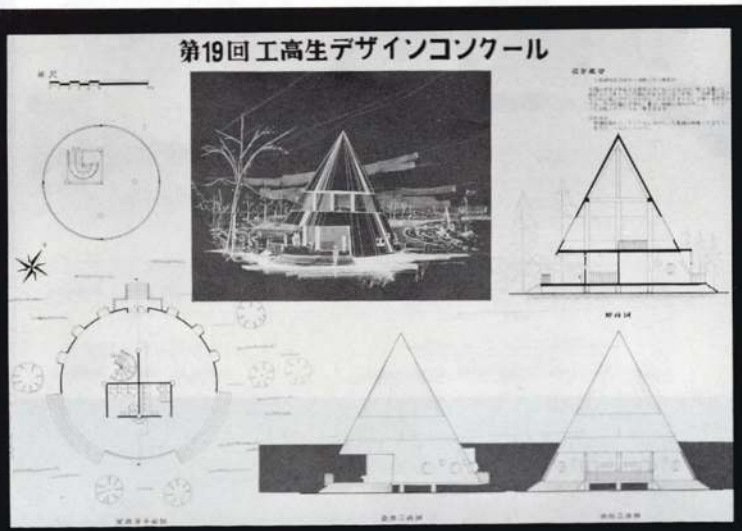
上信越国立公園、池の平で遊歩道の集合する地点を考えた。ここに来かかった人達がほっと安堵するような、親しめる休憩所をつくってみたかった。外部オープンスペースは大人達の憩いと子供達の遊びの場とし、建物は解放的に考えてみました。

**設計要項**

1．敷　　地：自然公園内（国立公園、国定公園、都道府県立自然公園の中の適当な敷地を自由に選んで下さい。）
2．建築面積：150㎡～200㎡
3．施　　設：休憩所・男女別の便所（売店の設置は自由とする。）
4．構　　造：自由、2階建以下

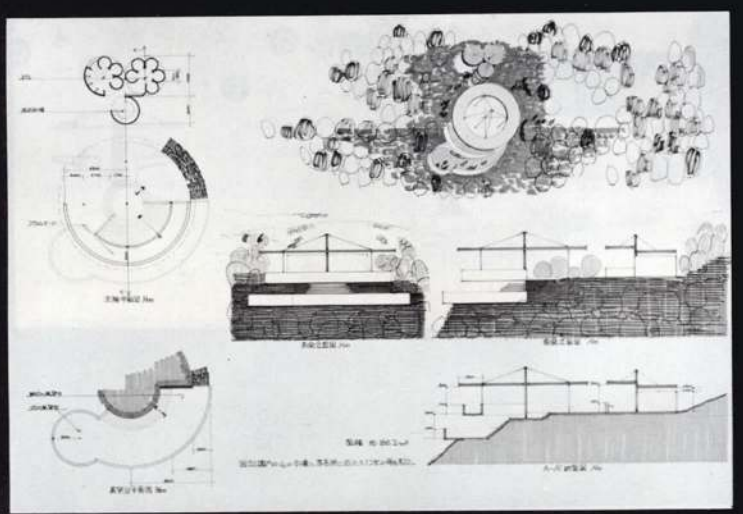
**総評**

今回の設計課題が「自然公園の中に建つ休憩所」という工高生諸君にとって、多少とらまえ難い課題であったためか、応募点数も例年より少く、9校・74点であった。
応募作品の大半は課題の主旨を理解した努力作品であったが、立地点の不明確なものなど、やや不消化なものがあった。今回のように建物と自然（環境）の調和が主テーマーになる場合、特に注意してほしい。
しかしながら、入選作はいずれも具体的に敷地を想定し、設計に取組んだ点が良かったと思う。
審査にあたっては、各審査員それぞれの立場から意見を出していただき、討議を重ね慎重審議の結果、最優秀作を含む入選作10点を選出した。その間、入選作品以外にもなかなか捨て難い努力作が多く、今回に限り特に努力賞として1点追加することにした。
今後努力をなさって質においても量においても益々向上されるが望ましい。




## △入選作品　山岸幸造

（新潟県立・高田工業高校・3年）
白銀の世界に生活する私達は、その情景の中で休憩所を考えてみました。針葉樹林の中にそびえ立つ円錐形の屋根と、円く突き出た球面の窓にデザインのポイントをおいた。四季の雄大な景色が一望できる展望室を2階にとり、高床の1階に機能的な配置を考えてみました。

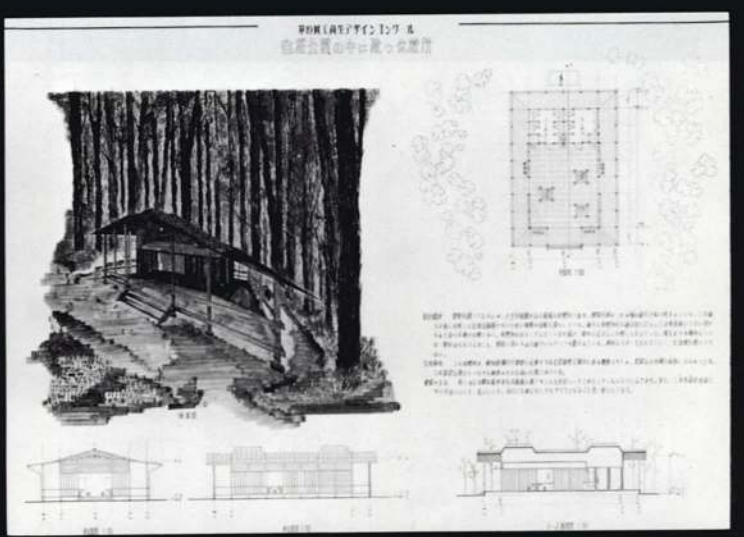


## △入選作品　富松紀次

（横浜市立・鶴見工業高校・2年）
私は山歩きをするのが好きです。私が出掛けたときそこに出会う休憩所は、いつもただ腰を掛けて休むというだけのものでした。身体を休めるというだけでなく、周囲の眺望を賞でながら、楽しく語りあえるような落着いた雰囲気の休憩所を考えてみました。

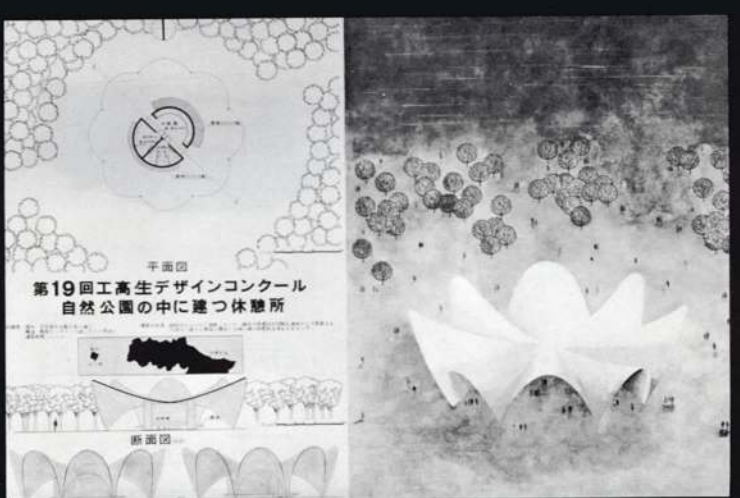
## ▽入選作品　松井勝敏

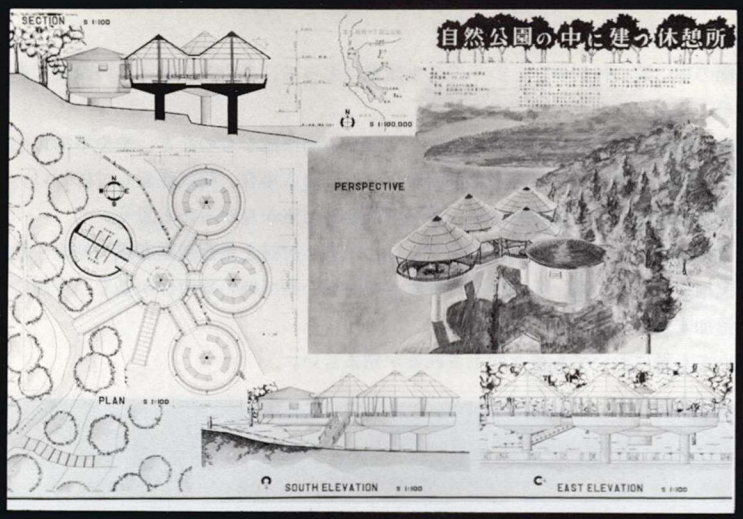
（名古屋市立・工芸高校・2年）
私は、細くすっきりと、高く成長した竹を見るたびに思うのです。あの細い幹に強靱な節がなければ力弱いものとなってしまうでしょう。私の人生のある時間に強い、そして立派な節をつくっていきたいと思った。この作品は私の人生で良い節だったと思います。



## ▽入選作品　坂本隆清

（神奈川県立・神奈川工業高校・3年）
湖のあるところに想定しようと決心したのがスタートであった。しかし、湖岸にすることは敷地に地形的な問題があったが、美しい景観のあるハイキングコースに接するところに、緑と水に囲まれて、八方を出入口とする解放感のある憩の場所を考えてみた。

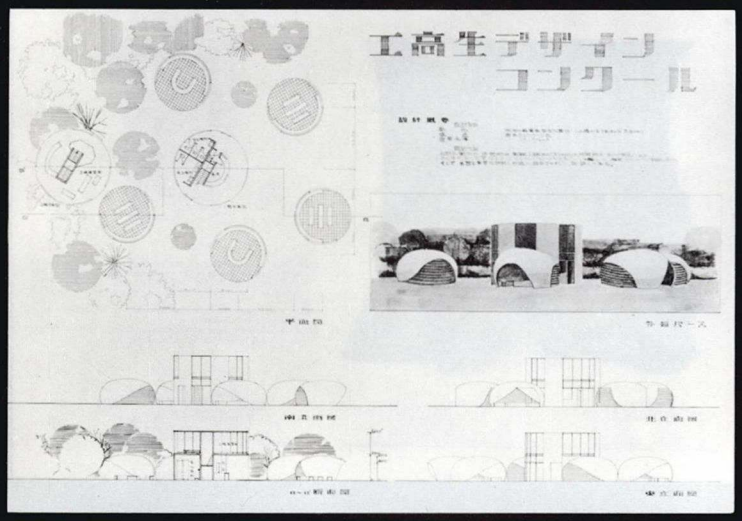





## △入選作品　矢作光司

（神奈川県立・神奈川工業高校・3年）

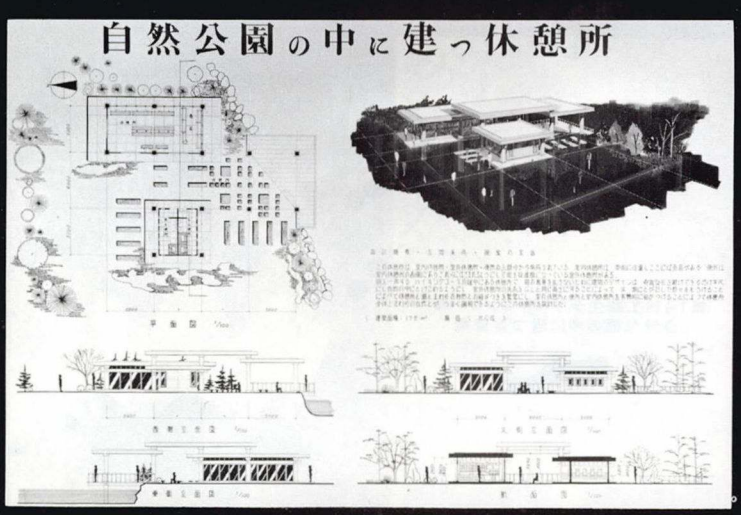
敷地の想定を芦ノ湖畔に考えてみました。しっとりとした杉の美林は、訪れる人々に本当に安らぎをあたえます。この杉の木にかこまれて傾斜したところに、楽しく集まった人達をやさしく包みこむような、大きな一本杉をイメージの基礎においてデザインしました。




## △入選作品　松永　誠

（大阪市立・都島工業高校・3年）

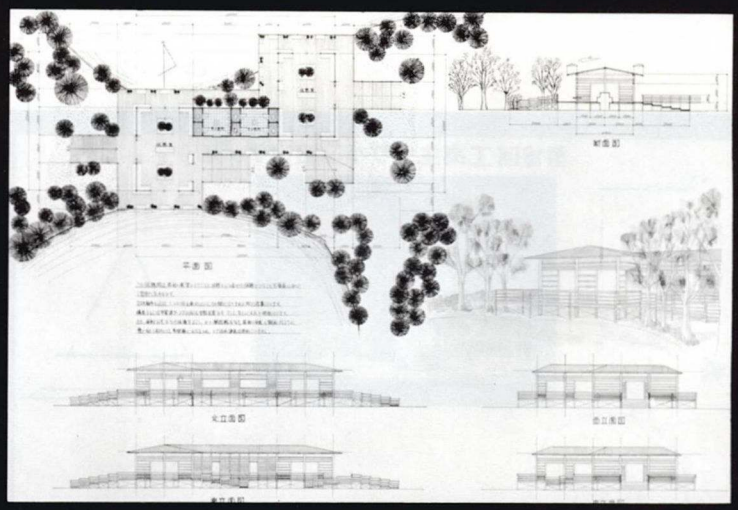
この場所にやってきた人が〝おや！〟と、軽い驚きを感じるようなものを考えてみたかった。形についても試案をねってみたが、結局楕円形を基にしてみた。休憩所の広場的な解放感と、安堵した居眠りが調和できるように考えていった。




## ▽入選作品　矢野義彦

（大阪府・西野田工業高校・3年）

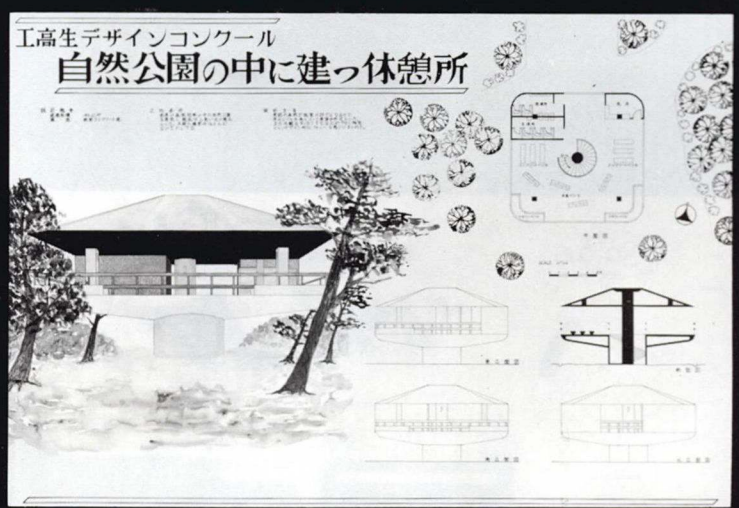
製作にあたっては、万国博の日本庭園を思い浮べていました。大きな池とまわりの樹木や草花が、そこに休憩する人達に安らぎを与えると考え、池をとり入れて建物も木造・丸太組とし、壁面や屋根も明るく解放的でまわりの自然と調和するように考えました。



## ▽入選作品　西田章宏

（大阪市立・都島工業高校・2年）

自然の情景といかに調和したものを作るかということに考えを進めていった。自然にとけ込ませるためには単純明快なものがよいと思い、平面も立面もすっきりさせることが狙いであった。物足りなさと、これでよいのだという考えが最後までつきまとった。




## ◁努力賞　石黒康文

（名古屋市立・工芸高校・3年）

自然公園内の湖を一周するハイキングコースの途中に敷地を想定しました。休憩所といえば、開放的な平面が多いので、天候や季節によっても利用しやすいよう室内部分を加えました。立面はまわりの自然にとけ込むよう奇抜なものをさけ、平凡にまとめてみました。

# 特集：歴史的環境保全

第1部　都市環境保全と開発総論
都市環境保全講演記録
1. 史的環境保全の問題点（鳥田家弘）
2. 中之島の建物の歴史的意義（滝沢真弓）
3. 都市における保存と開発（中沢誠一郎）
第2部　歴史的環境保全事例
中之島保全の現況と問題点
4. 中之島の環境破壊の経緯と中之島の位置づけ／大久保昌一
5. 中之島保全の市民運動／高田　昇
第3部　6. 中之島東部の歴史的環境問題について―知名人へのアンケート
7. 都市と景観―神戸の景観に関する100人アンケート報告書から
8. 歴史的環境の類型と保全のあり方―三重・和歌山・大阪・滋賀・奈良
9. 歴史的環境保全運動リスト
10. 集落町並保存対象地区

本特集は，「歴史的環境保全と再開発」特集として保全だけに限らず，「再開発」の面でも二つの大きなテーマを用意していた。すなわち，総論的な意味あいで，「中之島再開発の方向」として，大阪市総合計画局長に，相当の頁数を用意して原稿依頼したが，これは正式に辞退されてきた。もうひとつのテーマ，すなわち，事例として，「フランスのデファンスの再開発とパリ15区の保全」のテーマも，首都圏整備委員会や建設省都市局，大学教授など数人の方に原稿をたのんだが，これも資料不足の理由でことわってこられた。まことに残念である。そこでやむなく，再開発の面はぬけてしまい，以上のように「歴史的環境保全」特集となったもので，中之島問題が事例として中心を占めてしまったが，見方によっては，これこそ，現下の大阪における最大の焦点を示したものであろう。その他近畿圏における歴史的環境の類型と保全の事例など資料的な意味で問題の提起をいくつか行ったものである。

1974年の年頭にあたり，こんごの都市環境づくりに歴史的文化遺産の組みいれがいかに市民にとって大切であるか，都市建設の発想の転換をを考えるきっかけとなれば幸いである。

きりえ：加藤　義明



第1部　都市環境保全講演記録

1

# 史的環境保全の問題点

鳥　田　家　弘　（工博・神戸大学教授・日本建築学会近畿支部環境保全委員長）

文化財保存と生活環境をどう考えていくかという点，それから，点保存から面保存へという問題，その辺を多少簡単に申し上げてみたいと思います。

元来，文化財といいますのは，やはり一つの物財でありますし，物件としての所有権なり，使用権なりを当然持っておる。そこでだれが所有しているか明定できるようなものでないと，指定できない。その点で史蹟だとか，建造物はやりにくい。さらに建造物は，いったい美術品なのかという議論もありますが，今日ではやはり建造物一つという単体を指定しておる。そういう行き方でずっときたわけです。

それはやはり所有権法なんかに関連しますとどうしてもそうなる。しかしたとえば建築で10年ほど前にできました区分所有の法律，その共有持ち分というものは，これがこの人の持ちものだということがはっきりいえないので，どうも法律上困るんだという議論がずいぶん長く続きましたが，今日ではあまり問題が起きなくなった。それでも市街地改造法なんかの管理処分計画というのは，非常にこまかな計算しなきゃいけない。いわんや美術品である，古文化財であるというふうなものが，多数の人にからんでいるという場合はどうもやりにくい。やりにくいけれども，このままではぐあいが悪い，一つの建造物の周辺というのが裸では困る。もう少し広い意味での面的保全ということを取り上げて考えていくべきだというふうになってきた。

しかし，まだいろいろ問題点があります。権利対象が複雑なだけでなく，その場合にいろんな美術品とか，歴史的な価値のあるそれだということではなくて，周囲にはいろいろのものがからんでくるわけですから，そういう多元的な価値というのをどう割り切ったらいいか。従来のような美術品一本やりでも経済一本やりでもいかない。そういう広い面的保全では，都市計画の面開発の問題以上に複雑な内容をかかえており，それをどう考えていくべきかというのは今後取り組まなきゃならん問題点だと思います。

で，経済でもない，美術品でもない，そのなかでは人間が生きてるわけですから，現在生きている人間の生活環境としてのいろんなメリット，価値というのをどう考えるか，その点にやっぱり終局はしぼられてくる。ところが，いま住んでる市民の個人自体の心理のなかでも価値の選択に非常に矛盾をきたしています。国が経済優先をいうのはいかんと，このごろよくいいますけれども，しかし貧乏な私権についてはまだ経済優先という考え方がやはり市民一般に強い。経済優先で行き過ぎたから環境保護を考えるというふうなことがごく簡単に，すっとこういわれる時代になりましたので，これはたいへんけっこうなんですけれども，しかし，ごく小さなある地区のそういう面保存，面再開というふうな場合には，市民個人の経済要求がもう少し違う多元的な価値と見合って考えられるというところまでなかなかいかない。その辺に実際は非常にむずかしい問題があろう。

自分も含め，たとえば生活と商売上の利便の矛盾，細街路に乗り入れる車がふえて困るが自分の車は要るんだ。古い自分の家は敷地一杯に建てていて，前に家が新しく建つと暗くて困る。採光と日照もごっちゃにした日照権争いの矛盾など。保存上むつかしいのは細街路の交通問題と古い家の生活再建と防災対策との関係でしょう。

いま，きわめてむずかし過渡的な矛盾を抱えた状況であって，ただ歴史家がこの地区はおもしろいから残せといってもむつかしいし，経済優先の行き方もデッドロックに乗り上げておる。むしろ，どうその地区が生きていくのかということを，市民のなかであらためて考え直す時期にきておる。それがうまく市民のコンセンサスとして成立しなければ，やはりほんとうの本質的な意味での面保存はできない。開発と保存というのは，どうもわれわれ気が短いんで対立概念のように考えがちですが，実は生活という楯の両面のようなもので，保存なくして開発もありませんし，開発と見合わなければ保存というものも意味がないと思いますけれども，そういうものが何かうまく地区として生きるようなコンセンサスが，日本の都市，とくに都市の市民で得られるかどうか。これが明治以来大急ぎで走ってきたわれわれ市民に対するいちばん過渡的な大問題ではないか。

しかしいまのところ現実的にやりやすい保存は私にいわせれば線保存だろうとおもいます。線といえば，宿場町だとか，ストリートアーキテクチャーだとか，そういった街道筋なんかの街並み保全とこのごろいわれているものです。外国なんかでも，アメニティアクトなど面的に指定しますが，実際には街並ファサード保全が圧倒的に多い。日本でも，あの八坂の坂道だとか，妻籠が，そういう意味での街並保全で，これはやはりそこの大多数の人がコンセンサスを持ち得る。で，メリットは何かというと，これはごく簡単に割り切りますと，観光価値として生きれる，そういうところはわりにうまくいく。観光地としての川っぷちだとか，街道筋だとかの街並保全というふうなことが一般にやられていくだろう。ところがこれはとくに外国なんぞは非常にやりやすいんです。

ヨーロッパあたりですと寒い冬は大体お天気が悪いですから，日本でいうような日照権というふうなこともあまり問題にしない。採光権があればよろしいという程度のことで，室内に閉じこもりますから，したがって，内部と外部とははっきり切れておる。ところが，日本の木造住宅は決してそうではありませんで，夏風が吹き抜け，冬はお昼に太陽がサンサンと照りこんでくれて，暖房もあまりしなくてもすむんだという開放的住居です。スクリーンの外側の保全だけをやって，内側は別でよろしいというわけにはゆかない。何しろ開放部分が多いですから，外側だけどうかしたって内側とはやはり矛盾したものになる。ただ幸いにして外国並にいけるのは，京都の窓には格子がはまってるような，ああいうぎっしり並んだ町屋，いなかでも密集した宿場街のようなものなら，やや外国と同じようにそういう街並保全ということができるだろう。

しかし，もっと一般的な集落や住居地の生活環境でそのまま面的に開放住居で保存するというのは，これはめぐまれた大金持ちの大邸宅を一軒ずつ検討して保全する，やはりそういう形にならざるを得ないだろう。

さしあたり，内と外とは別に考えてもいいような，外国の穴熊人種に似たようなファサード保全というふうなことがまず実際的でしょう。そういったものは観光的なメリットをディスカバーするというディスカバージャパンの一つみたいな形を，やはり表面的ですが抱き合わせていくという動きで具体化していくだろう。しかし，本質の問題点というのは，やはりそういう単なる街並の線的保全ではなくて，いろいろ保全を含めて，われわれの生活環境がこの過渡期を通って，どういうふうに指向されるのか，そういう大きな方向づけが市民のなかから自然に合意を持って生まれてくるのを待たねばならないでしょう。

そういう地区全体の合意というと，例のコミュニティ，外国語の翻訳のコミュニティ概念に突き当たるのですが，これは全然別な話になりますが，私ちょっとその点では悲観論者なんです。

たとえば，戦時中のあの隣組みには一つの，ごく小さなコミュニティ意識というのも確かにあった。その場合に，日本では全体主義的な考え方が頭にあって，それの一つの補完機能であった。ですけれども，われわれすぐ変身しますから，私経済においては非常に個人主義であるといいながら，そういうかさの下でとたんに変身して全体主義者にすぐなってしまう。建築家，都市計画プランナーなんていう人も，いまは人間のためのコミュニティプランといっておりますけれども，ひょっと変わると全体主義的コミュニティてなことになりゃせんか。隣組みの原型は，たとえばナチズムにおける近隣共同体，近隣共同体が血の純血を持った，あのナチスの下で生きる，あるいはそれの哲学的なところではハイデッガーあたりが利用された。彼は何か日本人にはピンときやすいんで，そうすると英語のコミュニティと書いて安心してるわけにはどうもいかない。その辺に危険性を，取り越し苦労で感じてるわけです。しかし，やはり何とか地区としてのまとまりのなかからいまの過渡期を乗り越えていく，そういう心がまえが市民生活の上でいちばん必要だろう。お説教じみたことになりましたけれども，具体的にはまず街並保全というふうなことで，観光資源と抱き合わせて実現していくのがさしあたりの順序であろう。しかしそれではもの足りないんで，やはり本来の生きていく，生活環境をわれわれがどうつかむかというところに本質はあるんだとおもいます。その辺が保全と開発のいちばんの問題点ではないか。

それからなお二，三問題をあげておきます。

まず調査の問題。金がないので対症療法的に計画がきまったあとから調査をやる，そしてランキングをつける。このランキングがやはり貧乏のせいですが，本来はいいものを保全するためのプライオリティー，優先順位をつけるということなんですが，具体的にはひっくり返えりまして，食いつぶすための順序になってしまう。これも貧乏のなせるわざでしょうが，非常に残念なことなんです。

そういうふうに，順序をひっくり返えすという例は，これは他にもよくあることで，たとえば東京のシビルミニマム，その趣旨なんかを読みますと，すばらしい行政目標としてシビルミニマムを立てるんだ，そして，それを理想として実現するんだと書いてある。理想として実現するようなミニマムなんて馬鹿な話はありませんので，ミニマムってのはそれよりはよくなければいけないという線ですが，やっぱりそれに到達するのが行政の目標であるという逆立ちをやらざるを得ない。

もう一つ例を建築でいいますと，第一次欧州大戦後の敗戦ドイツの住宅難のときに，フランクフルトアンマインで建築の国際会議が持たれた。その議題がミニマムイグジステンス，最小限住居をどう考えるか，ところが，それが報告となって日本へきてしばらくしますと，おれたちはもっと機能的で，もっと便利で，もっと小さい住宅をつくり得るんだ，小さけりゃ小さいほど機能的でいいんだということになる。今度の戦後の婦人雑誌なんかは，七坪の機能的な，理想的な住宅というふうな，一種の住宅詩を書いた。それでバラック生活をやってたご婦人方が力づけられたのでしょうが。わずか七坪でも機能的に設計できるマイナーザベターでそれのほうがよりいいと建築家が婦人雑誌に協力した。西山さんなんか最初に盛んにそういうことを批判されておったんですが，どうも同じようにいいものからの順序をつけますと，しりのほうから食っていくためのランキングになる。どうもさか立ちの考え方がわれわれ日本人まだ非常に強いようです。

つぎに保全と開発のかかわり合いのことです。保全のほうがいまのところ対症療法的，散発的，あとから追っかけている。したがって，開発側からみると，建築史家の林野さんなんかが待ってくれというと，きらわれるという状態ですけれども，やはり楯の両面という点では，そういうネガティブプロセスで問題が出るのではなくて，開発計画自体に自然文化環境とのかかわり合いを含めた，もっとよりよい生活環境をどうするかと，そういう積極的な意識が必要である。

また都市計画で線引きをやる際には，抽象的な線を引かざるを得ない。そしてそのなかを一色に塗ってしまう。そのなかで実際は地区地区に応じたいろんな生き方，機能的なあり方があるはずですけれども，どうもマクロ的に見すぎてひと色にやってしまう。そのなかで地区地区の現状に応じて，現実的な考え方が都市計画に必要であろう。

さらに，そういったこまかい行き方と同時に，もう一つマクロ的なゾーニングがやはり必要であって，そういうマクロ的な大きなゾーニングと，そういうこまかい地区サイドでの現象面とのつき合わせ，対応そういうものをやはり立体構想として持ってゆく，その把握のなかに経済優先ではない，保全すべきものと，新しくするものとを，その地区地区の市民が生きるような，そういう生活環境として考えていくことがやはり必要でしょう。

それから，なおいちばん微妙な経済的な問題として，補助金制度や税制面の問題があります。なかなか金がないから地方公共団体は買いにくい。しかし買うと個人に対する助成金と同じだけは国から補助が出ない。買うのに金使って，買ってからは金が使えないんじゃ困る。そういうところも修正されるべきです。またついでに言いますけれども，市街化区域のなかの，いわゆる近郊農地になるようなもの，実際は市街化区域の取り方が圧力で広がっちゃったので，まずいんですけれども，広げといてそして税金を取る段階に，もう一遍近郊農地として保全されるなら還元しよう，それを三年間そうならよろしい，つまり農民がもうけたいと思うまでは税金はまけといてやろう，そういう妙な行き方がいま議論になっているようでありますけれども，そういうことで緑地が保全されるということではやっぱりぐあいが悪いんで，もっと長期的な広域的な土地利用というものに合わせて，筋を通してほしいと考えるわけです。そういう近郊農地の問題ばかりでなくて，それを自然緑地文化環境ひっくるめて，そこで生きる生活環境としての見通しというものを有機的に，総合的に考える必要がある。そういう習慣がわれわれ市民も行政にもやはりどうもできていない。建築審議会でも検討しているようですが，その辺がやはり今後のいちばん大事な問題ではないかというふうに考えるわけです。

いままでの問題点をひっくるめてみますと，市民相互の間にも行政上のいろんな指導措置のやり方にも，楯の全体を見ないで，その片面サイドだけを抽象して考える，頭がいいからそうするのかもしれませんけれども，生活環境という具体的な場というものから，いろいろなメリットごとに分解してしまって，一つひとつについて扱っている。こういう状況から振り返えって19世紀あたりをみますと，それは産業革命後非常に変わってきたんですけれども，それでもそのときの建築関係都市問題などは包括的でしかも持続性のある議論をやっておる。

日本では木造建築が，建築史の相手で，われわれ建築設計者は鉄筋コンクリートや何かでやる，その間に共通の技術的な橋渡しがほとんどないのですが，向こうではメーゾンリーな伝統を踏まえて，メーゾンリーなものから鉄筋コンクリートになっても意識としては連続感を持っております。田舎の農家の内部空間としての穴ぐらがそのまま密集都市の穴ぐらでもある。内部空間としては連続的なものでありますし，都市史の上でわれわれの日照権問題というふうな，こういう過渡的な問題はヨーロッパの歴史は経験しなくてすんでおる。非常にうらやましいと思うんですが，価値の連続性というふうなことはやっぱりこの過渡的な段階で，われわれもう一遍よく考えてみる必要があるんじゃないか。ただいろいろの運動というのは相対的なものでありますから，行き過ぎれば直す。直すときにはまんなかをいってたんではだめなんで，逆に行き過ぎをやる。そういう運動自体の持つ運命のようなものがありますでしょうけれども，それがあまり価値観としてバラバラにならないように，ある連続した形での価値体系というものを，市民も，行政も，学者もやはり考えていく。その辺がいまの保全も開発も含めて問題でしょう。いずれにしても，われわれの包括的な生活環境をやはり連続性の上でつかまえていく，そういうことがいちばんの問題点ではなかろうかと感じておるわけです。

（日本建築学会近畿支部主催講演会記録要旨　1973年9月29日）

第1部　都市環境保全講演記録

2

# 中之島の建物の歴史的意義

## ―人を通して物を見る―

滝沢真弓　（工博・近畿大学教授）

### 私は猿飛佐助

先日，今席の司会者の林野さんから電話で，何か話をせよとのご注文。学術講演会だ，という。しかも演題を即刻通告せよと，きついお達し。電話口で思いつきの演題，それがここにかかげたものです。あとで考えて「これはしまった」この歳になっては新しい研究などできない。アホのアト知慧とか申すそうでありまして，イヤハヤ何とも，ご勘弁を願うほかありません。

学術上のお話は，すでに前の方がやっておられるし，私のあと，もう一人ひかえておられます。私のは「学芸講談」ということにさせていただきたいと存じます。

講談ですから私講釈師。まず仁義の建前から名宣りを上げます。姓は滝沢・名は真弓。皆さんのなかには広告をご覧になって，これア女かも知れんぞと思し召しの方もおありかと存じ上げますが，弓は武器ですからネ，これア昔は男の名。万葉集に「みすず刈る信濃の真弓」とある。白浪五人男のセリフでしたか「知らざア云うて聞かせやしょう」生まれは信州・松本在。

みすず刈る信濃という山国が，意外にも昔から，この葦（あし）が散る難波と浅からぬ因縁がありました。難波の堀江から拾い上げられて，遠い旅路の末たどりついたのが信州長野の善光寺。その信州からやって来て大阪の陣で奮戦したのが真田幸村。「悲壮なり六文銭や夏の陣」六文銭ならよろしいが，こちらは三文奴。幸村のような知謀の士でありません。せいぜい，その家来の猿飛佐助ぐらいのところ，とご諒承願います。いや承ではない笑の方であります。

さて，今晩の講演会の主題が「環境保全」ということだそうであります。そこで，お国自慢をひとつ。長野県は由来「教育県」といわれてきました。その見本ともいうべきものが松本市の「開智学校」。明治初年に地方の棟梁が設計施工したもので今では重要文化財となっています。先年，都市開発のため危く取払われそうになりましたが，地もとの運動が効を奏して，復元移築という形で保存されることとなりました。今晩の主題のためには，最も好ましい見本のひとつかと存じます。「町を花いっぱい」運動も松本の学校の先生がいい出したことです。

もひとつ最近斯界の注目の的となったのが，木曽の妻籠宿。こういう動きに刺激されたか，真田幸村の郷里・上田市でも別な形で開発か保全かの問題が起こっているようであります。

### 自然の美・人工の美・人情の美

善光寺如来以来，信州は中央で志を得ない者の逃げ込んだ所で，神話では建御名方（タケミナカタ）の神が逃げ込んだことになっています。そのせいか信州人には反骨者が多い。では左翼かというとそうではない。明治以来「信濃教育会」なるものがあって，さすがの「日教組」も歯が立たぬ。早い話が，かく申し上げる私。大阪市大でお世話になり，皆さんの税金のなかからお手当を頂戴していたのですが，それが大阪市に反旗をひるがえす。いやそうじゃない。大阪市のためを思えばこそ，市の管理者たるお役人様の勝手な，一方的な措置に対して反対するのです。というわけは大阪市民のために「自然の美・人工の美・人情の美」の保全を提唱したいからであります。

この三つの「美」。これは実は私のいい出したものではありません。九州の宮崎市に岩切章太郎という人がおりますが，この人から教えられたことなのです。そして，この前の大阪市長・中馬さんが，同じくこの宮崎の出身であり，しかも岩切氏に兄事していました。そこで，もしも中馬さんが今でも市長としてご健在だったならば，中之島問題は好転していたろうと思うのです。これは必ずしも私の独断ではありません。私は縁あって中馬市長と時々顔を合わせる機会がありましたが，あるとき中馬さんは私に「岩切さんとはどういうご関係ですか」といわれました。私は「同じ高等学校の兄貴分の同窓です」と答えました。中馬さんが地下鉄，そして市街の緑化――現に「緑化百年宣言」を発表したほどだ――つまり交通と自然とについて心配しておられた，そのお手本が宮崎の岩切氏にあった，と私には察せられたのであります。

こういう公開の席で個人のことをとやかくいうのは差しひかえねばなりません。が私は，あえて公共のために申し上げる。ギリシアの師匠プロタゴラス先生の「人は万物の尺度だ」という語をあらためて考えてみたいと思うからであります。

では岩切とはいかなる男か。ここに有力な資料があります。朝日新聞，昭和39年5月27月付――だからちょうど大阪市が「緑化百年宣言」を出した頃――その「新人国記」の宮崎県の項に「岩切章太郎」とある。読んでみましょう：

> 一高・東大を出た章太郎，ばくぜんと，郷里で何かやろうと考える。まず住友本社の入社試験へ。
>
> 「三年間だけ雇ってくれませんか」
>
> いぶかる試験員に，こう答えた。
>
> 「住友はその組織を通じて国家につくしているそうですが，わたしは地方を通じて国にむくいたい。目的は同じだ。だから，住友は国のために三年間，一青年を養成して下さい」

住友を約束通り3年でやめて郷里に帰り，2台のタクシーと4台の木製ボディバスで「宮崎交通」会社を設立し，「世に奉仕するものが利益を受ける」という事業哲学から出発した，というのであります。

宮崎市には大淀川という川がある。戦災復興のとき，地元ではそこに商店街の建設をもくろみ，署名運動にまでもちこんだが，岩切氏は「大淀川は宮崎市の顔だ」と主張し，そこに私財を投じてフェニックスの並木道を造り，赤・青など色の美しいビニールの「ロンブル」（日おうい）を配した，というのです。

以上は新聞記事からの引用ですが，私が後に現地で聞いたところによると，岩切氏は公共のために多くの施設を奉仕しているが，寄付者名など一切出さない。先年，川端康成の「たまゆら」がテレビ化されたとき，カメラマンは安心してこの「自然・人工，そして人情」の美を撮影した。寄付者名など出ていると，テレビはそういうものを敬遠するものだそうです。岩切氏自らもいっていました。「私が宣伝しなくても皆さんが宣伝して下さる。ありがたいことです」と。まことに気息（いき）の長い経営方針であります。

バスの沿道に畑があると，会社はその農家に「畑のすみに桃の苗を植えさせて下さい。桃は成長が速いから間もなく美しい花が咲くでしょう。実が成ったら，どうかお取り下さい」と申し出る。おかげで沿道が美しくなる。荒れた公有地に花木を植える。すると県庁から「勝手なこ

とをしてはいけない」と叱られる。「えびの高原」という所に観光ホテルをつくり，そのそばに県庁から空地を借りて，公衆便所をつくる。水洗式でホテルが面倒をみることにした。すると県庁から「地代を払え」というてくる。「公共に奉仕しても地代を払わねばならぬか」と会社は不平だが，岩切氏は，地代は払おうという。日南海岸の丘の美しさはただの美しさではない。会社が人を雇って雑草を刈る。自然と人工とが調和する。まア大体こういう調子であります。

こういう良心的経営だが，バス会社だから一度交通事故を起こした。さすがの岩切氏も，これにはまいった。かねてから尊敬していた高僧に相談した。すると「心配するな，工風せよ」という答がはね返ってきた。「すんだことは致し方ない，問題はこれからだ」と岩切氏は悟った。毎月，事故の日に会社の幹部が反省会をやることにした。その後，事故は二度と起こっていない，ということです。

そこで思い出すのは中馬さんのこと。ここにまた資料があります。朝日新聞，昭和44年9月6日の「ある休日」に「大阪市長・中馬馨(64才)」とあって，休日には自宅の書斎で禅書を読み心を洗うと，写真まで添えてあります。岩切，中馬ご両所とも，生まれもった資質だけではない，たえざる修業。こういう「心」がけが，おのずから「自然」に対し「人工」に対し，したがって環境保全の道につながると，私は思うのであります。

### 府立・図書館

この図書館については，皆さんつとにご承知のように，住友家の私財提供によってできたものであります。

寄付者は住友家第十五世・吉左衛門氏。この人は元々公卿の出で，兄は西園寺公望という，フランス留学中パリ・コンミューンを見届けてきた人であった。その進歩的で大らかな人柄がこの図書館成立の精神的基礎であった，と私は見ている。

寄付した金額は，最初建築費と図書費とで20万円。ついで図書購入の基金として追加5万円。計25万円。明治30年代の額です。今なら何十億に相当するのではないでしょうか。完成した時が丁度，日露戦争勃発という歴史上はなはだ重大で際どいときでした。「際どい」というのは，もしも数年後れていたら，この寄付金が別の方面に回されたかも知れないからです。なお，大正時代に増築費として80万円が寄付されている。こういう住友家のお家柄，お人柄というものは，さきに申し上げた岩切章太郎氏に関する「住友本社」のことにもつながると思うのであります。

### 市立・中央公会堂

この公会堂については，皆さんも，いや皆さんの方がよくご存知のことでしょう。私も少しく調べて書いたことがあります。（大阪建設業協会「会報」昭和44年5月号）。明治の末年，大阪の株屋・岩本栄之助氏の私財100万円提供によってできたもので，今ならばこれも何十億に当りましょうか，ここにも大阪人の心意気がうかがわれます。

この建築は，競技設計によりましたが，日本の建築史上特筆すべき事例であります。この競技設計の，いわば手本ともいうべきものがオランダのハーグ市の「平和宮」の競技設計で，わが公会堂はまさにその日本版ともいうべきものでした。競技は指名によって行われ，当時第一流の建築家が参加しました。時勢を反映して，その建築様式は種々様々。「様式選択」時代だったわけですが，そのなかにひとつ，しかも第三等に入ったものには，すでに「セセッション」様式が顔を出しております。そういう点でも特筆に値するものです。

ところが，どうしたわけか，この公会堂が日本建築学会編の「近代建築史図集」に脱落している。この図集は大学その他での専門教育のために編集したもの，と私は了解しているが，この近代建築史上の重大な建築が脱落している。ここに，わが国の学問の在り方が明示されている。会員の一人として，私は衷心遺カンの意を表する次第であります。

この公会堂の競技の発表は明治45年でしたが，やがて大正となり，工事にかかったのが大正2年。その翌3年に第一次世界大戦が勃発し，英国に発注した鉄骨が輸送の途中で停船の止むなきに至り，工程3カ月延引となって，竣工は大正7年の秋，大戦の事実上の終結とほとんど同時でありました。

一方，寄付者・岩本さんは，大戦による株の暴落から「進退コレ谷マッテ」ついに自らその生命を断とうとされた。伝え聞くところによると，岩本さんは，公会堂の鉄骨がまさに建ち上ろうとするところを病院の窓から見ながら気息を引きとられたのだそうです。その資性，恐らくたぐい稀れな熱情家，オール・オア・ナッシングという人柄だったかと察せられます。さきの住友家の大らかさに対して，この激しさ。ここにも大阪人のひとつの型があったか——と考えさせられます。

### 中之島をまもる会

実は，この講演を引きうけることになってから，気紛れに資料をあさっていました。すると目についたのが，まるで専門外の法律雑誌「ジュリスト」の最近号。「文化財の保護」特集とあるので求めてきました。いろいろと教えられましたが，そのなかで，とくに目に止まったのが足達富士夫さん（昭30・京大建築卒・奈良女子大助教授・工博）の書いた「文化財をとりまく現実と可能性」という一文の末尾。要点をあげさせていただきます。

保存運動が保存計画と結びついてユニークな展開をみせている例に大阪中之島の保存運動がある。……興味深いのは「中之島をまもる会」が主催した「中之島まつり」である。今年の5月5日，中之島公園の広場，街路，公会堂など，あらゆるスペースを使って，講談・落語大会・フォーク・カーニバル・バザー・もちつき大会・マラソンなど，多彩な催しをくりひろげ，3万人の市民を集めた。

（以下略）

というのです。何とも朗らかな，恐らく前代未聞の痛快事だったでしょう。私はこの記事に接して「都市は空気を自由にする」という西洋のことわざを思い出しました。今は失われた市民社会の朗かさが復活した形です。この企画を主宰したのが高田昇君という，神戸大学建築学出身者。新しい型の大阪人が登場した，とでもいうべきでしょうか。

### 天の時・地の利・人の和

「天ノ時ハ地ノ利ニ如カズ，地ノ利ハ人ノ和ニ如カズ」

これはたしか「孟子」に出ている語でしたか，といって私はここでお説教がましいことを申し上げようなど毛頭思うてもおりません。また，これは戦国を予想した語でしょうが，私はそういう古典の意味をすて，この語を介して，つぎのように考えてみました。

新時代の開発に今は絶好の機会だ，と「天の時」をこう解釈する向きもあるでしょう。が，いや今こそ自由濶達な市民社会をめざして天与の環境を守るべきだという考え方もあるでしょう。大阪という現代の大都市に中之島という空間があることはまさに地の利です。ギリシアの諺に「大なる都市は大なる砂漠」とあります。現代都市はコンクリートの砂漠と化しつつあります。中之島は現代の砂漠のなかの貴いオアシスです。そこに図書館，公会堂があります。名目は府立であり，市立でありますが，それらはみな市民の私財提供，善意の上になったものです。それが一部の権力者の手によって破却されるならば——もしも然ういうことがあるとするならば——これは市民の善意を無視する暴挙であります。やがて，それは人の和を失うことになりはせぬか。権力筋の深甚な考慮を要請する次第であります。かつて「緑化百年宣言」を出した大阪市が前途百年の計を失わないよう切望いたします。

### 日本列島・その性格と運命

以上で今晩私の申し上げるべきことは一応終ったことになります。が，少しく付け加えさせていただきます。

中国の語に「事ノ成ルハ成ルノ日ニ成ルニ非ズ必ズ由ツテ来タルトコロアリ」とあります。今日の問題は，決して昨今始まったものでなく，その淵源をたどれば遠い昔からあったのだというわけであります。

日本は海に囲まれた島国。しかもその海は決して波静かではなく，——芭蕉の句に「荒海や佐渡に横たふ天の河」とありますが——大陸側は荒海です。ですから海の向こうから外敵の侵入することがほとんどなく，さすがの蒙古の大軍も荒い神風によって退散せざるを得ませんでした。海は日本の城壁です。もっとも，最近は飛行機で空から来られてやられました。いや空からでなくても，機械力による船で，金大中事件などという想像を絶する事件があって，これからは油断がなりません。が私の申し上げるのは古い時代のことです。

その上に日本の文化には牧畜形態がなく，水田農業の国でした。由来，牧畜形態の国では，古くから都市が発達し，しかもそれが城壁によって囲まれたものです。その点で中国や欧州と日本との人民の生活様式は根本的に異なるものとなりました。

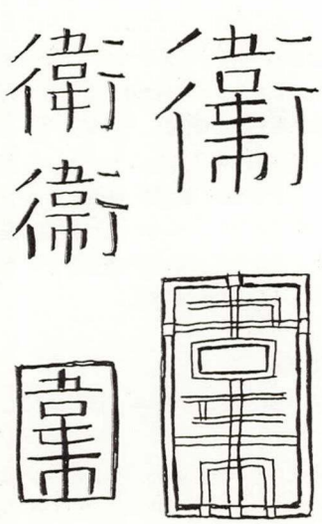
こういうことをいい出すと話が長くなりますから，結論を申し上げますが，要するに日本の国民——従順な農夫たち——にとっては農業を守ってくれる神々の最高のものが，大国主命であり天照大神でした。天皇制はその延長です。天皇家はもともと司祭であって武家ではありませんでした。三種神器の第一が鏡。劔は後から加わったものです。

そこで，外国に比べるときわめて特異な考え方が生まれました。それは「おおやけ」という意味です。後世この語を漢字の「公」にあてはめ「滅私奉公」などいうようになり，それがやがて天皇に忠誠をつくすことになった。その由って来たところを，字義に即していえば，日本語の「おおやけ」とは「大宅，大屋」の意で天皇家のことです。日本には，西洋人のような「パブリック」という意識はなかった，いやあったにしてもきわめて稀薄だったようです。それが天皇側近の官僚に利用されて，政府イクオール「おかみ」(御上) となり，国民はお役所のいうことを至上命令と受け取ることになった，と私は考えるのであります。万事が「あなたまかせ」ということになって今日に至ったわけであります。

こういう事情が人民の住居様式としての都市の形態に現われます。日本の都市は要するに農村の延長です。が欧州や中国では，都市は城壁に囲まれた堅固な要塞です。そこで，いざ戦争となると，周囲の国民——牧畜民——は家畜を引きつれて籠城ということになる。が，日本ではどうだったか。名高い源平の戦いも，文字通り源氏・平氏という氏族の私闘であって，国民の戦ではありませんでした。だから，日本には自分の都市を自分自らまもる，という意識も歴史もあり得なかった，と私は見るのであります。

こういう古くからの伝統が現代においてもなお存在し，それが中之島問題にも反映する。この問題は市民自らの問題だという意識はまだはなはだ稀薄であると私は見ているのであります。

私はこのことを漢字の成り立ちによって，あえていえば建築的に解釈したいと思います。ここに掲げた図の文字を見て下さい。



まず「衛」という字。細部の異なる二種の文字がありますが両方とも正しいのだそうです。ある専門家の字解によると元は，図の右上に示したような形だったらしい，とのこと。意味は「まもる」ことです。なぜこれが「まもる」ことになるかというと，中央の部分が実は城壁内の市街のプラン。その市街を，守備兵が城壁の上を歩きながら見張りをする。両端の字画が「行」であることにご注意下さい。その「行」の代りに城壁を画いたのが「圍」という字で，あるいは現行の「囲」の方が「市井」の表現でよろしいか。とにかくこれで都市のプランができあがった。右下のは私のデザインによる中国文字の原形のつもりです。

私は中学の時の「漢文」で田単という将軍の知謀について学びました。その漢文が「十八史略」だったか史記の「列伝」だったか忘れましたが，話の大要はつぎのようでした。斉の国が燕に攻められて七十余城を失い亡国になんなんとした。そのとき残ったのが「即墨」城。市民に推されて司令官となったのが田単という知謀の士でありました。食糧に窮したが城内を捜したら「千余牛」を得た，とありますから，牧畜の国であったことが肯かれるわけです。そのおのおのの牛の角に刃を束ね，尻尾に葦を束ねて脂をそそぎ火を点じて敵中に放った。いわゆる「火牛の計」という戦法。この奇計によって七十余城を回復し，国を救った，というのであります。自分らの都市を自分らの力で守ったというひとつの実例だと思います。

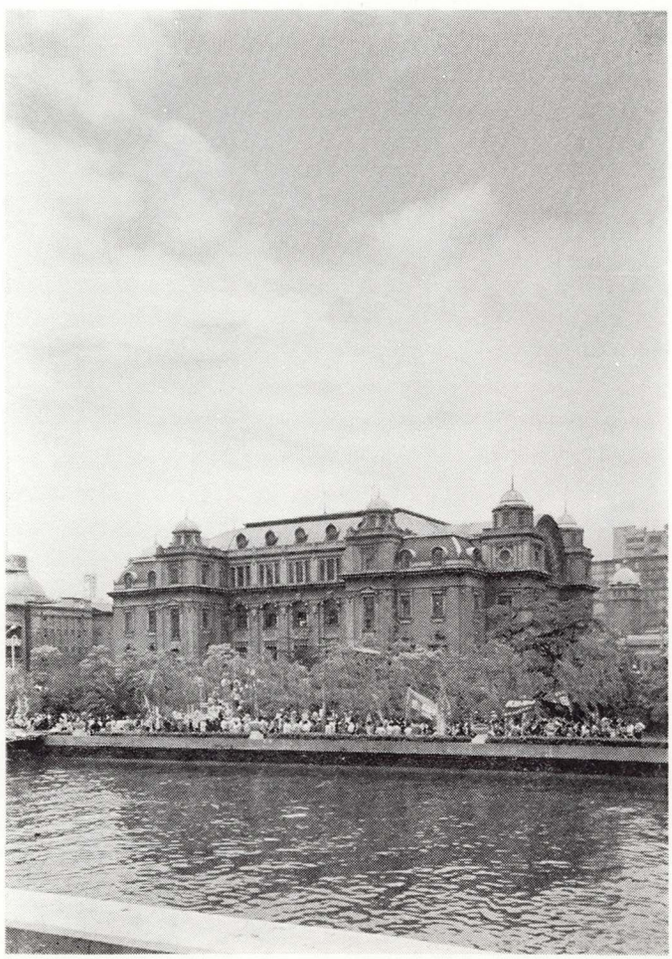
この火牛の計は，後に日本で，木曽義仲がクリカラ峠で試みました。義仲はやがて京都に入り，都の人々に多大の迷惑をかけました。彼は生まれは京都でしたが幼時より信州の木曽山中で育ちました。彼の無法は木曽人の感化によるところ。私は信州人に代わり関西の方々におわび申し上げます。

日本には都市らしい都市はなかった。人々が群（むら）がるから村である。それがやや大きくなって道（みち）ができる。町というのはもともと「田」の間の道の意だそうで，それが不ぞろいだから「まちまち」になる。と，これは私製の語原説ですが……私の話も，はじめから「むら」があったり「まちまち」だったり，何とも……イヤハヤ……。

今晩はこの辺でご勘弁願上げます。

（以上は当日の速記に若干の添削を施したものです。特に削の方を多くしました。ご諒恕のほど願上げます——滝沢）

（日本建築学会近畿支部主催講演会記録要旨　1973年9月29日）



第1部　都市環境保全講演記録

# 3

# 都市における保存と開発

中　沢　誠一郎　（工博・日本都市学会会長）

保存と開発の問題は，実は古くして新しい問題であります。私どもは，日本都市学会というものをちょうど20年前につくりまして，戦前の都市学会を再生いたしまして，昭和28年にできたのであります。その第1回の大会を京都で開きました。その因縁で第10回の大会を京都で開いたのであります。そのときの課題が「保存と開発」という課題であったわけです。いまからちょうど10年前です。このときの保存と開発という問題がなぜ取り上げられたかと申しますと，当時高山市長が美観風致地区というものをつくりたいと苦心されておったときでありまして，市長も非常に乗り気で興味を持ってこれを聞いておられたのであります。そのときのことをいま思いますと，そこに時代の違いがあるように思うんです。つまり，この10年間に開発というものが非常に進んできたと申しますか，あらっぽくなったと申しますか，様相が変わってきたと言っていいのでありますが，それと並行して10年前とは比較にならない様相を帯びて保存問題が浮かび上がってきた。開発が保存問題を誘発したんだと言えるのではないか。保存すると言い切れず，開発するとも言い切れずに，保存的開発というふうなことばが聞かれたのであります。これは当時，なるほどとうなづけさせるものがあったのであります。というのは，保存といいましてもこれは昔のままでじっと保存しておいても，そこにもし人間が住んでいるとすれば生活ができないじゃないか。再生させる，そこで生活しなきゃならんとすれば，昔の旧態をそのまま持っとくということはできないのであります。そこで保存的に開発するのだというふうなことばが用いられた。これはまことにおもしろいことばであったと当時受けとられたと思うのであります。

10年前には開発とは進取的な仕事であり，前衛的な仕事である。すべてが善であるという，観念が一般の人にあった。したがって，保存といえばこれは退嬰的な仕事になってしまう。といって何か保存をしたい。そこでどっかに開発ということばを残したというのが当時の保存的開発ではなかったかと思うのであります。確かに10年前はそうであったでありましょうが，今日ではちょっと違う。つまり開発というものは必ずしも善ではない。すべてが悪いというわけじゃありませんけれども，必ずしも善じゃない。開発を保存の立場から見ておると，開発がほとんど乱開発というにふさわしいような形になっておるのが今日の状態である。

で，旧態依然とした状態をそのまま残すということができないとすれば，それに，いわゆる再生の道を講ずるということを，今日では保存修景といっている。リハビリテーションで，それで新しい生活ができる，しかし古い形は残す。こういうことで開発ということばを使わずに，今日はこれを開発から切り離しましたのが，保存修景です。10年前には，どっかに開発という字をくっつけておかないと進歩的でないというような考えが，払拭された。これが10年間の違いではないではないか。今日，開発は思慮のないわざだ，利益のみをおう，エコノミックアニマルのしわざだ，一般に保守系の人が多い，保存ということを言う人が思慮の深い人が多い，これは非常におかしなことである，ふしぎな現象だということを，かつて加藤周一が言ったことがありますが，面白い言葉だと思います。

これまでは合理主義，機能主義，効率主義というものが絶対的な権威を持っておりましたが，この論理が批判される立場に立ってきた。そして精神面，あるいは心の問題というものが忘れられてきたことに対する反省が行われるようになった。

私は戦後20年間に日本で開発ということがどういうふうに取り扱われてきたかということを，歴史的に少し振り返ってみたいと思うのであります。

この約30年間を4つぐらいに分けられると思います。第一期は昭和20年代，それから第二期は昭和30年から37，8年ごろですね。それから第三期はそれ以後44，5年まで。それから第四期が1970年代の声を聞いた今日です。20年代では食うか食わずで，衣食足ってと言いますが，衣も食もない，礼節を知らなかったという戦後の敗戦の時期が少しすみまして朝鮮事変が始まります25年ごろにようやく少し徴候が見えてきた。当時物資が何もないというので昭和25年に朝鮮戦争で少し景気がよくなりました時代に，国土総合開発法というのができた。国土総合開発法というのは，ご承知のように全国総合開発計画，都府県総合開発計画，地方総合開発計画，特定地域開発計画の4つの開発計画をその法律によってきめなければならないことになっていた。

で，この中で昭和27年以来できたのは，特定地域の24地域が指定されただけで，ほかのものは何の計画も立たなかった。つまり計画を立てようにも取りつくすべがない，という状態であります。この当時まだできなかった全国総合開発計画というのが，昭和37年になって初めてできたというわけであります。で，この時分は特定地域開発計画と申しますと，22の地域がそれぞれ資源の開発に夢中になったのであります。

つまり，資源のないわが国に何かいい資源をもたらそうという考え方でありました。その一番大きなものは多目的ダムという名前の電源開発であります。ちょうど戦争中にアメリカで完成いたしましたＴＶＡが刺戟となった。つまり洪水を治めてその水を電気に利用して，そこに大きな工場を建てて，そこに多くの人を養ったと，これをリリエンソールはその理想として，「その地域の開発というのは，その地域の土地と資源と人をそのままそこに還元して生活水準をレベルアップすることだ」と，述べているのであります。

こういうことは，終戦直後本に出ましたから，一般の人がこれを読みまして，なるほどと思って日本の特定地域の開発をもくろんだのでございますけれども，このリリエンソールの理念とはすっかり逆でありました。ほうぼうにダムをつくり，電気をつくってこれを大都市にもってくる，こういうことでありました。

たとえば，只見川の電力開発をいたしまして東京にもってくる。そこで騒ぎましたのが新潟県であります。地元で電力をつくってどうして新潟県に落とさないんかという苦情をそのとき初めて言い出したのであります。言い出すのもよっぽど勇気をもって言い出したのであります。東北で電気をつくって東京へもってくるのはあたりまえだ，和歌山県で電気をつくって大阪へもってくるのもあたりまえだ，という考えが一般にはありまして，このときの日本の電源開発というもの，いわゆる開発というものが必ずしもその地域の開発になっていなかったという，歴史を残しておるのであります。

次の昭和30年代，第二期でございますが，日本の経済が異常に発展した時代です。昭和30年は，戦争が終わったともいわれ，これまでただのような値段であった地価が，卸売り物価と一致した年です。つまり経済は一応戦前の昭和11年の平均に達したと，いわれた時代であります。

このときにも一つの目ぼしいできごとは，昭和35年に国連のワイズマン調査団というものが大阪へ参りまして，京阪神計画というものをやりました。続いて昭和37年にも参りまして，第一次，第二次の報告を出したのでありますが，そのときに彼らが，かなり中央に向かって計画というものの重要性を説いたんであります。当時は池田内閣のときで いわゆる神武景気，岩戸景気などとよばれ，毎年毎年景気がよくなっていった時代です。中央政府でも計画性の必要を痛感するようになりました。

昭和35年に国民所得倍増計画を発表した政府は，その実現のために必要な具体的計画をたてることになり，建設，自治，通産，企画庁はそれぞれ計画案を作り，これを一本にして全国総合開発計画というのを昭和37年に作りました。これは昭和25年にできた国土総合開発法に基づくものであります。この全総計画は拠点開発方式といわれます。地方に拠点都市を作りまして，そこへ人口と工場を持っていってその波及効果が自然にその周辺に及ぶようにする。そうすると東京，大阪などの大都市の人口がだんだん減少する。そして大都市と地方都市の格差が是正されるという。これが拠点方式で，これに基づいて新産都市(ただいまでは15地区)ができ，その新産都市に入れないものを何とか救済しようといって昭和39年にできました工業整備特別地域整備法という工特地区(今日６地区)ができました。ところが，これが第三期に入るのでありますが，これが思うようにいかない。工場は水島へ行ったけれども人口が一向にふえない。そして減るだろうと思った東京，大阪の人口がへらず，工業生産がへると思った京浜臨海工業地域，阪神の工業地域，これはへらない。これでは，ますます工場がふえ格差が大きくなって，ちっとも地域格差が解消しない，これに反して開発したところに公害がでてきた，この反省期が第三期であります。

この第三期に，国民所得倍増計画の中間報告というものが出まして，この報告の中に一向この拠点開発方式が功を奏していないんじゃないか，何ができたかというと，公害ができてるじゃないかといって，公害の指摘が出た。四日市の公害というものが大きく浮かび上がってきたのであります。高密度経済社会の地域課題というものが，あとでできましたけれども，これは明らかにこれまでの拠点方式は失敗だったということを指摘しまして，もう一辺大都市へ戻ろうという考え方がでてきたのであります。巨大都市は巨大都市で育てよう，地方都市は地方都市圏構想というのでもって地方都市をこしらえる。首都圏整備法，近畿圏整備法，中部圏開発整備法という，こういう法律でもって東京圏——大きな東京，近畿圏，中部圏とという大きなものをかぶせまして，この中で大都市を処理しようという考えを持ち出したんであります。大都市の開発としては，防災建築街区造成法，あるいは公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律，こういうものをつくりまして，それはあとで都市再開発法という一本の法律にまとめたのでありますが，こういうことで巨大都市を整理しようということになった。公害に対してはこれはほっておけないというので，昭和43年公害病というものを初めて認定したんであります。

その後起こりましたのは公害に関する公害14法であるとか，公害裁判であるとかいろんなものができまして，世人の目が大きく公害問題に引きつけられるようになったのであります。引きつけられるばかりでなくて，その結果は裁判の結果を見ておりますと企業側が全部負けて，被害者が全部勝っている。つまり公害というものは住民の敵である。こういうことがはっきりしてきたんであります。裁判によりましては裁判の判決文の中にはかなり徹底したことが書いてあります。もし，いま知られている完全な方法でもってしても公害が出るいうことになれば，その操業は停止すべきだとこういうふうなきびしい判決が出ておる。すると，一般の人はわれわれが，おそらくこれまで何十年間かなりしんぼうしてきたと申しますか，気がつかなかった事柄を初めて知りまして，われわれが考えておりましたこれまでの価値観ががらりと変わった。これが大きな社会的変化であります。そうして，この変化は一様に都市問題に，一斉にほこ先が向けられまして，われわれのこれまで考えていた考え方を考え直さねばならぬようになってきた。

そこで，これを統一して一つの政策にいたしましたのが昭和43年の春，例の参議院選挙を前にしました，自民党が出しました都市政策大綱，都市政策をどうするという大綱を出しました。そうするとこれにつられまして各政党がおのおの都市政策に対して政見を発表したのであります。

この中で，結局公害病を中心にして，われわれが価値観を変えたそのことから，昭和37年にできました全国総合開発計画というものも都市計画法というものも変えなくちゃいかんということから取りかかりましたのが，例の新全総計画であり，新都市計画法であります。

公害は人間の病気ばかりではない。つまりわれわれの生命，健康を害するというばかりではなくて，自然の破壊というものはどうするんだ，文化の破壊をどうするのか，自然の生態系を破壊することが許されるのか。そういうことをやっていれば人間が結局滅びるんじゃないかという，人類の危機感に結びついてきた。公害をはじめ一般のあらゆる自然，文化財，エコロジーの破壊というものに対してわれわれは考え直す必要があるのではないか，という考え方を強く持ち出したのが，この第四期の1970年代であります。

結局公害の原因者は企業だというふうなことから，これまで企業というものが，都市というものを形成する指導役，主役をつとめてきた。企業指向の都市形態であった。その企業が片っ端から公害を出すということになれば，これはもう一遍考えを直さなくちゃならない。つまり都市を指導するものは何か，何によって指向されるべきかというふうなことが反省しなきゃならんというようなことになった。

それから，これまで国の意向を府県が受け，その府県の意向を市町村が受けまして，これが公共的要求であるというふうに一般の人にのしかかりますというと，一般の人は，なるほどお上のことかといってすなおにそれを聞いていたわけです。ところが，よくよく考えてみますというと，この国のためというのはこれは企業のためではないかという疑問を持たざるを得なくなった。県がいうてくるのは，これは国からいってくるけど，この元をただせばおかしいんじゃないか。そこでみんなが公共というものに対して，公共性というものに対して何が公共性かということの疑問を抱くようになったわけであります。

したがって，電力会社，発電所をつくるというときにいろんな住民運動が起きている。これはほんとうにお上のことであって自分たち同士，国のためにほんとうに必要なことであるかどうかわかないんです。わからないとすればまず自分の身を守らなくちゃならないというので，自衛上生まれてまいりましたのが，いわゆる自己防衛の住民自治であり，この住民自治という考え方が非常に強く起きてきたのであります。

たとえば，これまでいろんな計画が国から府県，府県から市町村に，それから都市計画できめてここまで道路をつけるぞと，こうだったのでありますけれども，そうではなくて，これからは市町村が計画する，その計画を府県に持っていって，その府県の計画をおよそ調整した上でそれが国の計画であると，こういうふうにいうべきじゃないかという考え方が，非常にいま強く持ち上がっておる。これは，自治省の事務次官をしておる宮沢という人が，「都市よりの出発」ということを書きましたが，これは市町村から国への計画ということを主張している一つの例であります。こういうふうなことも，われわれの価値観の転換ということから出てくる結果であります。

それから，44年にできました新全総をもう一遍検討し直すということであります。で，あらゆる市町村の総合計画ももう一遍練り直そうということが行われております。これは，これまでの考え方が間違っていたということがはっきりするのであります。大阪市の1990年というあの総合計画も，いま改訂の作業中であります。

それから，もう一つ重要なことは，科学技術というものがこれまで非常に間違いのないものであるとわれわれは考えておった。しかし，これの使い方というものも必ずしも間違いないとはいえない。どこかそれに間違いがあるんじゃないか。つまり科学技術というものの合理主義，機能主義といったものが批判されてきて，いわゆる科学技術に対するアセスメントというものがいわれている。一つの現象をとりあげて，これが

どういうふうにほかに響いていくかという，その響き方の範囲を徹底的に調べた上でないと，この科学技術の正当性というのは証明されないということであります。

早い話が，高層建築の問題でも，まだアセスメントが十分じゃないんじゃないかというふうに私は考えるのであります。構造的にはいいと言いましたけど，あらゆる面積，あらゆる災害，あらゆる時代に，どんな災害が起きてもいいかといったときに，確かだというアセスメントは，必ずしもできていないんじゃないか。

今日どういうふうな現象が起こっているかと申しますと，たとえば現実の環境破壊のレジスタンスとしては尾瀬の産業道路を停止する，これは県の計画であります。県の計画が住民運動で阻止されている。あるいは藤原遺跡に通ずるバイパスの問題，あるいは大雪山の妙峰に対する自動車道路に対する住民運動，関が原の史跡を守る保存委員会，こういうものがございます。

それから，新全総計画に対する大規模工業基地としましては，例の志布志湾の反対運動がありました。よごれた空の下でビフテキを食うよりも，青空の下でにぎりめしを食いたいと言った志布志湾の住民の反対にあいまして，鹿児島県の大隅計画が廃案になっております。むつ小川原では開発問題がこじれております。高知県の宿毛でも問題が起きております。

それから地区の保存としましては，この近所では奈良県の今井町なり中之島の保存問題，中之島の問題がいま大阪市のほうで調査会の問題にされておるのであります。

それから，都市の保存修景計画といたしましては，京都に市街地景観条例が，金沢に伝統環境保存条例ができております。高山に市街地景観保存条例がございます。倉敷に伝統美観保存条例，萩に歴史景観保存条例ができております。

なお，こういうふうな都市を連合いたしまして，これを統合して歴史的景観都市連合という構想ができつつあるのであります。こういう状態でございまして，70年代の公害問題をきっかけにいたしまして，非常に考え方が変わっておるのであります。

以上の締めくくりといたしまして，三つの点を申し上げたいと思います。一つは開発は常に善かということ，二番は保存のための心の用意はどうかということ，三番は時流というものに流されずにいつも批判的な精神を持たなくちゃならないということを締めくくりとして申し上げたいと思うんです。

アメリカに酔いしれておりました時分，あるいは1960年代までは一応開発は善だと考えられていたと，こういって差しつかえないと思います。私も昭和38年ごろには，再開発を奨めまして大いに雑誌に書いたものでありますが，いまはちょっと違うんであります。その反省としまして，ぜんたいだれのための開発か，何のための開発か，つまり先ほど言いましたリリエンソールのＴＶＡに示されましたような理念が，そこに存在するのかどうか，何かそこの資源をだれかが持っていくんじゃないか，あるいはだれかが，トビが，えさをさらうように，うまそうなえさに，よそのトビが飛びかかってくわえていくんじゃないか，こういうふうな開発ではないか。すなわち，それは反面から言いますと，どこかに社会悪の介在がある。

たとえば，いわゆる第三セクターなんぞも一つの悪の例じゃないかと思うんであります。いい場合もありましょうけれども，悪い場合が非常に多い。

それから，その開発の途上における地価の値上がりとか，そういうふうなものを考慮しないで進行していくところの，つまりアセスメントの不足したままの，そういうやり方がぜんたいいいのかどうか。

それから，この開発に伴って弱者，弱い人がどんどん敗残して追い散らされてしまうんではないか，こういうふうなことが非常にたくさんあると思うんです。

こういうことからいきまして，開発は必ずしも全部が全部善であるとはいえない。善でないものがその要素の中にすでに含まれている。それをあらかじめ手当てをして，そういうものを入れないようにして開発する必要があるんじゃないか。

それから，第二の問題の保存のための用意といたしまして，ただ単に技術的な，物理的な問題じゃなくて，愛情というものがなくちゃいけない。

開発もそうでありますが保存についても技術のアセスメントがやっぱり必要であります。われわれ建築家ですが，家を建てるというこの技術は進んでおります。こわそうということから言うとこわすことも，これも一つの技術といえるんであります。しかし保存しようとする技術，これもまた一つの技術です。ところが，こわそうとする技術は非常に簡単でありますが，保存したいと思って保存する技術はなかなかむずかしいと思うんであります。これにやっぱし十分配慮されなくちゃいけないと思います。

これは私の私事にわたることではございますけども，かつてこういうことがあるんであります。昭和９年の室戸台風のときに，四天王寺の金堂がグラッと横になったのであります。こういうふうに傾斜したんです。私はそのときに大阪府で建築課長をしておりまして，これをこわすかどうかの責任者になったんです。かなりの討議の結果，どうもあぶない，あぶないからこわさなくちゃいかん，こういうことになったんであります。

ところが，当時私のおやじ70才近いんですが，しかしまあいまじゃ私のほうが年は上ですが，私のおやじは宮大工でございます。それを見に行きましてあれは立ち起こせる，元のとおりに残せるぞ，あれをこわせばあとで笑われるぞと私は言われたんであります。

そこで，私はもう一遍この会議を開きまして，そしてあれを担当しております金剛組を呼びまして立ち直せるかといいますと，金剛組は立ち直せますと，こういうことで結局あれはこわさずに立ち直したのであります。不幸にしてこれは戦災でたしか焼かれたと思うんです。

そういうことがありまして，いまでは私は当時のことを考えまして，私のおやじにいま感謝しているようなわけです。これは余談でございます。こわそうというのはさっぱりして非常に簡単です。残そうというのは非常にむずかしい，これは危険だから残そうというのにはどこをどういうふうに直すか，これは特殊な技術がいるかと思いますが，しかしそれくらい努力はして残そうというものは残さなきゃならんと思うのであります。

最近聞きますとピサの斜塔，あれは大分危険らしいです。あれを危険でないようにするのにどうするかというのが懸賞募集になっているということを新聞で見ましたが，それほどの愛情が必要であります。またフランスでもああいうところの古い都市を残すのに非常な苦心をしているということ，これがやっぱし必要じゃないかと思います。

1970年の９月に京都でユネスコと文化庁が共同して，京都，奈良伝統文化保存シンポジュウムがもたれたそのときのことですが，ユネスコの保存開発課長ですか，この人がこういうたいへんおもしろいことを言っておる。「かつて，秦の始皇帝は焚書坑儒を行った。すなわち，彼らは過去の英知を葬り去り，自らの成果をのみ，後世に伝えようとしたものである。現代人はこの始皇帝と同じあやまちを繰り返そうとしているのではなかろうか」こういうことを言った。われわれはこの始皇帝の轍を踏むことなくして，謙虚な気持ちで保存するものは保存するということにしたいのであります。

つまり，単なる科学技術を妄信することなくて，広いアセスメントの上に，保存の技術を考究した上で，残したいものを十分な愛護を加えてこれを残したい。

いま，世の中でこういうことがはやっておるというと，それをあたりまえのようについ思いがちでございますが，これには皆さん英知を傾けて，これを批判するだけの一つの心の準備をやっていただきたいと思うのであります。

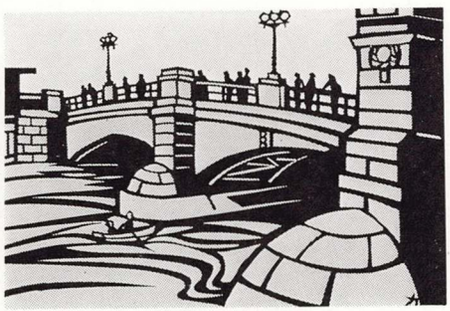
（日本建築学会近畿支部主催講演会記録要旨　1973年９月29日）

第2部中之島保全の現況と問題点

4

# 中之島の環境破壊の経緯と中之島の位置づけ

大久保　昌　一



きりえ：加藤　義明

中之島には，常に2つの機能が併存していた。商業業務機能とレクリエーションなどのオープンスペースとしての機能である。以下，前者をビジネス機能（B機能），後者をレクリ機能（R機能）ということにする。

B機能に関していえば，徳川家光の一般市中地子銀の免除等による商業保護策以降，次第に発達し，元禄年間においては，その繁栄はすでに江戸を凌駕するものであったといわれていた。諸国の米を中心として，その他高知藩の木材・紙，人吉藩の麻布，平戸藩の大豆・小豆・菜種，岩国藩の紙などが取引きされ，正徳年中の記録によると，諸問屋5,655人，仲買人8,765人，諸商業2,342人，諸職工9,983人，城代附用達481人，諸藩用達483人等々といった数字は，当時の商業勢力の盛大さを想像させる。船場・堂島を含む広義の中之島かいわいが，このような繁栄を手中に収めることのできたのは，それなりの多くの理由があったと思われるが，南北交通と東西交通の相会するところであったことが，その大きな理由の一つであったと思われる。つまり，梅田―淀屋橋―天満―堺筋と北から南へ通ずる陸の交通と，安治川―大川筋―北浜―天満に至る東西の水上交通がここで交わるわけである。堂島・中之島の川岸には諸国の廻船が横づけされ，川岸には蔵屋敷が立ち並び，各藩の物産が取引され，堂島には米相場が立ち，北浜には両替屋が発達したといわれる。

R機能については，これも，そのロケーションからおよその検討はつくが，摂州古図などからも想像されるように，「正面に天満天神，難波の三大橋および金城巍々として聳え，左には諸侯の御蔵建て連らなり，春の花盛りの頃や夏の納涼には，興宴の船が出さかって川を埋め，また，東方難波橋と天神橋との間も，夏季は川の水が涸れて大きな中洲をつくり，興業物や飲食店が立ち並んで，大川中洲の夕涼みとして知られた」とおりであるから，天神祭はいうに及ばず，庶民のためのR機能を果たしてきたわけで，それより「東方天神橋まで埋立てて，中之島公園となし，陸上の運動器具，水上のボート等諸般の設備を施し，大阪市民に健全なる遊楽地を提供し」といわれるごとく，明治24年9.5haの中之島公園が開設された。

このような2つの機能のほかに，明治に入ってから東部に図書館・公会堂，西部に医学校といった文化機能（C機能）が附加され，また日銀・商工会議所・郵便局・控訴院・市役所などの官公庁機能（A機能）が追加された。しかも，こうした機能の面だけではなく，中之島は大阪の都心にあって，堂島川・土佐堀川の水と公園・河岸の緑・近代的な建築群とが一体をなす特徴ある都心景観（T機能）をつくりあげており，近代都市として出発してからも日銀・図書館・公会堂・市役所などにみられるように，それなりの歴史的な重みをつけていった（H機能）。これらをそれぞれT機能・H機能といえば，B・R・C・A・T・Hの少なくとも6つの機能をもっているとみられる。しかし，戦後の一貫した経済中心主義政策は，国民の文化・歴史・レクリ・景観への要求を第二義的なものとして退けるばかりか，積極的にこれらの破壊を行ってきた。したがって，中之島においても，これら6機能のうちR・C・T・Hの機能が不当に圧迫されてきた。ここでは戦後におけるこのような破壊の進行を簡単にスィープしてみることとする。

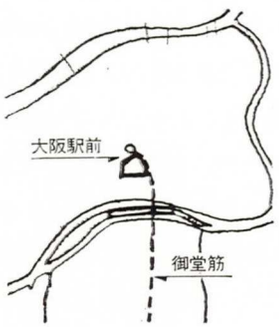
## Ⅰ）破壊の進行

### (1) 都市計画

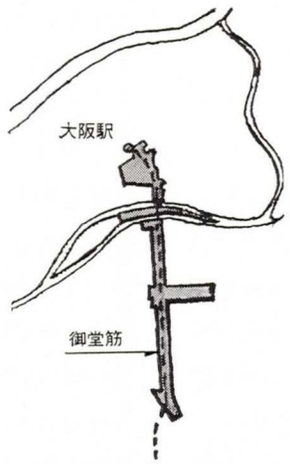
大阪は，明治19年12月，当時の大阪府区部会議長の大阪市区改正についての建議により，大阪府知事が翌20年1月大阪市区改正法案取調委員を設置したときから近代都市計画に向かって走り出すための足音みが始まるといわれているが，中之島に関係してその跡をたどってみると，大正7年4月16日の東京市区改正条例の準用（施行7年5月28日），ついで，都市計画法（大正8年4月公布・9年1月施行），市街地建築物法（大正8年4月公布・9年12月施行）によって体系化された近代都市計画の路

線を走り出すのであるが，まず大阪都市計画区域指定が大正11年4月24日に公告されることとなった（指定区域225.025km²）。

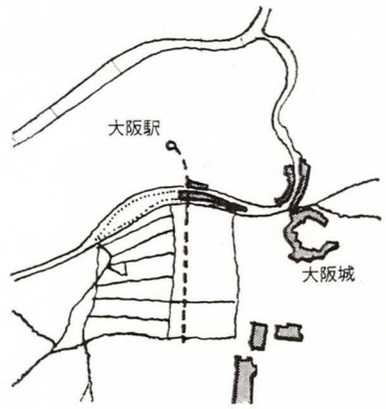
関東大震災の大惨事を予感していたように，大阪は大正12年7月13日，「火災は都市保安上における最大の脅威にして亦震災風災其の他非常の際における各種害禍の帰省する所なり，これを以て都市の総ての構造物は耐火構造たらしむるを現代都市計画の原則」とすることにより，「……甲種防火地区として一団の区域を指定するものにして北区中之島の大部分，堂島の堀川以西一帯に亘り将来大阪市の中枢地たるべき区域にして燃焼建築物の存在するべからざるや論なし」ということで，中之島は集団式甲種防火地区として指定された。ついで，大正14年4月6日，地域指定が認可され，5月1日より施行されたが，これにより中之島は商業地域とされた。これらはB機能A機能強化の基礎条件を提供するが，昭和2年6月4日特許を得，昭和4年6月14日内閣の認可を受けて，翌5年1月29日起工された地下鉄御堂筋線は，B機能に関し梅田—難波間の都心軸を決定的なものとし，同時に中之島のそれを強化することとなった。さらに，昭和11年1月13日，市街地建築物法施行令第11条の規定による高度地区（大阪駅前地区のみ）の指定がおこなわれたが，戦後第1回地区変更にさいして，「中之島一帯の土地は大阪駅前と同様に，大阪市内では所謂一等地であって，土地の高度利用を要求される所であ」ること，および「既にこの地区の西半分は殆んど高層ビルが林立しているのに反し日本銀行大阪支店以東は，やや地区の性格が異なり，風致地区に指定されていると共に堂島川および土佐堀川沿岸は河岸緑地帯（都市計画中之島公園）となっており，大阪市庁舎，図書館，公会堂等の公共建築物が建ち並んでいる。このように中之島地区の東部と西部では性格の相違はあるが，共に土地の高度利用を必要とされている点に変りはなく，また，風致地区と高度地区とは併置し得るもの」であるという理由のもとに，昭和37年10月2日（告示），関電ビルから公会堂までの間9.01haについて高度地区（**図—1**）に指定された。これによって建築物の高さの最低限度は，地上20mとされ，都市計画法制上ににおける高層化条件を確立するのである。そして，引続き容積地区が昭和44年4月9日に告示され，6月4日に施行さることとなる。このうち第10種容積地区（**図—2**）は，大阪駅前地区，およびそこから難波に至る御堂筋，中之島地区，西横堀から東横堀に至る本町通りとされた。理由は，「西日本における経済の中枢都市として良好な都市空間を確保するため」であり，計画のねらいは，「第1に大阪のもつ西日本経済の管理中枢都市としての機能を一層高めるとともに効率的に果しうるよう都市構築を行ない，第2に良好な生活環境のもとで豊かなくらしを楽しめるように市民生活の向上をはかる」ことにおかれた。これによってこれらの地区では容積率$\frac{100}{10}$，つまり敷地の10倍の建築ボリューム



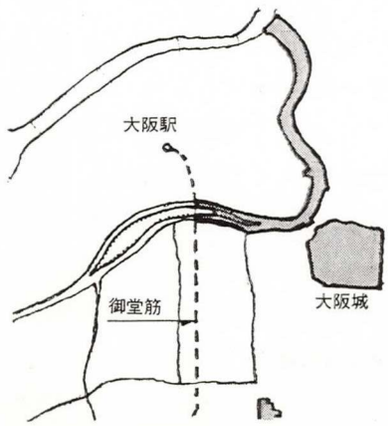
図—1　昭和37年指定高度地区



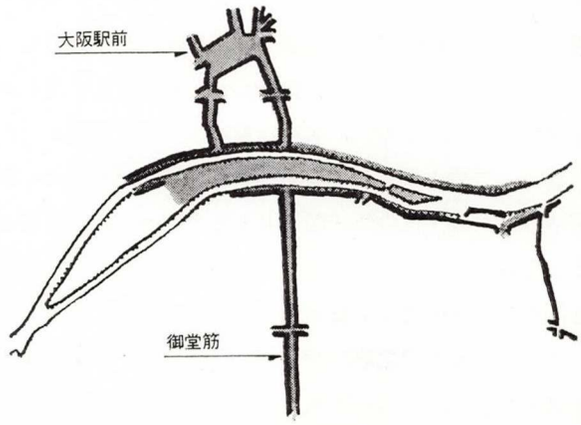
図—2　昭和44年指定容積地区第10種



図—3　昭和8年指定風致地区



図—4　昭和45年指定変更風致地区



図—5　昭和9年指定美観地区

が大手をふってまかり通ることとなる。

このように，都市計画はB機能強化の方向へ突進してゆくわけであるが，さらに，中之島について日銀と市役所の再開発が関係することとなる御堂筋については，高さ制限が31mを限度としてかぶされていることが邪魔になるわけで，「高さ制限はもう時代後れ。超高層ビル建築の申請があれば認めたい。新しい都市景観が生れるはず」（「朝日新聞」48.2.11）であるとして，御堂筋の高さ制限撤廃を打ち出した市建築局の方針が新聞に出されるまでに至るのである。B機能強化のための土地の高度利用の思想はついに登りつめるところまできたという感じである。

さて，他方R機能に関する都市計画はどうかという前に，中之島公園の概要にふれておくと，地区は，北区堂島浜通1丁目・絹笠町・若松町・樋之上町・菅原町・天神橋筋1丁目・中之島1丁目・2丁目・東区京橋3丁目で，さきに記したごとく，明治24年に開設されたときは9.5haであったが，昭和37年9月18日の告示面積は10.97haであり，土地所有の状況は国5.44ha・市3.94ha・民1.57ha・府0.02haとなっている。昭和43年3月25日告示の事業認可では面積3.60ha，施行年度割42～45年であった。昭和8年4月，10月に内閣の認可を得て，同月17日告示された風致地区（**図—3**）は，25カ所1953.23haであったが，そのうち中之島は11.50haが風致地区とされた。場所は中之島1丁目および同地先，中之島公園・府社豊国神社・大阪市役所・日本銀行を含み，土佐堀川と堂島川に挟まれたいわゆる剣先に当るところで，「河畔の風光趣き多」きを指定の理由とした。このときの指定理由書はふるっているので参考のため少々引用すると，「諺に謂う『京に田舎あり』と異なり，『都市に田舎』あるは近代都市の理想であり，将来の都市の姿であらねばならぬ。即ち自然美を維持し，天然の景趣を保存することこそ都市計画上極めて必要な事である。」「大阪都市計画区域内における景勝地を見るに，市街の発展に伴ひ動もすれば毀損せらるる虞あり，今にして之が維持保存の途を講ぜざれば遂に潰滅に帰する虞なしとせず……」とあって，その意図の確乎たるさまがうかがえる。

ついで，43年の新都市計画にもとづき，地区の第1回変更を行い（**図—4**），昭和45年6月14日より施行されたが，これによって中之島地区は指定面積11.5haから19.4haに拡大され，大手前地区116.3haとともに，大川風致地区と名称変更が行われた。しかし，このとき，日銀までかぶされていた地区は，部分的に変更され日銀・市役所・図書館・公会堂の一帯が除外されることとなった。昭和8年の風致地区指定に続き，美観地区（**図—5**）が昭和9年12月7日内閣の認可を得，同月18日告示された。これによって中之島は阪大医学部の東側から東端までが適用地区とされた。美観地区指定の理由は，「都市美は一面輪奐の美である。其の美醜は独り都市美観上のみならず，都市の品位保持の上からいうも極めて重大なる関係を有つ」ものであること，および，曩に昭和3年3月大阪駅前を美観地区に指定することを内務大臣に内申したが，同案は保留となったが，「その後の市勢発展は洵に顕著なるものがあり，今や本邦経済の中核地たるのみならず，国際都市としての重要性を確保するに鑑み……」「大阪市は商工都市として我国産業，経済の一大中心をなし昭和5年国勢調査において人口約250万人を有し（註：内地全人口6,447万人の3.8%に当る2,453,569人で，東京市を凌駕すること38万人であった）。世界都市中屈指の大都市たりと雖も翻て都市構築上より之れを観るときは猶幾多の施設改善を要するものあるを以て各種都市施設の計画並に之が事業実施に付き着々其の歩を進めつつあるも都市美の問題に付ては未だ具体的計画なきをもって……」ここに中之島を中心とする土佐堀川・堂島川沿岸一帯をはじめとする地区を指定するというものであった。美観地区は，風致の美というか，どちらかといえばランドスケープに重点を置いた風致地区と異なり，その都市美の認識のなかには水や緑と調和したという条件をもっていたであろうが，そのことよりもむしろ大都会に似つかわしいつぶの揃った大建築ということの方に力点が置かれていて，近代的都市にふさわしいシティースケープを出現することがねらいであったと思われる。したがって，中之島の美観地区は，都市美観一般という方向へ傾斜して超高層の林立する姿を積極的に肯定する立場へと転換されてゆく危険性をもっており，あくまでも都市美観は，一般論としてではなくその都市の個性の発揚の方向において問題とされねばならないことをここで改めて注意しておかねばならない。中之島の美観地区は，条例の制定がないので実効がないよしであるが，それはさておき，風致地区との重なりにおいて理解すべきであり，安易に「高度地区は風致地区と併置し得るもの」とする考えによるべきではないのである。

以上は都市計画における中之島破壊の危険性への傾斜，R機能よりもB機能を重視することにより，結果としてR機能・H機能が軽視され，大阪の歴史的空間と個性的都心景観を破壊してメガロポリス化の特徴的現象である空間の画一化への危険性を読みとるのである。

### (2) 地盤沈下と高潮対策

中之島中央部における地盤沈下は，昭和10年から40年までの累計で160cmに及んでいる。工場・事務所等の地下水汲み上げに対しては，昭和34年1月4日施行の工業用水法によって規制を行うことになったが，顕著な効果はなく，昭和37年同法の一部改正が行われた。大阪市では昭和34年4月1日，大阪市地盤沈下防止条例を施行して独自の対策をスタートさせたが，昭和37年の建築物用地下水の採取の規制に関する法律によって完全な規制が国家的な立場で行われることになった。このため現在では沈下はほぼ停止しているといわれる。しかし，このような地盤沈下は，都心景観から河川を奪い去ってしまった。地盤沈下

に伴って高潮対策が必要となったが，大阪府では大阪市内高潮対策事業計画をジェーン台風のあった昭和25年から出発させ，昭和33年までに84.1㎞の防潮堤を築くこととなっていた。昭和34年から着工せられた大阪地区地盤沈下対策事業は，昭和35年度から治水5カ年計画の一環の大阪高潮対策事業として引続き実施され，昭和34～39年の間に77.0㎞の防潮堤を築いたが，この事業において，中之島地区の関係する堂島川・土佐堀川の防潮工事が行われた。中之島附近では旧防潮堤高ＯＰ＋4.000mが，緊急3年計画（37.38.39年）では暫定計画高をＯＰ＋4.500mとして施行された。ジェーン台風（25年9月3日）の大阪市における被害は，浸水面積で61.2㎢であったが，このときは中之島の浸水は0であった。しかし，昭和36年9月16日の第2室戸台風では大阪市浸水面積が26.6㎢と前回に比し少なかったが，中之島の浸水は150㎝に及んだ。これらの防潮堤工事によって，以後こうした被害からまぬがれることができたが，治水対策一点に閉ざされた防潮堤工事は，河川景観上最も重要な河岸地を全く味けないものにしてしまったばかりか，沈下した地盤と嵩上げされた堤防の相対が，御堂筋から西側について，人々の目から河川景観を消し去ってしまったのである。

### (3) 阪神高速自動車道の建設

経済の成長に比例して自動車が急激に増加していったが，自動車登録台数は大阪市では，昭和35年16,7767台で，35年を100とした場合の指数は40年211，45年317，46年344であり，同様に大阪府では，35年252,563台，40年248，45年478といった増加ぶりであり，とくに昭和35年以降の莫大な自動車交通需要に対応すべくその一環として阪神高速道路が計画されることになり，昭和38年10月1日着工されることになった。そして，梅田から堂島へ出て堂島川に平行して，さらに東横堀川に沿って南行し，道頓堀に至る路線は，40年12月11日に開通した。しかし，高額の土地取得費や補償費が不要であることと，何よりも地主相手の交渉が不要であり，反対によって工事の足を引張るものは誰ひとりとしていない水面を利用することによって高速道路にとっての迅速効率的な解決がはかられることになった。そのため，中之島の本来の対岸を含めての一体的な景観が，グロテスクな異物によって無惨にも水平に引き裂かれることとなった。しかしながら，奇妙なことにといおうか，当然のことなのか，こうした愚行に対して同調者が現れるものである。これからの都市美は地上を歩く人の目によるのではなく，速度の中に把えられる都市美でなければならないのであると。中之島の景観はこれによって致命的な打撃をうけた。しかも，同時に都市の心臓部に排気ガスその他の公害源を，これによって引き込むことになったのである。

### (4) 河川汚濁の進行と水相破壊

河川の汚濁は大都市の集住形式のもとでは避けがたいものであるが，昭和初年において枝川清浄計画が行われており，このことについて，「近時淀川より分派せる市内枝川が下水によりて汚毒され，汚水停滞して衛生上危険状態にあるので，これを除くため淀川の清水をこれ等枝川に流入せしめ浄化せんがための施設として企画せられたのが可動堰で最大満潮時の水を堰き止め枝川に流入せしめんとするものである。今後市内に5ケ所設けられるのであるが，その最初のものとして完成したのが市公会堂横本川に設けられた可動堰で，架するに外観美しき水晶橋を以てした。これも最近大阪の一名所となった次第である。」と記した武居高四郎の文章がある。ただし，新淀川から旧淀川（大川）へ分流する河川施設としての毛馬閘門と洗堰は明治40年と43年に設置されており景観上もすぐれており，古くから市民に親しまれてきた。両者とも水の都にふさわしく景観上の細かい配慮がなされ，人工のものによってかえって水景を引き立たせ都市景観に大きく寄与していることは特筆さるべきである。

ところで，戦後になって汚濁は確実にしかも急速に進行していったが，昭和13年に比し，昭和45年では3倍も汚濁が進んだといわれ，堂島川については淀川の水を引きいれて，ある程度浄化の可能性をもっているに反し，土佐堀川は最も汚濁のひどい河川の一つである寝屋川をうけている関係上，もっと汚濁が進んでいる。河川が汚濁すると最初は誰しも気になるものであるが，汚濁が慢性化し悪臭を発するに至ると，今度は平気でゴミを投棄し，瀕死の河川をみんなして袋叩きにしてしまう，考えてみればおかしな錯到した心理というものである。かつて大阪は水の都として東洋のベニスと呼ばれ，自らもそれを誇りとしてきた。元和以来，町人の出願によって運河が開鑿されることが多く，東横堀川（慶長5年以前），西横堀川（同），阿波堀川（慶長5年），天満堀川（一部・同3年），道頓堀川（元和元年），京町堀川（同3年），江戸堀川（同），海部堀川（寛永元年），長堀川（同2年），立売堀川（同3年），薩摩堀川（同5年），安治川（貞享元年），堀江川（元禄11年），難波入堀川（享保12年），高津入堀川（同19年）などが開削された。しかし，現在これらの多くは汚濁によって瀕死の状態に陥り，あるものは高速道路に踏みにじられ，あるものは埋立てられ，文字通り埋葬されてしまった。ドイツのハノーバーが，大阪の東洋のベニスと称されるごとくドイツのベニスといわれていたが，戦後95%以上にも及ぶ壊滅的打撃をうけた戦災の復興を，水面の保全を貫徹させることと併行して，みごと達成した事例と比較して，大阪の復興は水相を破壊し，都市の個性を死滅させることによって行われたことを何と考えたらよいのであろうか。私事になって恐縮であるが，かつて当誌上で，阪神高速道路計画に際し，このことの愚を叫んだが，私の声は余りにも小さかったようである。復興とはいうまでもなく都市装備率を引きあげて機能化をおし進めることを究極の目的とするのではなく，独自の都市文化を築くことによって都市を蘇らせ，前進させることであるからである。

## Ⅱ）中之島の再定立

都市計画，公共投資など都市問題への不断の努力が，かえって都市問題を深化させているというのが，現代の最大のパラドックスではなかろうか。フィジカルな対策はまた新たなる，そしてさらに大きな矛盾を惹起することとなる。このような状況のなかで，ほんとうに信頼できる手法は，機能高度化・土地利用高度化といったいわばフォーワード・インテグレーションの方法ではなくて，以上見てきたような，破壊の要因を一つひとつ確実に取り除いてゆくバックワード・インテグレーションを行うことではなかろうか。それはB機能の強化に対してR機能の強化であり，破壊された個性的都心景観を回復することであり，歴史的・文化的空間を保全することである。病みただれた都市を蘇らせる方法として，これほど確実なことは他にあるであろうか。

大阪は経済の地盤沈下に久しくなやまされてきた。昭和30年以降軽工業中心の体質を一挙に重工業化すべく，大阪湾を埋めたて資源型の装置工業を誘致して，重化学工業化への途を突進していった。そして，その目的を達成して，環境破壊という期待せぬ結果をだき込むこととなった。そして，重化学工業化は必ずしも工業構造の近代化・体質の向上強化ではないことを知らされた。また新しく西日本の管理機能の中枢の地への発展を希求している。工業構造の近代化は，そのソフト化・知識化にあることからいって都市機能の管理中枢化は，いわば都心機能のソフト化であり，その意味では妥当であるといえるし，情報社会化の方向に照らして，むしろ当然の志向とみられるが，情報はより文化的・より個性的な土壌とかかわりをもつのであり，より高度の情報を創出するのはより豊かな人間であり，豊かな人間はより高度な文化的空間を指向するのである。とくに大阪は文化施設の著しい不足をかこっている（**表—1**）。豊かな人間性を育てるためにも大量のそして高度な文化施設群を投入する必要があることも事実だ。大阪の都心機能の強化は全面的，一方的な土地利用の高度化や高層化を進めることによって達せられるのではなく，このような文化的・歴史的・個性的な空間を保全し拡充することと併行して，進められねばならないのである。中之島東部は将来にいちだんの飛躍をなさんとする大阪にとってこそ，かけがえのない貴重な空間であることを認識して，あるべき都心のより高度な管理中枢地としての姿（その良い悪いは別として，近代化の方向がそこにあるのなら，）のなかにこそ，とくに重要な空間として再定立さるべきである。もしそうでないのなら，「重化学工業化」と全く同じ誤ちを「管理中枢機能強化」において繰り返すことは明らかである。またやみくもの土地利用高度化は莫大な追加社会資本の投下を必要とすることを念頭におくべきである。都市空間を考え，中之島を考えるためには，少なくともつぎのような視点が設定さるべきであろう（**表—2**）。

表—1　大阪の文化施設（他都市より少ない文化施設）

| 項目＼都市 | 大阪市 | 東京都区部 | 京都市 | 神戸市 |
|---|---|---|---|---|
| 博物館 | 11 | 69 | 35 | 15 |
| 総合博物館 | 0 | 3 | 2 | 0 |
| 歴史博物館 | 2 | 24 | 12 | 3 |
| 美術館 | 3 | 24 | 12 | 4 |
| 自然科学博物館 | 4 | 12 | 3 | 1 |
| 動物園 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 植物園 | 1 | 3 | 4 | 5 |
| 水族館 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 図書館 | 5 | 68 | 5 | 4 |
| 図書館蔵書冊数（千冊） | 1,010 | 5,703 | 407 | 298 |
| 図書館蔵書冊数(千人当り) | 339 | 645 | 286 | 231 |
| 主要ホール | 6 | 21 | 5 | 1 |
| 主要ホール固定席数（席） | 12,632 | 35,194 | 9,594 | 2,200 |

資料：大都市比較統計表（45年）
（注）　主要ホールおよび固定席数は、昭和47年3月、教育委員会、文化振興課調べ。
主要ホールは固定席1,000人以上のもの。
大阪市総合計画局「大阪市の現況」昭和48年3月より

表—2　都市空間を考えるための視点




註：本文において，歴史的叙述は主として，以下の2つによったことを附記しておく。
「日本地理風俗大系第9巻近畿地方」下昭和6年2月，新光社；
大阪市総合計画局「大阪の地域制」1971.4

（おおくぼ　まさかず　大阪大学助教授）

# 5

# 中之島保全の市民運動

高田　昇

## 1

1973年秋，2年にわたって続けられてきた中之島をまもる市民運動は，大きな山をむかえたようである。10月28日，公会堂の一室では，西山夘三氏をはじめ，画家の大泉米吉氏，歴史家の中瀬寿一氏など「中之島をまもる会」（以下，「まもる会」とする）の世話人達は，その数日前，大阪市が出したばかりの「建物老朽危険説」を，正しく批判し，はねかえしていくために論議を重ねていた。部屋の外は，初冬を思わせるような冷い風が吹き荒れ，せっかく春の「中之島まつり」に続いて企画された「秋の中之島芸術フェスティバル」は，準備に夜を徹してきた若者達の心も知らぬげである。まさに，中之島をまもる運動の厳しさを象徴しているようであった。

しかし，思い返えせば，運動は理不尽な文化をかえりみようともしない行政の冷たい仕打ちを受けるたびに，雨が降って固まる大地のごとく連帯の輪をひろげ，より中之島をまもれ！の決意を強くしてきたようでもある。建物が老朽化しているという理由で，とりこわしを迫るとは，全く馬鹿にした話で，そんな理屈が通るのであれば，世界中で，残せる歴史建築など一つもありはしないだろう。歴史建築が，老朽しており構造的にも現在の設計基準を満足しないなどというのは当り前のことで，現代の技術は，むしろそれをいかに補強し，修復して生かせるかにあることぐらい，今や議論の段階ではなく実践の段階にきているのが世の流れである。

しかし，行政側から，しかも学者の権威をもって市民に語られるとき，そんなまやかしの論理も，もっともらしく通るところに運動側にとって油断ならぬものがあった。

「まもる会」は機敏にフォーマルな形で反論すること，さらにそれを市民にアピールする方法を考えねばならないこと，知事を説得する必要性，さらに受け身から攻めに転じて積極的な保全構想を具体化すること，などをその日のうちに決め，役割の分担も終わった。

一週間後の11月4日夜には，そんな厳しい状勢のなかでも予定通り，公会堂の三階ホールでは，「ファンタジー・イン・中之島」と銘打った質素ながらも，華やかなパーティーが「まもる会」の主催で行われた。歌あり，笑いあり，ダンスあり，酒あり，窓の外には私達が愛してやまない中之島の夜景が，静かに市民の散策を受け入れていた。私達は，ここに中之島をまもる運動の一つの個性があり，着々とその輪をひろげながら，その内部に文化的なエネルギーを蓄えつつあるゆえんがあると思っている。いつもは，汚れた服で走り回わっていた若者も，パリッと身なりを整え，美人ぞろいで評判（？）の「まもる会」の女性たちは一段と輝いている。

この夜，私達は「お互いに人を愛する心があるなら，病気になった友をその病気を理由に殺すようなことはしない。中之島を愛することこそ，中之島を破壊させない，誰にもゆずることのできない根拠である」ことを高らかに確認し合った。センチメンタルであるなどという批判は，マトはずれである。中之島をまもることの，都市計画上の意義，歴史学上の意義はもちろん重要であるし，一層，その理論化につとめねばならないことは，いうまでもない。が，市民運動のエネルギーは，むしろそんなところから生まれ出るものではないし，自分のまちを愛する——という感情を軽く見るということ自体，都市を科学的に見る姿勢を欠いていることになりはしないだろうか。

その3日後，11月7日，大阪市の諮問機関である「中之島再開発調査委員会」に，まもる側の意見陳述が認められて，4人の代表が出かけた。建築学会近畿支部環境保全委員会から鳥田家弘神戸大学教授，大久保昌一大阪大学助教授，新建築家技術者集団からは角橋徹也大阪支部代表幹事，そして「まもる会」の世話人でもある林野全孝京都府立大学教授が，それぞれの専門と，得意の理論展開を生かして，委員会を動かすのに成功した。同委員会は，高まる市民運動を無視したままで中之島再開発を強行することはむずかしいと見た行政側が，「専門家のお墨付」を得んとして，1973年7月に設置したものであるだけに，それまでの委員会では，一貫して大阪市側の情報のみが流されて，委員会はほぼその線で落ちつきつつあった。しかし，この日のまもる側の陳述は，大きな転換を迫ることになり，これまで遠慮勝ちにしか話の出せなかった「保全論」が，むしろ当り前のセンスとして受けとられる雰意気をつくり出したようであった。委員会後，委員のある人は握手を求めて激励をされたし，またある人は，「まもる会」へ電話を入れて，委員会が，保全に大きく傾きはじめた旨の「情報」を教えられた。宮本又次氏のように「まもる会」の請願書に署名し，カンパを申し出る委員も出るほどであった。

これらの動きに勇気を得た私達は，大阪府教育長さらに引き

続いて大阪府黒田知事と会見の機会を得た。府の姿勢は，大阪市と全く違って，府立図書館は現地保存するとの意志を固め，市側の再開発協議に対しても拒否する方針を一貫して変えていないとのことであった。黒田知事は「まもる会」の主張を全面的に支持し，学者らしい客観的な目で，中之島を都市計画のなかで位置づけられている様子で，大いに心強いものを感じたのである。

しかし，良いことばかりは続かない。情勢は一転二転する。知事会見の2日後，大阪市はまたまた妙な宣伝をはじめたのである。市議会で助役以下主な担当者が，そろって早急に建て替える必要性を強調。その根拠として，中之島の4つの建物を修復工事するためには，190億円もの巨費を投じなければならないといい出したのである。私達は，その不見識な発言には，あきれて，まともに反論する気にさえなれないほどであった。しかし中之島の歴史環境としての評価には一切ふれないまま，残すためには金がかかるからできないという逆立ちの論理も，素朴な市民には一見もっともらしく受け入れられる面もあった。190億円を市民が負担するか，さもなくば，こわさざるを得ない——という迫り方は，さながら強迫調であり，費用負担は，文化財指定を受けることによって国家財政からも期待できるし，図書館については府，日本銀行については国とそれぞれ所有者も違い，何も190億円のすべてが大阪市民の負担になる性質のものではない。そんな事情には目をくれず，世論操作的な情報を流しては，とりこわしを正当化しようとする行き方からは，市民の意向を重んじ，文化に目を向け，民主的なルールで中之島問題を解決していこうとの行政姿勢は，いまだかいま見ることさえできない。

今「まもる会」は，これまでの受け身の運動を反省し，中之島保全を達成していく上で派生する諸々の問題に対しても，市民が納得できるだけの手だてを準備し，中之島がもっとも市民に有用な都市空間として生きるための構想づくりに取り組んでいる。言葉や理屈だけでは構想は十分に理解されないし，問題の所在も明らかにならない。中之島全体の模型をつくり，市役所を現在地ではなく，新敷地を選定し，そこで建設する場合のスケッチも描いてみた。

運動は，いよいよ単なるまもりから，都市づくりに向かおうとしており，これこそ都市計画における市民参加の新しい形式ではないかと思われる。12月3日には，原案を市民の前に提示して，公開討論会をもち，その結論を，大阪市側も「聞く」との約束をとりつけた。

運動の幅も，1973年秋のめまぐるしい動きのなかで，飛躍的にひろがりつつある。大阪歴史学会，日本科学者会議大阪支部などが相ついで保全要請を出し，教職員組合，青年・婦人団体，法律家協会，医師連盟も請願署名にとりくみはじめている。

## 2

中之島をまもる運動が，2年を経て，ようやく全市民的な運動としてその力を発揮しはじめた背景には，それなりの長い地道な準備がつみかさねられており，また試行錯誤もあった。

日本建築学会近畿支部が，最初に大阪市に対して保存要望を提出したのは，もう2年以上前，1971年10月である。引き続き同年12月，新建築家技術者集団（略称：「新建」）が要望書をまとめた。このときの学会の要請文は，簡潔でしかも中之島をまもる論理がみごと集約された傑作であって，新建の要望文と並んで，それ以後一貫して市民運動の理論的支柱となるという指導性を発揮している。

建築以外の科学者団体に中之島保全を訴えたのは，この11月に開催された「'71大阪科学シンポジウム」に「新建」（提案：松井昭光）が提起したのがはじまりであった。

こうして，新建は，要望書を大阪市に提出後，すぐに建築家としての市民への働きかけを能動的に開始し，慣れない手つきで，街頭ビラまき，署名運動など，とりあえずやれそうなことからはじめた。このとき，すでに運動の中心となっていくのは市民であって，建築界の狭い殻を破らない限り成功はしないだろうとの基本的な確認はされていた。そのためには，何よりも中之島の都市的，文化的意義を啓蒙しなければならないようであった。

中之島は，すでに長い期間にわたって環境破壊がすすみ，汚れる川水，そのなかに建てられた高速道路，公園のなかをはい回るクルマの群れ——などによって，すでに市民の心から遠ざかりはじめている事実に目をつぶるわけにはいかないのであった。明治・大正の建築に対する認識も低く，それらが群として存在することの「歴史環境」の概念などについても，はじめから説き起こさねばならないテーマであった。私達自身の理論武装さえまだまだであった。

まず，若い建築技術者を中心に市民へのアピールも兼ねて建物の実測からはじめた。さらに，月2回のペースで，中之島研究会をつみ重ねて半年後の1972年6月には，小冊子「水と緑と伝統のまち——中之島」が発行された。また，保全を訴えるポスターをコンペで選び，10,000枚を印刷した。ビラも10種類以上そろった。

この静かながら，運動の基礎をきずいた時期をささえたのは，新建の若い建築技術者と，林野全孝，三村浩史京都大学助教授，足達富士夫奈良女子大学助教授，住田昌二大阪市立大学助教授らの研究者グループである。

そのうちに，スケッチや切り絵で中之島を描いて運動に協力しようとの美術家があらわれ，キャンペーンに使うクラシック・カーを提供しようと申し出る企業家も出てきた。作家の藤沢桓夫氏は，ペンで中之島をまもることの大切さを訴え，作曲家

のすずききよし氏は，ギターをかかえて私達の集会に出てこられた。

一人ひとりが，それぞれの立場でできることからやりはじめた。さらに，それを組織化し強力にしていくことが，どこからともなく申し合わされ「中之島をまもる会」は1972年12月，170人の文化人，学者，市民を集めて公会堂で設立集会をもった。そこへかけつけた作家の藤本義一氏は，腕をまくり，マイクをにぎりしめ「……まもる会，などというのでは弱い。中之島をただ，愛しなつかしむというような感情は，現実の政治に通用しない。もっと強く中之島の存在意義を未来の大阪のなかにしっかりと生かす論理を展開しなければ勝目はないだろう。“不沈戦艦・中之島”を宣言せよ」と激励された。中之島に長く住んだが，環境の悪化にいたたまれず郊外に移住した老婦人も顔を見せ，船場で商売を続けてきた大阪商人も「まもる会」への熱い支持を示された。

その1カ月後に催された市民集会には，中之島のオフィスに勤めている勤労者も含めて300人の市民が集まって，小松左京氏や歴史家の小山仁示氏を中心にディスカッションが盛んになった。ここで，一市民が立ち上って，画期的な提案が出されたのである。

「中之島をどう残していくかを，もっともわかりやすい形で示すことが今大切である。春になったら中之島一帯で市民が自分達の手でフェスティバルを行ってはどうか」——この提案は運動をどうすすめるかについていろいろ出された意見のなかで，何より参加者の圧倒的な支持を得，さっそくその準備にとりかかった。

市民運動におしつけがあってはならないし，同時に動きは機敏でなければならない。そのためには厳しい状況のなかでも，できる限り創造的な運動スタイルを考え，運動そのものが一つの文化活動に高められねば長続きしないものである。

この「中之島まつり」の準備には多くの若者が率先して準備作業にとりくみ，その数は200グループ，1,000人に達している。200万円を超える費用は，70人の建築家を中心とする小口の寄附と当日のバザールと入場券ですべてまかなわれた。PRだけで10万枚のビラ，5,000枚のポスター，5,000個のマッチが配布され，100人の若者が自転車でパレードしてPR効果を高めた。

「もう一度見つめてみよう，もう一度来てみよう，もう一度みんなと話してみよう，なにわっ子のふるさと中之島，中之島を市民の手にとりもどそう，中之島にほんとうの広場を創り出してみよう」と呼びかけたこのまつりは，1973年5月5日，晴れわたった朝にはじまった。

子供の日の一日，中之島は三万人の人で埋めつくされ，公園中に笑いと愛があふれていた。クルマをシャットアウトした道路では，子供たちが竹馬や人力車に遊び興じ，広い芝生のまん中では，フォークソングがはじまった。そのまわりにはデザイ

## 中之島をまもる運動の経過

1971. 6月 ●各新聞紙上で，市庁舎建て替えにともなう大阪市の中之島東部再開発構想公表。
10月 ●日本建築学会近畿支部が大阪市に保存要望。
11月 ●'71大阪科学シンポジウムに中之島保全を提起。
12月 ●新建築家技術者集団（略称「新建」）大阪支部が大阪市に保存要望。
同集団による街頭ビラまき。
1972. 1月 ●新建による建物実測調査。
2〜3月 ●新建主催「中之島を考える市民研究会」4回。
●新建，中之島保全ポスター発行，署名カンパ運動はじめる。
6月 ●新建，「水と緑と伝統のまち—中之島」発行。
7月 ●新建，クラシックカーによる市内キャンペーン（一週間）。
9月 ●新建，大阪市へ公開質問状提出。
10月 ●「中之島をまもる会」設立集会（170人参加）（パネラー，三村浩史・藤本義一ら）。
●大阪市，市職員の保全運動への介入事件。
11月 ●新建第2回大会の決議にもとづき，大阪市当局の介入に抗議申入書提出。
●大阪市建築局，同申入れに遺憾の意の回答。
●まもる会「中之島をまもる市民集会」。（パネラー，小松左京，小山仁示ら，300人参加）。
1973. 3月 ●まもる会「中之島をまもる文化講演会」（講師：西山夘三ら，350人参加）
4月 ●まもる会自転車100台による市中パレード。
5月 ●まもる会「中之島まつり」（200団体，30,000人参加）
●まもる会絵はがき・歌集発行。
7月 ●まもる会「中之島夕涼み会」。
●建築学会近畿支部大会，5委員会協議会で，中之島保全声明を採択。
●大阪歴史学会大会で，中之島保全声明を採択。
10月 ●建築学会近畿支部で「都市環境保全講演会」（講師：滝沢真弓，中沢誠一郎，鳥田家弘）
●まもる会，「ぬいぐるみ人形パレード」（50人参加）。
●まもる会「中之島くるくるフェスティバル」（5,000人参加）。
11月 ●新建第3回全国大会で中之島保全声明を採択。
●まもる会「秋のパーティー」（150人参加）。
●新建，大阪市へ建物保存の技術問題についての意見書提出。
●「中之島再開発調査委員会」で陳述（鳥田家弘，林野全孝，大久保昌一，角橋徹也ら）。
●3団体代表（まもる会，学会，新建）大阪府教育長と会見。
●3団体代表，大阪府黒田知事と会見。
●まもる会，大阪市へ公開質問状提出。
12月 ●まもる会「中之島を考える公開討論集会」。
●まもる会「中之島保全構想，市庁舎構想発表」。
●まもる会，大阪市と団体交渉。
●学会近畿支部，大阪市へ「構造診断に対する意見書」提出

ナーや美術家，陶芸家などが思いおもいに自分の作品をならべ，若い恋人達や家族づれが，それを冷やかしたり，ときには値切って買い上げたりした。古本市には滝沢真弓氏が1,000冊以上もの蔵書を提供された。赤レンガの公会堂のなかでは，大阪をテーマにした演劇が観衆を集め，川の上を見ればアベックボート合戦がたけなわであった。

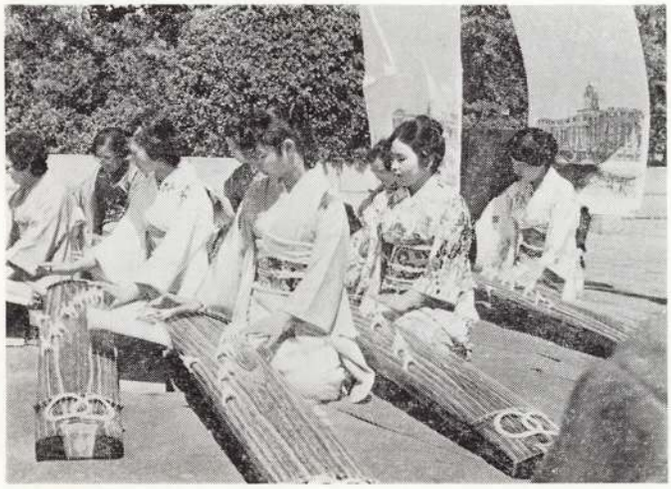
このまつりは，市民が中之島を「使う」ことによってどんなにすばらしい都市空間になるかを文字通り身をもって実証し，成功をおさめた。

これに驚いたのはいうまでもなく一気に再開発をねらっていた大阪市当局である。この後，市は前述の再開発調査委員会の設置を早急にすすめるにいたっている。しかし，今や市の内部でも中之島破壊に批判的な力が大きくなって，市民運動と手を結んで，むしろ再開発は市の意向というより，孤立した一意見として浮かび上る日も遠くないであろう。

## 3

「まもる会」の活動は主としてこれまで不特定多数である市民のできるだけ多くの人にアピールし「まもる会」への結集をはかる活動に精力を費やしてきた。パンフレット，絵ハガキ，ポスター，歌集などを発行し，市民集会，講演会，フェスティバル，研究会など多様な手段で多様な階層に浸透しようと努めてきた。良心的なジャーナリストの支援も見逃せない。



しかし，これからの運動はその成果を土台にしながらさらに府・市・国など公共機関を動かしていかねばならない段階にきている。それもただ意見書や申入書，質問状を出すというようなことは，ほとんど効果のないこともわかってきた。行政を動かす運動は理論的に筋を通すだけでなく，むしろ「力」によって決着が，最終的にはつくものである。

中之島をまもる運動は，その力を基本的には市民に依拠するかたちですすめられてきたし，今後は，いっそうその方針を固め，歴史環境保全の運動に新しいモデルをつくり出そうとしている。

市の担当者と一対一や少人数のグループで話し合うことは，細かい打ち合わせに適していても，そのくり返えしが決して行政の方向を変えさせるものでもないことも確かである。市民の大きな力を直接ぶつけることこそ，何よりも大切である。

一方で，市を説得するだけの科学性をも深めねばならない。本来，文化をまもるという点で市民と自治体が対立する性格のものではないはずであろう。市民の支持があってこそ，はじめて自治体も思い切った文化政策をとることができるのである。

かつての水の都は，もはや見るかげもなく，豊かに実っていた上方文化の気配は，よほど注意しないと感じることさえむずかしい。そんななかで，中之島の環境も歴史的に破壊されつづけてきた。

だから——といって，かろうじて残されたものを，絶滅させるのに口実を与えるものではない。中之島をまもることは，ただ中之島という一つの点だけの意味にとどまらず，大阪に市民の文化をよみがえらせ，都市環境を再生させる第一歩である。それは，誰を頼りにするのでもなく，市民が自らの手でつくりあげていこうとするのが，私達の運動であろう。「中之島まつり」は一日きりで終わっていない。中之島を，大阪を舞台にしながら，次つぎと新しい企画が展開し，何よりも，論より証拠，中之島に，こわしてはならない真の市民広場としての実績と資格を，市民の手でつくり出していこうとしている。

都市のなかの広場はただの空地であっては，その意義は半減する。市民が要求し，自治体がそれに答えながら育ててゆくところに都市ならではの伝統に裏打ちされた「文化性」というものがあるのではなかろうか。

中之島をまもる運動は，市民が，自らの手で，広場と，文化環境をつくり出そうとする創造行為である。

中之島をまもる運動は，文化遺産を引き継ぎながら，それに新しい現代的意義をつけ加えていこうとする全市民ぐるみの文化活動でもある。

（たかだ　すすむ　COM計画研究所代表・中之島をまもる会事務局長）

第3部　資　料

6

# 中之島東部の歴史的環境問題について

## 知名人へのアンケート

「中之島東部の歴史的環境問題」のアンケートは，日銀大阪支店，大阪市役所，府立図書館，大阪市中央公会堂などの歴史的建造物を含む環境の保全か再開発かをめぐる問題が最近急速にクローズアップされてきましたので，この歴史的環境保全特集号にかんがみ，まず第一に，建築家以外の市民に，それも著名人に意見・感想をきこうとして，なされたものです。そして，アンケートする際に，価値判断を導びくような表現（たとえば，群としての歴史的景観の意義，建造物の歴史的意義，都心広場の意義を含む「保全の意義」，また逆に，総合的市庁舎にするための再開発の意義，都心の高度利用，老朽度からの再開発の意義など）は一切さけました。アンケート文案は，つぎのとおりです。

### 中之島東部の歴史的環境問題のアンケート

現在，大阪では「中之島東部（日本銀行・市役所・府立図書館・中央公会堂などを含む）の再開発と保全」が重要な問題となっております。

日本建築協会は，大正6年創立以来57周年を有する建築の総合団体として，会誌「建築と社会」を毎月発行しておりますが，その「建築と社会」誌昭和49年1月号（第55集）を「歴史的環境保全と再開発」特集として企画しました。その企画のひとつとして，関西にお住まいの官界，財界，学者，ジャーナリスト文化人などの各界の代表的知名人に標記アンケートをさせていただき，その結果を誌上に掲載させていただきたく存じます。

重要緊急な課題である「中之島東部の歴史的環境問題」について，貴方の率直なご意見を返信ハガキにてお聞かせ下されば幸甚に存じます。ご多用中恐縮に存じますが，何卒よろしくお願い申しあげます。

| 氏　名 | （記名・無記名自由） | | |
|---|---|---|---|
| 職　業 | | 年令 | 才 |

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

（該当するところに○印のこと）

●関　　心――ある　　あまりない　　その他
●再開発――賛成　　条件つき賛成　　その他
●保　　全――賛成　　条件つき賛成　　その他

■上記に関してご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

関西在住の著名な学者（学長を含む）・官界・文化人・各種団体の長・財界（経済団体の長を含む）・ジャーナリスト・政党（市会議員団幹事長，府会議員団幹事長，無所属議員）ら，100名の方にアンケートしましたところ，32名の方から回答がありました。その職域別の内訳はつぎのとおりです。

| | アンケート先 | 回答 |
|---|---|---|
| 学　　者 | 24名 | 10名 |
| 官　　界 | 3名 | 1名 |
| 文　化　人 | 27名 | 9名 |
| 各種団体 | 16名 | 5名 |
| 財　界　人 | 12名 | 4名 |
| ジャーナリスト | 5名 | 3名 |
| 政党議員 | 13名 | 0名 |
| | 計 100名 | 計 32名 |

回答のなかには，○印のみで意見・文章が全然ない人2名，逆に意見がハガキに書き入れられなくて別紙までそえた長文のもの1名ありました。また政党議員からは1名も回答がありませんでした。

× × ×

このアンケート結果をみて，性急にまとめ的な結論をだすことはさけたいと思います。しかし，関心度についての一応の整理だけ，行ってみますと，まず第一に，回答者のほとんどは，この中之島東部環境問題に関心「ある」人ばかりです。○印をつけられなかった人も当然関心あると考えてよいと思われます。つぎに，再開発か保全かの該当する箇所に○印をつけられた数は以下のとおりです。

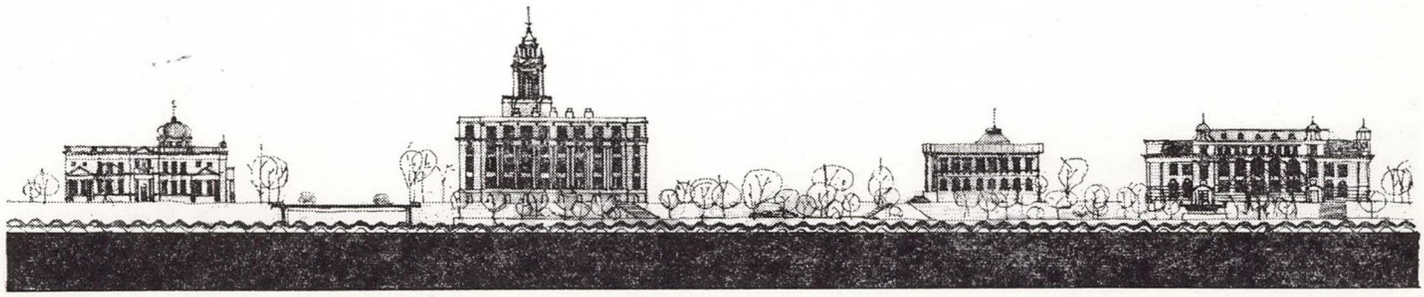
（再開発，保全の箇所には，両方にまたがってひとりで2カ所以上つけられた方が，何人かありますので，回答者数より多くなっています。）

関　　心――ある 28　あまりない 0　その他 0　計28
再開発――賛成 0　条件つき賛成 10　その他 3　計13（35%）
保　全 2――賛成 17　条件つき賛成 5　その他 0　計24（65%）

× × ×

アンケートに書かれた意見・感想も含めて，原文のまま，つぎに列挙いたします（到着順掲載しました。）

回答をよせられた方に厚くお礼申しあげます。



## 渡瀬　譲

大阪女子大学学長　66才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

周辺環境が変っているのに単なる保全は，かえって調和をかき，中の島を殺してしまうことになろう。

かつての中の島をつくったときの精神をいかして，明日の大阪のleading center（美的）に再開発してほしい。

## 笑福亭松鶴

芸能人　55才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

われわれ大正生れの者には，子供の頃より種々の想い出のある土地です。保全する事は今日の社会情勢では無理です。将来の大阪に有意義になる再開発される事を望みます。

## 宮城　正吉

地方公務員　金剛生駒の自然を守る会　49才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |

歴史建築物の多い中之島東部の環境については，積極的な保全対策を推進せしめるべきと思う。伝えられるところによると，夫々の建物が老朽度から危険性が云々されておるので，現状の儘の保全がむづかしいと考えられるが，現在の科学は，補強を可能とみる以上，最善の方法をして保存を検討いただきたい。

当地を除けば大阪は昔日の面影をすらとどめるところがありません。せめて残されたこの地の環境保全を，府民の歴史的寄りどころとして配慮されることをねがっている。

## 小山　仁示

関西大学助教授　42才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

都市とは人間の存在する場所である。人間の存在するところには，歴史的環境は不可欠である。中の島の自然の回復への努力とならんで，歴史的環境を保全することが，大阪という都市の今日と未来にとって必要なことはいうまでもない。建築物の技術的な保全については専門家にまかせるほかないが，今日の技術で可能なはずと思う。経済性を優越させた開発には絶対反対。中之島保全を，ＧＮＰ至上主義への歯止めの一つともしたい。

## 長沖　一

作家　大学教授　69才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

同じ場所に同じ建物をたてるとしてお答えします。

再開発とも保全とも申しかねます。と申すのは，どの建物も寿命が来ているようですし，また，外からの景観より中で働く人達の安全がより大切なので，保全といっても，そのままでおくことはできない現実でしょう。さすれば，まず，中で仕事される人の安全，また，より働き易い環境の建物をつくることが必要なわけで，そうした新しい機能をそなえた建物であって，しかも昔からの景観をそこなわない外観をそなえたものにするのが理想と存じますが，現実には如何なものでしょうか。専門でないのでわかりません。移転しても，そのまま残すことは無理でしょう。

## 島内　三郎

都市研究コンサルタント　49才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

中之島東部の現存建物は，明治末—大正にかけてのもので，ヨーロッパ19世紀末の混乱した様式の模倣にすぎず，美術的にもほとんど価値あるものはないと思われます。

これらを取りこわし，その後に現代の建築様式のすぐれた建築物に再開発することに賛成です。条件付きとはこの新らしい建築物が真にすぐれた建築物でなければならないことで，どこにでもある“事務所ビル”であっては絶対にならないと思います。条件の２番目は，十分な周辺空間と緑の人工自然を作り上げることです。

このようなものである以上，それに投入される人々の意志と情熱は，曽つて現存の建物を作った時の大阪人の意志と情熱と比べて決して劣るものではありません。

## 会田　雄次

京大教授　57才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

有名建物を残し，日本でも珍らしい都市と景観の一致した地区は保存すべきであり，建物は十分な費用を以て修復すべきでしょう。

開発は他の地点で行えるはずです。



## 小松　左京

文筆業　42才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――　ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
○　保全――　賛成　　条件つき賛成　　その他

## 福井　国雄

中日新聞大阪支社長　52才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
保　　全――　賛成　　○条件つき賛成　　その他

中之島東部の諸建築は，今や貴重な建造物であり，大阪が近代都市として発展した歴史を象徴するモニュメントといえる。ただこれらの建造物が現代の都市生活にマッチしていない面が多々あることは十分考えられる。したがって，外形をそこなうことなく内部改造をしてもらったらどんなものだろうか。

## 某

新聞記者　49才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　○条件つき賛成　　その他
保　　全――　賛成　　条件つき賛成　　その他

公会堂だけ残したい。あとの日銀，市庁舎，図書館はとり壊してもよい。その理由は，公会堂は，建てたのは浅いが一篤志家の寄贈にる。その人の物語も秘められている。また，裁判所の赤レンガがなくなったいま唯一の赤レンガだけに，残したい。東中之島といえば，公会堂の赤レンガがすぐ思い浮ぶぐらいなので……

## 筒井　嘉隆

大学教授　淀川の自然を守る会　70才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
保　　全――　賛成　　○条件つき賛成　　その他

中の島の環境は残すべきです。

建物としとは，日本銀行，府立図書館は残されるべきですが，大阪市役所のように市民との関係の密接なものは，機構の増大につれて，改築もやむを得ません。岩本栄之助寄贈の公会堂もあれは不便です。改築した方がよいでしょう。いたずらに懐旧の情にこだわるのはどうかと思います。

## 山内　直樹

団体職員　49才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　○条件つき賛成　　その他
保　　全――　賛成　　条件つき賛成　　その他

◇保全運動が活発である。その意味は理解できる。しかし，再開発をしたいという意図に対して，「代案」を出してやるべきである。「代案」のない反対は，子供のすること，オトナ気ない。

◇保全運動を徹底するなら，大阪高裁のために，どうして，阪神高速を反対しなかったのか。朝日会館の改修も，どうして見逃したのか。責任を問う。

◇中之島東部の歴史的環境を作りあげたのは，人間である。あわせて，そこに機能も作りあげた。一方の機能合理化は絶対必要。歴史的環境だけにこだわるのは一面的でチエがない。市民のために機能をも真剣に考えるべきである。

## 辻中一二三

弁護士（現在大阪弁護士会長）　57才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
保　　全――○賛成　　条件つき賛成　　その他

1. 中之島公会堂を有姿のまま保存すること。
2. 樹木を多くし，遊歩に適した公園を作ること。（せめて，東京日比谷周辺を参考にする。）
3. 市役所の改築，日銀の取毀し等の声があるが，近代のガラスとコンクリートとの箱のような建物は賛成しかねる。風格のある建物にされたい。（ヨーロッパの建物を参考にすること。）

## 赤堀　四郎

阪大名誉教授　73才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――　ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
○保　全――　賛成　　条件つき賛成　　その他

歴史的環境と建築物は，市民の生活の迷惑にならない限り保存すべきである。

## 曽沢　太吉

奈良女子大学長　64才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

関　　心――○ある　　あまりない　　その他
再開発――　賛成　　条件つき賛成　　その他
保　　全――○賛成　　条件つき賛成　　その他

旧制高校時代，初めて市役所，府立図書館，公会堂，日銀を中心とした中之島界隈を見た時の感激は，今猶新鮮に甦って参ります。西独ケルンの中世の建築物を想う時，中之島建築物の果たす歴史の栄光は大きいと思います。老朽化して危険であるとすれば科学の粋を尽して補強して，わが国技術の栄光を再び後世に残すべきだと思います。これを言わずして開発を口にするのは恥ずべき怠慢だと言えましょう。一度取り崩せば，歴史的時間は再びとは生き返って参りません。

## 南部　知伸

阪神百貨店役員　64才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

それでなくとも大阪の文化施設や文化所産が破壊され移設され誠に残念である。水と緑と建築の調和を中之島には保存しておきたい。再開発は他地域で実施してほしい。

## 久我　俊一

KK久我商店会長　木材問屋業　76才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

中之島を中心とする公館区に存在する日銀支店，市役所，図書館，公会堂などに対し科学者の意見に依り震度七なれば倒壊の危険性ありと言われて一部に再開発の声あることも報ぜられていたが，英，仏，独或は地震国と称せられている伊国など欧州諸国に於ても優に150—350年の建築物がよく保存されて街の調和がよくとれていることを考える時，60—85年位にて当時専門家が最善を尽して建築されたことを考えるとき，十分の補強をしても，是非保存すべきであると考える。

## 扇谷　弘一

日本住宅公団理事　53才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | ○その他 |
| 保　全 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

現存建築物は，建築的にみてさほど価値あるものとは思われない。単なる懐古趣味的な意味での保存は無意味であろう。むしろ大阪に欠乏しているオープンスペースを確保する方向での，urban landscape 的視野からの整備が望ましい。その際現存建物の一部がモニュメンタルな姿で取入れられる可能性もあろうが，その全てを残す必要はない。また，跡地を埋めつくすような高密度の再開発も良くないと思う。

## 林屋辰三郎

京都大学人文科学研究所員　59才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

ちようど東京の日本銀行本館が重要文化財に指定される報道に接しました。

大阪のこの地区の建築物はいずれもそれに準ぜられる近代の代表的建築であり，大阪近代の歴史的遺産です。破壊につながる再開発によって，永久にその姿を失うことは，戦災にも勝る大きな損失です。

## 田辺　聖子

作　家　45才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

古い建物を現代の技術で補強することは不可能だろうか？あたらしいたてものは，雅致に乏しいので，最新の技術を使って古いたてものをのこすこと，べんりよく使えるようにすることを専門家に考えてほしい。

## 直木孝次郎

教育公務員　54才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | ○その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

歴史的環境は保全すべきであると思いますが，内部が老朽化している所は，できるだけ改良・現代化することは必要でしょう。府立図書館は，現在のものを分館として，近代的図書館をべつに造るなどの措置を希望します。

## 仁田　勇

無職　阪大名誉教授　74才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

日銀と市庁舎は洋風建築として外人も美しいといっています。日本の歴史，大阪の歴史の一端を後世に伝えることは大切とおもいます。

## 中瀬　寿一

大阪産業大学教授（前経営学部長）　46才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

中之島保存の問題については，世界史的，人類史的観点から考える必要があり，この点，『朝日新聞』（73.10.27夕刊）に書いたので，およみ下さった方も多いと思うが，『大阪春秋』（第2巻，74年1月刊）や『歴史科学』（大阪歴科協機関誌，74年1月刊予定）にも書いたので，およみいただければ幸いである。

主な点を書いておくと，次のとおりで，裁判所の赤煉瓦をぶっつぶした者への憤りにうちふるえている。地震で危いからつぶせなどという建築学者がいるらしいが，そんな「エセ学者」がいるかぎり，日本(大阪)はよくならないだろう。もっと科学的民衆的な立場に立つべきだと思う。

みおつくしの鐘とルネサンス風塔屋によって市民の愛すべきシンボルとなってきた市庁舎は，世界各国の古い都市に多くみられるように，これをつぶすのではなく内部を改造してミュージアムとし，郷土博物館，

民俗芸能館，近松・西鶴文学館，大空襲展示館その他としてながく保存されるべきである。

イタリア・ルネサンス様式の日本銀行大阪支店の建物は，最近，イギリスをはじめ世界に普及しつつあるインダストリアル・アーケオロジー（産業考古学）の流れをくんで，船場・島の内その他，大阪町人の歴史と経済発展を中心にした産業考古館として保存するのが最もふさわしい。

やはりルネサンス様式で，古代ローマの遺風といいたいような大らかさの正面玄関をもつ府立図書館や中央公会堂は，中之島の景観になくてはならぬ点描だ。これらをつぶすことは，なにわっ子の魂や故郷をうばいとり，歴史豊かな都市を，ますます冷やかな高層ビルと殺風景な砂漠（さばく）の町に転落させるものにほかならぬ。

川に面して，ロシア風の緑のドームと赤レンガでおわれた裁判所のエキゾチックな姿は，中之島の都市景観にひときわ優美さをそえる大正前半期の歴史的建造物だ。さきごろから取り壊し作業が始まり，年内には姿を消すようだがこれは採光面などを検討の上，ぜひ国立美術館として保存してほしかった。げんにかって師団司令部や市警・府警本部のあった建物が，62年から全面的に市立博物館(大阪城公園)に転換したが，そこになんらイメージのギャップが感じられず，今日では権力機関の象徴だった事実さえ忘れられている。そのことを思えば裁判所はまさに国立美術館（大阪にひとつもない）にもってこいの建物だったのだ。

もとよりこのような保存，とくに解体破壊のためには，住民全体のコンセンサスが必要であり，市民の活発な論議が期待される。だが，公共建築物の場合，社会・公共的見地からはるかに保存対策がおこなわれやすい。すでに日銀京都支店（1906年）などは重要文化財に指定され，平安博物館として人類の共有財産となっている。

さらに，歴史的な都市美観をそこねる不必要な若干の高速道路や建造物などは撤去し，中之島一帯の自動車の立入を禁止するとともに，難波宮跡（およびいずれは石山本願寺跡）を徹底的な発掘調査のうえ，完全な形で再現し，それらをふくむ広大な大阪城，難波宮跡史跡公園をつくり，旧砲兵工廠内に侵入した企業には撤去をもとめ，桜宮公園をもっとひろげて，これとつないでいく。

そして造幣局にも移転してもらい，現存の造幣局博物館を拡張し，さらにその西側に昔の与力町を再現し，大塩平八郎記念館を創設することにしたい。また，船場には現存する緒方洪庵の適塾の保存充実のほか，西鶴庵や懐徳堂，さらに銅座および銀座，花外楼や帝国座その他を復元し，大阪の生んだ誇るべき町人学者山片蟠桃記念館をぜひ設立する必要があろう。こうして"狂気の時代"に埋立てられた堀川や横堀川，曽根崎川など歴史豊かな河川をもう一度掘りおこし，川口町には外国人民留民館の再現とともに"文明開化記念パーク"をつくり，東の大阪城・難波宮跡史跡公園，桜宮公園から，西の文明開化記念パークにいたる，一大都心公園をつくりあげたい。

小鳥のさえずる原生林のあいだには，野外音楽堂や各種の文化・スポーツ施設をおき(阪大跡を中心に)ふたたび泳げるようになった美しい大川の流れに釣糸をたれ，川舟をうかべ，昔の蔵屋敷や八軒家風景をそのまま復元する。そして，アムステルダムなどのように市内巡航船や"野崎まいり"，旧大和川筋をさかのぼって富田林や国分（さらに飛鳥）までいたる"剣先船"，淀をのぼりおりする定期船の発着場なども再現させたい。ただし，橋本その他の遊廓の復活はしないが，その遺構は後世のためにのこす方がよろしかろう。

こうした構想を，簡単に，"ながい秋の夜の夢物語"として，今日いったい誰が一笑に付しさることができるであろうか。大阪の住民が，そして全日本人が，いや世界人類がそれをなにわっ子に期待している，といったらいいすぎであろうか。

そういう古代，中世と近・現代をうまく"調和"させた都市が，世界にいくらでもあるのだ。私は海外を歩いてしみじみ痛感した。これこそきれいな空気と水と緑をとりもどす"大阪ふるさと計画"であり，"大阪にルネッサンスを！"の叫びの具体化にほかならないのだ。いまこそ，クソ・レアリズムに流されることなく，ながい，そして明るい未来にむかって大きな希望を思いきりふくらまそう。

要するに中之島の保存の問題は，単に一個の建物の存否にとどまらず関係当局の郷土愛，歴史尊重，そして公害対策，都市美観，さらに都市の将来にたいする基本姿勢を問うものである，といっても決して言いすぎではなかろう。

## 竹中　郁

詩　人　69才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○関　心―― | ある | あまりない | その他 |
| 再開発―― | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| ○保　全―― | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

木造建築にそそぐ愛情とくらべて，石や金属建築に冷淡だったわれわれ。ここらでその双方に十分な評価と愛情とをもつ習わしを持ちたい。その契機としてこの中之島問題をとらえたい。

## 松尾　一夫

大阪府立図書館長　50才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心―○ | ある | あまりない | その他 |
| 再開発―― | 賛成 | 条件つき賛成 | ○その他 |
| 保　全―○ | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

当館（府立図書館）は明治中期に建設された石造建築物であって意匠的に優れ，野口孫一設計の代表作としても著名で，現存する明治洋風建築のなかで極めて価値の高いものと評価されているので，郷土大阪における貴重な文化財として現在地に永久に保存したい。

## 港野喜代子

詩　人　60才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心―○ | ある | あまりない | その他 |
| 再開発―― | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全―○ | 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

大阪にムダある風景としてもよいのです。その美しさをさらに調えつづけることです。御堂筋も含めて。

◉大阪市内へきた旅の人たちや，修学旅行などの少年少女が先ず中之島の橋の上から，大阪のメカニズムと大阪の抒情を，『眺めの一望に』と，これからももっともっと緑と花と，河と建物のこの構成を，守ること。

◉その他に，市内で，緑のある大阪の『こここそ美しい』と言える場所はどこでしょうか？　おいてけぼりをくったような古びた風景が時には時代を先きどりしてはゆっくりと未来につづく場合もあるのです。もう一度思案を重ねてから，砕くならどうぞと止めはしないが，胸が痛みます。



## 杉山　平一

詩　人　59才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ―― ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ―― 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ――○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

内部改装，補強などしてでも是非保全して頂きたい。島の中でもあり，別天地をなす大阪では唯一つの景観ですから。

## 小出　文江

事務員　大阪労演　57才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ――○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ―― 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ―― 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |

市庁，図書館については，そこに働らく，また訪れた人たちが気持よくすごせる場所であること，公会堂は今日の劇場としての機構と機能をもったものでないと，建物はあっても意味はないと思います。その要件がみたされるなら保存もいいし，或は，この際長期的な展望のもとに，状況にみあった新しい街なみの美を追求されることもいいのではないでしょうか。その場合大阪市中心としての風格と風情をほしいと思います。高いだけがとり得といった，また奇をてらった建物がならぶのではなく，ゆとりと贅沢な雰囲気をもった，市民の心をなごませる場所になればと思います。

## 小泉　康夫

オール関西株式会社　月刊オール関西編集長　44才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ――○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ――○賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ―― 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

全面保全が望ましいが，時節柄いたし方ない。また，市民不在地域であるため反対運動も実を結ばないと思う。現実に，赤煉瓦の裁判所の建物も殆んど取りこわされてしまっている。それよりも，残すべき環境の画を描いて条件つき賛成ぐらいが実際的。現在の大阪の文化に対する関心度からいっても，この条件つき賛成でも非常に難かしいとこでしょう。

## 竹内　正己

大学教授　67才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ――○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ―― 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ―― 賛成 | ○条件つき賛成 | その他 |

中之島は大阪の顔であるが都市の機能は時代とともに変る。そこが都市業務地区の南北東西の中心部にあるということからする位置づけと，大川筋河川の東西方向からする公園，緑地，文化的遺産を中心とする環境保全の重要性との両面のかねあいで再開発の保全も考慮されねばならない。環境，景観，機能の三面からする検討を厳密に行い，いくつかの案でそれぞれのもつ意義，効果，デメリットを比較検討して決定する必要がある。

## 平山　正和

弁護士　29才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ――○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ―― 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ――○賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

## 寿岳　章子

京都府立大学教授　49才

■中之島東部の歴史的環境問題に関して

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　心 | ――○ある | あまりない | その他 |
| 再開発 | ―― 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |
| 保　全 | ―― 賛成 | 条件つき賛成 | その他 |

失ったが最後というものについて，日本人はあまりにも軽卒すぎます。大阪でもっとも美しい場所が，ホロボサレルのはいやです。



第3部　資　料

7

# 都市と景観

## 神戸の景観に関する100人アンケート報告書から

新建築家技術者集団兵庫支部

### ●アンケートで世論喚起

「神戸のよい景観がどんどんなくなっていく」「いまのうちになんとかしなければ」「ともかくいろんな人に訴えて世論をおこしていこう」——私たちが〈神戸の景観に関する100人アンケート〉をはじめたきっかけはざっとこんなものであった。データを集めて分析するといったむつかしいことより，ともかく100人の識者に私たちの意図を訴えようという気持の方が強かった。だからアンケート項目も，①一番好きな景観は？　②一番嫌いなところは？　③残しておきたいところは？　④いまはもうないが残しておきたかったところは？　⑤神戸の都市のイメージは？　⑥景観をよくするには？　⑦北野町を守るアイデアは？　といったきわめて簡単なものであった。

郵送アンケートでもあり，最初はどの程度の返事があるか検討がつかなかった。しかし，最終的には51名の人たちからご返事をいただいた。それも例外なく，きわめて熱心な回答ばかりである。それらを読んでいくと，よい景観を急速に破壊していくものに対する憤りが，私たちの胸に伝わってくる。景観破壊に対する日頃のうっぷんを表現する場をこのアンケートが提供したのではないかと私たちはうぬぼれたりもした。病気で安静の床から，回答はできないが，いい企画だからがんばってほしいという激励もあって，私たちを大いに感激させたのである。

ともかく，このアンケートは私たちの期待を上回って，ずいぶん興味深いものとなった。ぜひ印刷してより多くの人たちにという声が自然におこってきた。私たちは，いろいろな無理を承知で自費出版に踏み切ったのである。こうしてできあがったのが『都市と景観——よき景観を守り育てよう——』である。

以下，主要な点について簡単にふれてみたい。

### ●景観の多様性

アンケートを通して感じられることは，景観の把え方が，生活実感に左右されていることである。

たとえば，職業の違いからくる生活行動によって少しづつ景観の把え方が異なっている。画家の方々は，イーゼルを立て，絵筆をもって眺めた対象のなかに好きな景観をみいだしている場合が多い。一つのポイントから，近景，中景を通して遠景を眺める景観となっている。また，新聞記者の方々においては，よく歩きまわるのであろうか。好きな景観として，道筋やある町の界隈などをあげている例が多い。それはビスタの変化など視点の移動をともなった景観として把えられている。

さらに，当然のことながら，住んでいる所や，よく行く所に景観に対する指摘が多くみられる。したがって，だれもが行く都心地域，あるいは居住地周辺というように日常生活の行われるところに対する関心が強い。また，通勤途中ということで，「湊川—鈴蘭台の神鉄沿線の景観」をあげている例があったが，これなどは，景観が日常の生活実感のなかに生きているよい例であろう。

このように職業とか生活範囲など，生活実感の違いによって景観の把え方も異なってくる。と同時に，景観とは，一人ひとりの日常生活のいろいろな場所，瞬間で，きわめて多様に把えられるということでもある。

これは言いかえれば，景観を良くしようという場合，どこか目立つところだけのワンポイントの改善では十分ではなく，市民の日常生活が営まれるすべての地区で改善されなければ，ほんとうに良くなったとはいえないだろう。景観とは，きわめて総合的なものといえそうである。

### ●すすむ景観破壊

神戸のイメージは？という設問には，「山と海の町」というのが最も多かった。なんともあたりまえの答であるが，これまでその山と海が大切にされなかったことを考えれば，この平凡な指摘の重要性をあらためて感じないわけにはいかない。

また，好きな景観は？嫌いなところは？の設問に対しては，さきに述べたようにきわめて多様な回答があったが，これらの景観の成立年代を大雑把に分類してみるとおよそ**表1**のごとくなる。この表を見て一目で気づくことは，好きな景観が戦前に集中しているのに対し，嫌いな景観が戦後，それもここ10年くらいの間のものに集中していることである。つまり，古き良きものを，新しい悪しきものが凌駕しつつあるということになろうか。ともかく，このアンケートは，最近の進む景観破壊に対する厳しい告発となったのである。

なぜこうした景観破壊が進むのか。アンケートでみるかぎり，都市政策の貧困を指摘する向きが多い。宅地開発，海面埋立，都市改造，道路建設，モータリゼーションなどが，新しい良き景観を生みだすどころか，これまでの古き良き景観を破壊してしまったのである。しかも，これらの都市開発は，一方で，生活環境の破壊要因としても多くの問題をなげかけたものばかりである。つまり，景観というのは独立して存在するものではなく，したがって，単に景観だけが悪くなるということではなく，生活環境全体が悪くなるなかで景観もこわされていくということであろう。景観は，生活環境の一種のリトマス試験紙といえないだろうか。

### ●景観創造への提案

景観をよくする提案は？という設問に対しても大部分のかたから具体的で有意義な答をいただいた。これらから，「現在の景観はもっとよくなるのだ。それに対して種々対策がなされていないし，今からでもやる

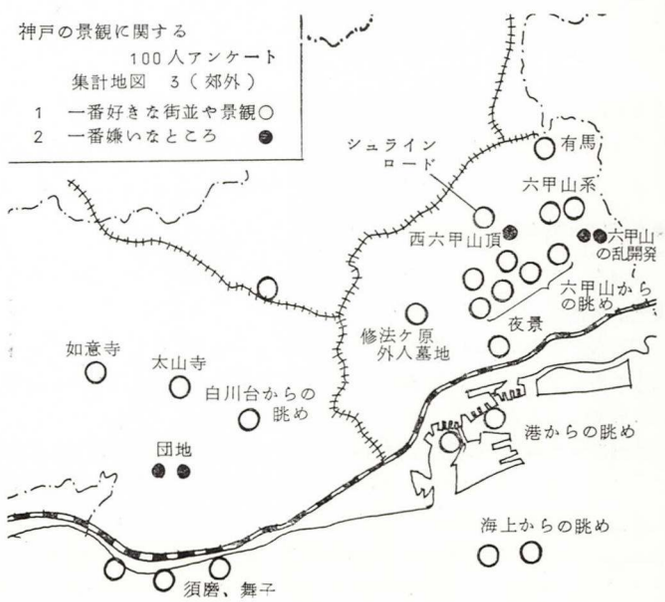


表1　建設年代でみた好きな景観と嫌いなところ

| 場所＼建設年代 | 明治以前 | 明治元年 | 戦前 | 第2次世界大戦 | 戦後 |
|---|---|---|---|---|---|
| 好きな景観 | 六甲山から 6<br>六甲山系 2<br>海から 3<br>神戸全体 1<br>須磨舞子 3<br>有馬 1<br>藍那 1<br>如意寺 1<br>太山寺 1 | 白鶴美術館住吉 5<br>篠原護国神社付近 2<br>離宮道 3<br>栄町 1<br>港から 3<br>メリケン波止場 1<br>修法ヶ原の外人墓地 1<br>シュラインロード 1 | 北野町界隈 19<br>元町通 4<br>御影の南 1<br>岡本 1<br>阪急六甲北 1<br>神大への道 1<br>熊内 1<br>青谷付近 2<br>魚崎 1<br>千守町 1<br>湊川一鈴蘭台（神鉄） 1 | 諏訪山 2<br>布引、市ヶ原 1<br>ジェームス山 2<br>トアロード 4<br>京町筋 2 | 夜景 1<br>県庁付近 2<br>フラワーロード 3<br>離宮公園 1<br>白川台から 1<br>貿易センターから 2<br>高速道路からの眺め 1<br>神戸駅一大開通 1 |
| 嫌いなところ | | 長田・葺合のスラム 3<br>新生田川南 2<br>新湊川・新生田川の国鉄より南地区 1<br>福原 2<br>南京町 1 | | 六甲山系の開発 2<br>鶴甲・多聞団地 1<br>湊川一鈴蘭台 1<br>団地（独立住宅） 3<br>高層団地 1<br>国道筋沿（2号線） 3<br>第2国道沿 1<br>高速道路 1<br>西灘工業地帯 3<br>和田岬地区 1<br>港 1<br>新開地の裏 1<br>新開地 2<br>高架下の商店街 2<br>国際マーケット 2 | 三宮付近 4<br>フラワーロードのペンシルビルの例 1<br>都心の建物と広告 2<br>生田神社付近（ノミ屋街） 5<br>北野のホテル 1<br>彫刻のある交叉点付近 1<br>サンチカ 1<br>ダイエー前旧市電通 1<br>十合南のパチンコヤ 1<br>大倉山体育館付近 1<br>相楽園（閉鎖時の） 1<br>乗水銀座 1<br>六甲道改造ビル 1 |

| 提案 | 提案数 | 内訳 | |
|---|---|---|---|
| 都市創造により多くの人をよりセンスのある人を | 12 | 市民意識の向上<br>市民の意見を取り入れる制度の確立<br>行政体のデザインオンチ | 7<br>3<br>2 |
| 自然を守り回復する | 26 | 町に緑を<br>山の自然保護<br>海岸の人間空間化<br>関西新国際空港阻止 | 10<br>9<br>5<br>2 |
| 歴史的町並の保存 | 7 | 住民自らの盛り上り<br>条例、地区指定等による保存 | 2<br>5 |
| 建築物等のデザイン統一 | 19 | 建築のデザイン統一<br>広告物規制<br>俗悪建築物の除去<br>高層建築の禁止<br>建ペイ率による制限 | 10<br>4<br>2<br>2<br>1 |
| 都市開発による景観創造 | 15 | 高層化によるオープンスペースの利用<br>神戸の特質にあった開発方式<br>ポートアイランドの利用<br>その他細部の提案 | 5<br>5<br>2<br>3 |
| 車の規制 | 8 | 車乗入れ制限<br>高速道路の撤去<br>その他 | 4<br>3<br>1 |
| あきらめ型 | 1 | あきらめ型 | 1 |
| 合計 | 88 | | |



マンションの波が押しよせる（北野町）

必要がある」といった非常に前向きの姿勢を感じとることができる。いちいち提案の内容に触れる暇がないので，内容別に分類した一覧表をかかげておくに留めたい。（表2）

## ●北野町の保全

最後に，ケーススタディとしても取上げた北野町（いわゆる異人館が集団的に残っている高級住宅街）について触れておこう。

好きなところは？残しておきたいところは？および残しておきたかったところは？という三つの質問に対し，いずれも一位を占めたのは，北野町界隈である。

北野町はこの10年の間に，まず，いかがわしいホテルに浸蝕され，つづいてマンション攻勢にさらされた。かつて10年前には約50軒あった異人館は，現在30軒しかない。「北野町はもうない」といってもいいほどの変りようである。こう感じた人たちは，北野町を「残しておきたかったところ」に分類されたのであろう。しかし，一方，まだ約30軒の異人館が現に存在しているし，それらがホテルやマンションに押しつぶされながらも，なおけなげに北野町の魅力を語りかけているのも事実である（写真）。「好きところ」「残しておきたいところ」に分類した人たちは，これらに最後の望みをかけられたのだろう。私たちは「好きなところ」「残したいところ」「残しておきたかったところ」のすべてに北野町が多かったことから，北野の人気の根強さとともに，いま急速に変ぼうをとげつつある北野町の率直な投影をよみとることができた。北野町の保全策を早急に検討すべきときである。

× × ×

以上，ごく簡単にアンケート結果について述べたわけだが，紙も限られており，きわめて舌足らずの紹介文となった。もともと記述式のアンケートであるから，分析もさることながら，生の回答文を一読願うのが一番いいのかも知れない。良き景観を守り育てるため，ぜひこの報告書を多くの方々に読んでいただくことを願っている。（T）

〈なお，報告書は実費でおわけします。 078（221）6705 神戸市葺合区御幸通3－14まで〉

第3部　資　料

8

# 歴史的環境の類型と保全のあり方

近畿における歴史的環境の類型について，大阪府，京都府，兵庫県，和歌山県，三重県，滋賀県，奈良県の文化財保存の関係課へ，資料提供をお願いしていたが，大阪府，和歌山県，三重県，滋賀県，奈良県の事例の回答がきたのでそれを紹介する。他は期日までに間にあわなかったのは残念であるが，後日をきしたい。（日本建築学会近畿支部環境保全委員会）

## 歴史的環境の類型と保全のあり方〔三　重　県〕

| 名称＼項目 | 現　況 | 歴史的意義 | 類　型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 亀　山 | 亀山城の近辺において江戸時代の面影を留めているところがある。 | 東海道五十三次の一つとして，城下町，宿場町として栄えたところである。 | 城下町<br>宿場町 | 交通量の増加と共に道路も狭隘化し，町の改造を居住民は望んでいる。 | 特別の保存運動は行われていない。 | この現時点においては，町の大きな変貌は避けられない。 | 点在する比較的古い民家を部分的保存するより方法はない。 |
| 関 | 古い江戸時代からの宿場町として，その面影を留めている。 | 関の町は，日永追分と江戸橋とに分かれていく分岐点として，宿場町として，江戸時代に重要な位置を占めていた。 | 宿場町 | 宿場町の保存については，住民の中の有識者の中に現状保存を訴える人もいるが，一般住民はそれほど関心を示さない。 | —— | 少しずつであるが，町並に改造が進んでいる。 | 町当局は何らかの形で保存を考えているが，具体策はたてられていない。 |
| 松　阪<br>殿町の場合 | 下級武士団の詰所たる護城番を中心として，生垣に囲まれた侍屋敷が残っている。ただし昔のままの住宅は少ない。 | 紀州和歌山藩に属してからの殿町の形態をよく留めている。 | 城下町 | 地域の居住民のなかには，できるだけ，殿町の旧態を崩さないようにしたいとの意向もある。 | —— | 昔ながらの生垣をブロック塀に改造して，景観をそこなう懸念がある。 | 市当局の方針としてはできるだけ現状保存をしたい意向であるが，居住民のまとまった態度は出されていない。 |
| 松　阪<br>中万町の場合 | 江戸時代末期から明治時代にかけての豪商の家屋構造を留めている地域がある。 | 江戸時代に伊勢商人の発祥地として栄えた，その当時の町並を留めている。 | 豪商集落 | 家屋構造を大きく改変しようという意識は見られない。 | —— | 土塀をブロックの塀に改変する可能性が多分にある。 | —— |

## 歴史的環境の類型と保全のあり方〔和歌山県〕

| 名称＼項目 | 現　況 | 歴史的意義 | 類　型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 粉河町 | 町並は約500mの長さにわたりあり，現在粉河本町線拡幅のため約7割が，改造取り壊しが行われている。 | 粉河寺を中心として栄えた門前町である。 | 門前町 | 一部の郷土史家等に破壊を憂慮する動きがある。 | なし | 粉河本町線の拡幅にともない町が奨励して実施しているため保存について問題点が多い。 | 改造等が進んでいる折，調査および保存についての話し合いが必要。 |
| かけづくり<br>（和歌山市内） | 現在国道24号線の南脇に位置し約450mにわたりほぼ旧観を残している。 | 徳川家入城後城郭と外郭一帯を守るために嘉家造町を造成した。 | 武家屋敷町<br>（街道町） | 特になし | なし | 町並としての外観はほぼ旧態を残しているが内部の改造が大きく，内外部とも保存するための問題が多い。 | 国道に面しているため今後開発が大いに予想されるため調査および保存について話し合いが必要。 |
| 海南市<br>黒　江 | 海南市の川端通りを中心に東西200m南北200mの範囲に残っており，250戸うち約9割が漆器関係に携っている。 | 江戸時代末より明治時代にかけての民家で，下図のように道路に対して斜めに建てられており，立地条件，製造関係により特殊な形になったものと思われる。<br>  | 漆器の製作関係 | —— | —— | —— | —— |
| 岩出町<br>根　来 | 江戸時代に復興した門前町約500mのうち現在約60戸を残すのみである。 | 天正の兵火後，江戸時代に復興した門前町で，兵火前の地区名に「番」が今でも残っている。 | 根来寺門前町 | —— | —— | —— | —— |
| 下津町<br>塩　津 | 海岸線約1kmにわたり商家倉，民家（漁家）が残っている。 | 南北朝の頃中世的宮座が成立し，江戸時代，廻船業が発達し，米，魚，みかんの取引所として発達。 | 海運漁村 | —— | —— | —— | —— |
| 由良町<br>戸津井 | 戸津井，小引の2つの地区よりなり，約61戸で農業を営んでいるが，建立時代の姿をとどめるものは少ない。 | 江戸時代関東への出稼ぎが多く，古文書も有する。戸津井，小引がそれぞれ共有網をもって漁獲を競った。 | 漁　村 | —— | —— | —— | —— |
| 中辺路町<br>近露（ちかつゆ） | 近露王子跡を中心に約200戸の集落で，ほとんど明治以降の建物。 | 熊野古道に位置し南北朝より横矢，野長瀬両豪族の根拠地として栄え，米倉，旅籠の家号，様式を残している。 | 宿　場 | —— | —— | —— | —— |

## 歴史的環境の類型と保全のあり方〔大 阪 府〕

以下のほかに右のものがあげられる。 寺内町――八尾久宝寺，八尾，高槻富田，大雅塚　街道町――柏原(三田家周辺)，河内長野三日市，旧竹内街道沿いの民家（太子町）　集落――中小阪農村集落，泉佐野港町

| 名称＼項目 | 現況 | 歴史的意義 | 類型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 富田林 | 旧平尾，千早，東高野の街道が交叉する高台に立地し，南は石川にのぞむ。興正寺を中心に整然とした地割がみられ，江戸時代初期の建物をはじめ多数の建物が現存する。東西約300m，南北350mの地域。 | 富田林の成立は永禄元年，証秀上人が富田の荒地を開発し，近在の4カ村の庄屋株2人ずつ，計8人からなる年寄により経営されたのに始まる。元禄から享保にかけて河川による河運が開かれるとともに，綿作，酒造業を中心に発展した。 | 寺内町 | —— | 富田林を守る会 | —— | —— |
| 貝塚 | 貝塚寺内町は紀州街道をとりこみ，これにほぼ平直行する道路によって区割された町割をもつ。南北800m，東西400m。町屋は紀州街道沿いに良く残り，江戸中期以降のものが多い。願泉寺を中心とした寺町一帯もよく面影を伝える。 | 天文10年に根来の僧卜半斎了珍によって開かれ，天正年間，貝塚道場が本願寺となってから繁栄した。 | 寺内町 | —— | —— | —— | —— |
| 堺 | 堺市の旧市街地にある。周囲の濠は良く痕跡をとどめ，町割も当初の姿をほぼ伝える。南北2,800m東西150mの範囲であるが，町屋の良く残るのは北端の北旅籠町一帯で南北300m，東西150mで，切妻造本瓦葺の建物が多い。国指定重要文化財山口家住宅を含む。 | 堺は室町時代初め頃から，町民の自治の特権が認められ，自由都市として発展した。 | 自由都市 | —— | —— | —— | —— |
| 平野郷町 | 大阪平野のほぼ中央に位置し，東西・南北とも約800mの地域をいう。当町の町屋構は多くまた大念仏寺をはじめ寺院遺構も残る。周囲の濠の痕跡は良く残り，土居も一部にみられる。土居に開く門は計13カ所あり，門の遺構はないが，辻地蔵堂が入口の位置に全部残り，旧町の範囲が確認できる。 | 上古は杭全神社の荘園。豊臣時代は平野地区を区分して支配した七名家の一つである末吉家が銀山経営や海外貿易をおこない末吉船の名をあげた。庶民の間では綿の独占的生産によって商業上重要な地位をきずき，堺とともに自由都市としての一面をもっていた。 | 自由都市 | —— | —— | —— | —— |
| 池田 | 北に五月山，東に池田城址，西に猪名川をのぞみ，南は駅前の商店街に続く。南北約500m，東西約400mの地域で旧城下町の地割を良く残す。町屋遺構も6割ほどあり，酒倉が各所に点在する。 | 戦国時代は池田城の城下町であったが，天正年間池田城が滅ぼされると，その後天領となり，北摂経済の中心地として栄え，造酒屋を核とし，町並を形成していった。造酒業は元禄ごろを頂点とし，その後衰退していったが，江戸後期から，町の機能は炭や植木の集積地と移っていった。 | 市場町 | —— | —— | —— | —— |
| 岸和田 | 南北800m，東西750mの地域。岸和田城天守閣は文政10年に焼けたものを，昭和29年に復興されている。古い町並の残るのは紀州街道沿いで，国道26号線の東半。城の周辺はわずかに地割を残すのみで，古い建物は少ない。 | もと岸村，中世和田氏の築城以来，岸和田となった。近世的城下町となったのは寛永17年岡部氏が高槻より移ってからである。大坂と紀州を結ぶ紀州街道の中間をしめ，泉南地方の物資を集散する商業の中心地として栄え，明治の廃藩まで岡部氏5,300石の城下町であった。 | 城下町 | —— | —— | —— | —— |
| 旧京街道 枚方宿 | 枚方台地と淀川にはさまれた地域で，古来から交通の要地であったが，道路が山手につけられ，旧京街道はさびれていった。南北約300m，切妻造本瓦葺の町家が並び，保存状態も良い。 | 枚方は古来淀川交通の要地であったが，文禄3年秀吉が淀川左岸に文禄堤とよばれる堤防をつくらせ，これを道路として利用してから，一層重要な町となった。家康の頃，京，大坂を結ぶ道路は京街道と呼ばれ，整備され，慶長6年枚方宿が設けられた。 | 宿場町 | —— | —— | —— | —— |
| 旧西国街道 芥川宿 | 国鉄高槻駅北西にあり一里塚周辺は駅前からの商店街が続く。主要道路が南に移ったため，西国街道はさびれ，周辺は住宅地となっている。約500m。芥川橋から一里塚の間。切妻造本瓦葺平入の民家と妻入の民家がある。 | 芥川は室町時代芥川氏のよったところで，三好氏をへて，信長の手に入り，和田氏の城下町となった。西国街道は京と西国を結ぶ幹線で，旅籠屋，茶店などが軒を並べ，寛文の頃には戸数800軒人口4,000人をこえたという。 | 宿場町 | —— | —— | —— | —— |

## 歴史的環境の類型と保全のあり方〔滋賀県〕

| 項目／名称 | 現況 | 歴史的意義 | 類型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 彦根 | 彦根城跡は特別史跡に指定され、内堀内は充分保全されており、内堀附近の武家屋敷長屋門2件は彦根市指定の文化財になっている。 | 井伊家の居城として慶長年間築城され、幕末の大老井伊直弼の住居「埋木舎」や大名庭園玄宮楽々園などと共に往時の城郭資料として貴重なものである。 | 城下町 | 若手層と老年層は保存意識が濃い。 | 青年会議所が中心となり彦根史談会及び婦人会に呼びかけ保存運動を起しかけている。 | 町並保存による所有者の権利制限と経費の財源開発。 | 都市再開発的、観光的、および文化財的に保全する考え方のうち、文化財的に保全の方向を考えたい。 |
| 信楽町 | 製陶事業所数 110<br>企業合同により大型化の傾向はあるが零細企業が多い。室町時代の古窯跡1件が県指定史跡、県指定無形文化財技術保持者2名。 | 信楽焼の創始は鎌倉時代に遡り、中世六古窯の一つで、室町時代には茶器が製作されるようになり、後、千利休、千宗旦等が愛用した。 | 焼物の町 | 焼物を生業とする町で、研究、発展の意欲は旺盛である。 | 特に住民運動はない。 | 秀れた技術保持者の育成と産業近代化の共存。 | 古窯跡の調査と保存。<br>現在使用中の登り窯の継続使用。 |
| 近江八幡 | | | (近江商人の町) | | | | |
| 大津市 | 坂本は延暦寺の門前町として発展し、幾十かの里坊は、いわゆる穴太衆積みの石垣構えで一大景観をなしている。大津市指定史跡。 | 延暦寺、日吉大社の創始と発展、江戸時代の特異な宗教都市的歴史景観は見るべきものがある。 | 門前町 | 坂本の住民は延暦寺及び日吉大社と共にあるともいえるもので、保存意識が濃い。 | 特に住民運動はない。 | 石垣積み技能者の現員が僅かで、後継者育成を要する。 | 一部が大津市指定史跡になっているが、広範囲を指定して保存することが望ましい。 |

## 歴史的環境の類型と保全のあり方〔奈良県〕

| 項目／名称 | 現況 | 歴史的意義 | 類型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今井 | 町並保存は、かなり良いが、環濠は一部を除いて埋立てられ、近年、家の建替もかなりある。今西家住宅をはじめ、7件が重要文化財の指定を受けている。 | 浄土真宗称念寺を中心に、中世末頃から発達した寺内町で、周囲にほりを廻らしていた。 | 寺内町 | 奈良女子大学の調査などによれば、保存に対する住民のかん心はかなり高いが、反対意見もかなりあると思われる。 | 「今井町を守る会」が結成され、普及啓蒙、他の保存地域との交流などを行っている。 | 今井町は周辺、とくに西側は開発が進んでおり、また古い民家が多いので、今後家の建替も急速に進むであろうから、対策は急を要する。また環壕の保存もぜひ必要である。 | 文化財指定件数をできるだけふやすとともに、点から面への保存のため、住民の利益を尊重するよう、住の整備とともに、防災、下水、電気、交通など多方面からの対策を必要としよう。 |
| 郡山 | 旧城下町としての地割りがよく残るが、各個別民家には、古いものは少ない。本町通りや紺屋町筋などが比較的旧観を残している。 | 古くは東大寺荘園、中世は郡山衆のうち、辰己、薬園などの館があり、筒井順慶が近世郡山城のもとをはじめ、豊臣秀長入城により、経営が著しく進み、江戸時代を通じて城下町として栄えた。 | 城下町 | | | | |
| 五条 | 重要文化財栗山家など、古い民家がかなり残るが、現在もっとも町並の保存の良いのは新町の一部である。 | 奈良時代から開けていたが、江戸時代には代官所が置かれ、伊勢、熊野、紀州街道の交点で商業の中心地であり、天誅組とのゆかりも強い。 | 街道町 | 最も保存の良い部分は旧家が多く、保存に対する意識は高いと思われる。 | | 指定および保存対策の立案および総合的な調査の実施。 | 現在最もよく残る部分の保存は、ぜひ必要であろう。 |
| 御所 | 繁華街は旧観を失っている部分も多いが、一部には古い町屋がかなり残る部分もある。 | 西御所は桃山時代に桑山氏が入ってその城下町として発達し、東御所は桑山一族の建てた円照寺の寺内町として発達した。 | 町家 | | | | |
| 柳本 | 上街道に沿い付近には、長岳寺があり、崇神、景行陵などの古墳も多く、街道筋には一部に旧観をとどめる町屋がある。 | 織田家一万石の城下町として、この地方の中心地であり、上街道に沿って発達した。 | 街道町 | | | | |

| 名称＼項目 | 現況 | 歴史的意義 | 類型 | 住民意識 | 住民運動の経緯 | 問題点 | 保全の方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 飛鳥地方 | 飛鳥時代の遺跡はきわめて多く、一般には、農家の集落が多いが、岡寺門前などには町屋も多い。農村風景は比較的よく残る。とくに棯前は良い。 | 飛鳥時代の文化の中心であるが、都が移り、寺院の大部分が衰えた後は、静かな農村地帯となり、遺跡の多くは地下に埋もれた。また岡寺は西国三十三所の七番札所となっている。 | 農家集落<br>一部門前町 | 環境、遺跡の保存問題に対する住民意識はきわめて高いが、民家集落の保存については、とくに目立つ動きはない。 | 「飛鳥古京を守る会」などが活発な保存運動を行っている。 | 個別民家には古いものは多くないと思われるが、歴史的環境保全とからみ、新築、改築の際の環境との調和が問題であろう。 | |
| 八木<br>(橿原市) | 下街道と横大路の十字路の部分は、古風な町屋の景観がなおよく残る。 | 下街道(下つ道)と横大路はいずれも、古代大和のもっとも重要な道であり、この十字路は藤原京の西北隅と考えられるきわめて重要なポイントである。 | 街道町 | | | 今井、五条についで旧観のよく残る地区であり、街道としてもきわめて重要なポイントで、外観のみでも、できるだけ残したいところである。 | |
| 松山<br>(大宇陀町) | 町筋の大部分の民家は新しいが、一部には豪荘な旧家が残り、町の西側入口に高麗門（史跡、松山西に閂門）が残るのはとくに珍しい。 | 松山は中世は秋山氏の城下町で、織田氏入城後は、その城下町として発達し、元禄年間転封の後も地方の商業中心地として発達した。 | 町並 | | | 町屋の比較的よく残る森野旧薬園あたりの町並外観は保存が望ましい。 | |
| 脇本<br>(桜井市) | 大和の農村風景をよく残す、鎮守社も古い。(県指定) | 伊勢街道に沿い江戸時代には天領で、大和の農村風景の一典型であるほか、歴史的意義はとくにない。 | 集落 | | | | |
| 竹の内<br>(街道沿いの農村) | 横大路が二山上の南麓を越える竹内街道の山越の入口にあり、街道に面して、農家風の民家が建並び、旧観を残す家も多い。 | 古い街道に沿い、竹内から大阪を越えると、古代の凝灰岩切出場があり、飛鳥時代の御陵も多い。当麻寺も近く、二山上、葛城、金剛など古い歴史をもつ地域にある。 | 宿場 | | | この地方の環境保全の一環として街道沿いの民家の景観を保存したい地区である。 | |
| 高取<br>(土佐) | 高取城大手門跡に通じる城下町で、地割りは良いが、草葺の町屋で旧観を残す家もあり、もと家老屋敷の長屋門(県指定)も残る。 | 高取城は中世の山城として越智氏の拠点となり、秀長の家臣本多入城以来、城下町が経営され、上土佐、下土佐、観覚寺、子嶋などが細長い城下町として発達した。 | 城下町 | | | | |
| 大和郡山市<br>(番条) | 環濠集落として、景観、保存比較的よい。<br>家屋自体についての詳しい調査はまだである。 | | 環濠集落 | | | | |
| (伊豆七条) | 環濠集落として景観、保存比較的よい。<br>家屋自体についての詳しい調査はまだである。 | | | | | | |
| (若槻) | 環濠集落として景観、保存比較的よい。<br>家屋自体についての詳しい調査はまだである。 | | | | | | |
| (稗田) | 環濠集落として有名。環濠の保存も良い。家屋自体についての詳しい調査はまだである。 | | | | | | |
| 安堵村<br>(西安堵) | 環濠の保存は、比較的良い。 | | | | | | |

第3部　資　料

9

# 歴史的環境保全運動リスト

## 1　川越郷土保存会

（対象）埼玉県川越市
　　30棟余の土蔵をふくむ町並
（連絡先）川越市仲町1—12　川越商工会議所内川越青年会議所
（代表者）関谷　芳弘（建築家）

## 2　妻籠を愛する会　昭和43年9月発足

（対象）長野県木曽郡南木曽町妻籠
　　旧中仙道の復元された町並
（連絡先）南木曽町妻籠　木原俊夫気付
（代表者）木原俊夫（医師）

## 3　奈良井宿保存会　昭和44年11月発足

（対象）長野県木曽郡奈良川村奈良井
　　旧中仙道奈良宿のまちなみ
（連絡先）奈良川村役場　TEL026434—2001
（代表者）鎌　泰蔵（漆器業）

## 4　恵比須台組町並保存会　昭和41年発足

（対象）岐阜県高山市上三之町
　　32世帯の屋台組（町内の自治組織）でなる，明治以降の町家筋約100メートル。
（代表者）原田

## 5　有松まちづくりの会　昭和48年2月発足

（対象）愛知県名古屋市緑区有松町
　　旧東海道筋の約1.3kmにわたる町並（約100戸）
（連絡先）名古屋市緑区有松町　有松しぼり組合気付
（会　長）服部孫兵衛（染色業）

## 6　東山散策道路をまもる会

（対象）京都市東山八坂地区
　　石畳の道，寺社，町家など，伝統的な環境全体
（連絡先）京都市役所都市開発局風致課　大西国太郎気付
（代　表）山田悦三（文の助茶屋主人）TEL075—561—1972

## 7　祇園新橋をまもる会

（対象）京都市下京区祇園
　　お茶屋の営業環境，慣れ親しんだ生活環境をまもる。
（連絡先）京都市下京区祇園大和路新橋上ル東入ル
　　買気手付，TEL075—551—1285
（代表者）買手　正（表具師）

## 8　今井町保存会　昭和46年4月発足

（対象）奈良県橿原市今井
　　中世寺内町の町並
（連絡先）橿原市今井町称念寺気付
（代表者）今井博道（称念寺・住職）

## 9　富田林寺内町をまもる会　昭和48年1月発足

（対象）大阪府富田林市富田林町
　　中世寺内町の町並，約12ha
（連絡先）富田林市常盤町1—1，富田林市役所社会教育課気付
（代表者）中井亀太郎
　　富田林市富田林町16—12，TEL07212—3—3145

## 10　中之島をまもる会　昭和47年10月発足

（対象）大阪市北区中之島
　　川と公園に囲まれた，明治・大正建築群よりなる歴史環境
（連絡先）大阪市西成区岸の里東2—1—11　COM計画研究所気付
（代　表）西山夘三（京都大学教授）ほか世話人15名

## 11　城下町竜野をまもる会　昭和48年発足

（対象）兵庫県竜野市
　　城下町のおもかげを残した歴史的町並
（連絡先）竜野市竜野町上霞城町28　石原元吉気付
（代表者）石原元吉（郷土史家）TEL07916—2—2124
　　石原（竜野実業高校教師）

## 12　赤穂市加里屋地区区画整理対策協議会　昭和47年発足

（対象）兵庫県赤穂市加里屋町
　　旧城下町の江戸時代の町並
（連絡先）赤穂市加里屋町　赤穂商工会議所気付
　　TEL07914—3—2727
（代表者）斉藤（商店主）TEL07914—2—2003

## 13　その他，保存運動の動きのあるところ

① 福島南会津郡下郷町大内
② 長野県小県郡東部町本海野
③ 奈良県五条市五条町新町
　（五条市役所）
④ 兵庫県篠山市
　（兵庫県教育委員会文化課）
⑤ 兵庫県揖保郡御津町室津
　（室津郵便局　佐藤正敏）
⑥ 山口県柳井市

（高田　昇記）

第3部　資　料

10

# 集落町並保存対象地区

この集落町並の一覧表は，文化庁文化財保護課が都道府県からの報告をもとにして作成したものである。（本表は網羅的ではなく，たとえば住民側から保存運動がはじめられ最近クローズアップされだした地区でぬけているところもある）

| 府県名 | 集落町並一覧表　　昭和48年5月1日現在・都道府県報告による。〔 〕内は県より報告以外のもの |
|---|---|
| 北海道 | 倉庫郡ならびに商家の町並（函館市），寺町（松前郡松前町），祝津町（漁村）（小樽市），石づくり倉庫郡（小樽市），泊（農村）（古宇郡泊村）現大磯町商店街，旧漁場・駅逓所をとりまく周辺の商店街（寿都郡寿都町） |
| 青森 | 〔黒石の町並〕 |
| 岩手 | 親方子方百姓の集落（鈴木家）（東磐井郡東山町），郷土集落（豊間根家）（下閉伊郡豊間根村），武家集落（小梁川氏，在郷屋敷）（江刺市），武家集落（泉田氏在郷屋敷）（東磐井郡川崎村），同心町（足軽集落）（花巻市），〔遠野の曲屋集落〕 |
| 宮城 | 旧足軽町（志田郡松山町），旧家中集落（遠田郡鹿島台町），山中七ケ宿街道千蒲町（刈田郡七ケ宿町），旧家中町（涌谷口向丁）（遠田郡涌谷町），旧家中町（白石侍屋敷），旧山中七ケ宿街道上戸沢町（白石市） |
| 秋田 | 旧武家屋敷町並（鹿角市毛馬内町），旧武家屋敷町並（仙北郡角館町），相馬館・田屋，須郷田（農村）（由利郡矢島町） |
| 山形 | 羽黒山口宿坊（東田川郡羽黒町），楢下宿（上山市），大石田町本町（川役場）（北村山郡），小国部落（城下町）（西田川郡温海町） |
| 福島 | 滝原部落（宿）（岩瀬郡岩瀬村），大内宿（南会津郡下郷町），上市萱部落（いわき市），二本柳宿（安達郡安達町），上小屋宿（西白河郡大信村），小手宿（石川郡平田村），三代宿（郡山市），代畑部落（農村）（西白河郡中島村），旗宿（白河市），小田川宿（白河市），旧銀山街道下荒井宿場（北会津郡北会津村），旧越後裏街道西方宿（大沼郡三島町），加納鉱山社宅（耶麻郡熱海加納村），中ノ目集落（宿）（耶麻郡塩川町） |
| 茨城 | 旧松岡藩城下町（高萩市），下野宮宿（久慈郡大子町），額田宿（那珂郡那珂町），旧江戸街道長岡宿（東茨城郡茨城村），堅倉宿（東茨城郡美野里町），小幡宿・十三塚宿・上曽宿・大増宿・高友河岸（各　新治郡八郷町），稲吉宿（新治郡千代田村），志筑城城下町（新治郡千代田村），清滝坪（新治郡新治村），結城郡石下町崎房農村集落，〔黒川流域の曲屋集落（日市市，常陸太田市）〕 |
| 栃木 | 〔河内郡の散居村（河内村他）〕 |
| 群馬 | 旧中山道坂本宿（碓氷郡松井田町）〔安中宿〕 |
| 埼玉 | 川越の土蔵造，古市場の河岸場（川越市），新田開拓（三富開拓）上富，八軒家（入間郡三芳町），豊里村中瀬（宿場，川岸場）（大里郡），秩父市黒谷地区養蚕農家群，高窓式養蚕農家群（秩父市野上町），三峯山神領（秩父郡大滝町），岩殿宿（岩殿観音参道）（東松山市） |
| 千葉 | 成田街道酒々井宿（印旛郡酒々井町），佐原の町屋，門前町成田（成田市） |
| 東京 | 〔小川新田村（小平市）〕〔三宅島の集落〕 |
| 神奈川 | 〔丹沢山麓の集落（秦野市）〕 |
| 新潟 | 上越市寺町（城下町），柿崎町大字上下浜古屋敷（漁村），奥州街道鉢崎関所宿（柏崎市），北陸道柏崎宿（柏崎市），小千谷街道北条宿（柏崎市），北陸街道石地宿（刈羽郡西山町），佐渡の漁師町（小木町），長岡街道妙法寺宿（刈羽郡西山町），旧北陸道出雲崎（三島郡出雲崎）（漁村），小千谷（町屋），与板町船戸（三島郡）（城下町），小泊（三島郡寺泊村）（漁村），八木山（東蒲原郡津川村）（宿場），村上市大字本町二ノ町ほか（城下町），宿根木（佐渡郡小木町）（農村） |
| 富山 | 埴生（宿）（小矢部市），大平部落（山村）（下新川郡朝日町），町家（滑川市大町），町家（滑川市瀬羽町），町家（滑川市領家町），町家（滑川市高月町）〔福光町の町並〕，〔北陸型妻入民家群（朝日町）〕，〔散居集落（砺波市）〕 |
| 石川 | 〔金沢の武家屋敷〕，〔輪島の回船問屋〕，〔東の曲輪（金沢市）〕 |
| 福井 | 今庄宿場町（南条郡今庄町），三国港回船問屋街（坂井郡三国町），武家屋敷（小浜市下竹原及び西津），〔妻入町屋群（鯖江市）〕，板取（宿場）（南条郡今庄町） |
| 山梨 | 〔兜造民家群（都留市）〕 |
| 長野 | 松代侍屋敷（長野市），奈良井宿（木曽郡楢川村），妻籠宿（木曽郡南木曽町），漆畑木地集落（木曽郡南木曽町）須原宿（木曽郡大桑村），山村同部集落奉納（北安曇郡小谷村），稲荷山大壁造り町並（更埴市），上塩尻蚕種集落（上田市），伊勢山養蚕集落（上田市），北国街道本海野宿（小県郡東部町），中仙道小野宿（上伊那郡辰野町），伊豆木郭（久留輪）（飯田市），戸隠中社社家（上水内郡戸隠村）〔望月宿（北佐久郡望月町）〕〔郷原宿（塩尻市）〕黒川郷（農村）（木曽郡木曽福島町） |
| 岐阜 | 白川郷荻町合掌集落（大野郡白川村），高山市上三之町町並，岩村城下町（恵那郡岩村町），古川町並（吉城郡古川町） |
| 静岡 | 森町の町並（周智郡森町），秋葉街道城下（周智郡森町），東海道蒲原宿（庵原郡蒲原町），東海道由比宿（庵原郡由比町） |
| 愛知 | 有松の町並（名古屋市），旧東海道街油宿（豊川市），旧東海道赤坂宿（宝飯市），旧美濃路四ツ家の立場（稲沢市） |
| 三重 | 古市の宿（伊勢市），東海道石薬師宿（鈴鹿市），伊賀平田宿（阿山郡大山田村），伊勢の一身田（津市），伊賀府中宿（上野市佐那具），伊賀上野（城下町）（上野市忍町），伊賀伊勢地宿（名賀郡青山町），伊勢松阪（城下町）（松阪市），東海道関宿（鈴鹿郡関町），東海道亀山宿（亀山市） |

| 府県名 | 集落町並一覧表　（昭和48年5月1日現在・都道府県報告による。〔 〕内は県より報告以外のもの） |
|---|---|
| 滋賀 | 鳥居本宿（彦根市），近江八幡市の町並，松原米蔵通り（彦根市），四十九町と魚屋町通り（彦根市），坂本本町の里坊（大津市）南大窪町，清水町，新町村井の付近（蒲生郡日野町）〔水口の町並〕〔集福寺集落（伊香郡西浅井町）〕菅浦漁村集落（伊香郡西浅井町） |
| 京都 | 環濠集落（相楽郡山城町），山城町上狛小林せつ氏宅大和棟など，田辺町薪酬恩庵門前農家群，田辺町岡村農家群（沢井家付近）田辺町草内農家群，東一口集落（漁村）（久世郡久御山町），遊廓建築群（綴喜郡八幡町），平等院門前通り（宇治市），柳谷門前町（乙訓郡長岡町），勝竜寺城下町（乙訓郡長岡町），伊根町字平田（漁村）（与謝郡），甲山舟小屋群，蒲井舟小屋群，蒲井母屋群（各　熊野郡久美浜町），三浜海岸堀立柱舟屋群，廻船問屋の町屋群，大浦半島式ヒロマ型古民家群（各　舞鶴市），生垣農家群（北桑田郡京北町），農村農落（北桑田郡美山町大字下平屋，南，北，江和），御旗町（別名　御徒士町）（亀岡市），旧山陰街道島羽宿（船井郡八木町），元高屋村井上（いかみ）農村集落（船井郡丹波町），蕨農村集落（船井郡丹波町），妻入角屋農家群（船井郡園部町），園部町妻入町屋群，〔北野の町並〕，〔伏見の町屋〕，〔上賀茂の社家〕（各京都市）他に京都市内 68件報告あり |
| 大阪 | 富田林寺内町，堺の町屋，貝塚寺内町，平野郷町（大阪市平野），池田市場町（池田市），岸和田城下町，高槻城下町，中小阪農村集落（東大阪市），旧京街道枚方宿（枚方市），旧西国街道芥川宿（高槻市），竹内街道沿いの農村集落（南河内郡太子町） |
| 兵庫 | 室津港町（揖保郡御津町），篠山城下町（多紀郡），南淡町沼島（漁村）（三原郡），平福（旧因幡街道平福宿場跡）（佐用郡佐用町），竹田（宿場）（朝来郡和田山町），材木町（城下町）（出石郡出石町）〔三木の町屋〕〔票生の町屋（小野市）〕 |
| 奈良 | 〔今井寺内町（橿原市）〕，〔大和棟集落（高市郡）〕，〔奈良の町屋〕，〔破石の社家町（奈良市）〕竹の内街道町並（北葛城郡当麻町），五条市町並，八木町並（橿原市），脇木集落（桜井市），松山町並（宇陀郡大字陀町） |
| 和歌山 | 黒江の町屋（海南市），嘉家作り町宿（和歌山市），東町筋（寺内町）（御坊市），元町（寺内町）（御坊市），小松原宿（御坊市），紀伊国海土郡塩津浦（漁村）（海草郡下津町），粉河寺門前町（那賀郡粉河町），根来寺門前町（那賀郡岩出町），河根宿（伊都郡九度山町），花坂（花阪）（宿）（伊都郡高屋町），神谷（宿）（伊都郡高屋町），戸津井（漁村）（日高郡由良町），高原，近露（各　西牟婁郡中辺路町） |
| 鳥取 | 〔鳥取の侍屋敷〕，〔倉吉の町屋〕 |
| 島根 | 〔筑地松散居村（簸川郡）〕，〔津和野の侍屋敷と土蔵群〕，〔松江の侍屋敷〕，〔美保関の町屋〕 |
| 岡山 | 〔高梁の侍屋敷〕，〔真鍋島の漁師町（笠岡市）〕，〔吉備津神社門前町（高松町）〕川上郡成羽町柳町（城下町），川上郡吹屋鉱山町（川上郡成羽町），岡山市宮内（門前町），岡山市足守陣屋跡（岡山市），旧因幡街道大原宿（英田郡大原町），倉敷市柳田周辺（天領，町家），旧出雲街道新庄の宿（真庭郡新庄村），高梁市砂矢町（城下町） |
| 広島 | 御手洗の港町（豊田郡豊町），廻船問屋倉庫群一帯（福山市鞆町），鞆遊女街（福山市鞆町），館町（準城下町）（比婆郡東城町），三次城下町（三次市），竹原下市の家並（竹原市），宮島町並（佐伯郡宮島町），生田市（いち）の宿（高田郡美土里町），帝釈の町の宿（比婆郡東城町） |
| 山口 | 〔萩の城下町〕，〔岩国侍屋敷〕，〔柳井津（柳井市）町並〕，〔宝積の町並（光市）〕，中関港（防府市），刈屋，木戸（漁村）（小野田市），旧山陽道呼坂宿（熊毛郡熊毛町），長府毛利五万石城下町（下関市長府町），旧山陽道吉田宿（下関市吉田町），旧山陽道船木宿（厚狭郡楠町船木）〔上ノ関の町並（熊毛郡上関町）〕 |
| 徳島 | 鳴門の浜屋集落（鳴門市），旧伊予街道沿い城下町（麻植郡川島町），稲田城下町（美馬郡脇町），〔藍造り民家（徳島市）〕 |
| 香川 | 〔女木島（高松市）〕，南草（城下町）（大川郡引田町），仙生山（門前町）（高松市），男木集落（漁村）（高松市），笠島城根（城下町）（丸亀市），家中屋敷（仲多度郡多度津町），浦部落（漁村）（仲多度郡多度津町），阿波町（門前町）（仲多度郡琴平町） |
| 愛媛 | 外泊石垣集落（南宇和郡西海町），味生村（農村）（松山市南斉院），内子町八日市商家（喜多郡），保井野部落（山村）（周桑郡丹原町），新谷（城下町）（大洲市），塩ノ町（城下町）（大洲市），藤縄（農村）（大洲市）〔宇和島城下町〕 |
| 高知 | 〔甲浦漁村〕 |
| 福岡 | 本城町，沖ノ端（城下町）（柳川市），秋月5町（魚町，中町，新富，今小路，浦泉）（城下町）（甘木市），八女市福島町，横町，吉松町，紺屋町（城下町），旧久留米城下瀬ノ下，浜町（久留米市），旧久留米城下通外町（久留米市），宿場松崎（小郡市），旧豊後街道草野駅（宿）（久留米市），三池の宿（古くは御木の国，三毛郷）（大牟田市），旧長崎街道筑前山家の宿（筑紫野市），旧山本郡飯田村（善導寺門前町）（久留米市），旧坊ノ津街道府中駅（久留米市），旧柳川街道上野町駅（久留米市），英彦山表参坊中跡集落（田川郡添田町），旧街井郡阿志岐村追分（久留米市），新宮（漁村）（粕屋市），内野宿（嘉穂郡筑穂町） |
| 佐賀 | くど造集落（神崎郡神崎町山田），小ケ倉（佐賀郡富士町小ケ倉），上無津呂落合（農村集落）（佐賀郡富士町上無津呂），野間口（農村集落）（多久市西多久町宿），本町通（町並）（伊万里木本町通），南舟津（漁村）（鹿島市浜町南舟津），鹿島城内（城下町）（鹿島市鹿島町城内） |
| 長崎 | 長崎市南山手洋館群，上の町（ウエンマチ）（武家屋敷通）（福江市），宿郷（東彼杵郡川棚町），平島（漁村）（東彼杵郡川棚町），本小路（城下町）（大村市），旭町（旧諫早町）集落地（城下町）（大村市），島原藩武家屋敷跡（島原市），川内浦（漁村）（平戸市），〔対馬の石垣集落（上，下県郡）〕〔対馬の石葺群倉（上，下県郡）〕 |
| 熊本 | 〔牛深の漁師町〕〔山鹿市町並〕 |
| 大分 | 中津の城下町（金谷辺，御鷹部屋，寺町周辺，片端町～殿町への横丁，下宮永～上宮永へ豊後町へかきぜ～牛神へ，旧国道豊後町，蛎瀬町，今津町磯町，漁村，石工町）（中津市），鍛冶屋町・磯町（豊後高田市），門前町（下毛郡本耶馬渓町），芝原善光寺門前（宇佐市），宇佐神宮旧表参道（宇佐市），家中屋敷（杵築市），国東町の浜小屋（東国東郡），旧日出藩南大神村深江港・旧日出藩仁王村腸谷城廓内・旧森領頭成天領頭成港，肥後領小浦港（速見郡日出町），旧豊後街道立石宿（速見郡山香町），高田輪中集落（農村）（大分市），白杵の城下町（白杵市），鉄砲町，山際（城下町）（佐伯市），木浦鉱山（南海部郡宇目町），竹田町（市街部），挟田・玉来・城原轟（門前町）・三本町（宿場）（竹田市），野津市の宿場町（大野郡野津町），町の集落（大野郡朝地町），豆田町（城下町）（日田市），上谷（かさだに）（城下町）（玖珠郡玖珠町） |
| 宮崎 | 〔鉄肥の侍屋敷〕 |
| 鹿児島 | 知覧の麓集落（川辺郡知覧町），奄美の高倉群（大島郡大和村），甑島の納屋群（薩摩郡里村），竜郷村の中勝の農村部落（大島郡），坊津の浦（浜）集落，博多浦部落（川辺郡坊津町），徳之島の母間集落（大島郡徳之島町），〔瀬利覚集落（大島郡知名町）〕〔出水市麓集落〕 |
| 沖縄 | 〔安波の集落（国頭郡）〕，〔奥の共同部落（国頭郡）〕，〔竹富の石垣集落（石垣島）〕，〔旧首里城侍屋敷（那覇市金城町）〕 |

# 水の利用実態とその合理化について

宮井　宏

## 1. 上水道水の利用実態

**表—1**をみていただきたい。大都会の水の使用量は大きい。大阪市の面積は大阪府全体の９分の１にすぎない。ところが，上水道水の使用量は大阪府全体の54%にものぼる。すなわち，大阪市の単位面積当りの水使用量は，大阪市を除く大阪府平均の実に9.4倍にも達しているのである。これは，上水道水だけについてみたのであるが，このほかにも工業用水道の水や海水も大量に使用されていることを考え合わせると，いかに大都会で集中的に水が使用されているかがよくわかる。また，大阪府，大阪市とも家庭用水の使用量の伸びが著しい。40年から45年の５年間で，大阪府では40年の1.8倍，大阪市では1.5倍となっている。

数年前までは，水の合理化といえば工業用水でやるものと考えられがちであった。そして，家庭用水や業務用水など日常生活で一番身近に触れているものについては，どうも合理化にはなじみにくい何かがあるような気がして，こういったものの合理化を考えることには少なからず抵抗を感じたものである。渇水騒ぎのときなどに節水に努める程度が関の山であったように思う。

しかしながら，水資源を含めてすべての資源には限りのあることがいよいよはっきりしてきたこと，河や海の汚染が日常の食生活や海水浴のスケジュールにまで影響を及ぼしてきたことなどから，こういった問題についてみんなが考える機会が最近急にふえてきた。その結果，大量消費は大量汚染と不可分の関係にあることが一般的に認識されはじめ，いままで資源の涸渇による不利益とか環境汚染による不利益に対して被害者意識のみであった者も，少しは加害者意識をもつか，あるいは加害者の一部であるといった議論に対しても，納得しないまでも耳を貸すように変わってきた。

表—1からわかるように，業務用水，家庭用水の水使用量はなかなか大きい。工業用水道等で工場に給水している量を考慮してもこの結論には変わりはない。ちなみに，昭和45年に京阪神全体で河の水に依存していた生活用水（業務用水と家庭用水の合計）と工業用水の比率は1：0.8であった。この比は，推定によれば，60年でもほぼ変わらない。また，近畿全体では両年ともほぼ1：1である。すなわち，農業用水は将来とも増加しないとすれば，近畿地方における今後の水資源不足に対して何らかの対策を講じるべき責務は生活用水の使用者にも工業用水の使用者にもほぼ半分ずつあるといえよう。もちろん，国としての責任がないなどといっているのではないが。

今後は，生活用水についても水の合理的利用を真剣に考えていかなければならない。水についても，工場，家庭，業務の別なく「消費は美徳」の時代は終わったのである。

水利用の合理化を考えるために，その使用実態についてもう少し詳しくみてみよう。**表—2**は，大阪市の上水道水の使用内訳である。全体量に占める比率ではあまり多くはないが，いわゆる大口使用者というのは平均的にみて浴場，用水型工場，運輸関係，事務所，料理飲食店などである。また１件当りは少ないが全体量の多いのが家庭用水と事務所用水である。一般住宅，アパート・寮，鉄筋住宅の使用量を全部合わせると全体の34.8%にもなる。ところが，一般住宅，鉄筋住宅も団地のように狭い地域に密度高く立地した場合には，水利用の合理化という観点からは，これをひとまとめにして水の超大口使用者とみなすことも可能である。そこでつぎは，この家庭用水と事務所用水の水使用実態について実測値をもとにして簡単にみてみよう。

## 2. 家庭用水と事務所用水の使用実態

家庭での水使用量は，大人も小人もおしなべて平均すれば，１人１日ほぼ200ℓ前後であるといわれている。この数字には，もちろんかなりのバラツキがあり，われわれの実測結果によれば阪急北ネオポリスの場合１人１日172ℓ（冬期，戸別調査），桂木団地の場合136ℓ（冬期，戸別調査）であった。また，日本住宅公団が京阪神の16団地で行った調査では平均243ℓ（年間平均，団地の親メータと居住人口から求めたもの）であった*。この使用内訳は**表—3**のとおりであった。

つぎに，事務所用水の使用内訳についてみてみよう。**表—4**は事務所用水の実測結果である。これでとくに目立つことは，水洗便所の使用水量と洗車の使用量がきわめて大きいことである。両者を合わせると70%以上にも達している。**表—5**は，この調査結果を用いて，男女職員の数，床面積，洗車した車の台数等から水使用量の原単位を求めたものである。洗車の水量の多いのには驚く。家庭で１人が１週間くらい生活できる水をたった１台の車を洗うのに使用しているのである。これは，約

＊大都市の１人１日当りの使用水量が400ℓとか500ℓとかいった数字をよくみかけるが，これは，水道の全給水量を夜間人口で割ったものである。したがって，この中には業務用水とか昼間人口の使用水量とかを含んだものであり，ここで述べた水量とは異質のものである。

表－1　大阪における上水道水の利用実態

| | 年 | 水量（$10^4 m^3$/年） 業務用水 | 家庭用水 | 工場用水 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪府 | 40 | 26,112 | 23,953 | 12,197 | 505 | 62,767 |
| | 45 | 36,034 | 42,565 | 12,418 | 257 | 91,274 |
| 大阪市 | 40 | 20,271 | 10,993 | 9,515 | 276 | 41,055 |
| | 45 | 24,280 | 16,372 | 8,321 | 133 | 49,106 |
| | 年 | 構成比率（%） | | | | |
| 大阪府 | 40 | 41.6 | 38.2 | 19.4 | 0.8 | 100 |
| | 45 | 39.5 | 46.6 | 13.6 | 0.3 | 100 |
| 大阪市 | 40 | 49.4 | 26.8 | 23.2 | 0.6 | 100 |
| | 45 | 49.4 | 33.3 | 16.9 | 0.4 | 100 |

表－2　大阪市における上水道の利用実態（昭和46年）

| 用途 | 使用水量 $10^3 m^3$/月 | % | 契約1件当り使用水量 $m^3$／月・件 |
|---|---|---|---|
| 一般住宅 | 9,964 | 24.0 | 20 |
| 事務所(官公署・事務所) | 5,516 | 13.3 | 144 |
| 用水型工場 | 3,839 | 9.3 | 572 |
| 非用水型工場 | 2,972 | 7.2 | 109 |
| アパート・寮 | 2,968 | 7.2 | 19 |
| 浴場 | 2,305 | 5.5 | 1,749 |
| 本・服・雑貨等 | 2,087 | 5.0 | 35 |
| 料理飲食店 | 1,804 | 4.4 | 138 |
| 鉄筋住宅 | 1,482 | 3.6 | 21 |
| 運輸関係 | 1,408 | 3.5 | 178 |
| その他 | 7,075 | 17.0 | — |
| 合計 | 41,420 | 100 | — |

表－3　家庭用水の使用水量の比率（桂木団地）（冬期）

| 台所 | 風呂 | 洗濯 | 手洗 | 便所 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 32.4 | 23.3 | 19.5 | 4.6 | 20.2 | 100% |

表－4　事務所用水の使用内訳（大阪合同庁舎1号館8階）

| 使用区分 | | 47年12月15日〜48年3月20日 | 48年4月1日〜48年8月31日 |
|---|---|---|---|
| 炊事・給湯・ウォータークーラー | | 8.2 % | 14.0 % |
| 手洗 | | 10.0 | 11.5 |
| 便所 | 男小便器 | 26.4 | 39.6 |
| | 男大便器 | 12.3 | 9.8 |
| | 女便器 | 11.7 | 7.1 |
| | 小計 | 50.4 | 56.5 |
| 掃除 | | 1.4 | 1.3 |
| 洗車（地建分） | | 23.6 | 14.6 |
| その他 | | 6.4 | 2.1 |
| 合計 | | 100 | 100 |

表－5　事務所用水の原単位の一例（大阪合同庁舎1号館8階）

| 使用区分 | | 原単位 |
|---|---|---|
| 炊事・ウォータークーラー・給湯 | | 5.9 ℓ／人・日 |
| 手洗 | | 5.5 ℓ／人・日 |
| 便所 | 男小便器 | 20.3 ℓ／人・日 |
| | 男大便器 | 6.2 ℓ／人・日 |
| | 女便器 | 31.1 ℓ／人・日 |
| 掃除 | | 0.09 ℓ／$m^2$・日 |
| 洗車 | | 1,310 ℓ／台 |
| ボイラー | | 0.132 ℓ／$m^2$・日 |

600台の洗車用水の平均値であるから，それほど信頼のできない数字ではない。もちろん，このビルにかぎっての特例であるかも知れないし，また，自分の家でマイカーを洗う場合には水道料金として直接自分の支出に結びつくため，このような水の使い方はしないかも知れない。

わずかなデータではあるが，これらをもとにして水使用の合理化について考えてみよう。家庭において，また，事務所ビルにおいて，どのあたりに合理化すべき余地があって，それを合理化するのはどのような方法によるのが望ましいのであろうか。

## 3.　水利用合理化の方向

水利用の合理化について考える場合，水資源が不足しているからという点だけを頭において考えるのはよくない。水資源が足りないだけなら水を造りだせばよいわけで，新しい水源を開発しさえすれば簡単に事は解決しそうに思われる。すなわち，ダムをどんどん造ればいいではないか，海水を淡水化しさえすればいいではないか，地下水を汲みあげればいいではないかといった解決策がすぐ頭に浮かぶ。しかし，その結果どのようなことがおこるであろうか。

われわれの推定では，昭和60年の近畿地方の水需要をまかなおうとすれば，今後60年までにダムや河口堰をなんと37箇所も作らなければ追いつかないのである。これでも近畿地方全体でなお1億立方メートル／年の水不足が生じるのである。また水ガメを作っただけでは駄目である。水のある所から，それを使う所まで水をひいてこなければならない。このような導水事業は現在最も困難な事業の一つとなってきている。単に金だけで解決できる問題ではない。

ところで，かりにこれがうまくいったとすれば問題は解決するのだろうか。これは，とりもなおさず，かぎりない環境汚染をひきおこすかも知れないのである。**表－6**は，淀川の枚方地点での最近の水質を示したものであり，**表－7**は，淀川に流入する下水量の推定値を示したものである。昭和65年には45年の2倍近い下水が淀川に流れこむことになる。その結果，淀川は**表－8**に示したような水質になるものと推定されてい

表－6　淀川（枚方大橋地点）最近の水質

| 項目＼年 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
|---|---|---|---|---|---|
| pH　(ppm) | 7.7 | 7.5 | 7.7 | 7.3 | 7.2 |
| BOD (ppm) | 4.5 | 6.2 | 5.2 | 3.6 | 4.0 |
| COD (ppm) | 3.4 | 4.2 | 5.2 | — | 6.0 |
| SS　(ppm) | 29.9 | 27.3 | 30.6 | 29.0 | 47.6 |
| DO　(ppm) | 7.8 | 7.3 | 8.2 | 8.3 | 8.0 |
| 大腸菌群数（個／100mℓ） | $3.4\times10^4$ | $3.1\times10^5$ | $1.4\times10^5$ | $2.3\times10^5$ | $2.6\times10^5$ |
| 年平均流量（$m^3$／sec） | 217.4 | 275.0 | 267.2 | 274.8 | 245.7 |

表－7　淀川に流入する下水量　（単位：$10^3m^3$／日）

| 府県名＼年 | 45年 ① | 65年 ② | ②／① |
|---|---|---|---|
| 滋賀県 | 955 | 1,530 | 1.60 |
| 三重県 | 55 | 221 | 4.02 |
| 奈良県 | 21 | 84 | 4.00 |
| 京都府 | 1,323 | 2,373 | 1.79 |
| 大阪府 | 157 | 389 | 2.48 |
| 合計 | 2,510 | 4,598 | 1.83 |

表－8　低水流量時における淀川の水質(BOD)(昭和65年)　（単位：ppm）

| 地点＼条件 | 工場排水の規制を行って、下水処理場は現在のまま固定 | 市街化想定区域全域二次処理（下水道整備率1.0） | 三次処理を行った場合 |
|---|---|---|---|
| 鴨川流末 | 95.6 | 74.5 | 8.0 |
| 桂　川(三川合流点) | 46.1 | 19.1 | 8.0 |
| 宇治川(三川合流点) | 11.4 | 4.5 | 3.0 |
| 木津川(三川合流点) | 10.7 | 5.0 | 2.0 |
| 淀　川(枚方) | 14.1 | 5.3 | 3.0 |

る。現在急速に拡大しつつある市街化区域全域に下水道を完備して，その下水をいわゆる高級処理しても淀川の水質は現在よりも良くはならない。市街地面積に対する下水道普及面積の比率は，東京都区部で46%，京都で37%といった状態である。市街化面積が急速に拡大しつつある現在の様子から考えて65年時点での市街化想定区域にまで下水道整備を完全に行うことはなみたいていではない。淀川の枚方といえば，この付近からは阪神１千万人の水道原水が取水されている重要な地点なのである。

われわれは，この悪循環をどこかで断ち切らなければならない。近畿圏整備本部の前調査官藤野良幸氏は，「水を使うとは，水を汚すことである。」といわれている。今後，われわれは，水をやたらと汚すことをやめなければならないであろう。

いったん汚した水を清浄にもどすことは大変なことである。しかし，汚した水を河や海に返すときは，きれいにして返さなければならない。水量の確保を考えるときには，同時に，その排水の処理についても合わせて考えておかなければならない。

ところで，水を大量に使用すればするほど，その汚水の処理は大変になる。しかもそれを非常に厳しい規準に合うよう高級な処理を行わなければならないのである。こうなってくると，水を大量に使用すること自体が間尺に合わないものとなってくる。これから必然的に水の循環利用，すなわち，従来の水利用システムからクローズドシステムの方へと切り換えていこうという考え方が生まれてくる。クローズドシステムをより完全に行うほど，当然のことながら，汚水を流すことも少なくできるし，水量の心配も少なくなるからである。

このような背景から，最近では水の高度処理技術の開発が大変な勢いで行われるようになってきた。また，これとあいまって中水道とか雑用水道とかいう言葉をよく耳にするようになってきた。

中水道とか雑用水道とかいうのは，水の循環利用の新しい形態である。いままでも，水はある程度自然発生的な形で循環利用されてきた。たとえば，川の上流でいったん使用された水を下流で水源としてとり入れているところがたくさんある。工場でも冷却水をはじめとして一部の工程でかなり循環利用が進められてきた。中水道というのは，これをさらに積極的に，工場はもちろんのこと家庭やビルや駅など水を集中的に，しかも大量に使用している用途に拡大して，水利用システムのなかにできるだけクローズドシステムをとり入れていこうとするものである。われわれがここで提案しようとしている水利用の合理化の方法も，この中水道というわけである。団地やビルの下水をある程度処理して，この水をあまり高級な水質でなくとも十分まかなえるような用途，しかも大量の水を使用するような用途，たとえば，前に述べたビルの洗車用水とか団地やビルの水洗便所用水に用いようという考えである。

具体的な方法となるといろいろのタイプが考えられる。ビルや家庭で発生する汚水を全部一本にまとめて，これを処理して水洗便所等雑用水に使うもの，すなわち，一元排水二元給水のタイプもあれば，比較的きれいな排水ときたない排水を別々にあつめて，比較的きれいな方を処理してこれを雑用水として使うもの，すなわち，二元排水二元給水もある。前者を採用する場合には，前に述べたビルの場合には洗車用水まで含めて70%，家庭の場合には20%程度の節水が可能となる。後者の場合には50%が限度である。再利用するための処理は後者の方がより容易であろう。

ところで，このような下水処理水の再利用はそう新しいものではない。よく知られている実用例を二，三あげるとつぎのような事例がある。

東京都首都整備局の「水の循環利用適合性予備調査報告書」（昭和48年３月）によれば，東京都江東地区工業用水道（給水能力13万8000㎥/日）は，その原水を三河島処理場の活性汚泥法によって処理された放流水に求めていることが報告されている。さらにまた，芝浦処理場はその処理水を食肉市場の雑用水（約4000㎥/日）や新幹線総局東京運転所の車両洗浄や汚物タンク洗浄に給水（7000～8000㎥/日）しているし，また処理場内でも水洗便所等雑用水に用いているという。また，同報告書では「N施設」での同様な実用例もあげられている。

以上，水の利用実態について述べ，ついで，水利用の高度化といったことが最近急速にクローズアップされてきたその背景について述べてきた。水利用の高度化あるいは合理化のためには，中水道も一つの有望な方法である。しかし，これにも処理技術やコスト，あるいは法律上の問題などまだ問題は残されているようである。

水を節約する方法としては，中水道以外にもいろいろある。節水運動を行うこと，節水型の機器を考案すること，水道の漏水（東京都区部で46年は17.2%，２億6000万㎥/年，大阪市で47年18.4%，１億3000万㎥/年）を少なくすることなどもやはり古くて新しい重要な研究テーマであろう。

われわれは，いろいろな方法を試みてみる必要があるのではなかろうか。そしてこれらの研究成果を総合して，水を節約し，しかも環境保全にも役立つ新しい水利用システムを創造していかなければならない。

（みやい　ひろし　建設省近畿地方建設局企画部）

日本建築総合試験所だより 17

GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION

本試験所：〒565 吹田市藤白台5丁目125 電話／大阪 (06) 872—0391代表
大淀分室：〒531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35 電話／大阪 (06) 351—7217

# 新年のごあいさつ

所長 坂 静雄

明けましておめでとうございます。

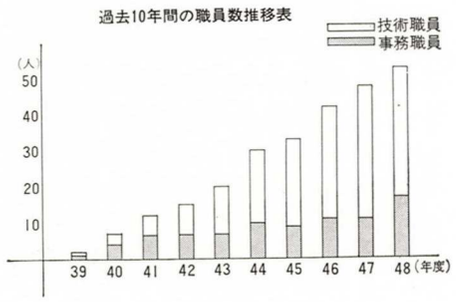
本年は，当日本建築総合試験所発足以来満10周年を迎えましたが，お陰さまで業務も順調に推移いたし，経営的にも明るい見通しが立てられるようになりましたこと，これ偏えに関係官庁および関係団体並びに関係業者各位の絶大なるご支援の賜と深く感謝いたしております。

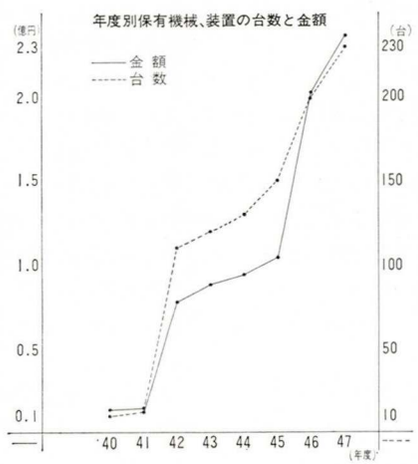
顧みますに，創立当初数名のスタッフで建設資金の確保と施設の建設事業に日夜没頭しておりましたことが今さらながら夢のように思います。今日では第2次施設整備事業も完成し，職員数も50名を越え，年間の受託試験等手数料収入も1億8千万円を予算化するまでに生長いたしました。

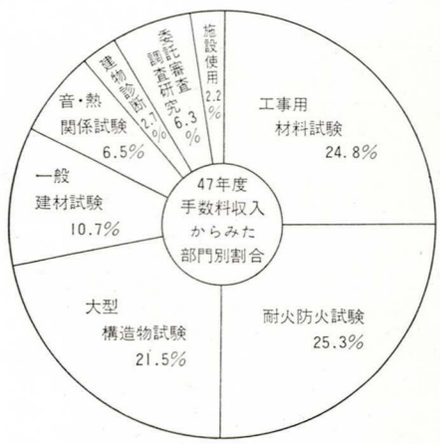
また，現在建設，通産両省の共管の下で，西日本唯一の指定試験機関としての役割を果たす一方，建築技術の面においてもいささかこれが向上発展に寄与しているものと確信いたしております。

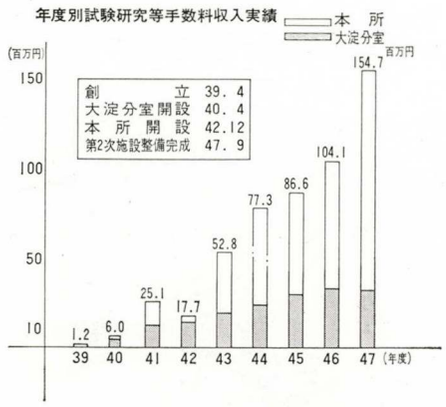
今後とも試験施設の拡充と優秀な人材の育成に努め，大方諸賢のご期待に答えたいと念願しておりますので，本年もいっそうのご支援をお願い申し上げる次第でございます。

年頭にあたり所信を述べごあいさつといたします。




**お願い** 年も改まり気分を一新，ご出精のこととご推察申し上げます。さて，本誌に「日本建築総合試験所だより」欄を設けて約1年半になります。その間「試験装置紹介」や「試験報告」などを登載してきましたが，皆さま方のご参考に供し得ましたでしょうか。

係では，本欄を一層充実させるため増頁あるいは皆さま方との質疑応答欄を設けることも考えておりますので，本欄についてご要望ご意見をお寄せ頂ければ幸いと存じます。




## 各種試験お問合せ

本試験所：〒565 吹田市藤白台5丁目125 電話／大阪 (06) 872—0391代表

耐火・防火部門（壁・柱・床などの耐火試験，内装材料の難燃性試験，構造物の防火性能試験など） 正法院 陽三，藤川 慧

構造物部門（梁・床版など大型構造部材や架構の実大試験・模型試験，パネル強度試験，材料の動弾性係数測定，建物の診断など） 大井孝和，富田幸次郎，阪田憲次

工事用材料部門（各種材料の強度試験，耐候性試験など） 小林一雄

音響・熱部門（音の透過損失，吸音率，熱伝導，熱貫流試験など） 十倉毅

大淀分室：〒531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35 電話／大阪 (06) 351—7217

工事用材料部門（コンクリートおよび鋼材の圧縮，引張試験など） 田中芳松

昭和48年度・第6回若い会員の集い

# 当尾（とおの）の秋をたずねる

——浄瑠璃寺…山里の石仏との
無言の対話…岩船寺——

## レポート

道端の無人売店　撮影・赤木圀文（小河建築設計事務所）



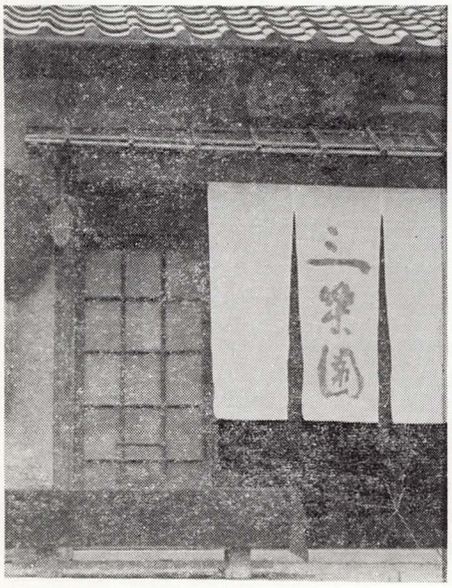
浄瑠璃寺本堂　撮影・山崎和三郎（池田宮彦設計事務所）



草むしたあぜ道にゴロリと横たわる地蔵さま　撮影・赤木



民芸品店　撮影・赤木




昭和48年度若い会員の集い第6回企画「当尾の秋をたずねる」は昨年10月20日土曜日，参加者17名をもって催された。

当初の企画実施日（10月13日）が雨天のため順延となり10月20日に催されたものであるが，天候に左右されやすい野外企画の宿命とはいえ，多数の会員の皆様にご迷惑をおかけして参加者数が当初35名あったところ17名に減少してしまったことは，企画担当分科会としてまことに残念であった。

当日朝定刻を若干おくれて中之島を出発。まずバス車中にて企画分科会より参考資料および当尾の略地図が配布された。参考資料は浄瑠璃寺，岩船寺および当尾石仏群の歴史的背景が記載されており，参加者の皆様には興味深く参考にされたと考えている。

また略地図分科会メンバーのデザインにより，一枚一枚絵筆をもっての手作りの労作であり，かつ内容についてもユーモラスなものであったため，参加者の皆様より好評をはくした。

浄瑠璃寺には，途中の交通事情も悪く，定刻より約40分おくれて到着する。ここで当初企画ではスムーズに解散して，岩船寺に15.00集合の予定であったが，バス会社の調査不足により，岩船寺までバスが通行できないことが判明し，急遽予定を変更して集合地点を浄瑠璃寺前とした。あいにくと参加者解散の後であったため，企画分科会，事務局ともあわてふためく一幕もあったが，何とか参加者全員に連絡することができて最悪の事態には至らなかった。

静寂さで知られる浄瑠璃寺も最近のマスコミにより一般に知られることとなり，その足場の悪さにもかかわらずかなりの参拝者がみうけられ，参道脇の茶店，無人販売店もかなりのにぎわいをみせていた。

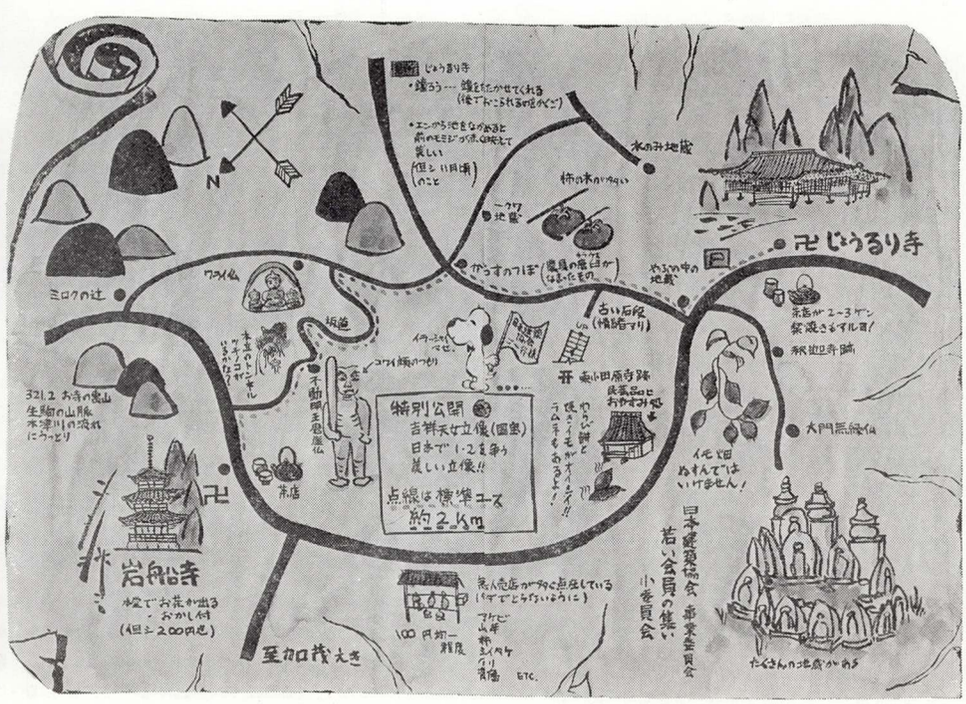
浄瑠璃寺は本堂（国宝，平安）内に安置する九体の阿弥陀如来坐像（国宝，平安）にちなんで別名九体寺とも呼ばれている。伽藍配置は平安末期の欣求浄土の信仰の思想である。澄みきった静寂の浄土をあらわしたものとのことであった。建立当時からすでに平城京の外郭浄土として，都の大寺ではできない本当の学問や宗教的な思索の場としての道場であったらしい。

境内の蓮池は現実の娑婆（此土）と理想の境地，弥陀の浄土（彼土）を分けるものであり，蓮池ごしにながめる九体阿弥陀堂の簡素な美しさには浄土をあらわすものとして深く感動した。参道脇のひなびた茶店にて山菜料理の昼食をとった後，当尾の魅力の一つである野中の石仏巡りに出発する。

やぶの中地蔵をまず最初に拝み，ひなびた東小の部落を通りぬけて行くと，豊岡柿はみごとに色づき，稲は黄金の波となって秋の日に輝やいている。東小田原寺跡，からすのつぼを経て，野路はやや登りにさしかかる。まだ少し季節が早かったのか，もみじの紅葉はみられないが，名も知れぬ草木はすっかり秋の気配を示し，ハイキングの楽しい雰囲気につつんでくれる。しばらく山路のダラダラ坂を行くと，当尾石仏群中の圧巻といわれているワライ仏が丘の中服で，笑顔をもって迎えてくれた。

当尾は京都府の南端，奈良県との境の丘陵台地に位置しており，とくに岩船，西小，東小，北大門，南大門などの集落に石仏が多く点在し，これらを総称して“当尾石仏群”と呼んでいる。このあたりはかつて小田原と呼ばれ，中世には興福寺の小田原別所があり，多くの寺院が建てられていた。これらの寺院の多くは僧侶の隠遁地，修行所として私的なもので規模は小さかった。

現在この地に残っている石仏の多くは磨崖仏であり，上記の小寺院の本尊としてそれぞれ堂宇が設けられていたものと考えられている。石仏群中最古のものは“やぶの中地蔵”で弘長2

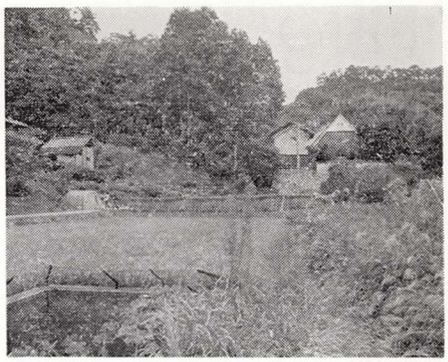




スケッチ "浄瑠璃寺" 井上公徳（鴻池組）



スケッチ "岩船寺"　山田孝二（鴻池組）



▲撮影・山崎　　撮影・赤木▼

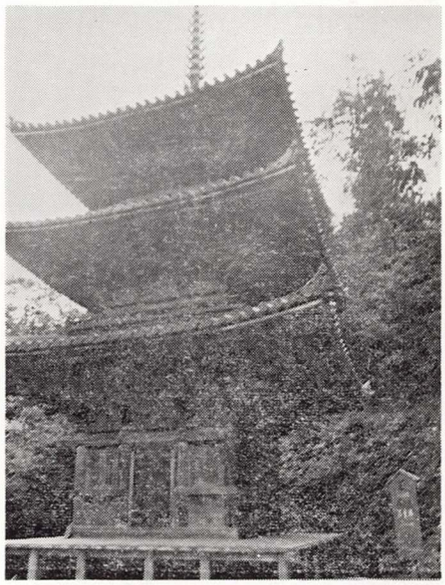





稚拙な彫りの不動明王　　撮影・山崎



わらいほとけ　　撮影・山崎



古びた岩船寺三重塔　　撮影・山崎

浄瑠璃寺三重塔　　撮影・筒井義明（泰平電機KK）

年（1262）の銘をもっており，他の石仏もその後約100年間に作られたものである。また鎌倉時代，東大寺再建のときに活躍した宋の石工"伊末行"の銘のある石仏も存在しており，野のひなびた石仏にも永い歴史の変遷がうかがえるおもいであった。このワライ仏より山路は嶮しくなり，年配の参加者の方にはかなりきつい道中であったが，ここを登り切ると，もうまもなく岩船寺に到着する。

岩船寺には本尊阿弥陀如来（重文，平安）が安置されており，境内には，三重塔（重文，室町），十三重石塔，不動石龕，五輪石塔（いずれも重文，鎌倉）等の文化財がおかれてある。全体にひなびた山寺の観があり，しばし境内の一隅で休息の時をもった。浄瑠璃寺前までの帰り路には，柿，山芋，あけび，などの無人売店が点在しており，それらの品のなつかしさもさることながら客がかってに小さな空罐に金を入れるという販売方法が，いかにも山里の人々の素朴な心をあらわしており，ほのぼのとした暖かみを感じさせてくれた。

集合場所には，さまざまな山里の土産をもって予定通り15.00に全員集合。大阪天満橋までの帰路も阪奈道路を快適にとばし，ほぼ定刻通り無事帰着する。最後に，会誌掲載予定の写真，スケッチ，俳句その他の応募を参加者の皆様にお願いして解散した。

当企画をふりかえってみて，企画当局の手違い，調査不足等によって，参加者の皆様にはさまざまなご迷惑をおかけしたことはまことに遺憾であったが，当日は天候にも恵まれ参加者の皆様には秋の山里の楽しい一日を過ごしていただいたものと思っている。　（赤木圀文記）

| | |
|---|---|
| 日　時 | 昭和48年10月20日（土）・参加者　17名 |
| 行　先 | 京都府相楽郡加茂町当尾付近<br>浄瑠璃寺，岩船寺 |
| 行　程 | 9.50 中之島出発→11・40 浄るり寺前着<br>11.40 →浄るり寺拝観・昼食・自由行動・<br>当尾石仏群→岩船寺拝観<br>（ハイキング，スケッチ，写真など）<br>13.00 浄るり寺出発→奈良阪奈道路経由→<br>16.40 大阪天満着・解散 |

# 中国の印象

## ——訪中神戸経済使節団の一員として

日本建築協会建築クラブ例会講演要旨（昭和48年11月13日）



住友ゴム工業株式会社社長
**下　川　常　雄**

ことし（昭和48年）の４月末から５月にかけての，わずか２週間の訪中でしたが，ほとんど毎晩学習会をやりましたので，日数のわりには中国のことを知ることができたと，喜んでおります。

さて，われわれが旅行するときには，詳しく予定を立て，ことに外国旅行では，一時間の無駄もないように計画するのが普通です。しかし，中国旅行は全くあなたまかせで，これからどうするのか，案内人に聞いてもわからない。明日の予定はその前夜か，その日にならないとはっきりしません。

しかし，旅行中何の束縛もうけず，買物も，朝夕の散歩も全く自由でした。ただ，パスポートは飛行機に乗るときしか渡してくれませんので，外国でパスポートなしで歩く不安はとれませんでした。

まず，中国人の生活状態からお話ししましょう。服装は99％までが人民服で，ほとんどが青一色。後から見たら男か女かわかりません。全く質素な服装ですが，昔のように汚れてなく，清潔な印象を受けました。

私たちに通訳をしてくれた鐘敏さんは，20才代の娘さんで，彼女にお化粧とかおしゃれのことを聞いてみますと，「お化粧は役者のするもので一般人はやらない。またカラフルな服装も，みんなが着るなら着るが，自分ひとりならしない。」と含みのあることを言っておりました。

中国に行ったんだから，夜は外に出て一杯飲もうと考えても，開いている店は散髪屋と，勤務交替で帰ってくる労働者のための飲屋ぐらいです。

一体，庶民の楽しみは何だろうと考えてみましたが，スポーツぐらいしかみあたりません。北京の首都体育館で挙行された，日本代表の高校バレーボール選手と中国の中学校の高等科（小学校は５年，中学校は初等科３年，高等科２年）の選手との親善大会に招待されましたが，１万８千人収容できる体育館が満員でした。切符を手に入れて見に来ておる人々は，それぞれの職場でよく働くので，報奨の意味で来ることを許されたのではないかと私は想像しました。見ている人々は上品というか，勝った負けたでワァワァいっておるのは日本人だけで，ファインプレーに対してただ拍手を送るだけです。

住居，職業，宗教の自由はありません。どこに住みたいと申し出て，許可されれば住めるそうです。日本の２ＤＫぐらいの部屋で家賃が５円（１円は日本円で130円），電気代と水道代が約３円かかります。給料はほとんど１級から８級の間に入っており，１級が30円，８級が100円，普通の人は５～60円のようです。食事は共稼ぎが多いので外で食べることが多く，工場食が１食20銭，夕食は50銭ぐらい。日本でいう一膳飯屋のような飯店で，４人から６人集まると，50銭ずつ出し合って食事をする。そしていろいろ議論をしながら，楽しそうに食事をしております。

結婚は自由にできるのかといろいろな人に聞きましたが，ちょうど日本の隣組のように，３～40人で１つの組を作り，これをリーダーが指導しておりますが，その組にだれだれと結婚したいと申し出て，ＯＫが出れば結婚できるそうです。また離婚も同じ手続きをふまねばならぬといっておりました。

各組では，一週間に２回くらい，仕事が終わったあとで学習会をひらきます。ここで学習する項目は「為人民服務」が主で，いわば反省会のようなものです。また，工場などであまり働かない者がいると，工場長がこの組に連絡し，組では約ひと月くらい，その怠け者を総括する。それでもいうことを聞かない者は，さらに上位団体でひと月ほど総括をやり，たいていこれで直るそうです。

子供が生まれるとすぐ託児所に預ける。日曜日とか勤務外によく夫婦で小さい子供を連れて歩いていますが，親子が一緒にいるのはそのときぐらいで，あれでは家庭生活がなくなるんではないかという気がしました。

つぎに経済問題ですが，自力更生の基本方針を貫き，生産材の不足は外国から補うが，消費材は我慢して乏しきを分かちあうというのが，基本的な態度です。中国にはいろいろな原材料が豊富にありますが，自分のところでまず使って，余ったら他国へ分けようという方針です。したがって，中国貿易は日本が考えるほど甘いものではなく，向こうの都合次第できまってくるという観測をしました。

われわれメーカーの者も行っていたので，特許について話をしたんですが，中国は特許に関するパリ条約に入っていない。特許権は国家のもので，これを一個人一団体に与えるべきではないという考え方です。したがって，日本から機械やプラントを買うときは，特許料を価格に加算し，将来中国でまねされてもよいようにせよといっております。

働く者はホテルの従業員も，工場労働者も，農民もすべて国家公務員です。散歩のとき，果物屋で働いている人にその機構を聞きましたが，品物は合作社から仕入れ，その仕入価格に約１割の手数料を加えて売っております。そしてでてきた利益はすべて公団である合作社に入り，そこで働いている人は一般の労働者と同じように給料をもらっております。私が会った店員は，給料は６級といっておりました。

彼らにとって生活必需品といえる自転車も，独身なら２カ月，既婚者は半年ぐらいためないと買えない。しかもそういうつつましい財産状態でありながら貯金をしています。貯金には３分の利子がつくことを知ったので，資本論には金利は余剰価値で搾取につながるから，共産主義ではとらないと書いてあるが，と質問したら，これは毛主席が多数の国民から預金を集め，かつ，一般に浪費をさせないためにとられた新しい政策だと返事してくれました。

マルクス・レーニンのカチカチの共産主義ではなしに，中国国民に合った柔軟なやり方をしている点は，感心しました。

工場は，天津でじゅうたんと自転車の工場を見ましたが，３交替で，定年は男60才，女55才で，定年時の70％の収入が一生保証されていますが，中国の今の状態では，定年後ぶらぶらしておることはとても許されない雰囲気です。工場でよく働く人に対しては，職場で赤い紙にその功績を列記して表彰し，また灰皿や湯呑みや，シャープペンシルなどの賞品も与えております。

それがいくつかたまると，こんどは休暇を与えるそうです。文化大革命前には金銭的な裏づけもしておったそうですが，これは今はありません。自転車工場を見学したとき，工場長から感想を求められたので，「従業員は実によく働いておる。この真面目に働いておる人々のためにも，工場の照明や環境はもっと綺麗にすべきでないか」とわれわれがいったところ，工場長は「工場の環境は昨年より今年，今年より来年と，だんだんよくなっている。中国７億の民がみな一緒によくなるように努力しておるから，スピードは遅いが，一歩ずつ前進しておる」と胸をはって返事しました。

人間の消費者生活に対する欲望は，相当根強いものと思いますが，これを教育その他の方法で抑えることに成功すれば，数年後には中国は，すばらしい国家になると思って，帰って来ました。

（速記録より抄訳）

日本建築協会

# 月間の動き

## 昭和48年11月分

### 評　議　員　会

定時評議員会にかえて書面表決
11月13日付をもって下記事項について文書により諮り承諾を得た。
昭和49年度評議員選出数80名決定の件

### 理　事　会

**21日**　4時～5時半　於会館集会室
出席者　塚本，福田正副会長ほか9理事
議事(1)小住宅建築業務基準案の件
(2)「建築物の防煙と避難施設について」の説明会開催の件
(3)「建築業務基準法政令改正と新用途地域指定並びに大阪市火災予防条例改正」についての説明会開催の件
(4)日中建築技術交流会設立の件
(5)12月定例理事会休会の件
(6)事務局職員下期賞与支給の件
(7)大阪建築防災センター理事推せんの件
(8)入退会者承認の件
(9)報告事項

**編集理事会**

**21日**　3時半～4時　於会館集会室
出席者　彦谷委員長，福田副会長ほか5名
議事　昭和48年度「建築と社会」誌収支実施見込額について

### 事　業　委　員　会

**若い会員の集い小委員会**

**1日**　6時～9時　於会館集会室
出席者　柳副委員長，西村，岩永，宮後各幹事ほか2名
議事(1)「ヨーロッパの都市と建築調査団」帰国報告座談会の記録調整編集分科会報告
(2)第6回「当尾の秋をたづねて」実施報告
(3)第8回「伝統工芸をみる会―吉野の紙すき」の企画について
(4)第9回「建築家に話を聞く会」の企画について
(5)「解体修理中の古建築をみる―法輪寺，法起寺(2)」の企画について
(6)「工業化工法による住宅生産工場をみる会(2)」の企画について
(7)そのほか

**広報小委員会**

**6日**　6時～7時　於会館集会室
出席者　打浪委員ほか5名
議事(1)第3回展示写真「大阪の建築・今と昔(3)」ロイヤルホテル新館と新大阪ホテルの実施報告
(2)第1回「最近の建築用板硝子製品と工法」説明会実施報告
(3)第4回展示写真の企画について
(4)第2回「建築物の防煙と避難施設について」の説明会企画について
(5)建築基準法政令改正と新用途地域指定並びに大阪市火災予防条例改正についての説明会開催について

**見学会小委員会**

**7日**　6時～7時　於会館集会室
出席者　鈴木幹事ほか1名
議事(1)10月に実施した見学会の報告
(2)2月以降の見学会企画について
(3)そのほか

**委　員　会**

**8日**　6時～7時半　於会館集会室
出席者　北垣委員長，窪田，小泉，堤，柳各副委員長，岩永，宮後各幹事
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)2月以降の事業企画について
(3)そのほか

**忘年懇親会受付分科会**

**16日**　6時～8時　於太閤園
出席者　今井幹事ほか3名　太閤園林田氏
議事(1)事前準備について
(2)委員の作業分担について
(3)そのほか

**忘年懇親会会場分科会**

**16日**　6時～8時　於太閤園
出席者　木地幹事ほか1名　太閤園林田氏
議事(1)会場配置計画について
(2)委員の作業分担について
(3)そのほか

**忘年懇親会抽せん進行分科会**

**16日**　6時～8時　於太閤園
出席者　上松幹事，佐藤，西村主査ほか7名　全日企画小泉氏
議事(1)寄贈品の報告
(2)進行スケジュール表作成
(3)抽せん関係の進行表による詳細スケジュール
(4)事前準備について
(5)委員の作業分担について
(6)そのほか

**忘年懇親会小委員会**

**16日**　8時～9時　於太閤園
出席者　窪田副委員長，今井，木地，上松各幹事ほか13名　太閤園　林田氏　全日企画　小泉氏
議事(1)各分科会の担当作業について
(2)賛助会費，寄贈品について
(3)進行スケジュール表による計画全般について
(4)そのほか

**若い会員の集い**

**解体修理中の古建築見学会**

**――法隆寺境内大湯屋・大垣(重要文化財)――**

**17日**　1時半～5時
参加者　19名

### 編　集　委　員　会

**2月号「明日の建築はどうなるか」特集編集幹事会（第2回）**

**8日**　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　加藤邦男特別幹事ほか2名
議事　2月号「明日の建築はどうなるか」特集の企画（テーマと執筆者の選定）

**委　員　会**

**12日**　4時～6時　於会館集会室
出席者　渡辺理事ほか8名
議事(1)12月号＝ヨーロッパのまちづくり特集経過報告
(2)昭和49年1月号＝歴史的環境保全と再開発特集経過報告
(3)2月号＝明日の建築はどうなるか特集報告
(4)3月号の企画
(5)新編集委員会の件

**作品作風小委員会**

**12日**　6時～7時半　於会館集会室
出席者　谷主査ほか5名
議事(1)正月号の新建築について
(2)2月号以降の作品作風のあつかいについて

**3月号編集幹事会**

**27日**　6時～8時半　於会館集会室
出席者　河目，上野，口羽各編集委員
議事　3月号「住宅問題」特集号の企画

### 建築データシート委員会

**Cグループ打合会**

**12日**　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　岡田幹事ほか1名
議事(1)Cグループの業務の進め方について
(2)そのほか

**企画分科会**

**15日**　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　酒井幹事ほか2名
議事(1)追跡調査のチエックポイント作成について
(2)総合目次・索引の発行について
(3)そのほか

**委　員　会**

**21日**　6時～8時半　於会館集会室
出席者　真塚副委員長ほか8名
議事(1)№44号の掲載シートについて
(2)石シートの取扱いについて

⑶企画分科会の提案について
⑷そのほか

### 住　宅　委　員　会

**委　員　会**

**13日**　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　小西委員長ほか7名
議事　よろず相談住宅展に代わる催し物の企画

### 法　規　委　員　会

**委　員　会**

**19日**　3時～5時　於会館集会室
出席者　市川委員長ほか10名
議事　法令問題についてのアンケート報告とそれにもとづいての今後の検討

### 建　材　委　員　会

**委　員　会**

**30日**　5時半～8時　於会館集会室
出席者　山田委員長ほか12名
議事⑴打込タイル検討会（第1回）
⑵そのほか

### 見　学　会

**洛西，妙心寺の茶室見学会**
**――桂春院の既白軒・天球院の蓬庵・退蔵院の庭園――**

**10日**　1時半～5時
参加者　28名

### 第19回工高生デザインコンクール表彰式

**24日**　2時～3時　於会館集会室
出席者　徳永審査委員長ほか2審査員
谷口，斉藤正副教育委員長，上野幹事ほか2名

入選者に対し賞状，賞牌を努力賞に賞状，記念品をまた最優秀作に対して関西建築家懇談会一の会徳永代表より「一の会賞」を授与した後茶話会を開催した。なお解散後大阪大林ビルの見学を行った。

### 建築基準法政令改正と新用途地域指定並びに大阪市火災予防条例改正説明会

**28日**　1時半～5時40分
於大阪マーチャンダイズ・マート
聴講者　600名
（日本建築協会ほか6団体共催）
講師
「建築基準法政令一部改正と新用途地域制の問題点」
大阪府建築部建築指導課主幹
梶原　明氏
「消防関係法令の改正について（大阪市火災予防条例を含む）」
大阪市消防局予防部防災設備課
設備係長　田中　隆夫氏

### 建　築　クラブ　朝　食　会

**13日**　8時～9時半
於大阪グランドホテル
出席者　60名
当日は住友ゴム株式会社社長下川常雄氏より中国の印象についてお話を伺った。

### 幹　事　会

**16日**　正午～1時半　於会館3階会議室
出席者　小林，尾亀，星各委員
議事⑴12月夕食パーティの件
⑵明年1月～3月の講師の件
⑶そのほか

### 11月の入会者（敬称略）

〔団体会員　1社〕
株式会社　三建

〔個人会員　29名〕

| | | |
|---|---|---|
| 明石政一 | 島　幸一郎 | 宮崎誠男 |
| 井上直比呂 | 新堂　肇 | 森本友造 |
| 井手一城 | 鈴木克己 | 山根一幸 |
| 尾関　満 | 中村道生 | 山本譲治 |
| 大畑和憲 | 中山和明 | 山本芳明 |
| 加古敏郎 | 仲　雅義 | 結城恭昌 |
| 加藤恒郎 | 平井正樹 | 横田　敏 |
| 川野　保 | 福井章人 | 吉川太一郎 |
| 黒岩清雄 | 藤田　聰 | 和田康由 |
| 洪　四川 | 南方雅昭 | |

〔准会員　3名〕（氏名省略）

## ■小住宅建築業務基準案

昭和48年10月に，小住宅建築業務基準案が，建築業務基準委員会によりとりまとめられたので，以下に，簡単に紹介します。

×　×　×

わが国の住宅のうち，その約7割は木造戸建て住宅として地方に散在する中小の住宅建築業者によって供給されている。

これらの住宅供給は，地縁的または小さな社会的コミュニケイションによって生まれた信頼関係を前提として行なわれる場合が非常に多い。住宅建築業者の業務の内容が必ずしも具体的になっていないため，建築主と住宅建築業者との間に不必要な紛争が生じている場合も少なくない。また，住宅建築業者についても，その業務のやり方自体不合理な場合が非常に多く，それがこの業界の体質の弱さにつながっている。

現在，建設省によって明らかにされてきた住宅対策においても，地方に散在する国民の住宅要求に対してきめ細かに対応するためには，住宅建築業者が施工を担当するという対応が最も適正な方法であると考えられている。しかし，現在の住宅建築業者の業務の実態はこのような政策的要望を担うに足りる合理的なものにはなっていない。現在の住宅建築業者が今後国民の要望を担って行くためにはその技術の革新を図ることと合せて，その業務の適正執行により業態の体質改善という近代化を図る以外にない。

ここで取り纏められた小住宅建築業務基準は，現在住宅建築に携っている方々により，現実に実行されており，実現可能であることの確かめられた合理的な業務を基に作成されたものである。そのためこの業務基準は必ずしも，その業務の合理性を徹底的に追求したものにはなっておらず，過渡的な段階に止っているということもできようが，取りあえず圧倒的多数の住宅建築業者に実現の可能な業務水準を確保するための目標としてとり纏めた次第である。

（小住宅建築業務基準案の前文より抜粋）
小規模住宅業務基準委員会
委員長　浜口ミホ

### 小住宅建築業務基準案のあらまし

1. 一般営業活動
2. 相談業務
3A. 基本設計（事前打合せ）
4A. 実施設計
5A. 積算・見積り
3B. 建築主の希望内の把握
4B. 概略設計
5B. 積　算
6. 工事請負契約
7. 建築手続き
8. 下請等の決定
9. 安全と工事現場の危害防止
10. 施工準備
11. 施　工
12. 工事監理・検査（設計，施工分離で設計者がこれらを行なう場合）
13. 変更工事
14. 工事完了
15. 工事請負代金等の支払い
16. 竣工図書の保存等
17. 瑕疵（かし）担保および保守

## ■日本建築協会の展示窓紹介

大阪の建築・今と昔のシリーズとして今回採用した新大阪ホテルと超高層ロイヤルホテル新館は，大阪の中心「中之島」に君臨した古きよき時代と現在の代表的なホテルといえます。"光と水と緑"のテーマに新しく生まれ変わろうとしている中之島の対照的なホテルをご紹介いたしております。

・展示期間　11月中旬→49年1月の中ごろまでの2カ月間
・展示場所　京阪淀屋橋と北浜間の中間地下道の南側のショーケース



# 賀　正

# 1974

## 設計事務所有志

---

一級建築士事務所
株式会社 **A.R.I（あり）建築事務所**

代表取締役　亀井晃治

事務所　大阪市南区谷町7丁目12番地の1　新谷町第3ビル2F　TEL（代表）大阪(06)768−1405
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14−35　TEL 07437(3)6137
分　室　大阪市旭区新森1−7−33−910　TEL 大阪(06)953−1284

---

## 青田設計事務所

所長　青田豊吉

姫路市坂田町54（姫路建設会館内）　電話　代表 0792(22) 7126
〒 670　直通 0792(24) 9012

---

株式会社 **赤崎建築事務所**

代表取締役　赤崎尚信

大阪市西区立売堀北通り1−90 第三富士ビル　TEL (06)541−7625代表

---

株式会社 **赤松菅野建築設計事務所**

代表取締役　赤松　修

大阪市北区梅ヶ枝町123（瑞穂ビル）　電話 (364) 5651
東京・横浜・大宮・富士ノ宮

---

株式会社 **浅野建築設計事務所**

代表取締役　浅野真澄

本　社　〒543　大阪市天王寺区城南寺町9-27 カトウビル　TEL06 (768)0201番代
TEL06 (768)1870番
高津分室　〒543　大阪市天王寺区東高津町13-11 八竹ビル　TEL06 (768)0226番
奈良分室　〒639-02　奈良県北葛城郡香芝町下田256番地　TEL0745 (77) 7805番

---

## 株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋筋3-67　マチスビル　電話 (358)5598・3497

## 株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井　上　達　明

〒530　大阪市北区鶴野町５１番地（安田ビル）　電話 06(372)2821(代)

## 株式会社伊東建築設計事務所

代表取締役　伊　東　正　也
取　締　役　竹　原　永一郎

大阪市浪速区幸町通り２－６ 清光ビル　電 話(562) ４３４３～５

## 株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役　伊　藤　　鑛　一

名古屋市中区錦3丁目3-6(日本経済新聞ビル)　電話〈052〉951-1110(代)
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061(代)
現住所　芦屋市山手町６９　電話〈0797〉22-２１６３

## 株式会社 池田宮彦設計事務所

取締役会長　荒　川　直　治
代表取締役社長　池　田　　昭
代表取締役副社長　鈴　木　盛　也

大阪市南区瓦屋町3番町68番地　電話06(761)0360・06(762)0396・06(762)5551

## 石川建築事務所

石　川　寛　三
石　川　　宏

大阪市天王寺区茶臼山町１１１　電　話　06 (779)9491～２
東京都豊島区駒込 1－11－9　電　話　03 (946)5431～２

## 株式会社 泉設計事務所

代表取締役　長谷川元耶
代表取締役　宮川達郎

大阪市南区横堀7－4（新田ビル）　電話 251－7691(代)

## 株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉沢哲史

大阪市北区真砂町48－1　オオシマビル　　電話 06(364)9071～2

## 株式会社 今西建築デザインルーム

代表取締役　今西茂雄

大阪市西区北堀江通2－47　TEL 541－3051～3

## 株式会社 入江三宅設計事務所

代表取締役　三宅晋

東京都港区芝西久保桜川町28（第10森ビル）　電話 03（501）0286(代)
大阪市東区北浜4－48－3　電話 06（201）5305

## 株式会社 上田建築事務所

代表取締役　上田良治

寝屋川事務所　寝屋川市本町17－18　電話（0720）21－2483
大阪事務所　大阪市浪速区新川2丁目667 南朝日ビル　電話 633－3655

## 株式会社 栄和設計事務所

取締役社長　小泉善重
専務取締役　神山一郎

本　　社　大阪市福島区堂島浜通4丁目14　TEL大阪（452）1651～4
京都連絡所　京都市南区唐橋西平垣町19番地　TEL京都（691）4946

設計
監理

## 株式会社 岡山建築事務所一級建築士事務所

代表取締役　岡　山　竹　雄

事務所　京都市伏見区深草平田町18　TEL 075－641－0536
設計室　京都市東山区五条橋東2－7 大友ビル内　TEL 075－531－1098

---

## 株式会社 久米建築事務所

取締役社長 永　井　賢　城

東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03（403）0251大代表
大阪市北区堂島中1丁目23番地　堂島中町ビル　電話06（344）2096代表

---

## コータケ建築設計事務所

所長　高　武　主　計

大阪市西区江戸堀5－155（新山越ビル）　TEL 06(448)0178・2408

---

## 有限会社 河内義就設計事務所

代表取締役　河　内　義　就

広島市上幟町2番37号　電話（0822）28－2271

---

## 株式会社 小林得志建築事務所

代表取締役　小　林　得　志

〒530　大阪市北区堂島北町20　藤田ビル内　電話 06(341)5658(代)
〒662　分室　西宮市丸橋町6の16　電話 0798（66）2394

---

## 株式会社 篠田川口建築事務所
## 株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川　口　喜代枝

名古屋市東区富士塚町3－2
TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255

## 株式会社 清水和彌設計事務所

代表取締役　清　水　和　彌

大阪市北区万才町４３（浪速ビル）　電話　大阪（312)4616・7278(代)

---



計画・設計・監理

## 株式会社 昭　和　設　計

代表取締役社長　岡　本　行　善
代表取締役専務　林　　唯　夫

大阪事務所　大阪市西区西長堀北通1-8 四ツ橋ビル　ＴＥＬ代表 532－3421
神戸事務所　神戸市葺合区八幡通５－６　久徳ビル　ＴＥＬ078－251－0651

---

## 株式会社 神京設計事務所

Shinkyo Associated Architects & Engineers

越　智　隆　晴

神戸市生田区中山手通５丁目15－17(浜地ビル５Ｆ）　電話（078）371－2929

---




## 株式会社 新日本設備計画

代表取締役　長谷川幸雄

本　　社　大阪市北区金屋町２－31（佐川ビル）　電話 353－4061㈹
九州事務所　福岡市博多区博多駅町４丁目38－26(柏村ビル）　電話 43－7823㈹

---

## 株式会社 大　建　設　計

取締役社長　高　橋　慶　夫
取締役副社長　西　嶋　徳太郎
取締役副社長　千　原　大五郎

本　　社　大阪市西区京町堀２丁目７５番地　大阪（441)9351㈹
大阪本社　大阪市西区京町堀２丁目７５番地　大阪（441)9351㈹
東京本社　東京都港区新橋１丁目10番７号(大和銀行新橋ビル）　東京（572)4595㈹
名古屋事務所　名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル　名古屋（261)8531㈹
九州事務所　北九州市小倉区紺屋町9番1号 明治生命小倉ビル6階　小倉（521)4285㈹
分　　室　水島・大分・室蘭

---

## 高木建築デザイン スタジオ

所長　高　木　茂　雄

大阪市南区心斉橋筋一丁目一の二　心一ビル　電話 大阪(06)252・8355

---

## 株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1（日亜ビル）　電話（211）2706（代）

---

## 株式会社 田中小西 建築事務所

取締役社長　小西岬

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 大阪市西区阿波座南通2－60 | 電話 (532) 4051大代表 |
| 東京事務所 | 東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3(大木ビル内) | 電話 (256) 9301代表 |
| 名古屋事務所 | 名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内) | 電話 (211) 4035 |
| 大津事務所 | 大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内) | 電話 (22) 5373～4番 |

---

## 株式会社 地域計画・建築研究所

| | |
|---|---|
| 代表取締役所長 | 三輪泰司 |
| 大阪事務所長 | 糸乗貞喜 |
| 京都事務所長 | 霜田稔 |
| 東京事務所長 | 河野通裕 |

| | | |
|---|---|---|
| 本社事務所 | 京都市左京区下鴨上川原町69　植物園電停前 | TEL (075) 711-2161代 |
| 大阪事務所 | 大阪市東淀川区西中島町3丁目120番地　中島ビル6階 | TEL (06) 302-6121代 |
| 東京事務所 | 東京都港区芝西久保明舟町14番地　博友ビル | TEL (03) 591－0682 |

---

## 株式会社 翼建築設計事務所

代表取締役　畠中繁

本社・大阪事務所　大阪市西区靱1－130（布亀ビル）　TEL06－441－2288 大代
京都事務所　京都市中京区西ノ京南原町1番地(中常ビル)　TEL 075－811－4166～8

---

## 東西建築サービス株式会社

取締役社長　布袋國雄

本社　大阪市東区横堀2－48 〒541　電話 06（202）3626
事務所所在地　東京・名古屋・広島

---

## 株式会社 東畑建築事務所

代表取締役　東畑謙三

| | | |
|---|---|---|
| 本社<br>大阪事務所 | 大阪市東区伏見町5丁目19 | 電話　大阪(06)202-0391 |
| 東京事務所 | 東京都千代田区永田町2(永田町ビル) | 電話　東京(03)581-1251 |
| 名古屋事務所 | 名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル) | 電話名古屋(052)571-8471 |
| 北九州支所 | 北九州市小倉区上到津本町4丁目（九州航空ビル） | 電話　小倉(093)651-4467 |

## 徳永・田村建築事務所

徳永正三・田村又夫

〒541 大阪市東区博労町2－41〈中博ビル〉 電話〈06〉262－2310
〒103 東京都中央区日本橋兜町2－38〈太洋ビル〉 電話〈03〉668－3056〈代〉

## 中根庭園研究所

所長 中根金作

建設コンサルタント（造園部門） （建設省認定 第445号）

京都市左京区下鴨糺の森電停前 生産開発科学研究所内 電話 075（781）1107
自宅 京都市右京区谷口唐田の内町1の6 電話 075（463）5548
公園一般・造園設計・施工・監理

## 株式会社 中原茂建築事務所

代表取締役 中原茂

大阪市西区靱本町3丁目90番地(岡崎橋ビル) 電話（445）0039

## 名古屋建築設計事務所

所長 井上正一

名古屋市中村区椿町4－28(国鉄会館ビル)〒453 電話052(452)1271(大代)
052(451)2025（直）

NAITO

## 株式会社 内藤建築事務所

取締役会長 内藤資忠
取締役社長 片山光生

本社 〒606 京都市左京区中大堰町189番地 電話075(781)6195代
事務所・出張所 青森・東京・松本・静岡・名古屋・京都・奈良・大阪
四国・福岡・大分

## 株式会社 日建設計

取締役社長 塚本猛次

大阪市東区横堀2丁目38番地 電話203－2361（大代表）

## 株式会社日新建築設計事務所

代表取締役　藤村清一

〒530　大阪市北区壺屋町1丁目66番地　電話 06 (352)6161(代表)

## 株式会社根津建築事務所

代表取締役　根津耕一郎

本社　大阪市北区梅ヶ枝町81(大阪弁護士ビル)　電話(06)364−8301(代表)

## 花豊造園株式会社

代表取締役　山田米治郎
代表取締役　山田昌次

京都市下京区大宮通五条下る　TEL075−341−2246(代)
宇治市木幡南山畑14　TEL0774−32−1818(代)
滋賀県栗太郡栗東町字手原170　TEL07755−2−3535(代)

## 阪神造園建設業協同組合

理事長　当麻英夫
専務理事　加藤亮太郎
組合員一同

事務所　大阪市北区神山町27の2　造園会館内電話大阪(312)4553代表

## 株式会社彦谷建築設計事務所

代表取締役　彦谷邦一

大阪市東区横堀1−23(寺杣ビル)電話 231−2810・7634

## 株式会社福永建築設計事務所

代表取締役　福永薫
専務取締役　福永健一

大阪市南区順慶町通4ノ61　電話 (06) 251−3102・5189

## 株式会社 宮後建築事務所

代表取締役　宮後　健

本　社　大阪市天王寺区上汐町6－35　電話 772－0165(代表)
分　室　大阪椎寺町・大阪本町

## 有限会社 村野，森建築事務所

村野藤吾　森　忠一

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話(624)0926代表
研究室　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話(253)0875代表
東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話(661)7158

## 株式会社 安井建築設計事務所

取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話 06(943)1371(大代)
支　社　大阪・東京・名古屋・神戸・九州

## 株式会社 洋建築事務所

代表取締役　設楽貞三

大阪市北区松ヶ枝町88(大徳ビル)　電話 358－6372(代)

## 株式会社 吉田建築事務所

取締役社長　吉田信武

大阪市西区北堀江上通3－22(久竹ビル)　電話(538)2991代表

## 渡辺建築事務所

渡辺道輝

〒541 大阪市東区今橋2丁目21番地(藤浪ビル)　電話 06(231)1696番(代)
〒102 東京都千代田区二番町11-10(麹町山王マンション)　電話 03(262)4567番

# 賀　正

## 1974

## 建設業者有志

---

株式会社 **青　木　建　設**

取締役社長　青　木　益　次
常務取締役 大阪支店長　吉　田　卯　之　松

本　社　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851
東京本社　東京都渋谷区渋谷2－17－3　TEL 03 (407) 8511
大阪支店　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851

---

株式会社 **淺　沼　組**

取締役社長　淺　沼　猪　之　吉

本　社
本　店・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表 (768) 5222
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・旭川・秋田・盛岡・福島・水戸・北関東・千葉・立川・横浜・新潟
北陸・浜松・静岡・岐阜・長野・三重・滋賀・奈良・京都・大和郡山
和歌山・神戸・岡山・山口・高松・徳島・松山・熊本・沖縄

---

株式会社 **新（アタラシ）工　務　所**

取締役社長　新　昭　一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表 大阪 (313) 1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町二丁目一番十四号　電話 代表 東京 (291) 3741番
営業所・名古屋市中区大須四丁目一番七一号（時計ビル）　電話 名古屋 (262) 1725番

---

株式会社 **あめりか屋**

取締役社長　前　野　慶　太　郎

本　社　〒530 大阪市北区常安町17番地　電話 代表 (444) 1501番

---

**安藤建設株式会社大阪支店**

取締役大阪支店長　村　田　隆　次

大阪市福島区上福島北通1－17－1　電話 代表 453－2190
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

---

## 株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目二番地　電話　神戸(33)1780

## 株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話06(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話03(354)0581
営業所　京都・神戸・奈良・埼玉

## 株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表 (292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 大代表 (943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

## 株式会社 奥村組

社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・浦和・名古屋・大阪・広島・高松・北九州・福岡

## 鹿島建設株式会社

取締役社長　渥美健夫
常務取締役大阪支店長　橋本正二

本　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話 03 (404)3 (大代)
大阪支店　大阪市東区瓦町5－71(瓦町ビル)　電話 06 (203)338 (大代)

## 株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷吉太郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411)1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田

## 株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　江藤忠實

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話 (341) 7371 (代表)
本店・姫路市北条口86－3　電話　姫路 (23) 2021(代表)

## 株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本　社　大阪市西区靱本町4の103　電話大阪06 (532)0081(代)
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡193の1　電話　07755 (2)1361～2

## 熊谷組

専務取締役大阪支店長　泉治郎一

大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話 (352) 1151番(大代表)
本　社　東京都新宿区筑土八幡町22番地　電話 (260) 2111番 (大代表)
支　店　札幌・仙台・北関東・東京土木・東京建築・横浜・名古屋・広島・四国・福岡・福井・那覇

## 小林住宅販売株式会社

社長 一級建築士　小林三甫朗

本社／大阪市東区南久宝寺町5－18　☎ (06)251－8371
支店／銀座営業所☎ (03) 563-3061　名古屋支店☎ (052)931-7571
京都案内所☎ (075)351-3206　三宮営業所☎ (078)231-6023

## 株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本　店　大阪市東区北久宝寺町4－27　電話 代表 (252) 3100
支　店　東京・名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・横浜・札幌・神戸・京都・金沢

## 甲南建設工業株式会社

代表取締役　原精一

大阪市東淀川区十三西之町4丁目3番地　電話(06)302－1551代表
東京都千代田区神田須田町1-18(共同ビル)　電話(03)253－4455代表
尼崎市東富松字道水766の1番地　電話(06)427－9631代表
神戸市葺合区八幡通5丁目6番地(松井ビル)　電話(078)22－6293代表
堺市宿屋町東3丁1番19号　電話(0722)2－5423

# 佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・常務取締役大阪支店長 山本良勝

本　社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京(662) 2331(大代)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25　電話　大阪(203) 7221(代表)
支　店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島

# 三和建設株式会社

取締役社長　竹下文武

本　社　〒532 大阪市東淀川区加島町431　TEL　(301)6636代
東京支店　〒105 東京都港区西新橋2丁目19番1号　TEL東京 (436)1271代
京都営業所　〒615 京都市右京区西大路五条上ル　TEL京都 (311)8897
東京工場　〒332 川口市仁志町1～241　TEL川口 (52) 4100
高槻工作所　〒569 高槻市芝生町5の2　TEL高槻 (74) 0381

# 島藤建設工業株式会社大阪支店

常任顧問 関西駐在　西田康治
支店長　樽田光男

本　社　東京都港区赤坂8丁目5番34号　電話　東京 (403) 1511
支　店　大阪市北区茶屋町31番地の2　電話　大阪 (372) 6001代表

# 清水建設株式会社

社長　野地紀一

本　社　東京都中央区宝町二ノ一
支　店　大阪・名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌

# 住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　小山武

大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22番地(新住友ビル2号館)電話 (220) 8712
本　店　東京都新宿区荒木町13番地　電話 (353) 代表5111番

# 株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本　店　大阪市西区阿波座上通3丁目2番地　電話 大阪 (531) 6431番(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・福島・新潟・前橋・浦和・千葉・横浜・静岡・津
金沢・京都・神戸・岡山・松江・山口・高松・松山・北九州・大分・熊本
長崎・鹿児島・沖縄

## 大幸建設株式会社

取締役社長　大沢幸平

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 大阪市西区西長堀北通一丁目五番地 | 電話 06(538)0881代 |
| 本社分室 | 大阪市東区今橋五丁目二番地 | 電話 06(203)0373代 |
| 東京営業所 | 東京都渋谷区渋谷二丁目十番七号 | 電話 03(407)7426代 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中村区若狭町一ノ二五 | 電話052(581)7376代 |
| 松江営業所 | 松江市和多見町一七五 | 電話0852(21)3747代 |
| 出張所 | 富山・岐阜・滋賀・兵庫・岡山・広島・愛媛・福岡・静岡 | |

## 大末建設株式会社

取締役社長　山本末男

| | | |
|---|---|---|
| 本社・本店 | 大阪市南区大和町1番地 | TEL06(213)0555(大代表) |
| 支社 | 東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 | TEL03(294)4311(大代表) |
| 支店 | 東京・札幌・仙台・新潟・名古屋・京都・神戸・和歌山・広島・九州・沖縄 | |

## 大成建設株式会社

取締役社長　南幸治

専務取締役　北村善治

常務取締役支店長　佐古一

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 東京都中央区銀座2丁目5番11号 | TEL東京(567)1511大代表 |
| 大阪支店 | 大阪市東区本町4丁目27番地 | TEL大阪(262)1131大代表 |
| 支店 | 東京・名古屋・横浜・福岡・高松・新潟・仙台・札幌・広島 | |

## 大日本土木株式会社大阪支店

関西駐在常務取締役　山田豊

常務取締役支店長　高木政夫

| | | |
|---|---|---|
| | 530 大阪市北区堂島北町9 | 電話 06(341) 代表5931 |
| 東京本社 | 162 東京都新宿区市ヶ谷田町2丁目35 | 電話 03(268) 5511 |
| 本店 | 500 岐阜市六条1483番地5 | 電話 0582 (72) 3141 |
| 支店 | 東京・横浜・仙台・名古屋・九州 | |
| 営業所 | 神戸・京都・奈良・大津・和歌山・上六・高松・岡山・広島 | |

## 株式会社竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

| | |
|---|---|
| 本店 | 大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表) |
| 支店 | 札幌・仙台・東京・横浜・千葉・静岡・名古屋・富山 |
| 営業所 | 京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・北九州・沖縄 |

## 鉄建建設株式会社大阪支店

取締役支店長　金子越郎

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル)　電話 (358) 0321 (代表)

本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京 (262) 3411 (代表)

## 東海興業株式會社大阪支店

大阪駐在専務取締役　小松英二　　常務取締役支店長　金野祐吉

本　社　東京都千代田区丸の内3−4−2 日石ビル　電話 東京 (212) 3261
大阪支店　大阪市北区豊宮町3−2 住生豊崎ビル　電話 大阪 (373) 1181
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌

## 東洋基礎工業株式会社

取締役社長　杉村　繁
取締役所長　石井　蔀

本　社　東京都渋谷区広尾五丁目4-12(大成鋼機ビル)　電話 03 (444)2141
大阪営業所　大阪市西区京町堀1丁目156(中谷ビル)　電話 06 (441)6678

## 戸田建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　加納秀雄

大阪市東区本町3丁目27の1 (センバ・セントラルビル)
電話(252) 6311(大代表)
本社・東京都中央区京橋1丁目3番地
支店　名古屋・札幌・仙台・関東・横浜・広島・福岡

## 飛島建設株式會社大阪支店

常務取締役支店長　木脇　準

大阪市東区島町2丁目28番地　電話 大阪 (942) 2481(代表)
本社 東京都千代田区九段南2丁目3番28号
電話 東京 (263) 3151(大代表)

## 株式会社西田工務店

取締役社長　西田義郎

大阪本店　堺市石津西町7番地 臨海センタービル内　TEL0722(44)5221
東京支店　東京都新宿区西新宿1丁目21番地 明宝ビル11F　TEL03(343) 0351
本　社　岸和田市上野町西26番33号　TEL0724(23)2881

## 明日をささえる　西松建設

大阪建築支店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地
専務取締役支店長　鈴木襲吉
本　社　東京都港区芝西久保桜川町13番地

## 日生不動産株式会社

代表取締役社長　星野健児

大阪市東区本町四丁目一番地　TEL (262) 2841(代)

## 日東建設株式会社

取締役会長　長久保俊夫
取締役社長　石澤六郎
取締役支店長　本澤平八郎

本社　102 東京都千代田区平河町1丁目4番地9　電話東京　03 (265) (大代表) 4281番
支店　530 大阪市北区末広町12番地(新末広ビル)　電話大阪　06 (351)代 0623 番

## 日本建設株式会社

社長　生田重政

本　社　大阪市東区安土町4－5　TEL (261) 7591－6　〒541
支　店　東京・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国・沖縄

## 野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋二丁目九番地　電話 (202) 代表4791
東京支店　東京都千代田区大手町二丁目一番一号　電話 (241) 代表4171

## 株式会社 間組大阪支店

専務取締役
支店長　岩波光明

大阪市東区瓦町5丁目20番1号　電話 (201) 2751(大代表)
本　店・東京都港区北青山2丁目5番8号　電話 (405) 1111番(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・高松・海外工事局

## 長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電　話 (771) (代表) 4148・4149・4140
工作場　大阪市生野区巽四条町103の2
電　話 (791) 2744番



## 株式会社 富士工 西日本支社

取締役支社長　二　村　和　男

大阪市北区兎我野町108(聚楽ビル)　TEL 06-313-1081㈹ 〒530
本　　社・東日本支社・東京都港区高輪2－21－46　TEL 03-449-1111㈹ 〒108
支　　店・札　幌・横　浜・仙　台・名古屋
営　業　所・青森・福島・千葉・浦和・宇都宮・多摩・沼津・松本・京都・神戸・岡山・高松・福岡・熊本



## 未来をひらく フジタ工業

常務取締役大阪支店長　古　賀　文之介

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話 (345) 代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ヶ谷4－6－15
支店・東京・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島
九州・仙台・リマ・カラカス・サンパウロ



## 不二建設株式会社

取締役社長　山　口　吾　郎

本　社　大阪市西区阿波座上通4丁目8　〒550 電話 大阪 (06) 541－5534代表・9301代表
支　店　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 東京 (03) 377－5171代表
　　名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460 電話名古屋 (052) 321－8481代表
出張所　大　垣・京　都・姫　路・岡　山・博　多・大　分



## 不動建設株式会社

取締役社長　庄　野　　勝

大阪本社　大阪市東区平野町5丁目　0番地　電話　大阪 (201) 1121
東京本社　東京都中央区銀座4丁目2番16号　電話　東京 (567) 1751



PSコンクリート・シルバークール(24M長大スパン屋根版)
PC住宅・システム工法・各種プレコン

## フドウ建研株式会社

取締役社長　諫　早　信　夫
専務取締役　平　原　鴻　資

本　　社　東京都中央区銀座4丁目2－2 弥生ビル　〒104　TEL (03) 561－3581
大阪支店　大阪市東区平野町5丁目30 不動ビル　〒541　TEL (06) 201－3737
工　　場　滋賀工場 (07487) 5－1220　　水口工場 (07486) 2－2225



## 株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤　木　鐵　三

本　　社
大阪本店・大阪市東区両替町一丁目十三　電話　06(942) 1461(代)
支　　店・東京都新宿区三栄町二三ノ四　電話　03(357) 1611(代)
　　倉敷市鶴形一丁目十ノ三二　電話　0864(22) 3330(代)
　　高松市丸ノ内十一ノ十三　電話　0878(51) 7272(代)
　　京都市右京区西院寿町十三　電話　075(311) 4131(代)
出張所・名古屋・津・静岡・岡山・新居浜・徳島・福岡・熊本

## 真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市西区京町堀3丁目12番地　電話 大阪（06）44 −0641(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京（03）263−1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟

## 前田建設工業株式会社大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942) 1301 (代表)
本社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

## 株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 大代表 大阪(353)1131
支店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

## 株式会社 水間組

取締役社長　水間義雄

本社　大阪市都島区東野田町1丁目1番4号　電話 大阪(06)352−3121(代)
営業所　滋賀県大津市中央4丁目116の6　電話大津(0775)22−6400

## 三井建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　竹内慶久

大阪支店　大阪市北区中之島3−7(三井ビル2号館)　電話大阪（443）代表1321
本社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支店　東京土木・東京建築・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

## 株式会社 村上工務店

取締役社長　村上秀二

本社　大阪市大淀区豊崎東通り3丁目16番地の16　TEL（372)2924
営業所　東京・神戸

# 村本建設株式会社

代表取締役社長　村本豊嗣

本　店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７　電話　大和高田　(55) 1151(代表)
大阪本社
大阪支店　大阪市天王寺区上本町９丁目４９　電話　大　阪　(779)1571(代表)
東京支店　名古屋支店　福岡支店
電話 東京 (265)5851㈹　電話 名古屋 (241)1511㈹　電話 福岡 (741)0119

# 望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区堂島上１丁目18　電話大阪(344) ８６５１(代表)

# 株式会社 森組

取締役社長　森　幸治

本　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話　201－2761(代)
(支店)　東京・名古屋・奈良 (営業所)和歌山・尼崎・神戸・岡山・仙台・京都・滋賀・福岡・宮崎

# 株式会社 盛工務店

代表取締役　盛道雄

本　社・大阪市北区南森町４７(成興ビル)　電話　(364) 1581(代)
営業所・神　戸・赤　川・西　宮

# 矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三
本　社　東京都中央区銀座七丁目11－3　電話 東京 (572) 代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話 大阪(244)大代1181
取締役副社長
支店長　仁平信也
支店・営業所　仙台・福岡・蒲郡・和歌山

# 株式會社 米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢坂上ノ町７　ＴＥＬ　大阪(06)771-7771代表

# 賀　正

## 1974

## 建材・設備・工事業者有志




### アイエム換気工業株式会社

代表取締役　松岡晃一郎

本　　社　大阪市浪速区芦原町1183　TEL (06) 561－3901代
東京出張所　東京都豊島区西池袋5－13－13　TEL (03) 982－0271
泉北出張所　堺市泉北若松台1－1－1310号　TEL (0722) 92－3321




防熱工事設計施工

### 株式会社 井上浄夫商店

取締役社長　井上浄夫

本　社　大阪市西区江戸堀1－101　電話(06)441－8531㈹
支　社　東京都中央区八丁堀4-2-2 共同ビル八階　電話(03) 551－6756
工　場　岡山市中原375　電話(0862)52－5371




タイル・瓦工事

### 井上窯業株式会社

代表取締役　井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 771－2825(代)
営業所　豊中・奈良・寝屋川　779－5323～4




### 株式会社 梅彦

代表取締役　松永彦太郎

本　　社　大阪市北区舟場町20番地　電話 06 (371) 4036代
営 業 所　大阪市北区道本町40番地　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726 (43) 6149代



### 大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話代表 06 (441) 0931
営業所　東京都港区西新橋2－26－1　電話代表 03 (437) 2577～9

不　燃(個) 第1118号
〃　第1131号
準不燃(個) 第2125号
〃　第2140号
屋根・壁・谷樋材
銅工事全般

施設に保護を!!
設備を大事に!!

# 大島応用化学工業株式会社

代表取締役社長　田　中　政　二

〒578　東大阪市新庄114番地　06 (745)5121(代)
店所　東京・横浜・千葉・名古屋・四日市
広島・宇部・大牟田・高松・新居浜

---

## ＊特許小俣式防火シャッター

防煙・防火は KOMATA で… OK!

取締役支店担当　地頭政人
大阪支店長　栗栖千宣

# 小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区此花町２－51(第５新興ビル)　電話大阪 (353) 7 3 7 7 代
本社工場　東京都北区田端町１１３８　電話東京 (893) 5 2 1 1 代

---

# 株式会社 カンダン

取締役社長　仙　田　四　郎　　旧社名　関西煖房工業株式会社

空気調和設備
給排水衛生設備 設計・施工
各種プラント設備

各種送風機・風力輸送装置
設計・製作
空調機器類・公害防止装置

本　社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
TEL：６７２－１２８１(大代表)
営業所　東京・名古屋・広島・京都・福岡
工　場　和　泉・名古屋・福　岡
テレックス：本社NO.526-7688．和泉工場：NO.538-5898

---

# 株式会社 木下謹三商店

取締役社長　木　下　光　雄

〒550　大阪市西区江戸堀５丁目５番地　電話 06 (443) 0115

---

冷暖房・空調機器製作

# 木村工機株式会社

代表取締役　木　村　悦　也

本　社　540 大阪市東区上町13番地　電話 (06)761－６９２１番
営業所　東　京・名古屋・福岡　　工　場・八　尾

---

製品名
アスファルトルーフィング
アスファルトフェルト
特殊ルーフィング
A絶縁用ルーフィング
Bベース用ルーフィング
Cミネラルルーフィング
Dエフロンルーフィング

ライオン印

# 株式会社 工盛社

〒536大阪市城東区鴫野西５－16－43
電話 大阪 (961) 4 4 6 0
(962) 1 2 8 8

年限仕様によるアスファルト防水工事

# 大阪アスファルト事業協同組合

〒536大阪市城東区鴫野西５-16-43(工盛社内)
電話　大阪 (961) 4 4 6 0 (962) 1 2 8 8

品目
● カネボウ ゴーレックス防水 建設省認定の防火材料
セメント系吹付材 ソリジットスタイン 基材同等 0003号
特殊リシン吹付材 エバウォール 基材同等 0003号
アクリル系吹付材 エバーサンド 基材同等 0004号
ヒル石吹付材 エバテックス 基材同等 0004号

## 合同特許建材工業株式会社

代表取締役 山下密男
本社営業所 大阪市東住吉区駒川町3－54 電話 (702) 代 7814～7
出張所 東京・名古屋・今治・福岡・札幌

アルミサッシ・ドア、住宅用サッシ、ストア・フロント
アルミ流し台、フレクサラム、スパンドレル

## 三協アルミニウム工業株式会社大阪支店

取締役 支店長 平能秀一
本社・工場 富山県高岡市早川70 電話0766－22－5030
大阪支店 大阪市西区靱1-123(近畿富山会館) 電話 443－9601～4

## 株式会社 シエル石油大阪発売所

フリントコート部
部長 栗山和三
本社 大阪市北区堂島浜通り1－25 電話 大阪(343) 0441大代表
分室 大阪市東淀川区西中島町2－76 電話 大阪(303) 7131 代表
事務所 東京・名古屋・広島・福岡

建築資材・金物総合メーカー

## 渋谷金属産業株式会社

SHIBUTANI
取締役社長 渋谷幸雄
本社 大阪市南区鍛冶屋町52 電話 大阪 (211)－7333㈹
支店 東京都渋谷区千駄ヶ谷5－16 電話 東京 (356)－7671㈹
営業所 札幌・名古屋・高岡・広島・福岡

## 新日本空調株式会社大阪支店

支店長 堀田雅邦
大阪支店 大阪市北区堂島浜通1－25－1(新大ビル) 電話大阪 (344) 6031(代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第2別館) 電話東京(279)5671(大代)

## 須賀工業株式会社

取締役社長 須賀孝
本店 大阪市西区土佐堀通1丁目 電話 (06) 441－5171
支店 東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡・札幌・千葉・横浜・静岡・広島・高松

## 精研冷機株式会社

取締役社長　木内清三
専務取締役　和田正八郎

本　　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地（オートセンタービル）電話768-5031㈹
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル）電話262-3241㈹

---

鉄骨・鉄塔
橋梁・製缶　鉄構造物設計施工

## 株式会社 大成鉄工所

代表取締役　高杉善久

本社工場　枚方市出口3丁目1の11　電話（0720）31－7001～8
京都工場　京都府相楽郡山城町西河原5　電話（0774）86－3922～6
広島営業所　広島市横川町新町8－19（ライトビル）　電話（0822）32－8859

---

## 株式会社 大和商会

取締役社長　澤井修

大阪市南区高津町4番丁73　電話 代表 大阪 06(631)6221番

---

東西日本アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

## 株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221(代)

---

大阪ガス風呂ショップ
TANAKA BATH LIVING

## 株式会社 タナカ風呂

代表取締役　田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747　（但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）
電話（649）-3726代（ミナフロ）
工場　守口市大宮通り4丁目25　電話（997）0171代

---

## 田島応用化工株式会社 大阪営業所

大阪営業所　大阪市西区京町堀1－74　電話　06（441）－5951㈹
東京営業所　東京都千代田区岩本町3－11　電話　03（866）－6101㈹

産業と健康に奉仕する《空調・熱工学関連システム》

## 高砂熱学工業株式会社

本　　社　東京都千代田区神田駿河台４－２　電話 255－8211(代)
大阪支店　大阪市北区芝田町55　北阪急ビル　電話 372－2511 (代)

建設省計振発55号認可

## 東亜アスファルト防水事業協同組合

理　事　長　お井初治

大阪府八尾市南太子堂６丁目４番２７号　TEL 0729(23) 3921

## 東亜工業株式会社

取締役社長　新田泰次

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－23－3921
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

## 特許 強力アスロン・アスタイト防水

東西アスファルト事業協同組合

東　京：東京都千代田区岩本町３－１１　電話 (03) 866－6101
大　阪：大阪市西区京町堀１－７４　電話 (06) 441－5951

東邦パーライト軽量断熱コンクリート、東邦パーライト軽量断熱モルタル、建設省防火認定材料(ネオパールスキン)

## 東邦パーライト株式会社

取締役社長　橘　泰治

本　社　大阪市東区森之宮西の町594　電話 (941)9243～7 (代)　営業所　東京、広島、高松、金沢

巴ボイラ

## 株式会社 巴商会

取締役社長　岡本利正
取締役支店長　児島義矩

本　社　東京都千代田区神田鍛治町３－３　TEL 03(245)2611大代
支　店　大阪市北区堂島上２－３８　TEL 06(344)1441大代

# 友田工業株式會社

取締役社長　友田俊夫

本社　〒534　大阪市都島区都島中通3丁目3番6号　大阪電話 06（921）0331～6

TOTO特約店　株式会社　ナニワ

代表取締役　吉田広助

営業所　大阪市生野区巽西2丁目7番24号　電話 757－1101(代)
本　社　大阪市天王寺区烏ヶ辻町61　電話 771－9123(代)

株式会社　西原衛生工業所大阪店

取締役社長　伴　一郎

大阪市大淀区中津南通4丁目11番地　電話大阪（458）代3531番

登録商標

# 日亜金属興業株式会社

取締役社長　廣野悦二

本　社　大阪市北区木幡町82番地　〒530　TEL 06－364－2771大代
営業所　東京・名古屋・福岡　　代理店　国内9地区

大阪で唯一の

PRESS

株式会社　日刊建設新聞社

取締役社長　中山豊雄

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202－6861(代表)

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

PRESS

株式会社　日刊建設産業新聞社

取締役社長 花村茂彦　　取締役支社長 山邊敏郎

大阪支社　大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
本　社　東京都板橋区板橋町1丁目48－8　電話03(961)1691(代)
神戸支局　神戸市葺合区八幡通5丁目6－1　電話078(291)0541－2
京都支局　京都市右京区鳴滝本町11－4　電話075(463)0683

株式会社 日刊建設通信関西支社

代表取締役会長　田　中　　一

取締役支社長　森　　三　郎

大阪市西区京町堀1－68　電話（444）4451代表

本社・東京都港区西新橋2－11－4　電話（502）8581代表

日本アスファルト年限保証防水（日本アス協組員）
ニトルーフシート防水 } 冷工法
NPシート2号防水 }
東洋シート防水．ウレタン．N.S塗膜防水工法（冷工法）

日新工材株式会社

代表取締役　井　場　正　幸

大阪市西区新町北通1－17　電話（541）3785～6・2721

日泉化学工業株式会社

専務取締役　一　宮　能　和

本　社　新居浜市新田町3丁目7－17　TEL0897(33)4171大代

営業本部　大阪市西区土佐堀通1丁目27－2　TEL06（443）2261代

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K. K.

代表取締役　長尾正大

本　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目　天六阪急ビル　電話 06（351）4927代
東京営業所　東京都北区田端町311　東京建築興業ビル　電話 03（822）0995代
工　場　大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地　電話 06（328）0363代

伝統から創造へ躍進する

日新工業（株）大阪支店

本　社　東京都足立区千住東2丁目21番28号　電話 03（882）2424
大阪支店　大阪市東淀川区瑞光通4丁目30番地の2　電話 06（329）7737代
営業所　札幌・山形・東京・名古屋・広島・九州

建設省東計
第240号認可

日本アスファルト防水工業
協同組合　関西支部

大阪市東淀川区瑞光通り4-30-2 日新工業株式会社大阪支店内
電話（329）7737～40

生活改善産業をめざす

## 日本熱学工業株式会社

取締役社長　牛田正郎

大阪本社　大阪市東区瓦町5丁目37番1住生瓦町ビル　TEL大代表(201) 1751

東京本社　東京都港区芝西久保桜川町2 第17森ビル　TEL大代表(501) 7631

---

ボイラ製品・販売

## 株式会社 ニホンボイラ

代表取締役　岡本了

本社　大阪市西淀川区佃2丁目5－35　TEL 06 (474) 3441 (代)

営業所　東京・名古屋・仙台・福岡・広島・松山・新潟

---

HI

## 原田今商事株式会社

アサノセメント
アサノコンクリート
日本YTONG

取締役社長　原田守蔵

本社　電話06－541－7455(代)

水分営業所　電話06－541－3843～4

---

## 阪急電気工事株式会社

取締役社長　杉村正三郎

本社　大阪市東淀川区十三西之町3-34　電話　代表 06 (302)0231

営業所　名古屋市南区観音町6－7　電話　代表 052 (692)1141

---

Vandex®

無機質浸透性塗布防水剤

ウレタン防水剤―バンデコート・カラーバンデコート
防塵用カラー床剤―バンデコート F500
ウレタンシーラント―S-340・S-350
内装用輸入タイル―イタリアンタイル

〈信越化学グループ〉

## 株式会社 バンデックス・ジャパン

代表取締役社長　村川一雄

関西営業所所長　南澤甚八

本社　東京都中央区八丁堀2－27－10　03－552－6954(代表)

関西営業所：大阪市北区伊勢町19-2 高橋ビル北2号館　06－312－5765

---

電気設備工事　計装工事

## 富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65　電話(541) 0564代表

営業所　東京・名古屋・広島・福岡

## ホーチキ株式会社　大阪支社

取締役支社長　藤　原　智　治

本　社　東京都品川区上大崎２丁目10番43号　ＴＥＬ 03(444)4111(大代表)
支　社　大阪市西区立売堀上通１丁目25番地　ＴＥＬ 06(532)5251(代　表)

## 保土谷化学工業株式会社

取締役社長　原　　覚

本社・建材部　東京都港区芝琴平町２番地１　ＴＥＬ 03（502）0171
大阪支店　大阪市東区高麗橋５丁目45番地　ＴＥＬ 06（231）1212
名古屋営業所　名古屋市中区錦１丁目17番13号　ＴＥＬ 052(231) 7251

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
コーキング　販売施工
ピサロン　販売施工

## 三星産業株式会社

〒550 大阪市西区江戸堀１－126(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

親切真心で御用させて頂きます

## 宮地空調専門店

大型パッケージ・
ヒーター等々
市価の半値以下の
出物も少量あります



代表御用役　宮　地　一　彦
大阪市西成区山王３－１６－１７
代表　649－0008
夜間　641－1242

## 室谷商事株式会社

取締役社長　室　谷　山　水

本　社　神戸市生田区北長狭通４丁目　電話078－331－０８８１
支　店　大阪市北区絹笠町５０(堂ビル)　電話06－ 364－２０３１

アルミ押出形材より…アルミ建材製品まで…

引戸用レール各種
階段スベリ止各種
アルミ窓格子、手すり
アルミ脚立、椅子
アルミスパンドレル

## 安田株式会社

取締役会長　安　田　誠　一

本　　社　大阪市南区末吉橋通１－１７　ＴＥＬ06 (251)7091㈹
東京営業所　東京都中央区日本橋本町4-3-6 ニンジンビル　ＴＥＬ03 (242)1741㈹

アルミ押出工場　安田金属工業株式会社　大阪市東住吉区加美絹木町４－97　ＴＥＬ06 (791)3936㈹



## 世界の照明—日本のあかり

＊昭和49年1月より定休日を毎週(水)曜日に変更させて戴きます。

**ヤマギワ電気**

大阪・日本橋3丁目 TEL (06)643-2111(大代)
取締役・大阪店店長 千種明夫
東京・名古屋・名古屋メルサ・横浜・大宮・千葉・札幌・福岡・岡崎

---

M.Y

## 株式会社 山本金属製作所

取締役社長 山本正治

本社・本社工場 大阪市南区西賑町25番地 TEL (761)0127代
守口工場 守口市浜町2丁目1番地 TEL (993)7192

---

四ツ橋

耐火建材・金属建材・住設材

## 株式会社 山本建材社

代表取締役 山本武雄

本社 大阪市西区四ツ橋筋・四ツ橋 電話 541－1861～7
東店 東大阪市金物町3号1番 電話 723－2277～8
西店 大阪市西区堀江立花通2の9 電話 新設中

---

## 山本窯業化工株式会社

取締役社長 山本泰通

本社・工場 大阪府摂津市東別府1-3-6 電話(06) 381－9131～5
営業所 東京・名古屋・大阪・広島・福岡・仙台

---

## 銘木と建材

## 株式会社 吉川

本社 和歌山市西布経町1の1 電話 0734(23) 5257(代)
営業所 和歌山県海草郡下津町下222 電話 07349(2) 1423(代)
営業所 田辺市新庄町491 電話 0739(22) 0259・6350
配送センター 和歌山市中島字荒代新田618－3 電話 0734(25) 5595

---

ラバシール

ウレタン・エポキシ系
合成ゴム塗膜防水剤
——責任施工——

## ラバレヂン工業株式会社

取締役社長 原淳

本社 大阪市浪速区桜川5丁目2番地の8田坂ビル 電話 06(561)6601(代)
出張所 名古屋市北区清水町6の4 電話 052(911)6801
広島市西白島町6の21 電話 0822(28)3500
和歌山市豊原町2－4 電話 0734(36)0812

信用ある技術と伝統の

# アスファルト工事 専業大店

シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事

## 株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　TEL 06-364-0206 代表

# 室谷

## 内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3

支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4

倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5　（電話221 2923）

OKUYAMA KAKOGYO WATER-PROOF OAM

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

## カッパー防水帯 コーパータイト

新工法！
プレノテクト吹付工法

8対2の防水(冷工法) デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

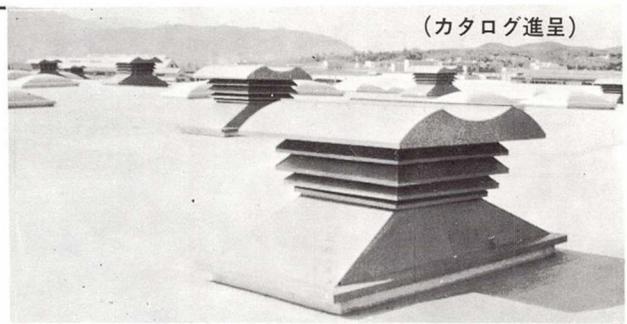
## 奥山化工業株式會社

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 東京都中央区銀座8－4－11 | 電話・03(571)2703～4・2370・4064・0264 |
| 大阪出張所 | 大阪市都島区都島中通り2-3-1 | 電話 06(921)2497・(922)7280 |
| 名古屋出張所 | 名古屋市南区若草町33 | 電話 052(811)3660・3104 |
| 札幌出張所 | 札幌市中央区北三条東四丁目 | 電話 011(231) 7 5 1 1 |

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



## 岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981) 0615～0618

電気設備工事設計施工

## 浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701

支社・支店　東京・札幌・名古屋・福岡
営業所　旭川・神戸・姫路・高松・広島
出張所　苫小牧・浜松・光・沖縄

---

電気設備 ε 設計施工

## 朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385) 1361

本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385) 1361

京都営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311) 1185

---

電気工事・計装工事
設計施工

## 栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地（東阪急ビル）
電話　大阪　(313) 1101　(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

---

電気設備工事設計施工

## 東光電気工事株式会社
## 大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪 (202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

---

電気工事設計施工

## 株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 (361) 3671 (代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 (671) 1478 (代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

---

電気工事 中 設計・施工

## 中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪 (931) 代表 7341～5
(0388)2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町3丁目11　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通360　電話御所2
枚方営業所　枚方市山之上西町1の1　電話枚方(43)8659・(44)9232

---

電気・暖冷房・空調工事設計施工

## 三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話 (364)1471(代)
支　店　東京都港区新橋二一一六（ニュー新橋ビル七階）
電話 (504)0231
支　店　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (991) 5131(代)
営業所　神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

---

各種電気工事設計施工・制御盤製作

## 野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話　大阪 (472) 代表 1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号（福島ビル）
電話　東京 (491)1746 (492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話　小倉 (56) 5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

---

電気工事・計装工事・設計施工

## 中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表 (312) 8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

---

電気工事設計施工

## 富士電業株式会社

取締役社長　田中　実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪 (541) 0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

---

電気工事設計施工

## 太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06) 462－1301(代)

---

各種電気工事設計施工

## 株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　大阪 (364) 代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京 (434) 3848・(431) 8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

## 株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町1-2-7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

---

空気調和設備
衛生設備　設計施工

## 三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話(352)1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

---

電気・空調・給排水衛生設備
設計施工

## 大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷健児

本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・新潟・仙台・金沢・岡山・広島・高松・熊本
出張所　盛岡・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島

---

空気調和・衛生設備

## 株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話06－363－1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話03－292－7751
名古屋市中村区広小路西通3丁目9番地　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－76－3795
出張所　富山・福井・京都・神戸・松江・沖縄

---

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

## 株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

---

――冷・暖房、衛生、機器配管、設計施工――

## 株式会社 清水工業所

本　社　大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
〒531　電話 大阪(372)2851(代表)
東京支店　東京都中央区八丁堀4丁目11番7号
〒104　(神谷ビル)
電話 東京(551)8041(代表)
出張所　鳥取・群馬・宇都宮・君津
島根・福岡・松山・高松

---

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備
■その他管工事一切の設計・施工

(旧斎藤久孝事務所)

## 斎久工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区常安町11　電話 06－443－5041代
東京本社／東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビルヂング)
電話 03－270－7411代
営業所　札幌・仙台・金沢・高松・岡山
出張所　福井・倉敷・広島・苫小牧

---

## 新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話 (06) 344－6031(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5671(大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

---

創　業 暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年 病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

## 株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号　電話 212代3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル616号　電話 443代3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681代1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

---

空気調和　衛生設備／設計施工

## 須賀工業

大阪市西区土佐堀通1-14　TEL 06-441-5171
支　店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所　札幌・千葉・横浜・静岡・高松・広島
出張所　金沢

---

冷暖房
給排水、衛生水道
電気
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

## 三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
支店長　藤田初蔵

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202)代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

---

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

## 精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪(06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話 東京(03) 262－3241～4番

●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機●公害防止関連機器／設計・製作・施工

## 大気社

（旧社名　建材社）

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸・高松
広島・松山・福岡・沖縄・バンコック

---

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

## 株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 **電話大阪(458)3531番**
出張所＝京都・福岡

---

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

## 高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地（北阪急ビル9階）
電話 大阪（372）2 5 1 1（代表）
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

---

## ㊎ 平山工業株式会社

衛生・空気調和設備 ・ 設計・施工

TEL（441)㊫ 1994.（443）㊫0331　大阪市西区江戸堀通2の2

---

**温湿度調整装置、暖房**
**冷房、水道、搬送機設備**
設計並ニ施工

## 第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話（364）6661(代)
本社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話（211）8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町 6 0
電話（21）4 4 9 1
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話（971）3 6 2 1

---

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備　設計施工

## ㊊ 不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㊫
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㊫
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

---

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

## 東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

---

**冷暖房・温湿度調整・水道**
**衛生・環境衛生施設**
設計施工

## 山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 8161(大代表)
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階　電話（583）1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話（341）1778・4386

---

**温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備**
設計並施工

## ㊐ 日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話（352）3501～3
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
大津営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

---

**空気調和設備**
**給排水衛生設備　設計施工**
**各種プラント設備**

各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置　設計製作

## 株式会社 カンダン

代表取締役　仙田四郎
旧社名　関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL（672)1281(大代)
営業所　東京・名古屋・京都・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No. 538－5898

---

Carrier

## 冷暖房は キャリア

CARRIER

東洋キャリア工業(株)デストビューター関西地区

## ㊐ 日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪（384)1201～7

株式会社 矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話 大阪 (202) 4905

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。
株式会社 吉田芳雄商店
本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売……古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社 大仏
本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4　03 (467)1641
工　場　京都清水・山城・瀬戸

家具造作・室内装飾 設計施工
(創業大正7年)
二葉屋装備工業株式会社
摂津市東別府3丁目7番8号
TEL大阪 (06)349—9193代表

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目四二電話(641)五五五

建設省認定の防火材料
営業品目
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　0003号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　0003号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　0004号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　0004号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川町3—54　電話 (06)702—7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
ヒューム●パイプ
株式会社 三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪(358) 4031

Standard
3+7=
Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区加美末次町8—92　TEL大阪06 (792) 代5858

奉仕感謝の店
タイル工事施工
特許申請中・完全滑止タイル
SSS(サンエス) タイル新発売
(カタログ進呈)
株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区靱本町2丁目98番地(靱本町バス停前)
電話 大阪 06 (532) 代0461
姫路営業所　姫路市北条口126番地 (住友生命保険ビル3階)
電話 姫路0972 (82) 0999

青写真とマイクロフィルム
株式会社
ナイガイ
製図・トレース・複写写真
本　社 大阪市北区堂島北町16 TEL (345)9055(代表)
御堂営業所 大阪市東区本町4-27御堂ビル TEL (252) 3906
横堀営業所 大阪市東区横堀2—36 TEL (202) 5260

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

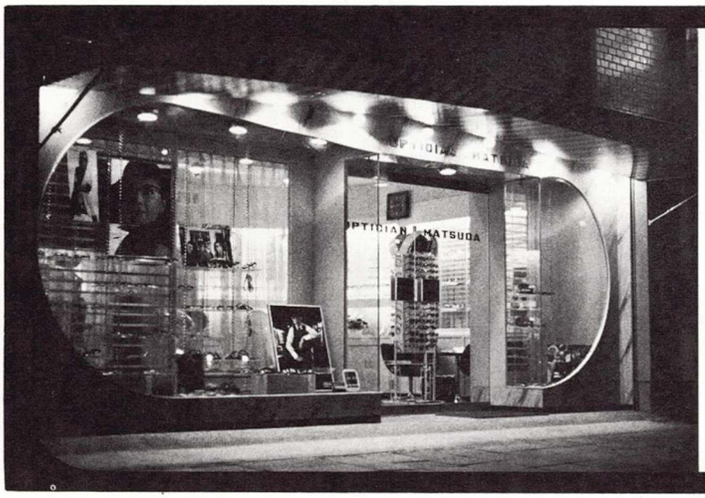
65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)65－5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021



'70年代をリードする
店舗づくりのパイオニア

店舗各種 陳列ケース 冷凍ケース 電飾看板

製造直売・すべて工場渡しで奉仕する

スーパーマーケット ・ 各種専門店

店舗綜合企画・指導・設計・施工
大阪サツマ店装製作所

〒516 大阪市城東区茨田安田町100番地
☎ 911－9144代



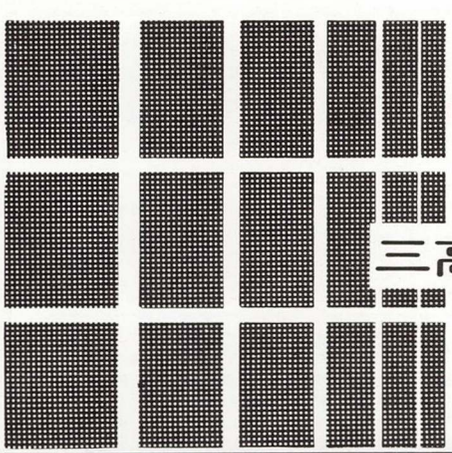

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル ☎(943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市



スチール
アルミ
ステンレス

サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話 大阪(499) 8151 代表

石綿セメントの最高水準を行く!!

# アスベストバリヤ

Asbesto Barriev（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室、発電所、配電室、製鋼、ガラス工場の壁、製糖、製油製薬工場の床、スカート壁などに最適。

（呈カタログ）

泉石綿工業株式会社
大阪市北区同心町１の11　電話(351)3442･4078

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹指）
モルタル工事

## N.G.C.式

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド　} 販売
各種シート防工事　責任施工
新防水材リベットルーフ　責任施工

## 内外工業株式会社

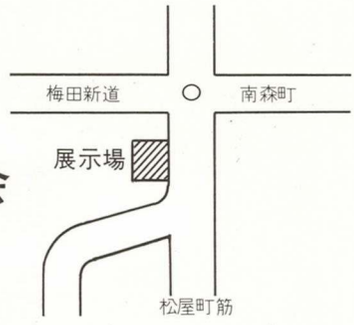
本社　大阪市東住吉区桑津町３丁目16番地　電話(714)0181番(代)
工場　大阪市東住吉区桑津町３丁目16番地

年中見ていただける　皆様の見本室

# タイル常設展示場

AM.10.00～P.M.5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館２Ｆ
TEL（06)364－2054




Taniyama
# 送風機

株式会社 谷山鐵工所



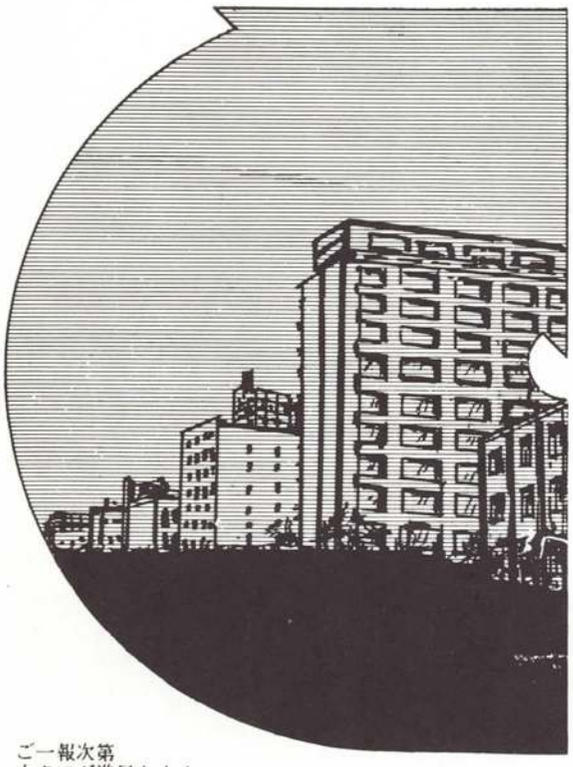
営業品目

| | |
|---|---|
| LAF リミットロードエヤーホイルファン | CAF 直流式静音送風機 |
| LEF リミットロードアードファン | VAF 可変式軸流送風機 |
| SAF ストリームラインファン | TAF 軸流送風機 |
| HAF ターボファン | JOY 可変節軸流送風機 |
| PAF プレートファン | マルチウイング軸流送風機 |
| MAF 多翼送風機 | 塩ビ製耐酸送風機 |

本社・工場　〒536 大阪市城東区野江東之町２丁目１番地
電話　大阪（06）９３１－７８０２(代)
東京出張所　〒113 東京都文京区湯島４丁目６番１７号
電話　東京（03）８１４－６６５１(代)
九州出張所　〒812 福岡市博多区下呉服町５番２１号
電話　福岡（092）２８１－７３９６番

モルタル・コンクリート用

# マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

**その他マノール製品**

**急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤**

**エスコート**（セメント起泡剤）・**エアコール**（場所打ち杭工法添加剤）

ご一報次第
カタログ進呈します

セメント混和剤・助材綜合メーカー

株式会社 **油脂化工社**

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

| | | |
|---|---|---|
| 関東営業所 | 茨城県土浦市大町１２１３ | ☎ 土浦 (21) ５１８９ |
| 東北営業所 | 福島県福島市下野寺字遠原 | ☎ 福島 (34) ７１１１ |
| 盛岡営業所 | 岩手県盛岡市南大通３－12－50 | ☎ 盛岡 (24) ０２１３ |
| 大阪営業所 | 大阪市東成区東中本２－17－26 | ☎ 大阪 (971) ４７６５ |

全国で好評の……

# 新興の内外装壁材を！

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上！

（旭化成ミュールコート・セット品）

## シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

## ミュールストーン

（旭化成ミュールコート・セット品）

純日本壁の最高峰

ヤマト 聚楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
} 主材 石綿

●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

発売元

**（株）新興建材工業所**
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～９
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

**新興壁材工業（株）**
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪 (672) １６６１～３

**（株）九州新興建材工業所**
福岡市博多区上牟田八田町２６の１　TEL 福岡 (41) ５２２５～６

腐らない・燃えない・軽い

## ケミカラーオーシマメタル

屋根材・壁 材・谷樋練包水切に
スタンダードメタルの 大島応用化学 東大阪市新庄（745）5121～5



親切真心で御用させて頂きます

大型パッケージ ヒーター等々
（市価の半値以下の出物も少量あります）

## 宮地空調専門店

代表御用役 宮地一彦
大阪市西成区山王3－16－7
代表 649－0008
夜間 641－1242

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

## オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種 オリエンタルメタル（O.P.M）
オリエンタルスーパーメタル（S.P.M）
オリエンタルカラードメタル（C.P.M）
カラースーパーオリエンタルメタル（C.S.P.M）

波板規格 S小波 S大波 V波 ボックス波 Wジャンボ波

用途 平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

カタログ御請求下さい。

## オリエンタルメタル製造株式会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社 | 兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル | 電話 | 大阪（412）5131代表 |
| 東京支社及工場 | 埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号 | 電話 | 蕨 （42）3115～8 |
| 大阪支社及工場 | 兵庫県尼崎市長洲稲川新田44 | 電話 | 大阪（488）1081代表 |
| 九州支店及工場 | 福岡県遠賀郡水巻町頃末 | 電話 | 八幡（69）2831～4 |
| 名古屋支店及工場 | 名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル | 電話 | 名古屋（581）2781～4 |



1950年代はアスファルトタイル、
1960年代はプラスタイルの時代、そして

# '70年代の床は

三星タイル
# ピサロン

**全く新しい床タイルです**

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

**協同組合員が責任をもって施工いたします**

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

**これからはピサロンの時代です**

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

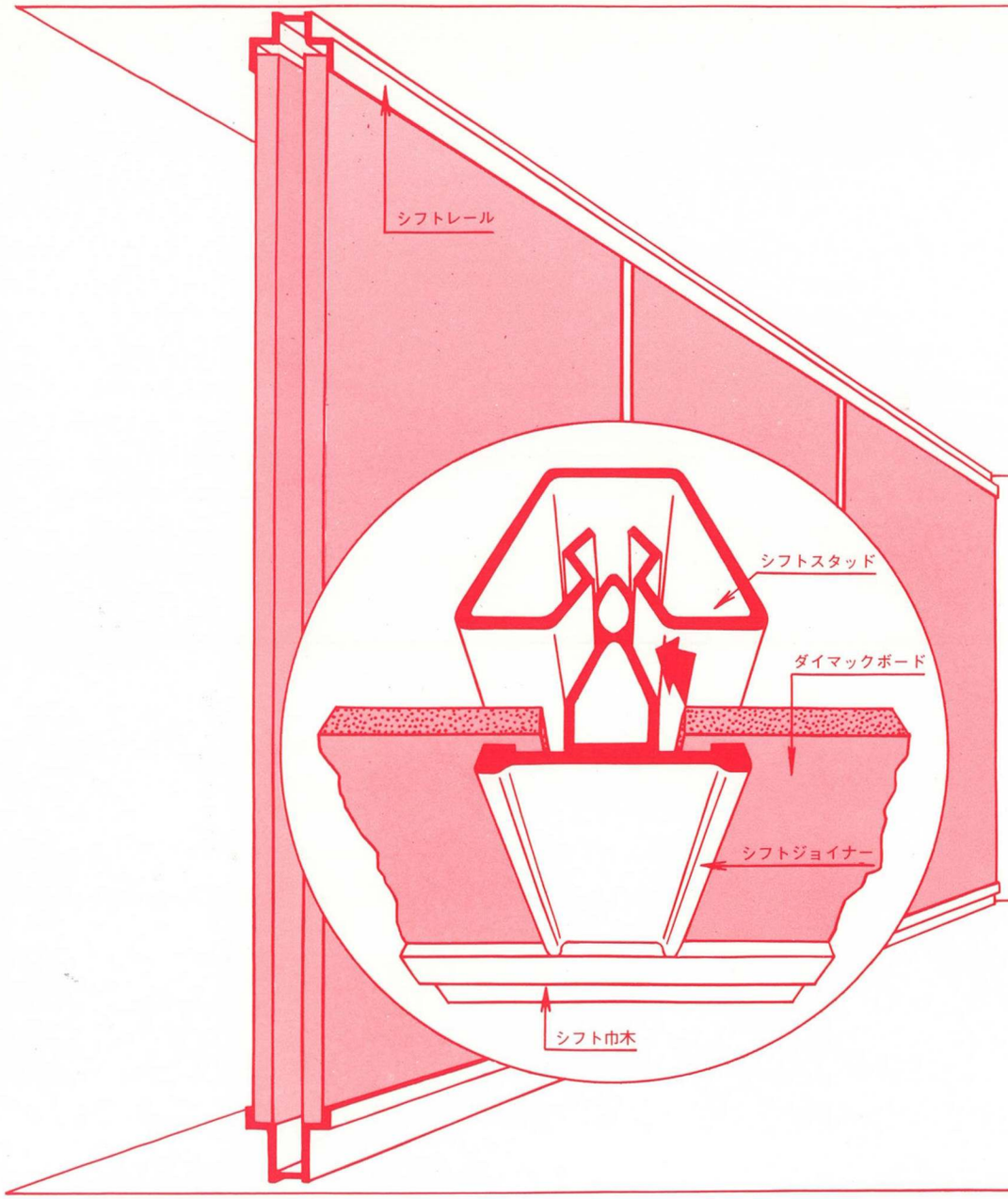
製造元＝田島応用化工株式会社

東京／東京都千代田区岩本町３の１１
電話　(866) ６１０１

大阪／大阪市西区京町堀１の７４
電話　(441) ５９５１

★規格＝333.3　×333.3　×２㎜　９枚／㎡
333.3　×333.3　×３㎜　９枚／㎡
★色数＝22色
★価格＝２㎜厚品　1,700円／㎡(300㎡以上)
３㎜厚品　2,350円／㎡(300㎡以上)
小部屋割増・階段40％高

# シフトスタッドとシフトジョイナーを用いたワンタッチ工法の新しいタイプの間仕切。




### 画期的なワンタッチ工法
シフトスタッドとシフトジョイナーを用い、ワンタッチでボードを貼り上げることができるので、今までの工法に比べ施工時間が大巾に短縮されます。

### ㎡当り20kgの軽さ
構成部材は単純化されながらも、能率的に機能を果す無駄のない設計です。ですから軽量化はもとより、運搬、作業能率もグーンとアップします。

### 透過損失41dBの遮音効果
日常会話の周波数250～2000Hzに対し、平均透過損失はグラスウール充填タイプで41.3dB, レギュラータイプで33.4dBのテスト結果から、従来の可動間仕切の常識を越える遮音効果です。

### 法規にマッチした防火性能
スタッドはスチール材、レール、巾木、ジョイナーはアルミ押出形材、貼上材は専用表面仕上材ダイマックボード（建設省防火建築材料認定品準不燃、認定番号2005）で低層ビルから高層ビルまで、建築基準法の内装制限に十分合格する不燃材です。もちろん、火災時に有害なガス、煙は出ません。

### 熱貫流抵抗値1.4㎡hr°C/Kcal
グラスウールを充填すれば、ダイマックボードの特性とあいまって高い断熱性が得られ、経済的な空調と快適環境が得られます。

### 斬新な壁面デザイン
ダイマックボードを天井まで中継ぎなしに1枚ものでおさめられ、今までの間仕切にない壁面デザインです。また、シフトジョイナーはダイマックボードの色に合わせています。

### 仕上材の色柄の取替自在
片面を木目柄、もう一方の片面を単色柄という具合にダイマックボードの取り替えだけで部屋の模様替えができます。

### 汚れに強い
専用表面仕上材ダイマックボードは耐汚染性、耐光性にすぐれた高級不燃化粧石こうボードで、水ふきはもとより、汚れをシンナーでふいても退色せず簡単にとれます。

### 解体再使用も可能
貼上げに釘やネジ、接着剤など一切用いない工法ですから、ボードに傷をつけることなく解体再使用ができます。

### 注目される経済性
シフトールは今までの間仕切にない数々の特性をもちながら画期的な低価格で、予算面でもゆとりある計画が進められます。

●アイデアで創りあげた新しいタイプの間仕切

# シフトール®

特許出願/1件 実用新案・意匠登録出願/37件 海外特許出願済

明日の生活環境づくりにアイデアでとりくむ
株式会社マンテン

株式会社マンテン ——— 本社 〒542 大阪市南区日本橋筋3-2 ☎(06)632-1151代・南分室《建装部》〒556 大阪市浪速区日本橋東4-4-1 ☎(06)643-2277代
東京支店 〒136 東京都江東区大島5-10-11 ☎(03)682-3241代・名古屋出張所 〒451 名古屋市中川区百船町1-3-4 ☎(052)353-3177代・福岡出張所 〒812 福岡市博多区博多駅南6-12-22 ☎(092)43-4356代
札幌出張所 〒065 札幌市東区北八条東19-22 ☎(011)741-8439代・広島出張所 〒730 広島市金屋町8-4 ☎(0822)62-1765・本社工場 〒578 東大阪市水走55 ☎(0729)63-1151代 ———

■ご入会のお申込および「建築と社会」のご購読は・社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3－37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第55輯第1号
昭和49年1月25日発行（毎月1回25日発行）・昭和24年3月19日第3種郵便物認可
定価四百円（送料共）
表紙・きりえ（日銀大阪支店）加藤義明